ISSN 2187－705X

総合研究

第 6 号　　2018 年 3 月

講演録

映画よもやま話IV　岡田裕介
どうなる内外の政治
－日本はいかにすべきか　橋本五郎
人にとって故郷とは
－小説『終わった人』から　内館牧子
『生きのこる』ということ
－相撲史に学ぶ　内館牧子
〔新政権（?）の行方と借金大国日本（1000兆円超）の明日〕
－人口減時代の日本の10年後を予測－　福岡政行
日本という国の行方
－政治・経済・外交そして若者－　福岡政行
2017年日本はどうなる
－安倍政権と野党、そして日本外交－　福岡政行
安倍政権の行方と小池都知事の野心　福岡政行

研究論文

漱石と怪奇趣味－『漾虚集』を中心に－　橋元志保
自閉症スペクトラム障害傾向と他者の欠点への対処との関連　瀧澤純

研究ノート

太陽紫外線と治療用放射線が白血病の病因である可能性について　力石國男
秋田県スギ人工林に対する自然風景地としての利用可能性の検討　村中孝司

ノースアジア大学　総合研究センター

目　　次

講 演 録

映画よもやま話Ⅳ …… 岡　田　裕　介　(1)

どうなる内外の政治
―日本はいかにすべきか …… 橋　本　五　郎　(11)

人にとって故郷とは
―小説『終わった人』から …… 内　館　牧　子　(35)

『生きのこる』ということ
―相撲史に学ぶ …… 内　館　牧　子　(57)

新政権（？）の行方と借金大国日本（1000兆円超）の明日〕
―人口減時代の日本の10年後を予測― …… 福　岡　政　行　(79)

日本という国の行方
―政治・経済・外交そして若者― …… 福　岡　政　行　(103)

２０１７年日本はどうなる
―安倍政権と野党、そして日本外交― …… 福　岡　政　行　(127)

安倍政権の行方と小池都知事の野心 …… 福　岡　政　行　(149)

研究論文

漱石と怪奇趣味－『漾虚集』を中心に－ …… 橋　元　志　保　(171)

自閉症スペクトラム障害傾向と他者の欠点への対処との関連
…… 瀧　澤　　純　(187)

研究ノート

太陽紫外線と治療用放射線が白血病の病因である可能性について
…… 力　石　國　男　(199)

秋田県スギ人工林に対する自然風景地としての利用可能性の検討
…… 村　中　孝　司　(213)

〔講　演〕

ノースアジア大学　総合研究センター主催　講演会

「映画よもやま話Ⅳ」

講師　東映株式会社　代表取締役グループ会長
　　ノースアジア大学教育諮問会議委員　　岡　田　裕　介
　　ノースアジア大学総合研究センター客員教授

司会　ノースアジア大学総合研究センター長
　　本学経済学部教授　　海老川　寿美夫

日時　平成29年３月13日　午後１時～４時30分

会場　秋田市文化会館

海老川　本日は、平成28年度ノースアジア大学総合研究センター主催後期公開講座、東映映画先行上映会に多数ご来場いただきまして、誠にありがとうございます。今回も東映株式会社様のご好意とご支援によりまして、６月の一般公開に先駆けて、ここ秋田の地で『花戦さ』を上映することができました。これも岡田会長様の秋田への並々ならぬご好意によるものです。心より感謝申し上げます。本日の司会進行を勤めますのは、ノーアジア大学経済学部教授、ノースアジア大学総合研究センター長の海老川でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ではただ今より、映画上映に先立ちまして東映株式会社代表取締役グループ会長並びにノースアジア大学教育諮問会議委員、ノースアジア大学総合研究センター客員教授の岡田裕介様よる講演会を開催いたします。本日の演題は「映画よもやま話Ⅳ」でございます。岡田裕介様には、大変お忙しい中を毎年秋田に駆けつけてくださり、日本映画界の逸話やエピソード、興味深い撮影現場での裏話などユーモアを交えてお話をして下さいます。皆様、是非ご期待下さい。では、岡田先生、どうぞよろしくお願い申し上げます。

岡　田　ただ今ご紹介を受けました東映株式会社の会長をしております岡田裕介と申します。この秋田、この会場に来させていただくのは１年半ぶりになります。前回は『海難1890』という映画を上映しました。

元々はと言えば、ここの大学の理事長さんの小泉さんより一番初めに頼まれたのは、「学生達に講義をしてくれないか」というお話を承っていたのですが、世の中は変貌するものでございまして、今や学生さんはゼロに等しくなりました。親御さんや大学とは直接関係の無い一般市民の方に多数お集まりいただいているようです。その頃の私は、「講義をしたいとかそういう身分ではないので嫌です。」とお断りをしました。でも、「良い案があります。必ず年に１度映画を持って秋田に行きます。その映画を観ていただいて、講義に替えさせていただきたい。」とお話しました。ですから講義に値する映画しか持って来られません。娯楽性が強かったりヤクザ物などは大学としては、ふさわしくありません。観ていただいて楽しかったと思っていただくのはもちろんですが、「観て良かった」、「いい時間だった」、「少しはためになった」と思えるような大学にふさわしい、ためになる映画をお持ちしている次第でございます。

１年半ぶりになったということは、その間そういう映画がなかったということで今日お持ちしました『花戦さ』は私自身が観て、「これならば大丈夫だな」と思った映画でございます。この映画に関しては、後ほどご案内をさせていた

だきますが、その前に「映画よもやま話」という講演テーマで“映画にまつわる色々な話”と“映画も時代が変わってきている”という話をします。私も歳を取っておじいさんに近づいてきました。随分変わったものだと、近頃思うことがあります。何が変わったかというと、自分達が関わってきた経済界でもシャープが買収されて東芝の問題も国がいろいろと手を尽くしています。この２つの会社は基本的に倒産したということだと思います。昔は東芝さんやシャープさんが潰れるなんて考えてもみないことでした。なぜ東映が残っているのかは不思議な話です。

「東映はいつ潰れるかわからない」そう思いながら毎年毎年やってきました。どういう事かと言うと、映画というものは昭和35年をピークに右肩下がりになって行ったからです。それは何の影響かというと、テレビです。民衆が映画を観ないでテレビばかり見ていた時代があるのです。「お金を払って観る映画より無料で見られるテレビの方が面白い」という時代が暫く続いたのです。

東映は映画にこだわることなく、すぐにテレビにも参入しました。『水戸黄門』や『相棒』などが代表作となるテレビ番組の制作会社の最大手としても展開しております。でもテレビを愛して下さっているということは映像を愛してくださっていることに他ならないのですから、大変に良いことだと思っております。1970年代には、「映画はもうそろそろだめなのかな」と思い始めました。そして「もうテレビの会社としてしまおう」と思っていたところ、間際になって最近のシネコンという映画館のシステムが出てきました。もう一つはデジタル映像というものが世の中を変えてきました。こんなに変わるかな、というくらい違いました。

日本航空も一度は潰れましたがいわゆる執行猶予が今年明けて、ほぼ再生し大変良い会社になりました。企業が存続している間には、こういう波が繰り返し繰り返しやって来ます。その波の中にあって映画が急に上昇してきました。東映株式会社だけでなく映画業界自体が上向きになりました。昨年の売り上げ成績は史上最高でした。それだけ沢山の方が映画を観てくださったのです。原因はいくつかありますが、一つは『君の名は』と『この世界の片隅に』に代表されるアニメーション映画がすごくヒットしてくれました。この映画はアメリカの最先端技術によるものではなくて、一生懸命に手書きで原画を作るという昔ながらの方法で作成したものです。これが日本で大ヒットして、それが売り上げに寄与してくれました。去年の映画は63％以上が日本映画です。アメリカ映画は35％で残りがその他のものです。ということは、皆さんに外国映画の倍近く日本の映画を観ていただいたということです。大変にありがたく思っ

ております。

私が映画の製作現場にいた頃は、「アメリカの映画に追いついて何とか並びたい、何とかならないかな」と思っていました。街を全部買い取りそこに大セットを組んだり、川の流れに色を着けるために大量の塗料を流したりするような凄いことを昔のアメリカ映画はしていました。「こんなことまでやられてしまうと、とても太刀打ちできない」と思ったものでした。制作費の規模だけでなく、出来上がりにも大きな差があったのです。今、そういうことはアメリカも日本も変わらなくなってきました。川の色を変えることはデジタル加工で簡単にできる様になりました。アメリカも余計なお金をかける必要がなくなったのです。作り方に差がなくなって同じになったので、日本映画がここに来て急速に発展してきました。

我が社はテレビ局さんとも親密なお付き合いがありますから正直に言ってもいいかなと思うのですが、「近頃はテレビが面白くなくなってきた」と言われています。私もそう感じています。何故かというと、いろいろな要因はありますが作る人の中に“変人”がいなくなったことも一つではないかと思っています。要するに変わったものを作れる人がいなくなったのです。皆さん優等生になってきてしまって、タバコを吸わないしお酒もあまり飲まなくなりました。“タバコやお酒をする人が変人だ”というのではなくて、無茶苦茶な破天荒なことをする人が少なくなってきたと感じるのです。でも我々が作るソフトというものは、“そういう変わったことをする人”から新しくて面白いアイデアや力が沸いてきていたような気がするんですね。

以前この場で、「今はスマホからテレビや映画が見られる時代になったので、映画館だけではない時代になって行くと思う」というお話をしたことがありました。ところが2年近く様子を見てきましたが、実際はそうならなかったのです。逆に映画を愛してくださって、映画館に観に来てくださる人が多くなりました。意外にもスマホはあまり発展しなかったのです。スマホは電話で話すか調べごとやニュースを少し見るもので、映画やテレビドラマを見る人は増えて行きませんでした。未だに増えて行く兆候はありません。皆さんの民意がそういう選択をしたのです。我々が“意外だ”、“七不思議だ”と思っていてもどうにかなるものではないのです。「見たくないものは見ない」と言うのが正解なのです。だから我々は方向を変えて、それに合ったことを進めて参っているところでございます。

今の映画の隆盛がいつまで続くか分かりませんが、今年も『シン・ゴジラ』を初めとするいろいろな作品が沢山の賞を受賞しました。私達が開催している

日本アカデミー賞でも『シン・ゴジラ』が大賞をとりました。この映画はよく特撮映画と言われますが、特殊撮影の作品です。我々の一般映画とはかけ離れた所にあるので、「芸術性などはない」と言われて今までは選ばれることはありませんでした。アニメーション映画も同様でした。ところが今は垣根が無くなってきて、観ている人がアニメーションであれ普通の映画であれ、「面白ければ何でもいい」という差の無い時代になってきました。ですから皆さんの中でも区別なく、「話題になっているから」という選択で、色々な映画を観に行くことが増えて行くのではないかと思っております。昔のように、「観る映画によってお客様に違いがある」などということも関係がなくなってきていると思います。

それから今日観ていただく『花戦さ』という作品は、コンピュータグラフィックスという、いわゆるCGを全然使っていない映画でございます。つまり我々が20年前に目指していた映画と一緒なんですね。先ほどお話したアニメーション映画『君の名は』も20年前に宮崎駿さんがおやりになった手法と同じです。世の中の技術はどんどん進化して発展して行っていますがお客様は、「昔ながらの物の方がいい」と思っているのかもしれません。

おそらく、機械化したものよりしっかり作り込んで手をかけた物の方をお望みなのだと思います。CGを一切使っていないので映画の中に出てくるお花は、先生達が本当に作って下さったものです。本物のお花なので“生ける”と言うのが正しいですね。つまり本物の映画です。もちろん昔の人が映画の中のような花を生けられるはずはないと思います。ですから調べた資料を基に“その頃はこうだったろうな”という想像とアイデアを加えて、『花戦さ』の全部の花を作ってくださったのです。

私はあまりメモをしたりしないのですが間違いがあるといけないので、今日は紙に書いてきました。今日の映画は池坊専好さんという池坊の初代の方が題材です。基本的に池坊という由来は、池のほとりにあったお寺のお坊さんだからです。六角堂で有名な天台宗頂法寺の本坊さんの話です。今からお話することは知識として持っておいてもらいたいと思います。室町時代の応仁の乱で疲れきった民衆の中から織田信長が、「天下統一を目指そう」と出現しました。その頃から織田信長はいろいろなものを取り入れて行きました。能や狂言もそうです。可愛がったというと変に聞こえますが、要するに保護をしました。お茶（茶道）にも力を入れましたが、もう一つお花（華道）もあったのです。戦乱の世の中から、なんとか文化の確立を目指したのです。当時の物は今で言う“文化”と表現が適当かどうかはわかりませんが、民衆や自分の心を“文化”

でもって癒していこうとしたのが大きな流れになりました。それを秀吉が継承して行ったのです。

この映画の中ではカットされている話があります。「織田信長は本能寺で自害して秀吉が後を継ぐ」ということは皆さんが歴史的に知っていることなので、暗黙の了解ということで場面として出てきません。映画の初めの方は織田信長が主役になっていますが、突如として姿を消して秀吉が出てきます。我々も知らないで作っている訳ではないので、敢えてカットしていることを頭に置いてご覧いただきたいと思います。

こういうことを注意しなければならないな、と思ったのには理由があります。前に『ホタル』という映画を作りました。高倉健さんが主役の特攻隊の話をベースにした映画です。これを上映した時に高校生達から、「特攻隊が沖縄に行っていたことは分かりましたが、戦っていた相手はどこですか。」という素朴な質問がありました。私は“えっ！”と思いましたがアメリカと戦争をしていたことを話しました。すると、「アメリカと戦争していたんですか？」という反応だったので驚きました。その人達の知識の有無のことを言っているのではありません。歴史に残るような大きな出来事だったのに、今はその歴史に触れていない世代が大勢出始めているのです。映画というのはそういうことはあまり関係なくて、「知らないことはおかしい」とは言えないので、きちんと提示しなければならなりません。確かに『ホタル』の中では、アメリカと戦争をしていることが分かる場面はありませんでした。東映は次に『男たちの大和』という映画を作りました。戦艦大和の話です。そのときにはアメリカと戦争していることが分かるシーンを入れました。知らないとどうにもならないのです。ですから、信長が突如として姿を消しますが、そこのところはよろしくお願いします。

それから、池坊専好さんはお坊さんです。映画には千利休も出てきます。茶の道を一代でグレードアップさせて、華の道の池坊さんと共に文化の頂点を極めた方ですが、彼は商人でした。大阪堺の商人です。一緒にお茶を行っていた人はお坊さんではあります。彼は秀吉さんに言いがかりをつけられて切腹させられます。このことがメインストーリーではないのであまり触れていませんが、そういうことがあったことを基本的な事実として頭に入れておいていただければ、大変にありがたくと思います。

この“花”というものが元々どこから来たかというと、死者を祭ったり送り出す時に花を添えるということが仏教と共に 6 世紀に入って来たと言われています。そうやって室町時代を経て安土桃山時代に開花して行くという歴史を辿

ります。それまではそこら辺の野に咲いている花を生けたというよりは、名もない誰かが無造作に置いたり差していたものだったと思います。それがある種の芸術性を持って受け入れられたのは、江戸時代になってからだと言われています。

映画の中では池坊の初代住職を狂言の第一人者である野村萬斎さんにお願いしてやってもらっております。秀吉は歌舞伎界の大御所である市川猿之助さんにお願いしました。このお二人は同じ歴史を歩んできたそれぞれの伝統を、現代において受け継いでいる方々です。そういう方にやっていただきたいと思って、お願いを申し上げて人選をさせていただきました。千利休は佐藤浩市、織田信長は中井貴一と生粋の映画人が演じています。基本的に映画出身の人はそんなに芝居が大きくはないのですが、舞台をしていますので野村さんと市川さんの芝居は多少オーバーな演技になります。これがまた良い方向になっています。それぞれの専門分野での演技の質があるのです。このことについても、そう思って観ていただければ大変ありがたく思います。また、それぞれの演技を観るだけでなくて“変人”とまでは言いませんが、野村萬斎さん自身も非常に独特の雰囲気があって個性的な方です。専門的な人間は、良い意味でどこか面白いところや偏ったところがあります。今の世の中は変な人を認めず拒否していますが、私はそんな人に良い意味で変わって行って欲しいと思っています。

さて、本当の意味での池坊専好さんがどんな方だったのかということについてです。映画の中の人物像と比べると、本当はここまで明るくて変な人ではなかったのではないかと私は思っています。映画を観て役者さんを通して皆さんなりに感じ取っていただくことになると思っています。現代の次期お家元になられる方は、元衆議院議員池坊保子さんのお嬢さんで初の女性の家元になります。お人柄も優しくてお坊さんなのにいいのかなと思うほどです。先代がまだご存命なので、時期が来たらお継ぎになることが決まっています。とても映画のような感じではありません。

今ここに生け花の絵がありますが、これが生け花だと思うと大きな違いがあります。1594年に初代専好さんが岐阜の前田利家のところで巨大な生け花をして認められました。その生け花を映画の中で再現しています。“大砂物”と言いますがあまりの大きさに、これが生け花なのかと私も大変驚きました。再現作業は10人で15日間かかりました。大きな物なので東映の大セットに組んで、“砂物”なので花器に砂も敷いて大変な作業でした。現代の池坊家の皆様にも作業に加わっていただいた大変立派な物でございます。ぜひ楽しんでいただけたらと思います。やはりこういう本当の物を見ていただくためには、CG

ではなく本物を作るということを私達は映画作りの中でしています。本当の意味で誇りある日本映画です。今の映画の作り方と比べて“古い”、“新しい”などを申し上げているわけではありませんが、脈々と続く日本映画の作り方をご提示させていただきたいと思います。

今、色々なことが安倍さんのところでも問題になっておりますが。なぜ「変人でも良い」と私が言っているのかというと、我々がしているのは芸術だからです。私も時々、「公人と私人の違いはなんですか」と聞かれることがあります。国や県や市からお金を貰っているお役所の人が公人なんです。有名人と公人が目茶苦茶になっています。有名人も公人のように言う人がいますが決してそんなことはなくて、有名人であっても芸人は芸人なんです。芸能人はどこかからお金を貰っているわけでなく、自分達が稼いでいるわけですから私人です。こんなことを言われるのは変な話です。少々“変な人”でも芸に秀でる才能があるのなら、私は良いと思っています。お互いが切磋琢磨して成長していっていただければ良いと思っています。

映画を取り巻く環境も変わってきました。一番変わったと思うことは、今まで映画は見捨てられたようになっていましたが、ここ５年くらいの間で俄かに国や政府、内閣が応援してくれるようになったのです。外国で上映するために映画を持って行くときの交渉も国が積極的に間に入ってくれるようになりました。安倍さんになってから大変な理解と支援をしてもらっています。外交や思想とは関係なく、日本の良い物を外国に紹介していくことを非常に一生懸命に支援してくださっています。今、中国とのことは大変ですが“できるか”、“できないか”にかかわらず非常に尽力してくださっています。これまでの有事以来、戦争中の映画は軍の支配下の元にあって、全部思想弾圧を受けていました。昭和30年の少し前頃までは GHQ の統制下にありました。今になって初めて自由にやれる物になって、また政府や国も支援してくれる健全な物になってきております。来月この映画は国会の人達に観てもらえることになっています。その時また私は講演をさせていただくことになっています。

この後皆さんに観ていただく映画は、まだ関係者しか観ていません。一般の方という意味では、本当に皆さんが最初です。そしてこの映画についてもう一つ紹介したいのは、お帰りの際にポスター等でご覧いただきたいのですが、題字についてです。これは金澤翔子さんという書家に書いていただきました。彼女はご本人自身も告白していますのでお話させていただきますが、ダウン症の女性です。字をお書きになる時は非常に天才的です。今回のこの映画の題字のほかにも、色々なドラマの題字を書いたり個展を開いたりしています。我々は

才能があれば様々な人にどんどん機会を設けてやっていただきたいと思っています。映画の一つの姿勢が題字にも現れているのではないかと思っています。

ここまでお話してきましたが、私の云々をお聞きしていただくよりは、早く映画を観ていただいた方が良いと思います。実は今日は時間が余りそうだと思っていたので、脱線する話をしようかなと考えてきました。でもなぜか私の心はまじめな方へ向きまして、そういう話の方向にはなりませんでした。花の力でございましょう。なるべく早く観ていただきたいので、今日はこの辺りで終わりたいと思います。今日はありがとうございました。

海老川　岡田会長様、コンピュータグラフィックスを使用しない本物の映画作りの職人芸術の珠玉作品『花戦さ』の見方を教えてくださいまして誠にありがとうございました。岡田会長様にはこれからもご健勝にて日本映画の興隆と復活の先導役としてご活躍されますことを心よりお祈り申し上げております。本日は誠にありがとうございました。皆様今一度、岡田会長様に盛大な拍手をお願い申し上げます。

〔講　演〕

ノースアジア大学　総合研究センター主催　講演会

「どうなる内外の政治
―日本はいかにすべきか」

講　師　読売新聞特別編集委員
　　ノースアジア大学教育諮問会議委員
　　ノースアジア大学客員教授　　橋　本　五　郎

司　会　ノースアジア大学総合研究センター長
　　本学経済学部教授　　海老川　寿美夫

日　時　平成29年７月８日　午後２時～３時30分

会　場　ノースアジア大学　40周年記念館271教場

海老川　皆様、こんにちは。暑い中、総合研究センターのご講演会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。昨日、今日と学園祭を開催しておりまして、学内はいつもとは違った様子の雰囲気になっております。学生達がいろいろと考え、企画したものでございます。お時間がありましたら、ぜひ学園祭の様子もご覧いただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

さて、今回は橋本五郎先生のご講演会です。橋本先生はお忙しいお立場の中、今日は大阪から秋田に来ていただきました。今日のご講演のタイトルは「どうなる内外の政治―日本はいかにすべきか」です。まさに内と外、都議選だけでなくイギリスやフランスでもいろいろな問題が起きています。この辺りについて、秋田弁を交えたエネルギッシュなお話しをしてくださると思います。それでは先生、どうぞよろしくお願いいたします。

橋　本　みなさん、こんにちは。今日は非常に嬉しいことがありました。というのも、この季節はいろいろなところで学園祭をやっています。とても華やかな気分になるところですが、今年は九州の方が災害で大変なことになっているので、あまりそういう気分になれませんでした。でも今日は、学生諸君の姿を見て、とても晴れやかな気分になれました。

しかし日本の政治はあまり晴れやかではありません。私は月に１度、読売新聞でコラム「五郎ワールド」を書いているのですが、今日はどういうことを書いたかというと、今度の都議選についてです。安倍総理大臣の問題については、いろいろ言われていますが、「小池都知事はどうしてあんなに高い支持率なのか」、ということと、「そこには落とし穴がありますよ」ということを書いたのです。これはずっと前々から講演でお話をすると盛り上がる話題でしたが、遅まきながらそれを書きました。それは何かというと、「もう、越後屋政治をやめたらどうか。」ということです。この中にエチゴヤさんがいたら誠に申し訳のないことですが、前に別の講演会でもそういう話をしたら、質問の時間に「私、エチゴヤです」と言われて、気まずい思いをしたことがありました。

これは時代劇の話です。時代劇を見ていますと、必ず悪代官が出てきます。悪代官の側には悪い商人がいて、２人は料理屋の２階の薄暗い部屋で、ヒソヒソと金儲けの話しをしているのです。そして悪代官は越後屋に「おぬしも悪よのぉ」と言うのです。「俺も悪いけど、おまえの方が相当悪いぞ」、と言うのです。この越後屋を作るのが小池さんは非常に上手い。その“越後屋の第１号”が内田茂という「都議会のドン」です。ずーっと長い間、都議会議員をしている人です。都議会は悪い人たちがいる所なわけではありませんし、別にどんな

悪いことをしているのかを証明する必要はありません。そう思わせれば良いのです。顔のことは私もとやかく言える資格はないのですが、この内田さんはいかにも越後屋みたいな顔をしているのです。それで、この内田越後屋は都議会選挙に出られなくなりました。まだ続けるつもりでいたのですが、引退に追い込まれました。越後屋には必ず賞味期限というものがあります。要するに引退してしまうと、もう越後屋として使えなくなります。次の越後屋は誰かいないかな、と思っていたら、いたいた。元首相の森喜朗さんです。ちょうどオリンピックの会場問題で、長沼だとかの3箇所をいろいろ検討しながらあのように決めたわけですが、「お金の無駄遣いがあって利権問題として背景に森喜朗がいて、お金が流れている」となったのです。別に本人に言う必要はなくて、週刊誌に書かせて、そう思わせればいいのです。

この会場問題も決着すると、また越後屋として使えなくなります。３人目を探しました。それは石原慎太郎です。これは格好の越後屋でした。なぜかというと、“厚化粧の女”なとど憎まれ口を叩いてきましたから、ぴったりなのです。石原さんは都議会の百条委員会で追及されました。その前に、“飛んで火に入る夏の虫”ではないけれど、渦中の人が日本記者クラブに「記者会見をやりたい」と来たのです。日本記者クラブは、喜んで受け入れますけれど、石原さんの条件がありました。その条件が何かというと、「司会は橋本五郎さんに」というものでした。これは私には迷惑な話です。安倍首相の「読売新聞を熟読せよ」という発言も迷惑な話でしたが、それと並ぶほどではなかったにしても、条件として、私に司会をして欲しいというのです。日本記者クラブにまず特別秘書が頼みに来て、こともあろうに読売新聞にも頼みに来ました。私はそのときは大阪にいたのですが、その話を聞いて頭にきました。「司会を誰にするなんて、こっちが決めることで、申し込む方が決めることではない。この話は無かったことにしよう。」と言いました。というのは、談合しているみたいではありませんか。だから、「聞かなかったことにする。」と断りました。実は記者クラブ内では、私が司会をすることになっていたのですが、そんなことは言わずに、押し戻しました。

そこから始まって大変だったのです。これまで何十回となく記者会見をしていますが、こんなに大変だったことはありません。あの方は脳梗塞で足が動きにくくなっていますから、会見会場の演壇に上がることができませんでした。そのためにどうしたかというと、機械で演壇を下げました。そして石原さんを椅子に座らせてから、また演壇を機械で上げました。倒れたりすると大変だということで、主治医を連れてきました。記者クラブも医師を待機させました。

いつもの記者会見では、司会と会見者は離して座らせるのですが、このときは途中で顔色を見ながら進めるため、並んで座りました。その他の要求も多かったのです。「顛末について、30〜40分説明させろ。」と言うのです。生放送でやっているときに、本人の弁明を長々と聞かされると、みんなテレビのチャンネルを変えたくなります。こちらが質問することに答えてくれれば良いだけの話なのに、本人は説明したいのです。ところがまたその弁明も、「代読させて欲しい。」というのです。そんなのは普通、本人がすることでしょう。でも本人がすると、「もっと長くなる。」そうなんです。逆にくるわけです。そのことについては、ぎりぎりまで断りました。それから次の要求は、「質問は４問にしてくれ。」と言うのです。そこで私も考えました。そして、「そんなことをすると、小池百合子に“また逃げた”と言われますよ。」とご本人に言いました。これに弱いんですよね。“男のくせに卑怯だ”と言われるようなことは嫌なんですよね。「そこは私に任せて欲しい。あなたの健康状態を見ながら、私がきちんとやりますから。むしろやる時に“私は倒れるまでやります”と言った方が、あなたの株が上がりますよ。」と言いました。結局、18人が質問をしました。会見が終わった後、一緒にコーヒーを飲んだら、「今日の会見は不満だった。」と言うのです。何が不満だっていうのか、こういうわがままなところが彼にはあります。でも私には初めから分かっていました。彼には３つの“ない”があります。まず、“関心がない”のです。そもそも豊洲には関心がなかった。２つ目は、“知らない”です。実際に知らないのです。彼は１週間に２日か３日しか登庁していませんでした。だから説明しなければならない担当職員は、会って話すことができなかったのです。だから知らないのです。３つ目は、“記憶にない”です。言われても覚えていません。だから４つ目になりますね、彼に聞いても“仕方がない”のです。しかし立場上、知事なんだからそんなことを言っていられません。実際は副知事の浜渦武生さんが、全部やっていました。彼に聞くのが一番分かると思います。でも、「あなたは知らないでしょう。」とも言えません。石原さんは「俺はみんな任せたんだ。」と言うので私も頭にきて、「だったら、知事は何のためにいるのか。」と聞きました。そうしたら、「よく言ってくれた。」と後からまた評価されたりしたのです。こういう“わがまま男”は対外的には“厚化粧の女”などと言うので、格好の“越後屋”です。

あの時、小池さんは「私はそんなに化粧はしていません。」のようなこと言いましたが、「そんな切り返しでは下手だ。」と私は言いました。私だったら、「歳がいくと、どうしても皺が見えちゃうし、どうしても化粧が濃くなるんですよ。」と逆に言った方が、好感度が持てたと思う。そんな話をすると、また女性議員

から怒られたりするのです。ある女性学者から「あなたがそういうことを言うと思ってもいなかった。見損なった。」と叩かれました。余計なことは言わない方が良いです。

石原さんは格好の越後屋でした。ところが、百条委員会が終わって彼がお払い箱になると、越後屋としては使い物にならなくなります。それで４人目を探しました。でも、この４人目がなかなか見つかりませんでした。今日の読売新聞にも書きましたが、下村博文という人が浮上しました。しかし、越後屋にもカリスマ性と知名度がなければ、なりきることができません。誰が見ても、「これは酷い」と思ってもらわなければなりません。新聞にはそこまでは書きませんでしたけれども、下村さんはそこまで知名度がなかったので、してもらえませんでした。それで安倍晋三を越後屋にしようとしました。ところが、そうされてはたまらない、と安倍総理は徹底的に逃げ回りました。今日も、テレビでやっていました。そうでなくても、オリンピックのことでしこりがあります。ただ越後屋を、いつまでもやっていてもいいのですか、ということです。敵を作って戦っている姿を見せて、拍手喝采はいいのですが、それで何か物事が進んだか、というのです。進んでいませんよね。豊洲の問題も進んでいません。「築地は残す、豊洲は活かす。」と言ってはいますが、何も進んでいません。大切なのは、一つひとつ解決して進めていくことなのですよ、ということです。そういうことを、今日の新聞に書きました。

小池さんについての世論調査を見ると良く分かります。男性より女性の支持率の方が10数％高いのです。しかも主婦層の支持が高くて、評価しています。大体は女性の政治家や議員というのは女性に嫌われて、支持率が低いものなんです。誰とは言いませんが、今の民進党の人なんかは嫌われています。キンキンして意地っ張りなところが見えますよね。日本は良妻賢母な感じでなければ、だめなんです。アメリカも似たところがあって、だからヒラリーはツンとしているので嫌われてしまいました。小池さんは違ったのです。女性の、特に主婦に人気があるのです。それはなぜかということを、はっきり分析したものはありませんが、私は、間違いなく“これだ”と思っていることがあります。それは、「男社会の胡散臭さ」だと思います。「なんだかこんなにお金がかかると言っているけれど、本当にそうなの？ 誰かが、どこかで儲けているんじゃないの？ そのためにやっているんじゃないの？ もう少しお金を減らせるんじゃないの？ 男達がやっていることは何か変だな。」というような、そんな感覚だと思います。ここなんです。なぜそう思うか、というのは、自分の亭主への不審なんです。今日も遅く帰ってきて、「仕事だった」と言うけれどお酒の匂いがプ

ンプンする。「本当に仕事だったの？」と疑うわけです。「どこかの事務次官のように歌舞伎町に行って来たんのじゃないの？」、「出会い系バーに行ってるかも。」と思うわけです。“この不審の気持ちは、家庭の主婦が自分の亭主への思いの投影である”というのが、私の確信に近い仮説です。そうやって考えると、結構思い当たることがあります。今日、ここにお越しになっている皆さんも、きっと思っている方がいるのではないかと思っています。そう思うと、声が段々小さくなりますが、非常に大事なところです。

テレビの視聴率は年代別にとりますが、45歳から59歳までの「F3」は非常に大事な層です。この層は一旦これだと思う番組を見るとずっと見るのです。非常に堅い支持層なんです。これは政治も同じです。ところが一度裏切られると、もう見てくれません。まさに主婦層なんです。非常に似ています。だからそこから何を考えるかだと思います。

となると、例えば加計の問題にしても、籠池の問題にしても、正直に伝えることが必要だと思います。加計の問題だったら、今まで50何年間も獣医学部の新設を認めなかった。それは認めると他の大学が困ったりするから認めないのです。文部科学省というところはそういう権限を持っているので、やらせませんでした。でも、それでは間に合わないので「特区」という内閣府の大方針を作ったのです。それに対して文科部省は反対します。自分達の権限を奪われるわけだから。そんな時に首相の一番の友達が認められた。当然疑われるわけです。しかし、審議会があっていろいろなチェックがされたはずです。そもそも「内閣の大方針で、こういうことをやるんだ。」とはっきり言えば良かったのです。はじめから、「私の友達だけれども一切忖度するな。」と言えば良かったと思います。秋田的にいうと「斟酌するな」といっておけば、後からこんな問題にならなかったと思います。文書も全部公開しても別に問題なかった。全然違っていたと思います。それを言えなかったのです。何かが起きれば大変と、周りの人も手前のところで防がなければならないと忖度してしまいました。こういう気になってしまったことでいたずらに問題を大きくしてしまいました。

籠池の問題もそうです。100万円のことです。ここだけの話ですが、総理も心配して私に電話をかけてきました。昭恵にも確認しました。自分が一番恐れたのは講演会の後に講演料を渡されて、「こんなのは受け取れません。」と断ったことがあったので、“その中の金額も確かめずに返したものを、寄付という形にされたかもしれない”と思ったのです。それで徹底的に調べました。１回だけそういうことがあったようです。谷さんというお付の人が携帯電話が鳴って、席を外したことがあったようです。そのときの何かがあったどうかは、他

の人にも確かめました。そういう風に調べても何もなかったというのです。総理はどんどん強気になっていきました。「辞める」と言ったり、野次に対して野次を返したりするようになったのです。そういう意味では発展途上なのです。私が言ったり書いたりすることは上から目線だと言われますが、総理と言えどもまだまだ人間が出来ていないところがあります。さっき小泉理事長ともお話したのですが、困っているときに100万円貰ったなら、本当にくれた人のことを地獄の底まで悪くは言わないと思うのです。それが人の道だと思います。今、籠池はさかんに昭恵さんのことを悪く言って攻撃しています。だから逆に貰っていないという人もいます。

何よりも、「あんな人間に掴まってしまったこと」が問題だと思います。総理大臣夫人は公人か私人か、という議論がありましたが、私に言わせれば「総理大臣夫人」です。彼女には50もの公職があると言われていて、安易にのこのこ出かけて行ったりしていると批判されますが、その多くは恵まれない人のために力になろうとしている活動です。純真無垢に活動をしているところがあります。しかし利用されることもあるんだと、気をつけなければなりません。そうしなければ総理大臣の地位も危うくなってしまいます。

東京都議選であれだけ大敗したのにも、いろいろな要因があります。一番大きな問題は、豊田真由子のことだと思います。あんなに極端な人が議員としているのです。彼女は、あれでも東大卒、ハーバード大出ですからね。だから“東大卒、ハーバード”という神話は、いずれ無くさなければならないと思っています。まだ依然としてそういうのがあります。それだけ知的な方ならば、もっとお嬢様のような優しい言葉遣いで、物を言うのかなと思いましたが全然違いました。あれが一番効いたのかな、と思います。今回は負けるべくして負けました。でも、あそこまで議席を減らすとは思いませんでした。自民党は30議席は切るだろうな、とは思っていましたがあそこまで、23議席まで減らすとは思いませんでした。小池さんの都民ファーストの会は55議席になりました。

こういうことは繰り返して起きています。小泉チルドレンもそうでした。安倍チルドレンもそうでした。昔は、国会議員は地元で地味に活動して、１回か２回は落選して、歯を食いしばって当選を果たしていました。ところが今は人がいないものだから、公募するんです。この公募は厄介です。公募ですから、「やりたい人は手をあげてください」ということなんです。何で仕分けますか。どこの大学を出たか、どこの会社にいたか、ということしか見るところがありません。その人となりを見る時間的な余裕はありません。都民ファーストの会の公募は、前の日の手を上げたような人もいるのです。変な人かどうか分かりよ

うがありません。面接をしたって、面接する方がおかしな人だったら、どうですか。誰がどう見るかは大事なことです。ずっと地元で頑張っている人だと、地元の人たちはその人のことが分かっています。どういう家庭なのか、時々激しくキレるような人なのかが、分かっていきます。地元に来ると、みんな１票を持っている有権者ですから低姿勢です。東京に行くと威張ります。威張る相手はそんなに多くありません。家庭でも小さくなっているので威張れません。だから秘書か役人に威張るのです。私の長年の政治記者としての経験から言えば、秘書を見ると分かります。政治家を見るには秘書を見れば分かります。秘書を見ると政治家が分かります。段々似るものです。豊田のところなんかは、100人も替わったということでしたから、どれくらい替わったかは尺度になります。それに、長く続いている秘書は国会議員に似てきます。傲慢なところだとだいたい国会議員も傲慢です。そういうものが今回、全部出たという感じです。それからもう一つ、くれぐれも気を付けなければならないのは、身近な人間ほど重要なポストに付けないということです。これが非常に大切なことなのです。後藤新平という1923年の関東大震災のときに内務大臣やって復興を担当した人がいます。この人は自分の娘の婿である義理の息子を、ついに重要ポストにつけませんでした。鶴見祐輔という人で、『正伝 後藤新平』という８巻もの伝記を書いた人です。『母』、『子』などの大変なベストセラー作家でもあったのですが、最も近くにいたのに最後まで使いませんでした。義理の息子も不満だったようですが、近い人間を使うとマイナス意見が出なくなります。

今度は大臣を替えると思いますが、安倍晋三は稲田朋美防衛大臣に最後までそうでした。ずっと弁護しているだけです。曾野綾子さんと対談をしたときに、「お友達内閣のどこが悪いのですか。」と聞かれましたので、「何も悪くありません。その友達が良い友達か、悪い友達かが問題なんです。」と答えました。悪い友達が結構いるのです。足を引っぱっている友達だと思ったら、スパッと切らなきゃだめです。

もう一つ大事なことは“公募”を考えない直さなければならないということです。それから、身内からも登用しないようにしなければなりません。私がかねてから言っていているのは、“最も身近な存在が、最も厳しい批判者にならなければならない”ということです。防衛省の守屋谷武昌という事務次官がいました。３年もやってなかなかの人物でしたが、小池さんが防衛大臣の時にクビにしました。私は「奥さんはご主人がゴルフに行ったときに、財布の中身を確認しなければならない。」と言っています。もし減っていなければ、誰かにご馳走になっていないかを、確認しなければならないのです。最初の頃は秘書

が注意します。1回目は、「良いことを言ってくれた。言われてみるとそうだな。」となるのですが、2回目からはうるさくなってきて秘書を替えます。そうすると、新しい秘書は言えなくなります。そんなときに奥さんが、「どうしたのですか。」と厳しくするのです。秘書を替えられても、奥さんは替えられません。もしかしたら自分が替えられてしまうかもしれません。一番身近な人が厳しくしなければならないのです。奥さんも一緒にゴルフをするようになったら、もうだめです。

私も娘たちが小さな頃から、「もっとも身近な人間がもっとも厳しい批判者にならなければいけない。」と言ってきました。子供達はそのことを良く覚えていて、私にとても厳しいです。いつも批判されるので、こっちだって頭にきます。「お父さんだって、世間ではそれなりに評価されているんだ！」と言うと、「お父さん、世間とはそういうものなんです。それを真に受けてはいけません。」と言われます。もう気の休まる時がないですよ。でも、「よくぞ言ってくれた。」とも思うのです。「もっとも身近な人間が批判者にならなければならない」と、ずっと言い続けて来た私の教育は、間違っていなかったと思う半面、一抹の寂しさもあります。こういうところは、なかなか厄介で難しいところなんです。

安倍さんは身近と思われる人には厳しく言ってもらって、外の人を包み込むようにならなければならないのです。憲法改正について読売新聞でインタビューをしました。返り咲いてからの初インタビューも、読売新聞でした。憲法改正手続きの条文である第96条で、3分の2の賛成がなければ国会で決められず国民投票に移すことができませんが、それを2分の1にしようとしたときのインタビューも読売新聞でした。今度の自衛隊の位置づけの問題についても読売新聞でした。安倍さんの気持ちは良く分かります。産経新聞だと一体化と見られていますので、あまり信用されません。朝日新聞は見るのも嫌なんです。これは本当の話です。朝日系列のテレビ局で放送しているのを、見るのも嫌なんです。そこで、読売新聞くらいがちょうど良い、となるのです。「読売新聞を熟読せよ」なんて余計なことを言うものですから、こっちも大迷惑です。私だったら、朝日新聞とインタビューします。朝日は1面トップで書かざるを得ないんです。自分が最も嫌っているところとやるんです。日本の総理大臣なんですから、国民全体を包み込むようにしなければならないのです。“自民党総裁”としてだけの立場ではないのです。全体を見る気持ちでやる。それから、大臣にする人は能力ももちろん必要だけれども、それ以前の人間性も大切です。なんども当選している人なのだから、周りの人に聞けば分かります。そういうことをしないので、私の高校の後輩である法務大臣にも困ります。あまり詳し

くは触れませんが、よく聞いて慎重に見極めないと、内閣自体がおかしなことになってしまいます。

もうそろそろ、安倍一強時代が終わって、支持率がどんどん下がってくると思われています。でも、私はそうは思いません。落ちていく原因で分かりやすいのは、スキャンダルや失言、お金の問題です。政策がどうのこうのと言っても分かりにくいです。例えば、テロ対策法については、反対している人たちがいて新聞も書いたりしています。だけれども世論調査をすると50％の支持があるのです。安保法のときも支持率は下がりました。あの時は反対する人たちの方が多かったのです。でも政策が原因で、そんなに下がるものではないのです。一番分かりやすいのはスキャンダルなんです。それをしないように、きちんきちんとやっていれば評価されるものなんです。自分のためにしているのではないのですから。

小渕内閣は大変でした。普通は支持率というものは、初めは高くてどんどん下がっていくものなのです。結婚と同じだと言います。「この人と結婚すれば、幸せな人生が待っている。」と期待して結婚しますが、そうなっていかないことが段々見えてくるのと同じように支持率も段々下がっていきます。一緒に住み始めると、分かります。私も仕事から帰ってくると、玄関で着物を着て三つ指をついて、「お帰りなさい。疲れたでしょう。お風呂が沸いてます。お酒の燗もついてます。」という光景を何度夢見たことでしょう。ところが、そんなことは一度もありませんでした。それが現実です。内閣も一緒です。最初は何もやっていなくて、期待だけなんです。幸せはそんなにやって来ないのです。今、くすっとお笑いになって聞いている人は、そういうことをしみじみと感じているのではないかと思います。それは、こっちが思っているということは、相手の方も思っているということです。しかし、その厳しい茨の道を手と手を取り合って生きていくといくことが、夫婦なのだと思います。つくづくそう思っています。

小渕内閣は最初から支持率が低くて、「冷めたピザ内閣」などと言われました。就任した時に自宅前に張り込んだ記者たちに、“冷めたピザ”を振る舞いました。とてもユーモアとしては良かったと思います。小渕さんと私は毎月一緒に食事をしていましたが、「３日も持つか、３週間持つか、３ヶ月持つだろうか」とビクビクしていました。ところが、１年過ぎたら支持率が上がって行きました。私も、「えーっ」と思いました。この冴えない人が、なぜ支持率を上げることができたのか。それは、毎日毎日ひたすら仕事をやったからです。内閣の仕事とは、国会でちゃんと法案を通すことです。ここが大事なところです。法案が

通らなければ、予算も使えません。そういうことを一つひとつ毎日きちんとやって前に進めていきました。１年経てば有権者である国民は分かって行きます。小渕さん本人も、「理由は自分でもわからない。」と言っていましたがそういうものなのです。余計なことを言わずに、きちんきちんと毎日仕事をしていれば、評価されるものです。亭主も家で暴言を吐かないで一生懸命にきちんと仕事をして、晩酌も２合くらいで止めてやるべきことをやっていくことで、家庭内の信頼も厚くなるのではないかと今、自分のことを反省しています。

と言うことで、私は必ずしもこの内閣の支持率が傾くとは思っていません。外交ではそれなりのことをしています。問題はやり方にあります。例えば法案を通すときでもです。明日テレビで放映されるかもしれませんが、「そこまで言って委員会」という番組の収録を昨日しました。その中でケント・ギルバートという人が、「どうせ野党は支持しないのだからいくら言っても無駄だ。」と言っていました。私は、そこは違うと思います。「丁寧に手を尽くした」という姿勢が大事だと思うのです。ただし、そういう余裕はまだないので、これから気を付けなければなりません。

そういう中で、もう一つしたいお話があります。でも、これは会場がシーンとなってしまう話なのです。だから、いつもどうしようか迷うのです。それは天皇陛下のお話です。ご退位について法案が通って、途中で辞められる事ができるようになりました。私は反対です。それは、政治問題になってしまうからです。このことについては、この問題がどうやって出てきたのかということに遡ります。実は一昨年の初めに、宮内庁から内閣に、「天皇が、途中の退位を考えておられる。」という話が出てきました。ところが、内閣は困ってしまいました。やり方を間違えると、内閣が吹っ飛んでしまいます。それで、ズルズルとここまできてしまいました。それで、天皇陛下と宮内庁は痺れを切らしたようです。それでまず、NHK に報道させました。７時のニュースで、「天皇陛下のお気持ちの表明」をスクープさせました。そして８月に天皇陛下自らが、お気持ちの表明を国民にしました。「自分は２回手術をして、象徴としてもの勤めをすることができなくなった。」そして、皇室典範にある摂政もだめだと否定されました。ビデオによるものでしたが、陛下は本当は生放送でしたい、と思っておられたようです。生放送だと、どういうことが起きるか分からない、と内閣が懸念し、ビデオになりました。天皇陛下は常に内閣の助言と承認に基づいていないと、行動ができないことになっています。それが、日本国憲法の“象徴制”です。ところが、生放送で陛下に言われるともう止めることができません。ビデオもあらかじめ見て確認をするのですが、陛下に対しては最低限

の事しか言えません。慌ててどうしたかというと、急に有識者会議を作りました。そこで議論が始まると、「国民の代表なんだから」と国会の衆議院と参議院が乗り出しました。これで内閣は助かりました。自分達が矢面に立たなくてもよくなったのです。これには、共産党を含む与野党が賛成しました。あの時に私が思ったのは、天皇陛下ご自身が発案してあのようなことをしましたが、明治天皇でさえご自分の意思を表明したことは、一度もありませんでした。それは、明治維新をした人たちや元老たちが言わせないように、そういうことをさせないようにしたからです。だから、明治天皇は出来なかったのです。昭和天皇は８月15日に１度だけしました。それは政治が機能しなくなったからです。なぜ、長い間できずに来たかというと天皇が政治をしてはだめだからです。

日本の天皇制が千数百年間続いてきたのは、なぜでしょう。イギリスの国王は革命の時に処刑されました。フランスの国王はギロチンにかけられました。日本にはそういうことはありません。なぜなかったかというと、政治の外にあったからです。天皇は政治の上位にありました。源頼朝はあくまでも征夷大将軍であって天皇にはなれませんでした。天皇から任命された将軍です。徳川家康もそうです。事実上の権力はなかったけれど、どんなに政権や時代が変わっても、立ち位置は変わらず、常に政治の上位にあったからこそ、ここまで永きにわたって続いてきました。このままでは天皇が政治になっていきます。ある歴史学者が、「争い事は起きません。なぜならが、次になる人が決まっているから。」と言っています。私は、違うと思います。次に誰がなるかは決まっていますが、早く辞めさせようとする力が働きます。足の引っ張り合いが始まらないとは言えません。皇太子浩宮様と秋篠宮様はそんなに年齢が離れていません。本人たちは別に思っていなくとも、周りの支えている人の中には、「早く辞めてもらおう」と画策する人が出て来ないとも限りません。その方法はいくらでもあります。恐れ多いことですが一番大きいのは、新しい皇后様がお役目を果せなかった場合です。例えば、諸外国などから重要なお客様がお越しになっても、皇后様が公式な歓迎行事に不在となった場合には、「お役目を果たしていないじゃないか。機能していない。」となって騒ぎ立てられます。誰がそれをやるのか。週刊誌がやるのです。週刊文春と週刊新潮の争いです。火種になる材料はいくらでもあります。それぞれの陣営が内部告発として、情報を漏らせばいいのです。そうやって皇室が週刊誌の餌食になります。私はそれを恐れます。天皇制は世界に誇れるものです。ずっと続いていって欲しいと願っているので、一番心配しています。

そしてご退位についても、「退位したい」とおっしゃったときに、退位を認

める基準はどう考えるか。“80歳になったら”などの年齢でしょうか。エリザベス女王は90歳です。50歳でも80歳のような人もいます。年齢で決めることができるのでしょうか。天皇に“定年制”を施くことになります。それはありえません。ご病気ですか。陛下は２回手術を受けられていますが、“１回の手術では認めません。２回なら認めます”とするのでしょうか。それを判断するのは、医師ですか。天皇陛下に診断書を持ってこいと言うんですか。それはできません。そうなるとどうなるかというと、条件は唯一つ“天皇陛下ご自身の意思”です。「自分は辞めたい」という、はっきりした意思です。実際、民進党の“ご退位を認める３つの条件”にそれが入っています。それは「次に天皇になる人が成人に達している」、「陛下のご意思」、「皇室会議の決定」です。だけど事実上これは「天皇陛下のご意思」になると思います。宮中行司や神事は深夜に行われます。日本全国へのお出ましや、海外へのご訪問もしなければなりません。「疲れた、もう辞めたい。」と思われるのも無理はないと思います。世論調査によると国民の93％が天皇陛下のお言葉を支持しています。私達はそのことよりも、先のことを考えなければなりません。このままだと天皇制の維持が難しくなることを、意識しなければなりません。このことに最も反対すべきは、これまで天皇制に否定的な人たちです。共産党や朝日新聞が、「こんなことは、おかしい。天皇の意思で決まるのはおかしい。こんなことをしたら民主主義でなくなる。」と厳しく反対しなければいけません。うがったものの見方をする人は、この件に何も言わないのは、その方が早く天皇制がなくなると思っているからだと言っている人もいます。私は本当に恐れています。

例えは悪いかもしれませんが、田舎のおばあさんは死ぬまで農作業で働いているんです。今の世の中は、「一億総活躍社会」と言っているじゃないですか。それなのに有識者会議でなぜ農家のおばあさんの話を聞かないのですか。田舎はみんな働いています。私は非常に不満に思っていて、２回にわたって新聞に書きました。私はネットは見ないので分かりませんが、周りから、「轟々たる批判があった。」とは聞きませんでした。

ネットで２回話題になったことがあります。１回はSMAPについてのコメントをしたときです。「ミヤネ屋」という番組で、特別な深いことを思って言った訳ではなかったのですが、「おかしい。事務所の都合で国民的アイドルを解散させるのはよくない。」と答えました。そして「“忠ならんと欲すれば孝ならず、孝ならんと欲すれば忠ならず”という難しさがありますね。」と言ったのですが、ファンの方達から、「五郎さんの言葉に泣いた」、「良く言ってくれた」、「事務所を批判してくれた」と反応がありました。私は、「どっちもどっちだ」

と言っただけで、一方の事務所だけを批判したつもりはなかったのです。SMAP のことも良く知らないですから。こういうのを、「爆発」と言うそうですね。

もう１回は籠池のことです。籠池が日本外国特派員協会での記者会見をすっぽかして、菅野完という人の事務所に行ったときのことです。その後に菅野が、「悪い奴は２人いる」と、松井大阪府知事と理財局長の迫田英典について記者会見をしたのです。それをミヤネ屋だけが生中継をしたのです。私は、「こんなことを垂れ流していいのか。本当のことなのか。正しいことかどうかわからないから、早く事実確認をした方がいい。」と言って、菅野が言っていることを確認させました。その時私は、「新聞は事実確認をして記事にします。でもテレビの生中継はそのまま垂れ流しになってしまいますね。」と言ったことに対して、「読売新聞だって、安倍晋三の言っていることを垂れ流しにしているじゃないか。」と、これは「炎上」してしまいました。こういうときは黙っているのがいいのです。そうしているうちに、「いやいや、その意見は最もだ」という人も出てきたりしました。非常に微妙な問題のことについては、言い方や言葉の使い方を間違うと、大変なことになります。私はまず家族に、「お父さんはこう思っている。」と話すことにしています。「全て天皇のご意思で決まっていいのか。天皇制はそれでいいのか。政治そのものになってしまうよ。」と言ってみて、娘たちの反応がどうなるかを見ます。「お父さん、その通りだ。」と、私よりも、結構きついことを言うのです。それで私は自信を持って、テレビでも言っています。

ヨネスケさんという晩ごはんの番組の方がいますねよ。彼に同じ話をしたら、「目から鱗です。私は、ただかわいそうだと思っていましたが、そういうことも考えなければならないのですね。」と言っていました。しかし同意してくれる人も、外ではまず言いません。言えない雰囲気があるのです。だから、言葉遣いには気をつけなければならないと思っていますが、この問題は非常に大きな禍訓を残すと思っています。これは目に見えるようです。

福沢諭吉は、「帝室は政治社外のものなり」と言っています。帝室とは皇室のことです。最近亡くなりましたが、タイの国王は絶対的な力を持っています。だから、赤と黄色のシャツの党が激しく対立しても、王様に会いに行ってひれ伏して和解します。「それが民主主義社会か」と言う人がいるかもしれませんが、タイの国ではそうです。タイほどではありませんが、日本の皇室にも多分にそういうところがあって、ある種の全体を統合するための、非常に大切な役割を担っていると思います。それは議会制民主主義と対立する問題では無いと思っ

ています。政治の外にあったから、成り立って来たのだと思っています。これはいくら強調しても足りないと感じています。

仏教の、「一木一草悉皆成仏（いちもくいっそうしっかいじょうぶつ）」は“いろいろなものに神が宿っているから、大切にしなければならない”ということです。非常に尊い思想だと思っています。“一神教”の世界ではイスラム教はイスラムの神しか認めません。キリスト教もそうです。相手を認めませんから戦うしかなくなります。宗教戦争というものがありました。1618年から1648年までの間、30年戦争というものがあったのです。ヨーロッパは焦土と化しました。宗教の違いほど戦争が激しいものになります。「もう、こういうことはやめよう。みんな滅びてしまう。」と“ウエストファリア条約”が締結されました。これが今までずーっと建前として残って、世界の原則になりました。それはどういう大原則かと言うと二つあって、一つは「侵略戦争はやめましょう。」ということです。もう一つは「その国の政治は、その国の国民が決めましょう。他国が、とやかくやることではありません。」ということです。でも、そう言いながら植民地を作ったりしたのですから、一応の建前ということですが、そんな建前でも重要な意味があります。何もなければ、弱肉強食の世界になってしまいます。宗教にしろ国にしろ、「自分のもの以外は認めない。」となれば殺し合うしかなくなります。そういう精神が世界では続いてきました。そんな世界の中にあって、非常に大切な“一木一草悉皆成仏”という日本の精神を最も体現しているのが、天皇制だと思っています。孝明天皇という明治天皇の１つ前の天皇は毒殺されたという噂があります。でもそれは噂にすぎません。ありえない話なのです。それから皇系が南朝と北朝とに57年間にわたって分裂した、南北朝時代ということもありました。

伊藤博文は途中の退位を絶対に認めませんでした。最初の『皇室典範』を作る時に、井上毅という人が、「ヨーロッパでは途中退位を認めているのだから、日本も認めてはどうか。」と言いました。この人は教育勅語を作った人です。でも伊藤博文が絶対に認めませんでした。このことについては、『皇室典範義解』という皇室典範の解説書に伊藤博文が書いています。「再び南北朝が起きて、政治の争いになってしまう。断固としてやってはいけない。」と書いてあります。私は伊藤博文の判断は間違っていなかったと思っています。「世界のいろいろな違う考え方がある中で、お互いを尊重して行かなければいけない。」ということを考えた時にも、この精神は非常に大切だと思っています。日本は世界の中で、トランプにも中国にも、物を言わなければならないと思います。これから日本をどうしたらいいのか、ということを考えなければなりません。

さて、全然話は変わりますが、“ふるさと納税”というのがあります。秋田はどうかわかりませんが、今、１位は宮崎県の都城市だそうです。返礼品に宮崎牛があるそうです。２位は長野県の伊那市で、３位は静岡県焼津市でマグロだそうです。都城市はずっと１位を保っています。宮崎牛はとても人気があって、78億円というすさまじい金額が、納税という形で宮崎県に寄付されています。返礼品は豪華化していて、２位の伊那市は４Ｋテレビだそうです。納税額の７割～８割を返礼品にかけたって、それでもすごい金額の寄付が来るのだからやるのです。しかもこれには大義名分があって、「地元の産物や品物の宣伝できるのだから、いいじゃないか。」となっています。「高価なものに人気が集まってばかりいる」と総務省が“火消し”にあたっていますが、自治体は従っていません。ふるさと納税でマイナスの影響を受けるのは東京なんです。税金控除などの優遇措置もつけていて、“ふるさと”とは称していますが、全国のどこでもいいんです。そうすると、東京都に住んでいる人は控除されるので、区や市の税収が減ってしまいます。私が恐れるのは、高価な返礼品を用意すると、納税額が伸びていって、事務的な手間も増えていきますよね。そうすると“ふるさと納税”集めに、職員が奔走し出すと思います。その方が楽なんですから。今は、儲けている会社はないので企業からの税収は大きくありません。人口も減っていくので、黙っていると税収は下がっていくばかりです。そんな時に“ふるさと納税”は返礼品が良ければ、その町の予算を超えるようなお金がすんなり入ってくるのです。左うちわで楽になります。でも、「そんなことをしていていいのか。」と思うのです。私はかねがね、「自治体職員として本当にやるべきことは何なのか。」ということ言ってきています。大雨が降ったら、「一人暮らしのお年寄はどうしているんだろう。心細くなっていないだろか。連絡してみよう。すぐに行ってみよう。」という気持ちで、行政はやってもらわないと困るのです。それなのに、一生懸命にお金集めにばかりに頭がいっていたら、どうなるのかと心配です。非常にそれを恐れます。ここを履き違えているように思えるのです。住民が、「若い人が少なくなってきているから、サービスが悪くなったり税金が高くなったりするけど、我慢しよう。」という気持ちになっていくことも大切だと思います。

小池さんの話のところで、話し忘れたことがありました。それは、東京都議会が議員報酬をカットしたことについてです。これは小池知事が自分の報酬を半額減にしたので、都議の方が高い報酬になってしまったためにカットしているのです。共産党は３割減で自民党は１割減、公明党は間を取って２割減にしています。都議選の公約にも「自分達も身を切る覚悟」と載せていました。そ

れで、公明新聞からインタビューの申込みがあったときに、「私は報酬カットに反対だ。みんなで給料を減らす競争をしていることは変だ。私だったら、給料はちゃんと全額をもらって、倍の仕事を頑張る。」といって断りました。相手も、「そう言えばそうですね。」と言っていました。

舛添知事の何が悪かったかと言えば、回転寿司を税金で食べたからです。これくらいは自分のお金で払って喰えというものです。ホテル三日月の26万円だかのお金も税金から出させたんですよ。こういうのが“おかしい”のです。私は舛添について１点だけは擁護しました。それは公用車の使用についてです。「美術館や湯河原に行くのに公用車を使ったのは、公私混同だ。」と随分叩かれました。それから飛行機のファーストクラスとホテルのスィートルームも、散々批判されました。私は断固として、「何が悪い。都知事であるかぎり、17時過ぎに都庁を出ても都知事である。一刻の安息も許されない。確かに湯河原には行き過ぎだったが、温泉に入っていても都知事であることには変わりない。総理大臣だって同じだ。知事にエコノミーで行けというのか。ニューヨークのホテルに来訪者があるかもしれないのに、普通の部屋に泊まれと言うのか。みんなと同じレベルに考えるはおかしい。」と言いました。秋田の知事はそうじゃないかもしれないけど、東京都知事は違うのです。あの時、舛添は言い方も悪かったのです。謙虚に「東京都というイメージを背負っていますし、それ以上に車中でも仕事をしたいと思っている。」とうまく話せば良かったのに、「何が悪い。別に良いでしょ。」みたいに言ってしまったので反感を買いました。

加計の問題も同じことが言えます。始めにお話しましたが、“特区”という今まで無かったことをするのです。いろいろな、雁字搦めなことに風穴をあけていくのですから、「私はやります。」と堂々と言えば良かったのですが、「何か言われるかもしれない。」と批判を恐れて言いませんでした。こういう具合を見ていると、「本当に政治の在り方として、確信を持ってやっているのだろうか。」と情けなくなります。トランプのようにやり過ぎるのも困ります。今、世界中が保護主義です。ポピュリズムと言われるものについて考える時に、みんなパフォーマンスをしています。越後屋政治とお話した小池政治も、支持される理由があります。そこをよく考えなければなりませんが、今は何でもかんでも一括りにしてやられますから、“都民ファースト”も今は良くても非情なもので、手のひら返される時が来るように思います。だから、驕ってはいけないし、良いことはいつまでも続くとは思いません。政治というものは辛い決断をしなければいけない時があります。嫌なことから逃げずに、思い切ってやらなければなりません。賠償金はどんどん増えて行きます。何よりも関係者の心

労や精神的な苦痛がすごくあると思います。私達は外野から言っているだけですが、当事者は大変だと思います。小池さんはIOCに、「予算をこれだけ減らした。」と報告したようですが、それは前から減らすと言っていたことですし、みんなそれにかかりきりになって時間がかかった分、付随する費用がかかって損失になったはずです。政治の決断は早くなければなりませんし、大変な危険がありますが、それを背負う勇気が必要です。ただただ、先延ばしにされるだけでは非常に良くないと思います。

もう一つ、去年と変わったことについてです。私には夢がいくつかあって、前に“橋本五郎文庫”という図書館のお話をしたことがあったと思います。その次の夢は、その図書館の隣に家を建てたいと思っていました。もちろん実家や公民館、集会所があるのですが、お年寄りが集まれる場所があればいいなと思っていました。その家に近所のお年寄りがガッコ(漬物)を持ち寄ってお茶っこ飲んで、嫁の悪口などを言って、気持ちを晴らして帰ってもらえたらいいなあ、と思っているのです。それには茅葺屋根の民家を移築して、囲炉裏も欲しいと思っていました。離れているので望郷の気持ちもあるのです。それを新聞に書いたら、茅葺屋根の家について、「ここにある」、「あそこにある」と沢山の反応がありました。それで、行って見たのですが使い物にならないのです。人が住まなくなってから、しばらくたっているので使えないのです。屋根にペンペン草が生えているのもありました。「あれを解体して移築して、屋根を葺き替えるには莫大なお金がかかる。新築するくらいかかるようだ。」と言われて、移築は諦めました。そのかわりに古民家の材料を使うことと、柿の木を植えることを条件にしました。私は柿が大好きなのです。そうしたら、私の気持ちを良く分かっている中田建設の見上社長が、具体的に話を進めてくれました。9月くらいから本格的に動き出したのですが、美郷町にある佐藤工務店の佐藤大助さんが100年前の古民家の材料を持っているということが分かって、それをふんだんに使えることになりました。

次は場所です。希望としては、図書館の横に作りたかったのですが小学校の脇なので町有地です。個人に町の土地を貸してもらう訳にもいかないので、土地を探すことになりました。「どこかにいい所がないかな。」と思って、近くを歩いてみました。そうしたら、ちょうどいい場所に110坪と広さも理想的なところがありました。ですが、野菜を育てている畑です。「ここだといいなぁ。」と言ったら、自治会長がすぐに交渉に行ってくれました。持ち主は隣り町に嫁に行った人でした。「そこに土地を持っていても何の役にもたたない。」とすぐに譲ってくれました。そして11月に起工式をして4月に竣工しました。

その家に見上社長が“五郎のえ”と名前をつけてくれたのですが“え”は秋田県の人には“家”だとすぐにわかりますが、よその県の人は分からないかもしれないと、“五郎のえ（家)”と括弧付けをすることにしました。それを看板にするとき、誰に書いてもらおうかと考えました。櫻井よしこさんが来てくれることになっていたので、お願いしようかなと思いました。橋本五郎文庫の看板は中曽根康弘さんに書いてもらっています。先日99歳になられました。だったら、今度は有望な若手に書いてもらおうと思って、小泉進次郎に頼みました。一生懸命に書いてくれました。“みんなが、まあるく、仲良くなるように”と思って書いたと言っていました。

４月27日に橋本五郎文庫の６周年の記念行事をしたときに、“五郎のえ（家)”のお披露目をしました。記念講演のために来てくれていた、櫻井よしこさんも“え”に来てくれました。沢山の人に使ってもらいたいと思っています。今日、この講演が終わってから“え”に行くのですが、私もそんなに頻繁には来られません。２ヶ月に一度くらいでしょうか。だから、小学校時代の同級生に鍵を預けて管理してもらっています。利用の申し込みを受け付けてくれたり、家の中に風を入れたりしてくれています。

本当に立派な家が出来ましたので、ぜひ見に来てください。障子戸は杉の一枚板を使ったデザインになっています。それに隣の家には竹林があって、それがとても素敵なんです。うちの方に芽が伸びてきたら、切らないでおいて欲しいと言っています。その竹林が見えるようにした素敵な窓を、工務店の社長さんが付けてくれました。なかなかいいのです。みんな一生懸命作ってくれたので、出来たときは本当に嬉しかったです。大工さんたちも、“今まで自分達が造れなかったものを作ろう”、という気概で造ってくれたので、私が思っていたより200％の仕上がりになりました。大満足の家なので、ぜひ沢山の方に使ってもらいたいと思う反面、あまりにも良く出来たので、困ったことに、いだましぐ（勿体無く）なってきたのです。いだましぐなって、人さ貸してぐねぐ（他の人に貸したくなく）なってきたのです。何のために造ったのかを忘れたわけじゃないんだけど、“いだましい気持ち（勿体ない気持ち)”が出てきてしまって、困ってしまいました。文庫に来てくれた人が、ちょっと寄ってくれて、大事に使ってくれればいいなぁと、本当に思っているんです。

ところが、反対もいろいろあるんです。今は人の善意でやってもらっていますが、この先も同じことが続けられるように、大丈夫にしておかないといけません。軽く考えていたところもあったのですが、水道や電気などの光熱費も結構かかるものです。

それから、離れているから思うのかもしれませんが、初めてこの家に泊まったとき、友達が夜遅くまで飲んで帰って行ったのですが、友達が玄関を開けたときに、びっくりしました。蛙の大合唱です。すさまじいです。騒音の何百デシベルとかいう問題でないくらいの大合唱です。“え”の前はずっと田んぼで特に田植え前という季節だったこともあるのですが、18歳までいて聞いていたはずの蛙なのにこの大合唱は新鮮に感じました。18歳までは、毎日のことで気にならなかったのかもしれません。すっかり忘れてしまっていました。ものすごく新鮮で、「あぁ、いいなぁ。」と思いました。その夜は、採れたての山菜で地元のお酒を飲みましたから、田舎はとても豊かだなぁ、と思いました。田舎は雇用の面では大変なんですが、見る角度を変えると非常にいい所です。秋田は学力も高いです。東大法学部を出てハーバード大学に行っても、あんな人もいます。秋田は悪いことだけを考えない方が良いと思います。

実は明日、飯田川の小玉醸造で講演をすることになっています。読売旅行が東京の人たちを募集して、秋田をぐるっと巡るツアーをしているんですね。今日は角館に行って男鹿に泊まります。そのツアーの参加者たちが明日のお昼に小玉醸造さんで、私の講演を聴いてくれるのです。秋田がいかに良いところかをお話するのです。その予行練習をするつもりで、２～３分お話したいと思います。

私が癌になったのは17年前のことです。2月７日に退院して、６月頃に「秋田の酒を楽しむ会」から講演を頼まれました。これは、秋田の酒造組合の方達が主催しているものです。年に２回開催していますが大人気で、チケットはあっという間に売切れてしまいます。今は800人くらいの会で、若い女性が非常に多いです。退院して間もなくだったので、こんな話をしました。

私が癌になって手術をして、生きるか死ぬかの時に、見舞いにきた男が備前焼のお猪口を持ってきた。人間国宝が作ったお猪口だそうです。家内は「今、生きるか死ぬかとなってる人間になんだ。何事だ。」とカンカンでした。私は、「それは激励のお猪口だ。元気になったら、また飲みましょう、と激励してくれているのだ。」と言いました。そう言ってみて、私は気持ちが変わりました。“この後、初めて飲むお酒はこのお猪口で飲もう。”と決めました。そして、６月１日にこのお猪口で飲んでみました。ところが、抗癌剤の服用や点滴しているせいか、お酒がまずくて飲めませんでした。そんな時に、当時の秋田放送社長の黒丸幹夫さんから電話がかかってきました。「五郎ちゃん、そういうときは氷っこ１つ入れて飲めばいいもんだ（そういうときは、氷を１個入れて飲むといいんだよ）」と教えてくれました。確かにお酒が薄くなって、飲みやすく

なりました。そうやって少しずつ慣らしていって、徐々においしく飲めるようになりました。秋田のお酒はコクがあります。「私にとっては秋田のお酒は生きる希望なんです。」と、その講演で話しました。そこでやめておけばよかったのですが、そのあとに、「最近の新潟の酒は、なんだか水みたいだ。」と余計なことを言ってしまったのです。そうしたら、講演が終わった後に、新潟出身の人に取り囲まれて怒られました。だから次の年の同じ会の挨拶で、「去年、新潟のお酒の話をしましたが、飲んでみたら新潟のお酒もおいしかった。」という話をしました。これは失敗談なのですが、秋田のお酒には、本当にコクがあります。新潟のお酒はフルーティで、みんなが親しみやすいように、飲みやすい工夫をしているのだと思います。

佐々木喜久治知事もお酒が好きな方だったそうです。出張で東京に来ると、一升瓶を紐で結んで、右に２本、左に２本と秘書に持たせて飲みに行く方だったそうです。行ったお店にもお酒は置いてあったと思うのですが、秋田のお酒を持って行ったらしいです。本当に、結構なコクがあって良いのですが、それをどうやって他の地域の人たちに知ってもらって、認めてもらうかを工夫しなくてはなりません。

悪いことばかりを考えてもだめです。人口減少率が47都道府県の１位です。しかし、悪いと言われていることでも逆転の発想で、「お年寄ばかりだ」と言っても、それは年寄りが一生懸命頑張って長生きしていることでもあるんです。それを見せつけよう、でもいいじゃないですか。土地はたくさんあるのだから、「お墓をタダであげる」、「墓石の補助をします」と言ったら、秋田に終の棲家を求める移住者が出てくるかもしれません。新幹線もあまり近いと、しょっちゅう帰ってこなければいけなくなるので、都会で暮らす子供達も大変です。東京から秋田まで４時間くらいは微妙なところですが、ちょうど良い距離だと思います。２時間くらいだったら、子供達やお嫁さんが頻繁に帰って来なければならなくなって、逆に大変だと思います。聞いたところによると、「秋田は日本全国で一度も行ったことのない県」という人が多いらしいです。同じように、島根県と鳥取県も、「一度も行ったことのない県」だそうですが、新幹線のない県ですから、分からないでもないです。でも秋田県には新幹線があるのに、“一度も行ったことがない”というのは、中途半端な位置にあるんだろうな、と思います。でも来てみると、全然印象がちがうでしょう、ということを多くの方にまず来てもらって理解してもらいたいなぁと思います。

さて、今日は何の話だったのでしょうか。あっちに飛んだり、こっちに来たりしましたが、これで終わります。今日はありがとうございました。

海老川　橋本先生、メリハリのある良いお話しをたくさんお聞かせいただき、ありがとうございました。何か先生にお聞きしたいことがある方は、おられませんか。お手を上げてお願いします。

質問者　先生、今日はお話ありがとうございました。由利本荘市の田口と申します。私はいつもミヤネ屋を見ているのですが、先生が大きなバッチを付けていることがあるのですが、あれは象に見えます。あのバッチには意味があるのしょうか。

橋　本　あれは、おっしゃる通り、象です。みんな、私の話しを聞かないでこれを見ているんですよね。実は家内のブローチなんです。全然知らなかったのですが、私に言わないで作ったブローチが沢山あるんですよ。それを出してきて、付けているんです。赤珊瑚とダイヤで出来ていて、デザインはデパートに作ってもらったものです。赤珊瑚は少し前に中国が採りに来て問題になりましたよね。この赤の色は、なかなかないそうです。象はアメリカの共和党のマークなので、良く聞かれるのですが、それとは全然違います。

あるとき、高知の珊瑚業者の田辺さんという方から「その珊瑚は私が卸したものではないでしょうか。」と手紙がきました。「この大きさで分かるものかな。」と思って、家内にどこで作ってもらったのか聞きました。そうしたら“横浜そごう”だというので、そごうに確認しました。すると、「確かにそうです」とのことでした。自分で卸したものは、どんな大きさでも分かるものなんだな、と感心しました。安藤和津さんからも、「五郎さん、その珊瑚どこから手に入れたの？ 今は珊瑚ってなかなか無いのよね。」といわれて、田辺さんを紹介しました。見る人が見ると、分かる人には分かるようです。私の話よりも、ブローチに注目して欲しいと、実は思っています。

最近はテレビの性能が良くなったので、いろんなものがはっきり映ります。怖い世の中です。洋服もネクタイも質の良い物かどうかはっきりわかります。テレビの画面の目が昔は粗かったのですが、今は色もはっきりします。顔の皺も隠せません。下手に隠すよりは、前のアメリカ大使のキャロライン・ケネディのように堂々と出すのも、いいかもしれません。そうすると、周りも慣れていきますからね。ブローチの話から逸れましたが、見ていただいてありがとうございます。

今日は私の高校の恩師もいらして下さっていました。ありがとうございます。

みなさんも、ありがとうございました。

海老川　　今日はこれで橋本先生のご講演会「どうなる内外の政治―日本はいかにすべきか」を終わりたいと思います。先生には来年もお元気で、この場にいらしていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

ご来場の皆様、本日はありがとうございました。

〔講　演〕

ノースアジア大学　総合研究センター主催　講演会

「人にとって故郷とは
―小説『終わった人』から」

講　師　脚本家
　　ノースアジア大学教育諮問会議委員
　　ノースアジア大学総合研究センター客員教授　　内　館　牧　子

司　会　ノースアジア大学総合研究センター長
　　本学経済学部教授　　海老川　寿美夫

日　時　平成29年３月26日　午後１時～２時30分

会　場　ノースアジア大学　40周年記念館271教場

海老川　皆様こんにちは。少しずつ春らしくなって来ました。これから秋田も春本番で良い季節となってきます。今日は内館牧子先生の講演会にたくさんの方にお迎えすることができました。誠にありがとうございます。先生も昨日お元気に、お母様、叔母様と一緒に秋田に入られました。本日の講演会は皆様が待ちに待った講演会、「人にとって故郷とは－小説『終わった人』から」の part Ⅱ です。それでは先生、どうぞよろしくお願いします。

内　館　皆様こんにちは、内館牧子でございます。たくさんお集まりいただいて、ありがとうございます。実は私、仕事中にちょっとした弾みで、自分の仕事部屋の床に尻もちをつきまして、左の足を痛めてしまいました。歩けるのですが、元気な時と比べると若干違うのですが、喋る分には問題がありません。

今、“元気そう”とご紹介がありましたが、実は全然元気じゃないのです。稀勢の里のことが、本当にショックです。照ノ富士が相手ではしょうがないので、12勝３敗になるかと思います。成績としては大丈夫なのですが、だけど、昨日の照ノ富士の相撲を見ましたか。琴奨菊相手にあんな相撲をして、私は東北大学相撲部の監督をしていますが、あんな取り組みは許しませんよ。本当に。

ところで、“人にとって故郷とは”ということなのですが、前回も少しお話しましたけれども『終わった人』という小説の主人公が、岩手の盛岡出身で、東京の一流メガバングに勤めていて、出世街道まっしぐらなんですね。でも、その人が定年後にコケる訳なんです。それで、いろいろなことが起きて、回らなくなって結果的に借金をするのです。彼は定年後、ヒマになってしまい、「俺はもっと社会の中で仕事が出来る。」とずっと言って悶々と悩んでいるのです。実際に、私もハローワークに行ってみましたが、65歳を過ぎるとなかなか仕事がありません。主人公もハローワークに行って頑張るのですが、彼は盛岡の一流高校から東京大学法学部に現役で入った成績優秀なエリートです。でも、定年後は仕事がしたいのになくて、悶々としています。そうしたときに、「ちょっと手伝ってもらえないだろうか」という話が来るのです。決していかがわしい話ではなくて、元銀行マンなので帳簿も全部チェックして、「小さい会社だけれどしっかりしている。優良な会社だから、僕はここでもう一度やり直そう」と思うのです。ものすごく生き生きとそこで働き始めるのですが、なかなかうまくいかないことが続いていって、大きな借金を背負ってしまうのです。彼は小説のラスト近くで、故郷への思いが段々強くなっていくのです。盛岡への思いが強くなっていく。人生が上手くいっているときや、若かったときには故郷なんて思い出しもしなかったのに、上手くいかなくなったら急に故郷を思い出

してきたのです。岩手山を思い出し、北上川を思い出し、という風になって来るわけです。おそらく秋田の人が、鳥海山や雄物川といった所を秋田の良い所として思い出すのと同じです。

私は小説を書くとき、結末までを決めていないのです。登場人物がどういう人なのかをきちんと決めておけば、“勝手に動く”という言い方が適切かどうかわかりませんが、最後まで決めてここに着地させようと思っても、なかなかそういうふうにはいかないものです。登場人物の想い、つまり“故郷が懐かしくなって来た”とか“昔は何でもなかったのに、上手くいかなくなると懐かしくなるものなんだな”などをずっと積み重ねていくと、段々とその登場人物のが動き始める。彼は苦境の中で、「故郷に帰りたいな」と思う。「人にとって故郷とは何なんだろう」と思わざるを得なかったのです。これは私達が思っていることより、ずっと大きなことなのかもしれません。

この間お亡くなりになりましたけれども、亡くなられる少し前に船村徹さんの文化勲章授章のお祝いのパーティがありました。私もお祝いに出席したのですが、船村先生の一番最後の内弟子で秋田出身の村木弾さんが、車椅子の船村先生を守るようにぴったりと寄り添っていました。そのパーティは着席だったので、自分のテーブルの席に座っていましたら菅官房長官が歩いて見えられて、私の目の前に着席されました。そして私を見つけて、「あっ」という表情をされました。その時、一番最初に何とおっしゃったと思いますか。「やぁ、秋田の内館さん。」でした。これは心の中に“秋田”がなかったら、なかなか言えることではありません。とてもびっくりしましたが私も、「まあ、秋田の菅さん。」とお答えしました。今や菅官房長官は、泣く子も黙るような凄い政治家です。インタビューなどを見ていても話し方がとても上手で、本当に凄い中央の政治家なのですが、やはり心の中には故郷があるものなんだなと思いました。普段は気が付かないくらい眠っていても、やっぱりあるものなんです。秋田の菅さんと、秋田の内館さんが向かい合って船村先生のパーティにいた訳ですが、あの時の菅さんは本当に嬉しそうな良い笑顔をしておられました。今、森友学園の問題でインタビューを受けている時とは全然違います。

私は秋田に３歳までしかいなかったのです。父の仕事の関係で、その後少し新潟にいて、それから後はずっと東京なんです。盛岡の北上川や秋田の雄物川、太平山、鳥海山というよりは、やっぱり多摩川なんですね。小中高とずっと東京で、大学はいろいろな各地から人が集まります。ある時、「内館さんは小中高が東京で秋田は生まれただけだから、東京都出身の方がいいので、そう書いておいてください。」と言われて、私も「そういうものなんだろうな」と思っ

て“東京都出身”と書類に書いたことがあります。ところがどうも落ち着かないのです。多摩川は懐かしいけれど、東京都出身という意識にはなれないのです。ずっと東京なんだけれども、東京都出身というには非常に抵抗があったりするのです。生まれただけだけど、生まれ故郷と言いますし、橋本五郎さんに言わせれば、「三つ子の魂百まで」だそうですから、３歳まででしたが“秋田市出身”と書くようにしました。そうしましたら、これもまた困ったことに、秋田出身と書いたものを見た人の中には、「あんだ、きたこだが？おらの娘ど同い年くれでねが？娘どご、おべでるが？“あげまき”だべ。（あなたは秋田北高校の出身ですか？私の娘と同じくらいの年頃ではありませんか？私の娘を知っていますか？校友会の“あげまき”に入っているでしょう。）」と秋田弁で言ってくる人がいたりします。「すみません。私は生まれが秋田で、高校は都立田園調布というところなんです。」と言うと詐欺にでもあったような顔をされるのです。これはやはり秋田出身というのも良くないなぁ、と思って今は“秋田市生まれ、東京育ち”と書いています。

父は岩手県の盛岡出身です。ここは非常に故郷意識の高いところです。そして文士劇が今も伝わるところです。文士、いわゆる小説などを書くことを仕事にしている人たちが鬘を被って十二単を着たりして劇をします。今までに作家の林真理子さんや北方謙三さん、浅田次郎さんなど有名作家がたくさん出ています。これは今や、盛岡の年末の風物詩となっています。２時間ですね。誰も信じませんが毎年チケットは完売です。皆怖いもの見たさなのかもしれません。台詞を忘れて立ち往生するし、いつもは偉そうに書いている作家が舞台に立つと全然ダメなんです。それを見たいのか、あっという間にチケットが売れてしまいます。その時に出る作家には枠があります。市から補助が出ていますので、ちゃんとやらなくてはいけません。ゲスト枠は作家であれば全国のどこに住んでいても出ることができますが、地元枠は岩手の出身か岩手に住んでいる作家のものです。直木賞作家の高橋克彦さんとか日本推理作家協会賞作家の斎藤純さん、大藪春彦賞の柚月裕子さんなど大勢います。私は自称看板女優です。あるとき見たら私が地元枠になっていました。秋田は生まれて三年住んでいますが、岩手は全然住んだこともありません。夏休みなどに父の実家に遊びに行っていたので、まんざら知らない土地ではありませんが、いかがなものかと思って、「私が地元枠ではまずいのではないでしょうか。ゲスト枠にしてください。」とスタッフに言いました。そうしたら次から書き方が変わって「岩手ゆかりの作家枠」となっていました。確かに岩手にゆかりがありますので、それで大丈夫になったのですが、いろいろと故郷を考えることが多くなりました。

小説『終わった人』の中には、今までも紹介しましたが、たくさんの歌が出てきます。多くは石川啄木の歌です。石川啄木は明治39年に岩手県盛岡の渋民で生まれて、旧制盛岡中学を出て渋民で代用教員をしていました。その後、渋民を追い出されて東京に来て、函館に行ったり釧路に行ったり、転々として亡くなっています。啄木の歌で故郷を詠んだものを調べますと、ものすごくたくさんあるんですね。研究家がおっしゃるには、「石川啄木はどんな地方にいてもどんな状況にあっても、常に心の磁石は岩手を見ていた。盛岡であり渋民を見ていたのです。」これは誰でも同じかもしれないなと思いました。

お配りしたレジュメを見てください。（注・最終ページに添付）故郷を詠んだ歌の中から７つ出してみました。一つ目は「石をもて追わるるごとく ふるさとを出しかなしみ 消ゆる時なし」という歌で『スバル』の明治43年１月号に掲載されました。夜逃げ同然です。啄木の家はお寺でした。そこの住職だった啄木の父親に不祥事があったことと、啄木の思想が左寄りであったことから代用教員としてふさわしくない、と追われたのです。それが“石をもて追わるるごとく”ですから、実際に石を投げつけられた訳ではないと思いますが、それに近い状態だったということでしょう。そうやって故郷を離れた悲しみは決して消えることはない、ということです。明治43年ということは、岩手を離れて４年経ってからの歌です。

それから２つ目は、「汽車の窓 はるかに北にふるさとの山見えくれば 襟を正すも」です。これは誰もが、岩手に帰る時の歌だと思うはずです。汽車の三等車か何かに乗って故郷に向かっている時、岩手山が見えた。思わず、襟を正したという歌だと普通は思いますよね。ところが、実は啄木は“石をもて追われた”後、ただの一度も岩手に帰ることはありませんでした。心の磁石は盛岡を向いていたのに、まったく帰っていません。ですから研究者によると、“もし汽車に乗って盛岡に帰ったら”という歌だという。車窓から岩手山が見えてきた。あまりにもその姿がすばらしいので襟を正した、ということを想像して書いたのです。そこまで故郷のことを想っていたのでしょうね。

３番目は、「やまひある獣のごとき わがこころ ふるさとのことを聞けばおとなし」です。私はこの歌が、もの凄く好きなんです。“やまひある獣のごとき”は、この頃の啄木は気持ちがやさぐれている上に、お金もないのでという時期で、本当に心も体も非常に病んでいて尖がっていた。誰かに何か言われると100倍返しみたいなところもあった。そういう病がある獣のような誰も扱えないような人間でも、故郷のことを聞くと、ふっと大人しくなってしまう。これもおそらく多くの方に理解してもらえる歌じゃないかと思います。もちろん、

これも実際故郷に帰ってはいません。

４番目は、「吸ふごとに 鼻がぴたりと凍りつく 寒き空気を吸いたくなりぬ」です。これは東京で冬を過ごしているときに、呼吸をすると鼻がぴたっと凍り付いてしまうように寒い岩手の冬を思い出したのだと思います。これは北海道や東北でなければないでしょうね。東京の冬は寒いと言っても、こんな風になりません。渋民村の冬は空気を吸うたびに鼻が付いてしまうほど寒かった。あの空気が吸いたいなあ、と懐かしく思って詠んだ歌です。下の方に“ｃｆ．胡馬北風に依る”と括弧付きで書きましたが、これは啄木と全然関係なくて、中国の『文選』という漢詩から取ったのものです。「北国で生まれた馬は、北風が吹くたびに故郷を思い出す」という漢詩です。“胡”は北国のことです。

それから５番目。これもとてもしみる歌です。「馬鈴薯のうす紫の花に降る雨を思へり 都の雨に」です。これは東京に住んでいた時のものだと思っていましたが、出張で来た時に詠んだ歌ではないかと言われています。私は読むたびに、これは銀座通りを思い出すのです。もしかして、啄木は明治何年かの銀座通りの雨を見ていたのではないかな、と思います。実際にはわかりませんが、銀座はどんよりとした梅雨空で、雨は舗装した道に降っています。それを見ていた啄木が、故郷を思うのです。故郷の雨はじゃがいもの紫色の花に降っていた、ということを思うのでしょう。「都の雨に」の「に」がとても素晴らしい表現です。

啄木は、こういう故郷歌をたくさん詠んでいるのですが、レジュメの６つ目もそうです。「神無月 岩手の山の 初雪の眉にせまりし朝を思ひぬ」。神無月は11月ですから、窓を開けたら岩手山が見えて、初雪が降っていた朝を思い出したのでしょう。この歌は明治41年の歌なんですが、その頃の啄木は東京で木造３階建ての下宿にいて、部屋は３畳半の狭さだったそうです。この部屋から富士山が見えたそうです。ものすごく美しかったと思います。富士山は誰が見ても美しいですよね。ところが、啄木にとっては富士山自体はどうでもよくて、富士山を見ていながら、そこに岩手山が重なったのだと、私は思っています。秋田の人は鳥海山が重なったりするだろうと思います。啄木はもしかしたら、富士を見ながら、初雪の岩手山を思って見ていたのかもしれません。

ある時、盛岡で、焼肉を食べながら宮沢賢治派の人と石川啄木派の人が喧嘩をしているのを見たことがあります。あんな喧嘩は初めて見て、凄く驚きました。ほかにも盛岡の友達と「高松の池」というところでお花見をしましたときに、仲間達が賢治派と啄木派に分かれて、花を見るよりそのことでやり合っていました。岩手というのはすごいところだな、と思いました。賢治派の人は、「啄

木は、故郷がどうだこうだと、女々しいよな」と言うし、「女たらしで不道徳だ」などと言う。嘘か本当かわかりませんが、啄木派がいうのは、「賢治は女が好きじゃなかったんでしょ」です。「啄木は着物を着ていて田舎くさい」、「賢治は山高帽被って風変わりだ」などと、それぞれ勝手な言い分でやりあっていて、横で聞いていて面白かった。同県に巨匠が２人もいると大変だなと思いましたね。

私は2000年に、朝のテレビ小説『わたしの青空』の脚本を書きました。主役は田畑智子さん、父親役は伊東四郎さんでマグロ漁師の設定でした。お母さんは加賀まり子さんでした。これを書くためにプロデューサーと一緒に、頻繁に青森へ行きました。撮影が始まってから暫くたって撮影現場を訪ねたところ、今風に髪の毛を逆立てた若い男性が近寄って来ました。スタッフの一人でしたが、「青森に行ってきたんですか。」と聞かれたので、「そうよ。」と答えました。すると「お岩木見えた？」と聞くのです。ちょっと胸を打たれましたね。とうもろこしのような髪をした若者でさえ故郷の山、岩木山に“お”を付けるのです。「あ、見えた、見えた。」と答えると「どうも。」と言ってすぐにいなくなってしまいました。この子も心の中に、やっぱり故郷の岩木山が見えるんだな、という気がしました。

最後の７つ目です。これは皆が感じることでしょうね。「ふるさとに入りて先づ心傷むかな 道広くなり 橋もあたらし」です。これは私の小説の主人公にも思わせました。当然ながら昔の盛岡とは全然違います。秋田だって同じです。前にどこかへ行くとき、叔父に“タクシーに乗ったらこう言いなさい”と言われたのを紙書いておいて、その時のように、「鉄砲町の方から廻ってください。」とお願いしたら、タクシーの運転手に、「そんな町はもうない。」と言われました。全部が変わっていきます。変わってくるから、“今更故郷に帰ってもなぁ”となるのも事実だと思います。だけれど啄木の時代から、故郷の変わり様には心が痛んだのでしょう。現在の渋民はもっと凄いです。バイパスができたり、大きな橋が架かって、啄木が見たら目を丸くして、ガックリくるかもしれませんね。ただ、渋民の橋には全部、啄木の作品ゆかりの名前が付けられています。「ふるさと橋」、「ほたる橋」、「あこがれ橋」などです。盛岡や岩手県内には「あこがれ」と」いう喫茶店がいくつもあります。啄木の処女詩集の名ですね。いつの時代も故郷は変わってしまうからこそ、こういう名をとどめておきたいのかもしれません。

小説の主人公はまず“１日だけ故郷に帰ろう”と思うのです。その時は全面的に帰ろうとは思っていないのです。「橋や道だけでなく、人も変わっただろ

うから、帰ってきてもうまくやれることはないだろう。でも、ちょっと故郷に帰りたいな。」と思って１日だけ帰るのです。彼はエリート銀行マンだった時は、老いた親がいるのに帰ったことがありません。忙しくて、全部妹に任せっきりでした。

そして、定年後、用事を作って一日だけ盛岡に帰りました。その時に、88歳の母親と60歳の妹と一緒に「岩山」という小高い山に行くことになります。登山する山ではなくて、街が一望できるような丘です。お母さんは小さくて真ん中で、息子と娘に挟まれています。実際に夕刻の岩山を見てきましたが、目の前に岩手山があって、横を北上川が流れていて、その周りに家々が明かり灯している。その美しい風景を見ていたときにお母さんが突然、「けえってくれば、よがんす。（帰ってくればいい）」と言います。この時、お母さんは息子である主人公が借金を背負っていることは一切知りません。まだ銀行に勤めていると思っています。主人公はびっくりして、既に事情を知っている妹に、「お前言ったのか！」と目で訴えると妹は、「言ってない！言ってない！」と目で返してきました。そうすると、「何十年もほがさ住んでいだたって、クニつうものはちゃんと居場所をつぐってくれるもんでござすんだよ。（何十年も他の所に住んでいても、故郷というものはちゃんと居場所をつくってくれるものなんだよ）」と言うのです。

これを書いたら、新聞社の方に、「盛岡弁、上手ですね」といわれました。実は全然上手じゃなくて、私が標準語で書いた原稿を友達に送って、全部盛岡弁に直して返してくれたのを、丸写ししただけなんです。「帰ってくればいいのよ」といわれると、味がありません。「けえってくれば よがんす」と言われれば、これはいいです。同じことでも標準語で表現するより、方言を使うと突然シーンの価値が上がるんですよね。

主人公はこのとき、社会的にはすでに終わった人ですから、「ここに帰ろうかな。」と思うのです。退職金で借金を全部返してしまえばスッカラカンです。それよりだったら盛岡には友達もいるし、と帰ることを決心するのです。そのとき、どうしかたかというと、先ず初めに奥さんに言いました。「職業はあるかないか分からないけど、友達のひとりが手伝ってくれと言っていることもある。」と言うと、「私は帰らないわよ。」と奥さんにガツンと言われました。これは当然です。奥さんは東京の九段の生まれです。九段は東京のど真ん中です。奥さんにとっては、そこが故郷なのです。千鳥ヶ淵のお花見が故郷であって、岩手には自分にとって何の意味もありません。奥さんは東京で美容院を経営しているので、仕事には困りません。夫に借金があることが分かってから、夫婦

仲はうまくありません。彼も一緒に来てもらおうとは思っていません。「お前はお前でここで伸び伸びとやれ。俺は俺で新天地を求めて故郷に帰るから。古い家だけどお袋と一緒に暮らして、それなりにやって行くから。」と言うわけです。奥さんは「わかった、じゃあそうして。とにかく私は一緒に行かないから。」となりました。彼は行く決心をして、ある時、行きつけの酒場に、同郷で中学・高校の同級生で親しかった友達を呼び出しました。その人に「俺、帰るから、盛岡に。」と言うと友達はびっくりして、「えっ、帰るのか。本当にか。」と言います。「ここにいても何ともならないし、盛岡に行ってやり直してみるよ。」と二人でガンガン飲みました。そして帰ろうとして外に出ると、みぞれ交じりの北風が吹いてきました。その時に友達がさっきの言葉をつぶやくのです。「胡馬北風に依る」と。「北で生まれた馬は北風が吹くと生まれ故郷を思い出す。お前もそれだよな。」と友達が言って、「本当だな。」と彼も言って握手をして別れました。

故郷は人も街ももちろん変わっているし、故郷に帰ったからと言って上手くいくわけではありません。実際に盛岡の人に取材をしたのですが、東京にいて活躍したり良い仕事をしていた人が故郷に帰ると、特にやることもなく、ヒマであることは一緒だそうです。「そのあたりを誤解して、何かあると思って帰ってきても良いことは何もないよ。」と言っていました。

主人公はとにかくスッカラカンなんです。盛岡に帰るのは物語のずっと終わりの方なんですね。スッカラカンなので何の希望もない。そんな時に、「生まれ故郷に帰ろう。山も川もあのままだし。」となるのです。人にとって故郷というものは最後に何なんだろうな、と思います。

３月７日の読売新聞にとても興味深い記事が載っていました。切り抜きを持ってきました。東日本大震災から６年経った今年の春、東京電力福島第一原発の周辺自治体に出ていた避難指示が相次いで解除された。「帰郷、心に春が来た」という見出しになっています。この記事は、東京都江東区の借り上げ宿舎にずっと住んでいた76歳の松永時子さんという人が、福島に帰ったというものです。「私は帰ると決めて福島に帰りました。」とあります。本当に嬉しそうに庭の水仙の世話をしている写真が載っています。この写真の笑顔を見ただけで、どんなに嬉しいことかがわかります。「震災以来の南相馬ですが、帰らないと言っている人たちもいるなかで、どうして帰る決意をしたのですか」と聞かれて、「元気なうちに地元に戻る。やっぱり最期は故郷で迎えたい」とニコニコしながら答えています。「外の人から見ると何も無い所かもしれません。何も無くてもいいの、故郷なんだから。」とおっしゃっています。すごく色白

で綺麗な方です。故郷とは他人にとってはどうでもいいところでも、自分にとっては大切なところなのです。他人には関係ないです。だから小説の妻は「私は行かないわよ。」になるのは当然なのです。

最近の秋田は大変なことになりましたね。「サヨナラ、きりたんぽ」の話です。ご存じない方もおられるかもしれません。テレビ朝日が深夜放送の「サヨナラ、きりたんぽ」というドラマを作ろうとしたのです。主演は渡辺麻友、AKB のまゆゆですね。トップアイドルです。そのドラマのベースは“阿部定”なんですね。阿部定をコメディ化する予定でした。それに秋田県がクレームをつけました。当然だと思います。県が動くには県民・市民からの意見が多かったからだと秋田魁新報に載っていました。阿部定はご存知のとおり、惚れた男性の男性器を切り取って懐に入れて逃走した女性なんですね。これは戦前の話なのですが、今でも非常に語り継がれていて、知らない人がいない有名な事件です。つい先だっても、この話題の時に彼女の写真がテレビに出ていました。色が白くて首が長くて色っぽい女性です。こういう物語をコメディにしたといっても、題名に「きりたんぽ」がつくわけです。テレビ朝日は謝罪してタイトルを変更しました。

その後で会議があってテレビ朝日に行きました時、「“サヨナラ、きりたんぽ”というタイトルを変更して頂いてよかった。誰もがきりたんぽの形を男性器と連動して考えてしまいませんか。そのうえに“切る”というのがあるでしょう。あまりにもあの猟奇事件とくっつき過ぎています。これは秋田県や秋田県民がクレームをつけたのは当然です。県が誇るブランドに対してして、これはやっぱりまずいです。まして食べるものでしょう。ありえませんよ。」と発言しました。

でも、秋田魁新報には、「“サヨナラ、きりたんぽ”でもいいじゃないか」という意見も載っていました。滋賀県の方は「きりたんぽが全国区になって、みんながわかるレベルになったら、僕は良いと思う。」というような意見でした。東京在住だと思いますが“ふるさと館”のようなところで働いている男性は、「考えすぎている。これで有名になって、秋田の地名や料理の知名度が上がって、活気を持たせるきっかけになる。」という意見でした。私はこの意見は両方とも甘いと思います。もの凄いヒット番組にならない限り、きりたんぽが知名度を上げることは、まずありません。もし、知名度を上げたとしても、阿部定の切り取った男性器ときりたんぽの形を重ねている訳ですから、絶対マイナスイメージで笑われます。「きりたんぽ食べないか？」と東京で言うと「お前って、いやらしいんだな。」と思われるようになると思います。こんなことで、きり

たんぽが有名になる必要は一切ありません。マイナスです。ですから多くの県民が、「タイトルを変えてくれ。」と声を上げたことは当然に正しいことです。そのドラマは、テレビ朝日が謝罪して、タイトルを変えることを新聞に掲載しましたが、どういうタイトルになるかは明記していませんでした。テレビ朝日がすぐにタイトル変更へ動いたことは、秋田県民や自分達の故郷が大切にしているブランドが、マイナスイメージになるのは困るという思いが、大きな力になったと思います。例えば有名な“水戸納豆”をおかしなドラマにして、変な使われ方で有名になったら茨城県民は喜ぶか、ということです。私は喜ばないと思います。いかにもドラマになりそうな宇都宮の餃子がドラマの中で、今回のきりたんぽ的取り扱いで、一気に全国シェアが望めてるかもしれないとしても、県民は喜ばないと思います。“やめてくれ”と言うのではないでしょうか。今回、秋田県民には非常に健全な故郷意識が動いたと思います。

一方、「考えすぎだ。このドラマで有名になるなら、いいじゃないか。ブームにしてもらおうよ。」という意見が、秋田市の方からもあったということは、秋田県がここまで疲弊しているということを、考えなければならないとも思います。疲れきって、ワラにもすがりたい。助けて欲しい、マイナスイメージでも有名にしてもらいたい、健全ではないけれど、誰かの力を借りて経済効果を上げて欲しいと思っている人がいることも事実だと思います。秋田をどう活性化させるか。秋田の一人一人が真剣に考える瀬戸際に来ていると思います。

ここまで、故郷のことをお話してお分かりになったと思うのですが、故郷とは個人にとってはかけがえのないものなんです。きりたんぽ一つでここまで大騒ぎしましたが、他の人には全然関係がありません。故郷への思いは個人の問題だと認識する必要はありますね。

それからもう一つ、去年の12月６日の読売新聞の人生相談のコーナーに、非常に興味深い記事が載っていました。私はこのことについて、週刊朝日にも書きました。故郷にからむことなので紹介します。20代の女性の相談で、見出しが「私の地元を田舎と嫌う彼」というものです。かいつまんでお話するより全文読んだ方が、皆さんお分かりになると思いますので読みます。「20代女性、会社員の女性です。来年結婚する予定の彼が、私の住む県を嫌っています。理由は、全都道府県の中で一番田舎だと思うからだそうです。私の家族や友人が嫌いなのではなく、地域として嫌いなようです。彼は都会の出身です。転勤でこちらに５年ほど住んでいました。今は別の所に住んでいて、都会にすぐ出られるため満足しているようです。私の地元には来たくないとまで言います。彼とはこの話になるたび喧嘩になります。私としては生まれ育った環境や人を貶

められているような気がして、とても悲しくなります。涙が出るほどです。その気持ちを伝えると彼は、その場では謝ります。しかし心から悪いと思っていないことが伝わってきます。二度と嫌いとは言わないで欲しい、と頼んでも彼は、無理だと答えます。彼のことはとても好きですが、このことだけは許せません。結婚にあたり、どのような心持ちで接すれば良いでしょうか。」というものです。

普段の人生相談の場合は“秋田県　A子”とか“北海道　B男”というふうに相談者の県名が書いてあるのですが、これには書いていなくて、特定されないようになっていました。「彼は都会の出身」の都会もどこなのか想像できません。今住んでいるところは、都会にすぐに出られるという。ならば、都会は東京かもしれない。どこかの県から東京にすぐに出られるのなら、埼玉県、千葉県、神奈川県の辺りかなとは思いますが、それも書いてはありません。彼女の田舎を“全都道府県で一番田舎”と言っている男なのですが、私はこれを読んで、彼女の怒りは当たり前で、実に全うだと思ったのです。彼女がこういうことは言わないでくれ、止めてくれとお願いしても、何度も何度も言う。

これは明らかにモラルハラスメントです。モラハラというのは、夫婦のどちらかが言葉で片方を追い詰めていくものなのですが、芸能界でもよく聞きます。何時間も正座して説教された、とかで離婚問題になったりしています。学者によっては、モラルハラスメントは犯罪や精神的殺人などと定義付けている人もいます。

私はこの現状は切実な問題だなと思います。結婚したら、彼は絶対もっと酷くなります。結婚前からこれなんですから、結婚後は田舎からお母さんや友達が採れたての野菜や果物、名物などを送ってくると、「田舎くさい」や「汚い」、「田舎から来たものは俺に見せるな」などと、こんな小者なら絶対に言います。私が回答者なら、「すぐに別れなさい」です。相手の地元を面と向かってここまでに言うなんて、あきらかにモラハラです。それから最低限の品性に欠ける人間です。それに男としてあまりにも小者です。男として30代くらいなら、もっと考えることがあるだろうに、と思います。イジメですよね。相手の田舎を悪く言って、「そんなこと言わないで」と言わせて泣かせて喜んでいる節があります。明らかにモラハラでイジメです。そういうことだから私だったら、「別れなさい。別の人を探しなさい。」と書くだろうと思いました。

ところが、回答者である女性の弁護士さんの考え方に驚きました。こういう考え方もあるのだと感心しました。その回答は、「彼を許せない、という気持ちが理解できません。そして地元民が嫌いなのではなく地域として嫌いという

感情は、プロ野球のある球団が嫌い、田舎より都会が好き、という類のという軽い気持ちで考えれば良いのです。あなたの育った環境を貶めるものではないと思います。それとも彼があなたの地元を嫌うことよって何か不都合があるのですか。地元の話しになるたびに起こる喧嘩は、具体的にはどういう争いになるのか。地元が好きか嫌いかを争ったところで、何のメリットもないだろう。好き、嫌いの感情は理屈ではないため、彼の地元嫌いの感情を好きにするのは難しいでしょう。田舎が嫌いなら仕方ないと、広い心で彼と接したらどうですか。」でした。

私は、てっきり弁護士ならモラハラのことにも触れるだろうと思ったのですが、“モ”の字もありませんでした。なるほど、こういう考え方も確かにあるんだな思って、これがずっと引っかかっていました。それでどうしたかと言えば、私は地元の武蔵野美大で授業をやっています。３年生の20歳から21歳くらいの16人の男女のゼミなんです。その学生達に回答は言わないで、「あなた達ならどうしますか。別れるという人はいますか。」と聞いてみた。若い人の意見を知りたかったのです。すると、16人中14人が「別れる」に手を上げたので、やっぱりそうかと思いました。残りの２人は男子学生でした。１人は「初めからそういう人とは付き合いません。」と言い、もう一人は、「相手が可愛ければ地元の悪口くらい、まあいいかって感じです。」ときた。私はこの学生に、「あのね、言っておくけど、ブスは３日で慣れるけど美人は３日で飽きるのよ。」と言いましたよ。

おもしろいのは、今時の若い人達も、故郷に対しては思いがあるんですね。だから回答者の言う“広い心”という考え方は少しズレている気もします。

東京には月刊『東京人』という雑誌があります。秋田にも地域の雑誌があるかと思いますが、『東京人』の最新号がたまたま故郷特集になっていて「東京で故郷に乾杯」というものでした。東京にいると、なかなかしょっちゅう故郷には帰れないので、せめて故郷の郷土料理の店々を訪ねて行って乾杯をしょう、というもので、お店の紹介がありました。一流料亭から居酒屋まで有名なお店も載っていましたが、東京には全国各地のお店がたくさんあります。お店のオーナーや料理人のインタビューが載っていて、どの人も嬉しそうな顔をした写真だったのが印象的でした。自分の作るこんな料理は他の地域にはないだろうと、お料理の紹介もありました。私も食べたことはありませんが、愛媛県の鯛めし、石川県の七尾港直送の魚介、能登半島の能登野菜、鹿児島県の黒豚など、１冊まるごとです。その料理のことを語る人は全員その地域出身なわけですから、話すだけで嬉しそうなのです。見ていていいものでした。

前にもお話したことがあったかもしれません。だいぶ前ですが、京都の鴨川にフランスのセーヌ川に架かっているポンデザール橋と同じ橋を架ける計画がありました。それは、京都とパリの友好関係の何周年かの記念の時で、フランス側からの申し出によるものでした。それに対して、喜んだかどうかは分かりませんが、京都はOKを出して、それが新聞に載りました。あの橋はパリの風景の中にあるから似合うのであって、京都の鴨川に架かったってまったく合いません。想像するだけでわかります。

京都の人たちは京都の町並みを大事にして誇りに思っていたのに、市がYESと言って動き始めました。そのことが新聞に出たのです。今のようにインターネットがすごい時代ではなかったですが、一気に全国中にそれが広まっていって、京都を守れということになったのです。著名人たちは国内外のいろいろなところで話したり、テレビに出たりして、「なぜこんな無謀なことをするんだ」、「京都は日本の誇る千年の都市だ。いくら友好でもOKする感覚がわからない。」と訴えました。京都市民はもちろん大反対で、署名を集めたりして凄く頑張りました。

私はその頃、週刊ポストに連載を持っていましたので、書きました。「パリの橋を京都に架けることは構いません。ただ友好というものはお互いに同等の立場です。京都にポンデザールを架けるなら、セーヌ川に五条大橋を架けてくれ。それが友好というものです。」と書きました。フランスが五条大橋なんて架けるものですか。パリに住んでいる方なら分かると思いますが、凄い気位の高い国民ですから。国とか県とかを、いわゆる故郷を維持するためにはあのくらいの気位を持っていないと出来ないのだと思います。

京都市民が立ち上がったので、パリのその橋は架かることなくすみました。今、京都に行っても架かっていません。大丈夫です。そういう騒ぎがあって、行政とは思いも寄らない方向に向くことがあるので、おかしいと思ったときには、是非市民が声を上げることが大事だと思いました。もちろん、声を上げてもダメなときもありますけれども、故郷を守るためにはまず、おかしいことはおかしいと言うことです。

私は『終わった人』を書くにあたり、盛岡に何度も行きました。その時に、面白い話を聞きました。盛岡の鉈屋町というところは、昔の町並みをずっと残していて静かなところです。町家が建っていて、町並みが昭和初期か大正かなと思うような雰囲気なんです。そこにきれいな湧き水があって、地元の人がペットボトルなどを持参して汲みに来るというところだったのですが、実は都市計画では、そこを全部潰して幹線道路にする予定でした。便利になる代わりに美

しい昔ながらの町並みと美しい湧き水を壊さなければならなくなりました。こうなったときに、やっぱり市民がNOと言いました。

工事が始まりつつある頃の土壇場でしたが、地元の奥さんたちがサークルを作って反対活動を広めて行って、遂に計画を撤回させました。その後、計画の産業道路は造られていません。今でも昔ながらの街があります。地元の宝というものは、故郷というものは、声を上げなければ消えてしまうなあと実感しています。

故郷とは、何なんだろうと思った時に、今日お配りしたプリントの一番上のところに、石川啄木の『渋民日記』の一部を紹介してありますが、明治39年3月4日からのもので「渋民はわが故郷―幾万方里のこの地球上で　最も自分と関係深い故郷であるからだ。“故郷”の一語に含む甘美比なき魔力が、今迄、長く、深く、強く、常に自分の心の磁石を支配していたからだ。」という一文です。

結局、長く、深く、強く、常に自分の心の磁石がターゲットにしていた。こういうことなんだろうな、と思います。

ただ、実際には故郷に帰ったからといって、素晴らしく良いことが起きるということではないけれど、それでも帰りたい場所なんです。『終わった人』では、主人公は一人で本当に盛岡に帰ってしまいます。盛岡に帰って、妻とどうなったかをお話すると、本を買ってもらえなくなるので、ここでは言いません。

『終わった人』とは関係がないことではないのですが、興味深い話があります。何年か前にポルトガルに行ったんですね。真夏で太陽の日差しが強い時でした。現地に住む日本人女性が、私と編集者のガイドとして同行してくれました。

その彼女の日本の悪口が凄いのです。2、3日一緒にいましたがその間ずっとです。もう彼女は口を開くと日本の悪口なんです。わたしもさすがに聞き苦しかった。もうどうにもならないようなことまで口にするんです。例えば、「日本の海水はベタベタするけど、ポルトガルのはサラサラよ。」というところからです。私も編集者も日焼け止めクリームを塗っていましたが、そう頻繁には塗り替えたりしませんでしたが、彼女は、「日本の女は嫌ね。すぐに日焼け止めクリーム塗るのよね。こちらの人は大らかに、太陽を浴びて生きることを楽しんでいるの。」というのです。自由はいいのですが、彼女はソバカスやシミがすごくて、汚かったと言っていいほどでした。日本人は年代に関係なく肌の手入れして白さをキープしているのを見て、彼女からすれば逆に腹がたったんだろうな、と思いました。とにかくずっと悪口ばかりで、「日本の男性は女性に弱い。女性の言うことを何でも聞く。こっちは違うわよ。」と言っていまし

たが、見ていても特にポルトガルの男性がどうとも見えないんですよね。そうやって悪口を3日間言い続けた彼女と別れ、私達は次の訪問地マドリードに向かいました。

どういう理由か、彼女は20年間一度も日本に帰ってないと言っていました。故郷はどこかの地域で、故国は日本なんですよね。何かの事情で“故郷を追われるごとく”なのかもしれませんし、帰っていないということは、彼女は言っていることとは裏腹に、猛烈に故国・日本のことを思っているのではないかと、後から思ったのです。でなければ、あそこまで悪し様に言うのは納得がいかない。ポルトガルに住めば住むほど日本に帰りたくなっていたのかもしれない。だから逆に朝から晩までずっと悪口を言って、彼女自身を支えていたのかもしれないと、後から凄く思いました。そう感じたときに心が痛んで、「使いかけだけど」と日焼け止めクリームを上げればよかったと思いました。編集者も同じように、「あげればよかった」と言いましたが、現地では二人ともそこまで気が廻りませんでした。「故郷」と言うと、この彼女を思い出します。

私は故郷を持っている人を羨ましいと思います。私は秋田生まれ、東京育ちですから、どうも何処が故郷とピシッと言えないのです。北高の“あげまき”とまで言わなくても、土崎小学校でも卒業してれば秋田出身の名目が立ちそうですが、小学校から東京です。でも東京出身というのも落ち着かない。出生地は秋田ですし、私は東北人です。私の弟は幼稚園から東京ですが、平然と秋田出身と言っていて、あの根性はいいなぁと思いますね。

浅利香津代さんは、「秋田を背負っている」とおっしゃっていました。自分の力が凄いというのではなくて、「自分の背中にはいつも秋田があるから変なことはできない」という意味だそうです。前に青森の伊奈かっぺいさんと対談をしたことがあります。そのときに伊奈さんが同じように、「俺は背中に、腹に、胸にお岩木しょって（背負って）いるからな。」っておっしゃっていました。いいなぁと思いました。

亡くなった島森路子さんとお会いして、秋田のお話したことがありました。凄い秋田美人でした。何かの拍子に、「家を出るといつも鳥海山が見えた。」とおっしゃるので、「やっぱり鳥海山って懐かしい？」と聞くと、「家を出るとそこに見えるもんだから、懐かしいとかじゃなくて、当たり前に私の中にあるのよね。」という言葉が印象的でした。故郷って、こういうものなのかもしれません。

全国のいろいろな所の人達が、故郷をもっともっと良くしようとして、守るべきところは守ろうと頑張っています。ミニ東京なんてつまらない、と言って

います。秋田県人はおっとりして、あんまりガチャガチャいろいろなことをしませんが、秋田県ほど面白い県はありません。他と同じようなミニ東京になったらつまらないですから、是非声を上げて何かおかしいと思うことに立ち向かって欲しいと思います。

私は幸いなことに秋田魁新報に連載エッセイを書いていて、皆さんに読んでいただいています。掲載されるとすぐに反応が来たりします。秋田は終戦後わずか３ヶ月で駅伝大会を開催したところです。終戦の年の11月に秋田県縦断駅伝がありました。他の県は敗戦に打ちのめされながら、この焼け野原で頑張るんだと思っていた時に、秋田は県と秋田魁新報の社長やそれ相応の立場の人がリーダーになって、「米だば、なぼでもあるがら東京まで走ればいねが（米なら、いくらでもあるから東京まで走れば良い)。」と言ったんだそうです。それを継承した県内を縦断する駅伝をずっと続けていましたが、2006年にケロッとやめました。その理由が、交通規制が大変だとか高校生が何だかの行事と重なるからとかいうものだったらしいです。

私は、「そんな問題でやめたのか。他のどこも出来なかった戦後３ヶ月の駅伝大会は秋田の誇りだろう。“米ならいくらでもある”と言った大らかさを、絶対に継いでいかなければならない。こんな理由でやめたことを恥と思え。」と、私は怒り狂って魁新報に書きました。

すると知事からすぐに連絡が来ました。「おっしゃるとおりです。すぐにやります。」ということでした。打てば響く早さに驚きましたが、いいとなれば「すぐに」が秋田らしくて、良いところです。こうして再スタートを切ったのが「秋田ふるさとラン」という大会です。今年は男鹿を走ります。１回目は秋田市、２回目は大館市でした。これも東京マラソンのように全国的なものになって、盛り上がって続いて行って欲しいなと思います。是非皆さんも故郷秋田は、面白い県ですから、声を上げて守り、良さをＰＲして頂きたいと思います。

三つ子の魂百まで、秋田生まれ、東京育ちの内館がここまでお話させていただきました。ありがとうございました。

海老川　内館先生ありがとうございました。故郷に対する熱い思いは私も重なるところが沢山ありました。秋田は住みやすく、四季がはっきりしていて、とても良い国ですが、やっぱり故郷の高知に帰りたいと思っています。５月から10月の秋田は素晴らしいのですが、貧乏な高知県にいずれは帰りたいと思います。先生今日はありがとうございました。ご質問を受け付けたいと思います。先生にお聞きたいことがありましたらお手を上げてください。

質問者　質問ではないのですが、私は大館桂高校の出身で、高校の100周年記念の時に内館先生をお招きしてお話をしていただくことになって、楽しみにしておりましたら、先生が体調を崩されて中止になりました。そして１年前の講演会も申し込んで楽しみにしていましたら、また中止になりました。今日は三度目の正直でやっとお話をお聞きすることができました。本当に嬉しかったということをお伝えしたかったのです。ありがとうございました。

内　館　今おっしゃられたのは本当で、お約束しておりましたが突然、心臓病になって倒れてしまいました。自分では心臓だけは誰よりも強いと思っていましたが、一番弱いところだったようで、倒れて入院してしまいました。とても大事なイベントで、どうしようかと思って、私は病院から浅利香津代さんに、「なんとかしてくれないかな。」と電話でお願いしました。あの方はとてもお忙しい方ですが“秋田のため”となると立ち上がるんですよね。どこかで時間のやりくりをして、代わりに講演を引き受けてくださいました。その前後、心臓のフォローもあって、ちょくちょく病院に行っていましたが、もう大丈夫なんです。ありがとうございました。

少し稀勢の里のことをお話します。私は、横綱審議委員をする前から稀勢の里のことが好きで好きでたまらなかったのです。でも、横審として堅く考えて特定の力士に対する発言をしないように我慢してきました。今回横綱になって、本当に良かったと嬉しく思っています。そのことに関して朝日新聞から依頼があって原稿を書きました。それがとても好評だったと、朝日さんに喜ばれましたので、お話させてください。

何を書いたかというと、稀勢の里は史上２番目、貴乃花に次ぐ勢いで出世して来たんです。ところが、途中から全然だめで、今度こそ、今度こそ、今度こそ、と言われても、毎回横綱になれませんでした。優勝杯すら一度も抱けなかったのです。そのうち、琴奨菊が優勝してあの騒ぎになりました。次は豪栄道が勝って、今度は照ノ富士が優勝だと思います。照ノ富士は関脇のときにも優勝をしています。その間、皆にいろいろ言われてきましたが、稀勢は一度も何も出来なかったのです。でも彼は腐ることなく、一生懸命に親方の言うことを聞いて努力していました。その甲斐があって、今回横綱になれました。でも、今回もだめ、今回もだめ、根性がない、努力が無い、と言われ続けていたときに、私はよく一人でテレビの稀勢の里に、「大丈夫だから」と言い続けてきました。なぜ大丈夫なのかと言うと、「バスがダメなら飛行機がある」という、私が以前勤めていた会社の社長が言っていた言葉があったからです。次から次にライ

バルはバスに乗って先に進んで行ってしまって、自分だけが取り残されてしまった。でも、飛行機で飛び越えることができるから大丈夫だ、ということです。初場所で、稀勢の里のところに飛行機が止まりました。彼は稽古して、耐えて、ちゃんと用意ができていたので、その飛行機にパッと乗って、琴奨菊も豪栄道も照ノ富士も一気に抜いて、そして真っ先に72代横綱になりました。目的地に到着できたのです。

この言葉は、私が三菱にいた時の社長が、おそらく住友や三井、石川播磨と切磋琢磨していて遅れをとった中で言ったのかもしれません。だから、社員みんなに「飛行機が来た時に乗り遅れないようにしておこう」という意味でしょうね。それを朝日の記事に書いたら、全国の人達から、「励まされた」と多くの手紙やメールが朝日新聞社に届いたそうです。友達に結婚の先を越されたとか、商売がなかなか上手く行っていない、などの人達です。とてもいい言葉だと思います。

今日も稀勢の里は出場すると思います。昨日の取り組みを見た方はわかると思いますが、全然相撲になっていません。利き腕の左手をダメにしていますので、大変だと思います。優勝が転がり込んできたような照ノ富士です。稀勢の里も、照ノ富士のようにヒュッと身をかわすようなことができれば、勝てるかもしれませんが､彼は絶対にそういう相撲はやらずに真っ向勝負だと思います。そこがいい所です。だから、逆に考えれば怪我をしても強行出場したということは、ファンの人気を得ることになると思うし、あの仏頂面をキープし続けて欲しいと思っています。

だいたい今の若手力士は、ニコニコしずぎです。双葉山が現役だった頃、国技館はすごい人で溢れかえっていて、歩く所もないくらいだったそうです。あの頃の関取は、黒紋付に大銀杏で国技館入りしていましたが、双葉山が雪駄をシャッシャッと鳴らして歩いて来ると、その溢れていた人がバッと、二手に分かれて道が出来たそうです。でも双葉山は“ありがとう”でもニコニコするでもなく、悠然と歩いて通ったそうです。稀勢の里にはそんな横綱になって欲しいなあと思っています。

本当に長い時間、ありがとうございました。

海老川　これで内館先生の講演会を終了します。先生ありがとうございました。

ご来場の皆様、あっという間に１年が経ちました。総合研究センターの運営につきまして、いろいろとお叱りやご指摘をいただきましたが、おかげさまで今年度の全日程を終えることが出来ました。ありがとうございました。新年度

も引き続き講演会、東映映画上映会を実施してまいります。ご案内やお知らせ等ができましたら、皆様方にお送りいたします。内館先生には、また６月の中旬ごろに秋田においでいただきまして、前期の講演をしていただく予定です。引き続き、また応援をしていただければと思っております。本日はありがとうございました。

石川啄木に見る故郷

「渋民日記」M39．3．4より

渋民は我が故郷－幾万方里のこの地球の上で最も自分と関係深い故郷であるからだ。「故郷」の一語に含む甘美比なき魔力が、今迄、長く、深く、強く、常に自分の心の磁石を支配していたからだ。

故郷を詠んだ歌の中から

① 石をもて追わるるごとく
ふるさとを出しかなしみ
消ゆる時なし（スバル　M43．1月号）

② 汽車の窓
はるかに北にふるさとの山見えくれば
襟も正すも

③ やまひある獣のごとき
わがこころ
ふるさとのことを聞けばおとなし

④ 吸ふごとに
鼻がぴたりと凍りつく
寒き空気を吸いたくなりぬ
（cf．胡馬北風に依る）

⑤ 馬鈴薯のうす紫の花に降る
雨を思へり
都の雨に

⑥ 神無月
岩手の山の
初雪の眉にせまりし朝を思ひぬ

⑦ ふるさとに入りて先づ心傷むかな
道広くなり
橋もあたらし

（②～⑦は、すべて「一握の砂」）

〔講　演〕

ノースアジア大学　総合研究センター主催　講演会

「『生きのこる』ということ
―相撲史に学ぶ」

講　師　脚本家
　　ノースアジア大学教育諮問会議委員
　　ノースアジア大学総合研究センター客員教授　　内　館　牧　子

司　会　ノースアジア大学総合研究センター長
　　本学経済学部教授　　海老川　寿美夫

日　時　平成29年６月17日　午後１時～２時30分

会　場　ノースアジア大学　40周年記念館271教場

海老川　皆様、こんにちは。本日はようこそお越しいただきました。
今日の内館牧子先生のご講演テーマは、元横綱審議委員をされていた経緯もありまして、「生きのこるということ－相撲史に学ぶ」です。今は組織も個人も生き残るのに必死です。そういうところを私たちも勉強したいと思います。それでは先生、よろしくお願いいたします。

内　館　今日は怪我の姿で大変お見苦しるしいところをお見せしまして、申し訳ありません。皆様にご注意申し上げますが、私の怪我は、満開の桜に見惚れて転倒したのです。六本木に桜で有名な坂道がありまして、事務所から近いこともあって、テレビ朝日の仕事の帰りに歩いて坂道を歩いて降りていたのです。ここは都内でも屈指の桜の名所で、満開の桜を見上げるということは、どうなるかと言うと、下を見ないで上ばかりを見て歩くことになるのです。それで、「わあ、綺麗！綺麗！」と言って上ばかり見ていたものですから、道路の段差に気が付かず派手に転倒しました。それで、こめかみの近くを打って、足をおかしなふうに曲げてしまったのです。
周りには、お昼休みのサラリーマンや多くの人が、同じように桜を見ながらふらふらと歩いていたので、転んでいる私に駆け寄って起こそうとしてくれました。でもうまく起きられないのです。周りの皆さんに、「救急車を」とも言われたのですが、事務所が近いものですから、「秘書を呼んで、行きつけの病院に行きます。」と言って救急車を呼ばなかったのです。皆が助け起こしながら顔を見て、「あっ、内館さん。」とおっしゃるのですが、こういうときは恥ずかしいので、やめて欲しいなと思います。頷くこともできませんでした。こめかみのところを打っていましたので、一番心配したのは頭だったんですね。
たまたま今書いている小説が、70代後半の女性が主人公で、同じく70代後半の夫が転倒して、その時は何でもなかったのに、１ヶ月くらい経ったらまっすぐ歩けなくなってしまうのです。それで病院に行ってみたら、硬膜化血腫という後からじわっと血腫ができる病気になっていて、亡くなってしまうのです。この話は、私が転倒する前から書いていた小説なのですが、“ひょっとして私も大変だ”と思って、病院に行って丁寧に検査をしていただきました。４月６日時点ではなんでもありませんでした。ただ、「内館さん、足が大変なことになっていますよ。」と言われました。右足の指と甲の骨を派手に骨折していました。「全身麻酔で手術をするか、非常に時間がかかって元のようにくっ付くか分かりませんが自然治癒を待つか、どうしますか。」と言われました。私は全身麻酔というのが嫌だなと思ったので、自然治癒の方にしました。ギプスでガッチ

リ固めて踵で伝い歩きをして、後は車椅子を使うことにしました。こんなことは今まで無かったんですね。

それで考えました。後期高齢者とか70代になると周りから、「転倒に気をつけて」と何度も言われようになります。転倒に気をつけないと、寝たきりになるとか呆けるとか言われるので、ご本人も気をつけるんですね。50代はそんなに実際に転びません。ところが60代は転ぶ年代なのに“自分は転ばない”と思っている年代なので、注意しない訳です。私は、転んだということを秋田魁新聞や週刊朝日に書きました。どっちみち車椅子で移動していると見られますから、いつかは知られる事だと思いましたので、こういう事情で転んだので、60代は気を付けなければならない、ということを書いたらば、凄くたくさんのお見舞い状や手紙が届きました。皆さん嘘だと言うのですが、「僕も転んだ」、「私も転んだ」という手紙が全国からたくさん来ました。お友達からも、「68歳だけど、実はこういう転び方をした。」とか「67歳だけど腰を打って３ヶ月間寝たきりだった。」というのばっかりなんですね。“やっぱり！”と思って、注意しようと実感しました。

アメリカの話ですが、ヒラリー・クリントンは私の一つ年上の69歳だったと思いますが、彼女は日本や他の国を訪問した際に、飛行機のタラップを降りるとき、必ずさりげなく手すりを掴んでいます。さりげなくにこやかに振舞っていますが、あれもやっぱり足元が危ないのだと思います。“ヒラリーもそうなんだ”と思って見ていました。

60代は怪我をすると“これからは気をつけよう”と思うのですが、一番困るのはすぐに忘れてしまうのです。私も、痛い目にあって車椅子になって、シャワーのときに痛みがあるのにギプスをビニールでぐるぐる巻きにしたりして、面倒で大変だったのに、１ヶ月もすると忘れてしまうのです。自分は転ぶ年齢だということを忘れて、外科医の先生に、「そろそろお酒いいですか。」なんて聞いてみたりしてしまうのです。

私は５月場所も見に行けませんでした。ぺたっと座ることができないので、桝席でもどこでも無理なんです。国技館にいらしたことのある方は分かると思いますが、土俵はすり鉢上の観覧席の、底辺の部分にあります。だから、すり鉢を下まで降りていかないと土俵近くの席には行けないのです。ところが東西南北、正面、向正面どこでも、お客さんが土俵に降りていくところには一切、手すりはないのです。これは相撲界らしいです。まったく手すりがなくて、周りはぎっしり桝席なんです。桝席の仕切りを掴んで行くのですが、手すりと違って全部にはないのです。それで、ドクター・ストップがかかりました。医者に、

「愛する稀勢の里の土俵入りを見たいのは分かりますが、今回はやめてください。」と言われて行きませんでした。

ただ、行った人や親方衆から話を聞いても、朝早くから並んでも当日券はなかなか買えないそうです。当日券はそんなに多い枚数ではなく、何十枚だそうで、買うために朝5時に並ぶ人もいるそうです。5時半に並んだ人がテレビのインタビューに答えていて、「買えなかった」と言っていました。それくらい、今、相撲は人気です。実況中継を見ていても、連日“満員御礼”が下がっています。すり鉢の下までギッシリです。それは稀勢の里が出て、高安が出て、日本人横綱が頑張ってくれて、劇的に優勝してくれたこともあります。とにかく大人気です。これはちょっと凄いことです。

私が横綱審議委員をしていたときは、閑古鳥が鳴いていました。5月は“夏場所”といいますが、そろそろ暑くなってくる頃なんですね。9月は秋場所といって残暑の頃です。両方とも東京の国技館でやるので、5月と9月に大相撲を見に行くのですが、当時は行っても館内が寒いんです。人が入っていないので空気も寒々しいんですね。人がいないので、自分の席より前に降りて行って見ることも可能なほどです。それに週刊誌やスポーツ新聞は意地悪で、さらに人のいないところを狙って写真を撮って“ガラガラ”とか“閑古鳥が鳴いている”とグラビアに出すんです。その頃に横綱審議委員をしていましたので、今の状態がどれぐらい夢のようで、どうやって復活したのかというのが、よく分かるんです。

今日お話したいなと思ったのは、やっぱり相撲界というのは伝統も精神も守らなければ、という重いものがあるし、とにかくここまで生き残ってきているんですね。考えてみても、髷を結って裸でまわし一本で、男達が土俵に上がって取り組みをするという状態が、21世紀の今に残っているのが不思議なはずです。きっと途中でいろいろなことが起こっていたと思うし、「相撲が危ない」と危険水域に達したことも、いっぱいあったと思います。でも立ち直って現在まで生き残ってきました。横綱審議委員は2010年までやりましたが、あのときは我ながら、立ち直れるだろうかと思ったくらいどん底の状況でした。私達の暮らしの中でも、仕事の上でも家庭の中でも、もう立ち上がれないと思うことがあると思います。相撲界はそういうときでも、やっぱり立ち直ってきたんですね。これは学ぶことが多いのではないだろうかと思って、そういうことを今日お話していきたいと思っています。

まず、今まで相撲界にどれだけひどいことがあったのか、ということを紹介したいと思います。ピンチのご紹介です。ピンチに次ぐピンチなんです。いつ

もいつも大変だったのです。一番のピンチは明治時代です。明治維新でできた明治政府は、諸外国に追いつけ・追い越せで、新しい日本をつくることばかり考えて燃えていました。残しておかなければならないような、大切な日本の文化も切り捨てて、「さあ、新しい日本だ。頑張ろう。」という思いになったのだろうと思います。それは一つの時代や政策としてはありだと思います。ただ、相撲界において明治政府が何を言い出したかというと、“裸体禁止令”を出したのです。「裸は困る、野蛮だ。」というのです。“裸体禁止令”を出したばかりか、明治の一般人はみんなやらされたのですが、“断髪令”です。相撲界にも同じように断髪令が出されました。裸と髷を禁止されたならば、これは言ってしまえば、相撲禁止令に等しいです。裸体をやめて、まわしをとって断髪してしまうと別のものになってしまって、K－1のようになってしまいます。相撲は明治政府にしてみると、「公序良俗に反するもので美しくない」のでだめだったのでしょう。これは角界最大のピンチでしたが、これも乗り越えました。

その後、昭和７年（1932年）に、またとんでもない事件が起きたのです。相撲の歴史の中でも有名な「春秋園事件」です。“春秋園”は中華料理店の名前です。発端は力士達が待遇を良くして欲しいと協会に訴えたことですが、協会側は内容をチェックしたけれど受け入れられないということで拒否したのです。そうしたら力士が集団で脱走して、そして春秋園に立てこもってしまいました。でもこの問題もクリアできました。

次の問題はもう少し最近で、昭和32年（1957年）です。これは大変な事件です。相撲協会は相撲の普及・指導を仕事とするの財団法人で、金儲けをしてはいけないことになっています。“なのに相撲協会が儲けている”と、時の社会党が国会で取り上げました。このとき、「そうだ、そうだ」と衆議院の予算委員会や文教委員会で問題になり、当時の出羽の海理事長を追及しました。「相撲協会の茶屋制度は利益をあげている独占企業みたいなものだ。廃止せよ。」などという動きになりました。茶屋制度による大相撲が冬の時代も乗り越えられた一面は確かにあります。おいつめられた、出羽の海理事長が事務室で割腹自殺を図ったのです。未遂で終わりましたが、大変な事件です。理事長の割腹は、大問題になりましたが、しかしこれもクリアして乗りこえました。

それからもっと後のことでは、昭和53年（1978年）くらいから、非常に土俵の男女差別を論ずる国会議員や多くの女性評論家が出てきました。昭和53年（1978年）に後に官房副長官になった森山真弓さんは、その当時は青少年室長でした。各地域でちびっ子相撲をして、そこで優勝した子供は東京の国技館で全国大会に出られるのですが、東京の荒川区だったと思いますが、優勝し

た子が女の子だったのです。相撲協会は、「女の子は国技館の土俵に上がれません。」と断りました。それで森山さんが激怒して相撲協会の偉い人を呼んで差別じゃないかと詰め寄りました。相撲協会は、「これは伝統なんです。一つくらい、こういう世界があってもいいでしょう。」と言いましたが、あまり説得力はありません。でも、その時は森山さんが引いた形になりました。でも、「私が偉くなったら、私は土俵に上がるわよ。」と言ったそうです。相撲協会は、女が偉くなることはないと思って、そんなことはないと思って笑ってその場を過ごしたようです。

ところが、それから12年後の1990年、森山さんは官房副長官になりました。総理大臣は海部俊樹さんの時代です。ある場所の千秋楽に海部さんが何かの都合で表彰式に出られないことになりました。総理大臣が出られないときは官房副長官が出るというのは慣例で当たり前のことです。森山さんが自分から出ると言っても、少しもおかしな話ではありません。12年前のあの時から彼女は、“今に私が上がるわよ”と思い続けていたのではないかと思いますが、この時、「私が出て土俵に上がります。」と言い出しました。協会は焦りました。土俵ができたのが1699年より少し前のことだと言われていますが、それから以降、ずっと女性はノータッチで来ました。女性は地位が非常に低い時代もあったし、男尊女卑の時代もありましたから、ずっとカヤの外で来ましたが、それが1990年になって森山さんは、「私は上がる」と言いだしたわけです。協会はまた「伝統ですから」と曖昧な答えをして、なんとか押しとどめました。ただ、私はそれを聞いたときに、協会はいつまで「伝統ですから」の曖昧な言い訳で逃げられると考えているのか、と思いました。女の人達はある意味“伝統”についてきちっと説明しなければ、単なる男女不平等と捉えられても仕方がない、いつまでこういう良い訳が効くかと思っていました。

そうして、2000年代になって、土俵における男女不平等への怒りの声は段々大きくなっていきました。2001年から2004年までの、かつて大阪府知事が女性だった時代に彼女は、「相撲は男女差別だ」と言って、「大阪場所の府知事杯は自分が渡す」のだと、絶対に折れませんでした。私は３月の大阪場所のでは女性知事が、「私が上る、私が上がる」と訴え続けるだろうな、と案じていました。やはり３月になると、私は“啓蟄”と言っていました。本当に啓蟄のように毎年３月になると、いっせいに騒ぐのです。ここで私が嫌だなと思ったのは、自分のお金で相撲を見たことがなかったり、相撲と柔道とK-1とプロレスの違いが分からないような人たちが、相撲伝統の根幹を指す部台に、21世紀の男女共同参画見解を当てはめ、踏み込むことでした。あまりにも軽い。ただ、

世の中の流れが全部“男女平等”、“男女共同参画”に向いていました。

そんな中、2003年に私は、「何もかも男女共同参画にするのはおかしい。男女平等や男女共同参画には大賛成だけれども、すべてに当てはめるべきではない。伝統文化や民俗的なものなどは文化なのだから、すべて平らに男女共同参画にしては文化が痩せる。」と私が朝日新聞に書いたところ、ある大学の女性史の女性の先生が朝日新聞で反論しました。「私は相撲史には無知だけれど、内館さんの書いたことは間違っている。問題の核心というのは伝統の問題ではなく、府知事の公務の遂行をいかに保障すべきかである。」というのです。“府知事に公務をさせることを保証することが大事”だというのです。私はそれを読んでぞっとしました。これは違う。問題の核心は“伝統”なんだよ、と思いました。何よりも無恥だと思いました。「私は相撲史には無知」と前もってエクスキューズして、相撲の根幹に関わることを簡単に言っている訳なんですね。大学の先生は凄いと思っていたのですがこのレベルなんだ、とそのときはかなり衝撃を受けました。その後間もなく大阪府知事も新聞に書きました。それは「今や男女共同参画は当たり前だ。だから土俵に女性を上げて、皆でお祝いするのが、世界のグローバル・スタンダードだ。」と書いてありました。グローバル・スタンダードは世界の標準や基準のことです。例えば選挙権や教育などにおいて、男女は平等で共に働くということは、グローバル・スタンダードで私も大賛成です。ところが、自分の国が何千年かけて守ってきた伝統文化に対して、どこの馬鹿が世界標準にそろえるか、グローバル・スタンダードを当てはめるか、というのです。これは日本だけでなく、ロシアであれ、インドネシアであれ、イギリスであれ、フィリピンであれ、どこの国でも踊りでも演芸でも長い年月をかけて独自の文化を育ててきている訳なんです。よりによって、政治家が、「グローバル・スタンダードに合わせろ」と言うなんて、日本はなんて哀れな国だと思いました。それと同時に、放っておくとすべて“男女平等”、“男女共同参画”の流れになっていってしまいますから、反対する私は右翼になってしまうのです。私は右翼ではなくて、「男女平等や男女共同参画をやっていけないところは、男だけ、女だけというのを守りましょう。」と言っているのです。沖縄には今もいっぱいそういう文化があります。女の人だけに霊感がある、というのもあります。東北大で宗教学を学んでいた時に、実際に何度も見てきました。例えば、青森の恐山のイタコはほとんど皆、女の人がやってきました。あれは、目の見えない女性は霊感が強いというベースがあったのだろうと思います。

やみくもな男女共同参画は、取り返しがつかないことになる、と思って怖く

なりました。相撲に限らず伝統とういうものは、一回途切れてしまうとそこまでなんですね。次からは新しい物になってしまいます。その伝統が今の時代には合わないものであったとしても、当事者が必死になって21世紀まで守り続けてきたもでああることを、一度立ち止まって考える必要がある。「グローバル・スタンダードに合わせよ」と、大阪府知事などが一度崩すと、まったくちがうものになってしまいます。今までのものとは別のものになってしまう怖さを感じたのです。大阪の女性府知事が土俵にのって大阪府知事杯を渡したとなった時に、それはいろいろなところが記事に書いたり、テレビで放送したりすると思うのです。「ついに慣例を打ち破って土俵にのった。伝統を打ち破った。凄い。」、「ついにやったぞ。」ということになるかと思います。私が怖かったのは、そうなった次の大阪場所からは男性の副知事がのるだろうなと思うのです。つまり女性府知事の行動は、票田の方を向いているのではないかと懸念したのです。「私はやったのよ。一つの突破口を作ったのよ。」という大々的な世間の注目を大切にしているのではないかという懸念。次からまた、男の人がのり始めたとしても、ここで１回切れただけで、長い相撲史は違ってくるのです。直接本人とお話していないので分からないですが私は、「これはありえるな」と思って本当に怖くなりました。

そこで、仕事が一番のっていた50代の半ば前だったのですが、大学で相撲史を徹底的にやらなければいけないと思いました。誰に頼まれた訳でもないのに仕事を休んで、また運良く東北大学の大学院の入試に合格したので、3年間大学院に通って、修士論文を書くために相撲史をきっちり勉強しました。その結果、誰かが何かを言ってきたら、「こういう世界が一つくらいあっていいでしょう。」という曖昧なことではなくて説明ができるだろうな、と思いました。こうして角界に男女平等の嵐が吹き荒れたときも、大変でしたが実際には私の出番など一切なく、角界はこれもとにかく乗り越えました。

それよりも、少し時代を遡った昭和62年（1987年）のことですが、これは多くの皆様が覚えていると思います。横綱双羽黒という力士がいました。身長があって、色が白くて綺麗なとても良い力士でした。これまでもずっと良い横綱を生み出してきた立浪部屋の力士で、「ついにまた立浪部屋から横綱が出た」と大騒ぎの中、綱を締めました。元々は“北尾”という四股名で相撲を取っていましたが、横綱になったときに新しい四股名をもらって“双羽黒”になりました。“双”は横綱双葉山から、“羽黒”は横綱羽黒山から取った名です。２人の大横綱の四股名を背負った訳で、とてつもない四股名です。定かではありませんが、「そこが重かったのではないか」とも言われていますが、とにかく何

らか理由があって、立浪親方と激しく衝突しました。そして仲裁に入った双羽黒の後援会の偉い方と、立浪親方の奥様である女将さんに暴力を加えて、失踪してしまいました。横綱が失踪してしまったのです。立浪部屋は相撲界では名門中の名門で、歴史に名を刻む部屋です。そういう部屋で、そういうことを現役の横綱がしてしまいました。結果、双羽黒は破門同然で廃業しました。“引退”とは言わず“廃業”となります。これも角界にとって大ピンチだったと思います。こんな名門の部屋でもちゃんと力士の管理ができていなかったのか、ということが明らかになってしまいました。

その後は、更なる大ピンチで、皆さんも良く思い出せることだと思います。平成19年（2007年）のことです。これは時津風部屋の出来事です。この部屋も横綱双葉山が出た、大変な名門の部屋です。時太山（ときたいざん）という17歳の少年力士が時津風親方からビール瓶で殴られるなどの暴行を受けて、亡くなってしまいました。時太山（ときたいざん）の遺体が実家に帰る時に、親方も女将さんも付き添って行きませんでした。葬儀業者と自動車で実家に帰したということも、ものすごく問題になりました。ご両親が大変に怒って、時太山（ときたいざん）の体を見たら青アザになって浮腫んでいたそうです。これは酷いことだと訴えて、警察が良く調べて元親方を犯人として逮捕しました。当然ながら相撲協会は親方を解雇しました。今はどこでどうしているのか全くわかりませんが、双津竜（ふたつりゅう）という量級の腰の重い力士でした。その時太山（ときたいざん）の事件をきっかけにして、あらゆる悪いことが芋蔓式に出てきました。それは前からやっているものもあれば、乱れてやりやすかったからやった、ということもあると思います。

時太山（ときたいざん）が亡くなって、そのわずか一ヵ月後、同じ2007年のことです。皆さんもよく覚えていると思います。横綱朝青龍が巡業をさぼってモンゴルに無断帰国しました。当初は体調が悪いため、仕方なく巡業に出られないということだったので、“さぼり”とは言われていませんでした。本人がモンゴルに帰りたいと言って、親方が許可を出す前に既に帰国してしまいました。ここまでは大きな問題ではないように思われていましたが、その後にモンゴルで楽しそうにサッカーで走り回っている、朝青龍の映像がテレビで流れてしまいました。親方が知らないうちに帰国しただけでなく、体調が悪いはずだったのにサッカーまでして楽しんでいる。これでいいのか、ということになりました。絶対に良いはずがありません。「財団法人から日本相撲協会を剥奪せよ」と言われるまでの問題になりました。財団法人というのは利益を追求する企業ではなくて、相撲の普及と指導という義務があって、税制上の優遇などがされています。朝青龍や双羽黒は横綱ですから、会社で言えば代表取締役のような大幹部です。

普段は相撲を見ることができないような地方の小さな町や村に率先して行って、土俵入りを見せたり小さな子供と取り組んでみたりして、相撲を伝えていかなければいけない立場です。それなのに無断帰国してサッカーに興ずる横綱は大問題になりました。私はこのとき横綱審議委員でした。２場所以上の出場停止を相撲協会は言い渡しました。それから４ヶ月間謹慎です。そうしたら朝青龍はうつ病を理由にまた帰国してしまいました。「“うつ”だから日本にいられない」というのです。私は、「許すな」と言ったのですが協会は許しました。時々モンゴルで温泉に入っている映像がテレビで流れたりしましたが、４ヶ月をモンゴルでのびのびと過ごした謹慎で、その前から私は朝青龍には非常に大きな怒りを、相撲協会には態度の甘さに対して怒りがありまして、「秋田の女は怖い」とも言われました。このあたりから朝青龍とのバトルが始まりました。

その後、平成20年（2008年）から平成21年（2009年）にかけて、朝青龍の問題以外に、今度は大麻所持の問題が出てきました。皆さんも思いだせると思いますが、若ノ鵬という外国人力士が持っていたことが発覚しました。それをきっかけに、協会が抜き打ち検査をするようになりました。そうした時に大鵬部屋のロシア出身力士の露鵬と弟の白露山が解雇されました。白露山は髪が後ろまで無くて、１センチくらいの大銀杏がチョンと乗っているような力士でした。白露山はいい力士だったのですが、相撲ファンはそれにもまして床山の技術の凄さに感心していました。よく結えるなあ、と思わせますよ。この兄弟２人に大麻の陽性反応が出て、北の海理事長が引責辞任しました。このときの抜き打ち検査では、いろいろなことが分かりました。若麒麟という力士は大麻所持で現行犯逮捕されて解雇されました。面構えが良くて、荒っぽい相撲を取る魅力的な力士でした。この一連の大麻事件で、管理不行届などで親方衆も降格になりました。これは私が本当に見たわけではないのですが、露鵬と白露山の兄弟は相撲部屋の近くにアパートを借りて、そこで大麻をやっていたという話が出ました。確認していないので、本当かどうかは分かりませんが、無いわけではないと思います。本来、力士は結婚するまでは相撲部屋で生活をします。露鵬も白露山も幕内力士でしたから、いつ結婚しても構わないのですが、独身の間は相撲部屋の中に個室を与えられて、ちゃんこを食べてお風呂も使えて、そこ暮らすのが基本です。ところが強い外国人力士に甘かったのか、アパートを借りていたようです。これを見逃したとすれば、やっぱり親方の罪は重い。

そして、その次年の平成22年（2010年）のことです。問題横綱の朝青龍が、１月の初場所中に六本木で泥酔して暴行事件を起こしてしまいました。この時はついに横綱審議委員会が動いて、引退勧告を準備しました。この時、私の横

綱審議委員の任期が終わりに近づいていて、この初場所が最期の場所でした。遂に、「これはだめだ」と横綱審議委員が動き出す寸前に、勧告される直前に朝青龍が自ら引退しました。

それでこの話は一件落着したのですが、この頃から目に見えて観覧席に空きが目立つようになっていきました。お客様が見に来てくれなくなり減っていきました。先ほどお話したように、夏なのに寒いという状況です。お分かりのとおり、土俵はすり鉢の真ん中にあります。その周りは“砂被り”という席になっています。力士が仕切ったり激しく動くと砂が舞って、見物客が被ってしまうような最前列の席なのですが、砂どころか力士まで被ってしまうところなのです。私はあばら骨を３本折っているんです。あの頃、千代大海と魁皇が組んでもつれて、よっぽど恨んでいたのか２人で私の真上に落ちてきて、私はぺっしゃんこになりました。「こんなチャンスは滅多にないから」と思って相撲診療所に若い者を連れて行きました。北の海理事長が、「若い者を連れていってください。」とおしゃったのです。でも、そこでさえガラガラでした。

私は、見に行けなくても15日分のチケットを通して買っていましたが、私が行けない時は勿体ないと思って、「もし良かったら、最前列の席だから見ておいで。」と友達にあげすよね。すると、「いい、いい、いらない。サッカーや野球のチケットはないの。」と言われて、「そんなのは、ないわよ。」と言っていましたが、断られてしまうくらい、世間では相撲には関心がなくなっていったのです。そうすると力士の悪いことばかりでなく、「古い」とか、「伝統、伝統と言っているけど、悪いことばかりしているじゃないか」となって、「許せない」、「もう見る気がしなくなった」と風評もいろいろと出てきて、どんどん観客が減りました。でも、不祥事はまだ続くのです。ここからまだあります。

その次の月、私が横綱審議委員の任期を終えた翌月、平成22年（2010年）２月には、今の貴乃花親方が、従来の一門のルールを無視して、一門を離脱。理事に立候補して当選しました。この“一門”というものは、なかなか分かりにくいかもしれませんが、簡単に言ってしまえば、本家と分家です。

貴乃花の貴乃花部屋は、二所ノ関一門です。時津風、高砂、出羽の海、二所ノ関、立浪（伊勢の浜連合）各部屋が本家となって、５つの一門を作っています。そこに分家として各部屋が所属している。ですから、貴乃花部屋は本来、二所ノ関一門に所属する部屋です。二所ノ関一門には他に、二子山部屋とか大嶽部屋などがあります。本家が二所ノ関部屋なんです。分家は本家といろいろなことで行動を共にします。だから、「協会理事に誰を出そうか」と言ったときも、二所ノ関一門からはこの親方、立浪一門からはこの親方、と決めてほと

んど選挙なしに当選するというのが暗黙のルールだったのです。

ところが、貴乃花親方はそういうやり方を良いと思っていなかったのだと思います。私は彼が現役の頃から何度もいろいろなところで話していますが、本当に相撲界のことを考えている立派な青年です。おそらく、一門という“総意”を無視しなければ、いつまでたっても変わらないと思ったのだと思います。分家が本家から離脱したということで、全部を敵にまわしてしまいました。それればかりか、当選してしまったのです。選挙といっても、どこの一門から何票というのは大体計算できます。総意で選ばれた親方は、皆通るようになっていますが、貴乃花が当選した。このことは、チェックすればどこの一門の親方が謀反を起こしたか分かります。６人の親方と３つの部屋が謀反を起こして、貴乃花に入れていたことが分かりました。会社が決めた方針と全く違うことをした、これはクーデターです。古くは三越のクーデターがありますし、最近評判になったのは三越伊勢丹がありますけれど、貴乃花当選も一種のクーデーターです。それで、謀反を起こした６人の親方と３つの部屋を一門から破門してしまいました。これでは組織がガタガタになり、またも角界はピンチです。

ところが、まだあるんですよね。貴乃花が理事になってから、わずか３ヶ月後のことです。日本中を揺るがす大事件がありました。時の現役大関の琴光喜が野球賭博に関与していた、というものです。二所ノ関一門である大鵬部屋の大嶽親方も関与していたことが分かりました。大関琴光喜と大嶽親方はどうなったかというと、解雇されました。その後ずっと調べていったらば多くの関与が分かり、22人の力士と武蔵川理事長以下10人の親方が何らかの処分を受けたのです。親方の中には、無論自分がやっている訳ではないけれども、ちゃんと指導ができなかったという管理不行き届きで処分対象となった方もおりました。これは先ほどの春秋園事件ではないけれど、スター力士だった露鵬はいない、白露山もいない、琴光喜もいない。ますます閑古鳥です。この賭博を重く見たNHKは７月場所の中継放送を中止しました。いつも懸賞をたくさん出していた永谷園が、７月場所は懸賞から手を引きました。今はテレビCMで遠藤が、「うんめーッ！」とやってスポンサーに戻っていますが、永谷園だけでなくて軒並みスポンサーが手を引きました。懸賞は前の年の８割減です。８割になったのではないのです。２割になってしまったのです。これは死活問題ですよね。

それで、今度は平成22年（2010年）の７月、琴光喜が処分されたのと同じ月に、元理事長の北の海部屋など40箇所に賭博開場の疑いで家宅捜査が入りました。これでも国技で財団法人ですからね。こういう時に男女共同参画を言

われていたら、勝てなかったかもしれません。これほど乱れた社会で、何が伝統文化だと責められたら済まされませんよ。この時、人解放派が誰も何も言ってこなかったのは、呆れていたのか、もう飽きていたのか。結局、相撲部屋に家宅捜索が入ってしまうという不名誉な事態になりました。

その次の年に、これは決定的だったのですが、八百長を画策するメールが発覚しました。警視庁がその動きを捉えて、結局23人の力士の八百長関与を認定しました。この23人の力士全員が追放になりましたが、この中には安美錦の弟の安壮富士や将司、千代白鵬など、本当に良い相撲を取る力士やスター力士たちが含まれていたのは衝撃でした。そして遂に５月の本場所が中止になって、“技量審査場所”という変な場所になりました。この時は白鵬が優勝しましたが、天皇賜杯はありませんでした。白鵬は千秋楽の時に、「こんなことになってしまって」と泣いていました。

お聞きになって、お分かりになると思うのですが、ピンチの質が変わってきています。最初は社会の動きに関係する、“断髪令”や“裸体禁止”、“男女共同参画”など当然と言えば当然の、社会や時代の動きに沿ったピンチだったのです。ところが段々ピンチの内容が変わってきて、力士の暴力とか倫理の問題になってきました。“相撲協会という組織が、悪いことをする人間を出し始めた”ということだと、私は考えています。これはとても大きな問題です。

私はだいぶ前に、三菱重工業の社長・会長を経て当時は相談役の飯田庸太郎さんと雑誌で対談したことがあります。これは相撲協会がこんな風になる、ずっと前のことです。私が横綱審議委員になる、ずっと前のことなのですが、大きな会社組織を率いている飯田さんに、「企業で成功して生き残るには、経営者としてどういうことが大事でしょうか。」と聞いたんですね。それに対して飯田さんがおっしゃった言葉に、私はとっても驚きました。「会社や組織の中から、悪いことをする人間を出してはいけない。悪いことをする人間が一つの組織から出てきてしまうと、すぐに弱体化します。」とおっしゃいました。私は、もっと具体的なビジネス的なことについてお話されると思っていましたので、とても印象的でした。

考えてみれば、縁起でもないのですが、ノースアジア大学から、すごく悪いことをする人が出てくれば、就職率が良いとか人気が出てきたと今は言っていたとしても、すぐに全部ダメになって弱体化してしまいます。それと同じで、相撲界は組織から悪いことをする人が続出して来た、と言うことなんですね。

ところが、これだけ１時間近く相撲界のピンチをお話してきましたが、相撲界は生き残ったばかりか人気が出てきて、朝５時に並んでも当日券が買えない

くらいになってきたのです。私は手術をしてから、「力士が落ちてくる席はだめだ」と、ドクター・ストップがかかったので、権利を他の人に渡してしまいました。今なら１日50万円でも買いたい人がいるらしいです。勿体無い話ですよね。それだけ払っても見たいという人がいる訳です。

どうしてあれだけのピンチからここまで立ち直ったか、ということは興味のあるところです。時代にも負けなかった、世論にも負けなかった、組織から悪い人を出しても負けなかった。ここには戦略がいくつかあるんです。その戦略を相撲史からずっと見て調べてみると、すごく面白いことに気が付くのです。これはあくまでも私が相撲史を見て感じた個人的見解です。

まず一つは“強い者につく”です。これは、「ダーティだ」とか、「あまりにも姑息だ」とか言う人もあるとは思いますが、角界は千年以上昔から、徹底して臆面もなく強い者についています。例えば、常にずっと天皇を頂点に大切に載いてきました。まだ相撲協会はありませんが、皇神（すめがみ）として天皇と共に相撲は栄えてきました。起源として神や天皇とのつながりを語りながらステータスをアップしてきました。

その後、中世になってからも“強い者”に付いています。中世は貴族の時代ですから、貴族に付きました。天平６年（736年）のことです。あまりにも古くてピンときませんね。どれくらい古いかと言うと、聖徳太子の死後120年しか経っていない時です。当時は相撲協会などはありませんから、これは宮廷儀式になるのですが「相撲の節会（すまいのせちえ）」という天覧相撲を始めました。御簾の奥にいらっしゃる天皇の前で、貴族が主催して美しい技芸を見せました。舞や戯曲、音曲、手品のようなものなどの美しいのもを見せて、天皇に楽しんでいただくことを目的としていました。その中の重要なものが相撲でした。

相撲は徹底して強い貴族に付いていましたから、この頃の相撲は戦いではなく、美しい技芸です。当時は“西・東”とは言わずに“右・左”と言っていたそうです。天皇の前に力士が出てくるときに、右と左から出て来るのです。そうすると、今で言う東側から出てくる力士は髪に瓢（ひさご）の花（瓢箪の花）を差していて、西側から出てくる力士は夕顔の花を差していたというのです。瓢の花は朝日を浴びて咲き、夕顔の花は西日を浴びて咲きます。だから両側からそれぞれの花を差して出てくるので、その道を“花道”と言ったという説があります。これはいろいろな説があって断言はできないのですが、“花道”は400年間貴族に付いていた時に、完成したものだと言われています。別の説を唱えている学者もいますが、私は個人的にはこの説が好きで、絵も残っていたりするので、いかにも貴族的な発想だと思っています。こうやって徹底して貴族のセンスも

取り入れて相撲は存在していました。

それから“弓取り式”も貴族の時代には、“立ち会い舞”と言って舞の一種だったのです。美しい装束を身に付けて舞っている絵が残っています。完璧に“貴族の優雅な文化”が相撲の中に入って、それを400年やってきました。

そして貴族が没落すると、今度は武家時代です。武士・大名の時代になりました。もちろん天皇は別としても、あれだけ貴族的な相撲をやっていたのが、一気に武士に付きました。それでどうなったかというと、技芸から武芸になりました。強さが求められて“心技体”、技は技術で“勝ち負け”のあるものになりました。武士に付いたからです。

織田信長や伊達政宗などの武士達が有能な、お抱え力士を持つようになりました。谷風という力士は仙台の出身でしたから、伊達政宗に付いて伊達関（だてがせき）という四股名を名乗っていた時代もあるくらい、おらが故郷の武将の匂いがずっと残っていたのです。武士の時代は“負けてはいけない時代”でした。谷風と雲州出身の小野川は両方とも横綱でしたが、相撲は仙台と雲州の代理戦争のようなもので、後ろに藩主がいるので、お互いに負けるわけにはいかなくて、何が何でも勝たなければなりません。貴族のときのように、花を髪に差して、優雅に舞うようにしたりはできませんでした。武士に付いて500年ほどの間で、相撲は勝負の匂いと武家文化を身につけました。

この約900年が、現代の相撲の原点になっていると思います。ですから、今テレビを見ていても、貴族的なところと、武士的なところが微妙に入り混じっています。ここが相撲の解釈の難しいところでもあります。そういう訳で、武士について500年間守ってもらい、その前は400年間貴族に付いて守ってもらった訳です。

江戸時代になると、武家社会が終わってしまいました。そうすると、今度は幕府に付きました。強い者です。天皇の場合は“天覧相撲（てんらんずもう）”と言いますが、今度は将軍が見る“上覧相撲（じょうらんずもう）”も始まりました。それで、相撲界が凄いのは、この時はまだ相撲協会はなかったのですが、幕府という強いものに守ってもらうという中で、漠然と守ってもらっていないのです。1750年代に、既に組織をまとめようという意識が出てくるのです。そして「相撲会所（すもうかいしょ）」を作り、相撲界の組織を万全にしようとする動きがありました。この時は幕府に付いていたので、安心感もあったのだと思います。

そして、先ほど申し上げた明治維新の“断髪令”と“裸体禁止令”になって行きます。それをどう乗り越えたかというと、いろいろな説がありますが、天皇と強い政治家や官僚に付いたことは大きい新しい時代の中で、自分達の生活

や伝統や文化を自分達だけでは守りきれない、と考えたのだと思います。明治維新の翌年、明治２年（1869年）に九段の招魂社で、相撲の奉納をすることになりました。九段招魂社は今の靖国神社です。まず靖国神社で、髷をつけて裸で力士たちは奉納相撲をしました。次の年には、明治天皇が初めて陸軍の観兵式をやったのです。その時に、すばらしい体格をした上位力士達が“錦旗”（天皇の御旗）を捧げ持って、その観兵式に参加しました。その次の年には、九段招魂社の造営計画で、新しく新殿を作ろうということになりました。その時に、相撲会所は力士達を派遣して、工事に従事させたのです。彼らは力もありますし心も優しいので、他の人達の分まで仕事をするくらい、ものすごく一生懸命に働いたそうです。

やがて時の最強政治家である伊藤博文の力で、ついに天覧相撲が実現されました。明治天皇が、「見たい」とおっしゃったのかはわかりませんが、最強の政治家である伊藤博文がまとめて、明治17年（1885年）に実現しました。これによって大相撲は認められた訳です。招魂社への尽力も評価されれ、大相撲は社会的にも認められて、維新の危機も乗り越えました。“断髪”も“裸体禁止”も従わなくても良い、となって今までどおりになりました。明らかに、これも強い者に付いたおかげだと思います。そこにあるのは、誤解を招く言い方ですが、“きれいごとを言っていない”わけで、死に物狂いでやって来た姿勢があったのです。

その後、大正から昭和に移って行きます。今度は鮮やかに軍部に付きました。軍部が強い時代です。おもしろい話があって、1907年に陸軍が水引幕を相撲界にプレゼントしたのです。水引幕というのは、テレビでご覧になってもすぐにわかります。土俵の上につり屋根がありますが、今は相撲協会の印である桜花を染め抜いた幕が回してあります。あれは、ただ巻いてあるのではなくて北から巻いて北に納めてあるのです。相撲を取っている土俵の熱気や陽気などを鎮めるという意味があって、陰陽道で「北」は陰で水を司るのです。ですから北から巻いて北に納めている。1907年、軍部にぴったり付いている相撲界に、陸軍がその水引幕を寄付した。それには桜花に山型の折れ線一本を染め抜いたもので、陸軍の紋章でした。相撲界はその水引幕をすぐに巻きました。そうしたら、それを見た海軍が今度は桜花に海軍の印である波線が２本入った水引幕を寄贈しました。協会はまた寄贈を受けました。水引幕は２枚になってしまったので、どうしようかとなりますよね。それでどうしたかというと、ここからが全く綺麗ごとではなくて、見事なところです。２枚の幕を代わり番こに使って両方の面子を立てました。

大河ドラマを書いていて良く分かったのですが、武士達は自分達のお家を守るために“両方に調子良く上手く付く”ということもやっていました。そうやって守ってきました。協会も同じように、しゃらっと両方使って、ある意味、生き残ってきたのです。私は論文を書くときにその頃の新聞を調べてみましたら、当時の新聞記者さん達が怒っている文章が結構ありました。「あんなことでいいのか」、「あまりにも節操が無いのではないか」というのもありましたが、それでも協会は平気で強い両方に付いていました。

今、私は“協会”と言う風に話してきましたが、相撲会所から財団法人大日本相撲協会にきちんとなったのは、大正14年（1925年）で昭和も間近な頃でした。それが今の相撲協会の前身です。ここもまた、軍部に守ってもらおうという意識がありありなのですが、大日本相撲協会の初代の協会長が陸軍大将でした。それから理事長が陸軍主計中将（しゅけいちゅうじょう）、そしてその後も協会長に海軍大将をつけています。そうやって徹底して軍部に寄っていたわけですね。

反対する人もいるかもしれませんが、こういう発想は男の人ものだと思うのです。こういう発想がなければ、相撲もここまで生き残ることができなかったと思います。男女の発想の違いには、それぞれ良い所がありますが、女の人の場合、強いものに付くとか陸軍と海軍を代わり番こに使うとか、協会長に軍の大将を付けるとかいうことを潔しとはしないのではないか。そう思えてなりません。相撲界は男の発想があればこそ、ここまで生き残れたのだと私は思っています。現在の社会で、こういうことを融通無碍というか、すぐにあっちこっちに上手く変わって“ひらひら”とやっている人たちも多いと思うのですが、生き残ることの一つの哲学としてはあり得るでしょう。相撲界にしても、ここまで男達が頑張って守ったということは、見事で面白いことだと思います。

それから、もう一つ生き残るためにしてきたことは、組織を固めることです。そして、その固めた組織に体力をつけるということを、協会は江戸末期から徹底してやってきました。ある時、あるプロのスポーツの人達から、「相撲協会はどうしてあんなに組織に力があるのでしょうか。」と聞かれたことがありました。私は、「それはもう、江戸末期からやっていたんですからね。」と答えると、その歴史と手腕に「うーん。」とうなっていました。やっぱりあの時代に強いものには付きましたが、ただ強いものの顔色を窺うだけでなく、組織を固め、組織に体力をつけるために戦略を展開してきたのです。それが一番わかるのが、先ほど申し上げた相撲協会の前身の“相撲会所”です。これは江戸中期の1864年にはあったと言われています。形を整えたのは、宝暦年間で1875年だろうと言われています。相撲協会の形ができて、どんな内容かまではわかり

ませんが福利厚生も整って、形になって行きました。そして大日本相撲協会ができたわけですが、組織を固めるために協会の具体的な動きというのは大変なものなのです。

例えば、昭和32年に出羽の海親方が割腹した原因は、協会の諸問題を国会で問題にされたからと言われていますが、同年には相撲教習所を設立しています。私は論文を書くために、北の海理事長の許可を得て１年間相撲教習所に通いました。相撲教習所は国技館の中の一角にあって土俵３面と教室があります。入門した新弟子は、ここで必ず６ヶ月間の実技と学科を受けなければなりません。後に横綱になるような人もです。受け身の取り方や股割り、まわしの取り方など分かっている人もたくさんいますが、講習を受けなければなりません。

実技には差別があります。今の時代は差別がいけないことになっていますが、相撲教習所ではABCと３つの土俵があって、Aは良くできる子、Bは普通、Cは全くできない子となっています。受け身などもCの子たちは上手くできないので、親方や指導員が教えていきます。ぶつかり稽古もはっきりと差別して行います。面白いのは、Cの指導員が見ていて、「お前はBに行け」と言ったり、Aの指導員が、「お前Bに下がれ」などと平気でやっているわけです。これは普通の小学校ならば人権問題です。散々朝から土俵の稽古をやった後で、泥着（どろぎ）といわれる浴衣を着て、教室で相撲史や法律、運動医学、書道、話し方などの勉強をします。私も一緒に講習を受けました。朝から稽古していますから、皆疲れて寝てしまいます。教室には兄弟子が竹刀をもって回っていました。私は寝ている子を竹刀で打つのかなと思って見ていましたら、浴衣の襟から背中に竹刀を入れるんです。そうすると背中が真直ぐになって、目を覚まさせられる。半年間の勉強の後にはテストもありました。講師は一流の大学の先生が来て下さって教えていました。

話し方はNHKのアナウンサーが講師でした。電話の受け取り方もやっていて、「“親方はいらっしゃいません”ではなくて身内なんだから“不在にしています。”と言うものだ」とか、「“女将さんに聞いてみます”ではなくて“さん”は要らない」など、ちゃんと教えていました。相撲教習所は昭和32年からあります。私が通っていたときは、エストニアから来ていた少年が新弟子でいました。把瑠都ですね。最近、「いよいよ大関か」と言われている力士もいました。相撲教習所はすでに60年間、変わることなく動いています。

その次の年には相撲診療所を開設しました。慶応病院系の先生達が診療に当たっています。私は怪我をしたときに、ついでにいろいろなところを見せてもらいました。内科、外科、理学療法科、整形外科があって厚生委員がしっかり

見ています。相撲協会の中には医務委員会というものも置かれていて、年に２回の割合で力士の健康診断や健康管理に当たっています。今はドーピング委員会というものもあります。そうやって厚生面をきちんと管理している上に、昭和30年には懸賞金も今の形に統一しました。懸賞の中には１本６万３千円が入っています。今の稀勢の里は、たくさんいただいていますが、右手で手刀を切った後､両手で丁寧に受け取っています｡朝青龍はガッツポーズのように持って、私に叱られました。中身の６万３千円からは所得税が引かれて、その他に協会が放送料や雑費で５千円を抜きます。その内の２万５千円だけ力士に手渡します。残りをピンハネするのか、というとそれは違います。それは全部協会がその力士の名前で積み立てています。引退するときに全部渡すのです。バトミントンの若い選手が大きな賞金をもらって生活が乱れたために、オリンピックに出られなかったという悲劇がありました。幕内の遠藤などは給与の他に１千万円くらいもらってしまいます｡だけどそれは協会が天引きして積立てて、生活が乱れないように目を光らせています。

お金である程度は評価しなければならない、という考え方が前からあったのだと思いますが、給料の他に、十両以上の力士には年６回の本場所では“力士報奨金”が出るので、非常に複雑な計算になります。十両以上になったことがある力士であれば引退するときに、“力士養老金”というのが渡されたりして、他のスポーツ界にはない制度だと思います。一度に大きなお金を手にするというのは、相撲より他のスポーツの方がもっともっと割りの良いものはあると思います。ただ相撲は十両になったら万全です。これも自分達の組織に体力を付けてきたからこそでしょうね。

時間がなくなってきてしまいましたが、もう一つ体力をつけてきたということでお話したいのが、“茶屋制度”です。昭和32年に社会党が、「儲けているだろう」とすごく突っ込んできたのは、この茶屋の経営だったのです。皆さんが国技館にいらっしゃれば、すぐに分かると思いますが、正面の入り口とは別に脇の方に茶屋がずらっと並んでいる茶屋通りがあります。１番から20番までのお茶屋さんが並び、江戸時代の面影を残している光景です。昔は芝居茶屋など色々とあったそうですが、今は残っているのは相撲茶屋だけになってしまいました。そこはチケットを売ったりお土産を用意したりしています。それに相撲は席で飲食ができますから、相撲茶屋を経由して飲食の注文をすると、籠に焼き鳥やビールなどを入れて、茶屋のお兄さんがたっつけ袴で席に届けてくれます。食べ終わったあとの片付けもしてくれます。この茶屋制度は江戸時代に自然発生したそうなんです。賛否両論のある制度ですが、相撲場のらしさは

確かに醸し出しています。

大衆はとても移り気です。嫌と言うほど、皆良く分かっています。今はこんなに混んでいますが、相撲が面白くなくなったら、またすぐにお客がいなくなります。それと同じで、あんなに人気がなかったのに、ここまで復帰したのも大衆の気持ちなんです。私は小さい頃から相撲女子でしたが、昔はそんな女の子、ほとんどいませんでした。相撲が好きだと言うと、「いやらしい」、「男の裸が好きなんだ」と必ず言われました。今なら、石を投げれば相撲女子、「スー女」に当たるほどです。角界は江戸時代に、大衆は移り気だということに気が付いたのだと思います。

明治41年に両国国技館ができた頃、国技館の中にお茶屋さんが20軒入りました。むろん江戸時代からお茶屋はありました。チケットはお茶屋がまとめて買って、それを一般に売っていました。ですから相撲人気がなくなれば、まとめて買ったチケットが残ることもあります。たとえば、お茶屋が100枚チケットを買っても、お客さんが30人しか来なければ70枚は売れ残ります。その70人分はお茶屋の損になります。でも相撲協会は全然損をしていないのです。だから、冬の時代をも乗り越えられたわけで、相撲という伝統には茶屋制度抜きにしては乗り切れなかったのではないか。私はそう思っています。また、人気が出れば、飲食物やお土産がたくさん売れることもあるわけで、ずっと“持ちつ、持たれつ”の関係でやってきました。それを見た社会党が、「儲けてる」と問題視したのです。財団法人は営利とは無縁でなければならないのです。

結局、茶屋を会社組織にして、従来の「高砂屋」とか「四ツ万」とかの屋号を廃止。１から20の番号制にしました。ただ仕事内容は茶屋時代とほとんど変わりません。ただチケット販売などには一部規制ができたりしています。話の続きはまだ大分あるんです。今日は時間がなくなってしまったので、ここで終わりますが、もう少し“生きのこり”のお話をしたいと思っています。どうやって実際に今残ってきたのかについて、まだお話したいことがあるのです。私の話は、明日あさってに暮らしに役立つ話ではありませんが、心意気として何か引っかかるところが、皆さんの中にもあるのではないかと思います。またの機会ということで、すみません。終わります。ありがとうございました。

海老川　相撲界が生き残ったのには、したたかな戦略と戦術があったというお話で、私も非常に勉強になりました。皆さんからのご質問を受け付けたいと思います。先生にお聞きになりたいことはございませんか。稀勢の里の化粧まわしがどうしてあの絵柄になったのかなど、聞きたいことなどはございませんか。お手を

上げて氏名を名のられてお願いします。

内　館　　質問がないようですので、稀勢の里のお話をします。

稀勢の里が横綱になったときに新聞に書いたものがあって、その文章がすごく反響が大きくてびっくりしました。この話は前回もしましたので、お聞きになった方もこの中にいらっしゃると思いますが、私は、裏切られても、裏切られても、裏切られても、稀勢の里が好きだったのです。本当に良い力士だと思っていました。“萩原”という本名を四股名にして取っていたときから凄く好きでしたが、誰もがもっと早く横綱になると思っていたはずです。とにかく大関までは一気に出世しましたが、彼はその後、ならないわけなんです。それどころか優勝もできません。良いところまで行っても土壇場になると負けてしまうことが続いて、先に照ノ富士が優勝しました。照ノ富士は関脇時代のときでした。４人の大関（照ノ富士、稀勢の里、琴奨菊、豪栄道）の中で稀勢の里だけが優勝できなかったのです。琴奨菊が優勝したときには、「こんなことがあっていいのか」とショックでした。誰も考えてていなかったと思います。でも琴奨菊は“琴バウワー”なんて人気も出て、「横綱か」なんて言われて盛り上がったりもしました。その後、豪栄道が優勝して、「優勝した。次は横綱だ。」とテレビも新聞も騒ぐわけです。私は、アンケートが来るたびに、「次の横綱は稀勢の里」と答えていましたが、そういう人は段々少数派になって行きました。でも私はいつもテレビに向かって、場所を見に行ったときは土俵に向かって、小声で「大丈夫。バスがだめなら飛行機があるから。」と言っていました。

これは何かと言うと、私が会社に勤めていた時に、周りのみんなが次々に結婚したり、良いことがあったりして退職していく。つまりバスに乗って遠くに行ってしまうのです。私はいつもバスに乗りそこね、いつまでも同じ所に立っているままでした。その頃、私が勤めていた三菱も日立や東芝などにどんどん抜かされて大変な時期だったのだろうと思いますが、その時の社長が言ったのは、「心配するな。バスがだめなら飛行機がある。」だったのです。その社長は牧田興一郎という人で、もう亡くなりました。当時20代だった私は、この言葉を聞いて目が覚めました。飛行機だと、先に出発したバスを追い抜いて早く目的地に着くんですね。私は会ったこともない稀勢の里に、勝手にこの言葉をつぶやいて、「いいの、いいの。あの人達をバスに乗せておけばいいのよ。」と言っていました。そう言っていたら、平成17年初場所に、とうとう稀勢の里のところに飛行機が着陸したのです。彼は実直な人でしたので、それまでの間、腐らずに一生懸命稽古に励んで力を蓄えて来ていました。だから着陸した飛行

機にさっと飛び乗って、ビューンと他の人を追い越して、１回しか優勝していないのに第72代横綱になってしまいました。世の中には確かに、「バスがダメなら飛行機もある」ということがあるのだから、飛行機が来た時に乗り遅れないような努力が必要なんだと思います。そんな熱っぽい話を、めずらしく新聞に書きました。そうしたら、とある六本木のレストランの今風のお兄さんに、「内館さん、やっぱり飛行機ってありますよねぇ。」と声をかけられて、“こいつも元気づけられたんだ”と思いました。これも生き残りのため、自分を鼓舞させるひとつの方法だと思います。

稀勢の里の怪我は心配なのですが、私の知っている千葉大学の外科教授に聞きましたら、「あの怪我は治るので大丈夫。」とおっしゃっていました。前回の横綱審議委員長をされていた外科医です。詳しく説明してくださって、「力士の怪我には治るものと、治らないものがある。稀勢の里の怪我は治る方のもの。」と言うことでした。他にも胸腕筋や第２何とか筋などについて教えてくださったのですが、良くわからないこともありましたが、とにかく、「稀勢の里の怪我は治るだろう。」とおっしゃっていました。私の本音としては、次の７月の名古屋場所は一場所休んで、９月場所に万全で出場して欲しいなという気がしています。ここで無理して稀勢の里がだめになったら、また相撲人気が落ちますよ。高安だけでは無理だと思います。ただ、高安の胸毛を拾ってお守りにするというのが流行っているらしいです。

何とか稀勢の里に頑張ってもらい、それに優勝を持って行かれた白鵬が、「ただじゃおかない」と思っているでしょう。見ごたえのある、場所になるのではないかと思います。ありがとうございました。

海老川　内館先生、ありがとうございました。内館先生に今一度お礼の拍手をお願いいたします。そして、ご来場の皆様、次の講演会にもぜひお越しくださいますよう、よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

〔講　演〕

ノースアジア大学　総合研究センター主催　講演会

「〔新政権(？)の行方と借金大国日本(1000兆円超)の明日〕―人口減少時代の日本の10年後を予測―」

講　師　東北福祉大学特任教授
　　ノースアジア大学総合研究センター客員教授　　福　岡　政　行

司　会　ノースアジア大学総合研究センター長
　　本学経済学部教授　　海老川　寿美夫

日　時　平成28年９月４日　午後１時～２時30分

会　場　ノースアジア大学　40周年記念館271教場

海老川　皆様、お暑い中を福岡先生のご講演会によくいらっしゃいました。福岡先生のご登壇です。今日は福岡先生におかれましては、とても有益なお話をお伺いできるということで、ご期待ください。では、先生よろしくお願いいたします。

福　岡　今日は日曜日なのに、どうして大学で講演をしているのでしょう。でも、皆様にお集まりをいただいたので、今日は、夜焼き肉を食べようと思って、お話します。今日はレジュメがおそらく５枚ありますが、最後の20分はそれに添ってお話をしますが、とっても深く、踏み込め切れないくらいの内容です。

一昨日、飛騨高山の某観光大学で講演をしました。講演が終わって懇親会になったら、参加していた松本市の職員が来て、「先生、もう10年後、日本は生きていられませんね。」と話していました。最後の方でその話もします。今日は幸い70歳以上の方が何人もいらっしゃいますね。笑わないで下さい。大丈夫かなって思っているということです。お孫さんや曾孫さんのことを思うと、秋田県だけでなく、日本中で大変だなということです。

そろそろレジュメがほぼ行き渡ったと思います。この夏、いろんなことがありました。私は来週が誕生日で、今年71歳になります。それまで生きていられるかどうかは、わかりませんけれども。

５月に、前にもお話した、原発反対のシミュレーションの本を、結果的に講談社と東京新聞に断わられて、自費出版しました。800円から900円になります。ブログなどで見ていただければ分かると思います。是非皆様には見ていただきたいし、なかなか怖い内容の本です。今日のレジュメにも少し書きました。右下に手書きで②と書いてあるレジュメの一番上にあります。

先月のことですが、８月26日（金）夜の11：50からの約１時間の NHK 番組「どこに向かう日本の原発政策」を見られた方はいますか？見ていた方はいなかったでしょうか。NHK の解説委員室の７人が出ていて、７人中６人が原発再稼動は絶対にしてはダメだと、ということを生番組でやりました。その中の１人、以前の講演会でも触れたことがある水野倫之さんという若い感じの方が、解説委員をずっとやっていましたが、その番組のせいか降板になりました。大越キャスターは、大阪に異動となりました。その番組の中で、７人中６人が、原発を再稼動させたら、こんなに福島は大変なのだということを、生放送で徹底批判したのです。そうしたら、ものすごくインターネットで反応が流れました。私もたまたま放送を見ていました。そうしたら、いろいろな人から、「先生だけでなくいろいろな人が、あのように言っているのだから、日本の国は絶対に再稼動させてはいけないのですよね。」と言われました。本の中には、そ

の事も含め、三度許してしまった原子力爆発について書いてあります。既に3,000部売れたので、元はとれました。

私は、山形県東根市のさくらんぼ大使をしているので、俳優の渡瀬恒彦さんや吉永小百合さんなど先輩など20～30人位に、毎年さくらんぼを贈っています。70歳の古稀になったので、白鷗大学を定年退職しました。その後名誉教授になって欲しいと声がかかりましたが、報酬はないとの話でした。退職金をもらいましたし、これからは年金がもらえるので、その話についてはお断りの手紙を書きました。そうしたら私は無職になりました。周りの人が、「先生、生活は大丈夫ですか」と心配してくれましたが、ダメだとも言えません。そういう時にふと自分の人生を振り返ってみようかなと思って、幼い頃からのいろいろな人との出会いについて書いてみました。

あまり大きな声では言えませんが、私は大学生の頃からいろいろな遊びをして、結婚も複数回しています。今の奥さんは50歳そこそこです。たまたま日本有数の公認会計士である同級生から、「お前くらい幸せなやつはいない」と言われています。息子が１人いて、孫が３人います。孫は可愛くてしかたないです。大学・大学院と遊学させてもらって、地位や名誉や財産はなくてユニクロの服も着るけれど、「お前くらい楽しい人生ないよ」と言われたときに、幸せってなんだろうって思います。晩節を汚す鳥越俊太郎さんでは、嫌ですね。弟子のライターが週刊文春の記事を書いたので、もっとひどいスキャンダルも知っていて嫌なものです。

私も70歳を過ぎてまだ秋田の大学に呼ばれて講演し、日曜日なのに200人近い方が集まってくれる。その時に人の人生はいろいろな人との出会いの中で、相田みつをの「つまづいたっていいじゃないか」ではないけれど、やっぱり人間なのだから立ち上がって頑張ればいいと思って書き出したら、１週間で200字を500枚書けました。それを今、出版社に出しています。

８月に入ってアベノミクスがダメになったときに安倍晋三が、たしか８月２日だったと思いますがアベノミクス第２段の「一億総活躍社会」を言い始めました。そうしたら学生が、「先生、日本は１億2,700百万人ですけど、2,700万人には秘密があって、75才以上の後期高齢者や小さな子供たちは入っていないのですかね。」と聞いてきました。そんなことでなぜ、「一億総活躍社会」なのかという話です。

私はだいたい月に２回ほど、大学時代の同級生で弁護士になったのと、一部上場企業の会長をしているのと、元公務員の４人とで「四酔人経綸問答」をしています。中江兆民の「三酔人経綸問答」ではなく４人で。お酒が入ってくる

と皆、元はジャーナリストです。「一億総火の玉だと！」と話しています。安倍晋三の発想は全部、戦前の「国家総動員」からきています。だから2,700万人の、今日ご出席している方も含めて「活躍できない人はいらない」ということで、火の玉になるから一億総活躍社会なのです。これは許せない、と思っていたところ、たまたま乗ったタクシーの運転手に、「先生、最近何故テレビに出ないのですか。あの辛口のコメントを聞きたいです。」と言われました。最近は、昔のような辛口のコメンテーターが誰もいなくなってしまいました。

そう思って、私は８月のある日から、高校・大学の受験の頃以上に、毎日勉強し始めました。１日15時間ベッドの上で書いているので、次第に腰が疲れますけれど。それで２冊目の本は『ブラック国家日本』。日本という国は優しくない、ブラック企業ならぬブラックな国です、という本でサブタイトルは「安倍能天気政権」です。“ノーテンキ”こんな変な奴はいないという思いで書き上げました。インターネットで検索すると分かると思いますが、15年前に講談社から『十年後のニッポン ―あなたは残れない』という本を出しました。10万部売れて印税一割で1,300万円くらいの収入になりました。そうしたら、その本を見た人達が、あれを書きなおして『新十年後ニッポン』として、つまり2025年問題についてやったらどうかというのです。2025年問題とは団塊の世代、昭和22・23・24年に生まれた700万人の人達です。昭和19・20・21年生まれは結構体が弱くて、途中で亡くなったりしていて余り長生きしていません。ところが団塊の世代は小さな頃から喧嘩して育ったので、結構丈夫で長生きです。この団塊の世代が、ここ４、５年で全員シルバー世代になって、現役を引退しはじめたので700万人分の仕事が余って、有効求人倍数が上がってきているのです。有効求人倍率がすごく良くなってきているといっていますが、10年後のことを書きだしてみたら、最後のレジュメで触れていきますが、今はとても大変な時代です。

これからは、AI の時代です。空港では、立ち止まっている人に、ロボットの女の子が近づいてきて、「なにか御用ですか」と話しかけてきます。ニュースで放送していたのを見たでしょう。あのようなのがどんどん出てきたら、人が要らなくなってきます。大学の先生もいらなくなってきます。10人位の先生でノースアジア大学は成り立つようになってきます。

皆さんは人と会って話したい世代ですが、今の若者は違います。インターネットで見れば良いのです。自分の好きな時間に好きなことが見られれば良いのです。授業も同じで、単位も検定を受ければ良いと考えています。あとはAI&IoT、全てのものはインターネットに繋がっていれば良いのです。ソフト

バンクの孫正義社長が、スマートフォンの中の何かを何兆円かで買いましたよね。あれがAI&IoTです。本当にそうなるかどうかはわかりませんが、とにかく日本の国は大変な時代になるということです。

繰り返しますが、とにかく“原発反対”の本を書きました。その後に“人との出会いが人を作っていく”という話の本を書き上げて、“ブラック国家日本”という本を書き上げて、なんと１週間前から『十年後の日本』、2025年の日本はとても暗くて生きていられない、夜の川反のようになります、という話の本を書いていて、本を３冊出しましたという報告で、一つ目の話です。

二つ目の話、プーチンが12月に山口県の長門市というところに来ます。警備が簡単な島が出ているような場所だったからではないかと思っています。昨日なぜか、２泊の予定でウラジオストックに安倍晋三が行きました。プーチンはムッとしていましたが、取引をするつもりはけれど、様々な経済協力はしたいようです。

北方領土問題は引き分けです。この間、鈴木宗男とも「先生、あれは引き分けですから」という話をしました。手前の小さな島と国後島３分の２でちょうど面積半分です。これで領土問題は解決をし、そこに国境ができます。もう余計なことはやめて、おそらく20年間経済協力を満了して、その後に領土返還となるように話は進んでいるのではないかと思います。その話の背景にあるのが、ノーベル平和賞です。どうしてかというと佐藤栄作は沖縄返還でノーベル平和賞を受賞しています。佐藤栄作は安部晋三の母方の祖父、岸信介の実弟です。ノーベル平和賞だからあれほど彼はプーチンに入れ込んでいるのです。ウクライナのことを考えたらヨーロッパの人達はプーチンのことを許さないように思うのですが。

昨日はウラジミールと呼んでいましたね。オバマはバラクでもいいように思えますが、何だか違和感があります。彼にはそういう下心があるので、私は安倍晋三の元ブレーンですが絶対ダメだと思って、そういう彼をボロクソにして本を書きました。佐藤栄作もノーベル平和賞にそんなに値するかというとそうでもないのですが、長い間沖縄返還や核の廃絶に関わっていたこともあって、周りのブレーンがスウェーデンかフィンランドに行って手続きをしたので、受賞できたのでしょう。

８月８日、天皇陛下が生前退位について国民にビデオを公開しました。約11分間､陛下はずっと座られてお話になりました。高齢化社会のお話とともに､「私は生前において退位をしたい。昭和天皇が亡くなられた時にたくさんの行事があって大変だった。私は高齢になり、公務がなかなかできなくなってきて

いる。行事も大変になってきたということも含め、辞めさせてもらいたいのだが、象徴天皇なので政治的なことは決められないので、お願いしたい。」ということをお話になりました。原因の１つとして、特に去年でしたか富山県か何かの大会で、ご発言の順番をお間違になり、皇后陛下からお声をかけられる場面がありました。それ以来、陛下はとても気にされていて、やはり高齢になると公務の席で１時間以上座っていると姿勢が乱れたり、体力的に大変になってきたということと、平成天皇が即位されたときの年齢に皇太子が達せられたということもあって、のんびり好きなことをしたいとの思いのようです。ただ、歴史上、南北朝時代のようなことがあって、法皇や上皇などの兼担があるかもしれないということは、今はないのですから、というようなことでこの様な問題が出てきました。

憲法９条については度々お話してきましたが、友達の１人が、「安倍晋三総理大臣より、天皇陛下の方がリベラルだよね。はるかに平和について思っている。」と言っていました。今度そのことを書こうと思っています。陛下をリベラルと使って良いかは分かりませんが、そのくらいそのお気持ちが大事だと思っています。

民進党の蓮舫の旦那さんは私の助手です。早稲田大学ラグビー部の出身で、早実の野球部の清宮幸太郎のお父さんの先輩です。後輩の面倒見が良く、学生の就職活動にも協力してくれて、公務員や新聞社などの間に入ってくれるいい人です。蓮舫は今、破門中です。あんな怖い顔をして話している姿を見ると、何であんなふうに話さなければいけないのでしょうと思ってしまいます。蓮舫のお母さんはミス神戸のような、とても綺麗な方で、お父さんは台湾の方です。新宿でスナックをしていて何度かお店に行った事があります。

あまり興味はありませんが、この先は蓮舫が勝ちます。小池都知事の次には民進党の蓮舫で勝って、その次にはヒラリーが大統領になって、錯覚と誤解の女性のリーダーが増えてきますが、はたしてどうなるかわかりません。

小池都知事ですが、７月末まではなるべく、とにかく隠れて何とかしようと思っていたところ、都議会自民党が岩手県の増田寛也県知事を擁立しました。こんな真面目で立派でいい人はいません。使い勝手が良くて頭は最高に良いです。だけど東京都民には嫌なところがあって、「何で岩手の知事が東京の知事に？」、「田舎の殿様がなんで東京に？」となるのです。その結果が、得票数約160万票となりました。知名度はないけれど、能力は立候補者の中で一番ありました。けれどもそれ以上の能力はありません。何かを変えるということは霞ヶ関の官僚出身者にはできません。それで最後の土壇場で、友人でもある古賀茂

明が、「野党共闘ができて共産党が協力するのであれば出る」と言いました。でも、彼では知名度もないし、良い人だけれども体調面に不安がありました。そんなときに、岡田克也と何人かが担いできたのが石田なんとかではだめだから、鳥越俊太郎氏でした。だけども出ると言った瞬間、私たちはすぐに女性問題のことで大変だなと思いました。そして、もうあの通りの結果です。結果130万票前後くらいの得票だったでしょうか。蓮舫の７月の東京都の参議院選挙区での得票数が110万票くらいでした。もう１人名前が上がった宇都宮健児さんは、私と反安保闘争で一緒になった人です。この人は普通の弁護士で日弁連の会長さんで、とても優秀な方です。私より２歳くらい若い方ですが、最後は彼も引きました。本当に古賀茂明が出馬するのだったら、私はマイクを握って先頭に立とうと、菅原文太さんが亡き今、それをやろうと思っていたところでしたが、知名度で鳥越俊太郎の方に票が流れていきました。でもその瞬間、週刊文春はスキャンダル記事を出しました。もう１つ記事がありましたが、出す前に女性がすうっと引いていきました。その時小池百合子というおばちゃまが、したたかに出てきました。細川総理大臣が日本新党を立ち上げたときに、細川首相に言われて私はブレーンをしていました。細川政権のとき小池さんは大臣でした。小泉政権のときもブレーンをしていました。小池さんはそのときも大臣です。小泉純一郎総理に呼ばれてホテルに行くと、ちゃんと小池さんが控えていて、「先生、おコーヒーになさいますか？お紅茶になさいますか？」というのです。これ以上は言いませんが、なかなか、したたかな方です。

そして、今回はこうなったら他がダメになって、結果、無党派層は特に女性は彼女に行くしかない、となって290万票です。自民党は３割、公明党も２割くらい、無党派層は６割で290万票でした。安倍晋太郎の票を越すのかというくらい、当日 NHK が気にしていました。

問題はドン内田という都議の築地・豊洲問題なんですが、その市場移転と、お台場の方にオリンピック道路が通るのと、国立競技場の発注はすでに数千億円規模で、いろんな絡みがあります。関係企業が7つくらいあって、そこに内田都議の娘婿がいるとか、懇意にしているなどの話があります。そこで小池知事のブレーン数名のうちのひとり、弁護士の若狭勝という人で東京地検の人間がこの問題に切り込んだのです。皆さんもわかるでしょう。それで森元総理も敵にまわしてしまったのです。格好つけて何百万円もする着物を着て、リオデジャネイロまでオリンピック旗をもらいに行ったけど、その閉会式に安倍総理がスーパーマリオのコスプレで登場してきた。

ところで自民党の任期について３期９年というのが出てきました。今、彼は

既に4年やっています。その前のは１年だったのでともかく、あと４年やったとしても、東京オリンピックは終わるじゃないですか。だから３期３年、９年というのが出てきた。見え見えでしょう。そして、誰も文句を言わない。二階総務会長も、ごもごも喋っているようだったら、はやく辞めろと言いたいけれど、そのくらい永田町は緩んでいます。結局テレビで、「原発反対です」、「安保法反対です」、とちょっときつめに「安倍晋三は何をやっているんだ」、なんて私は平気で言うけれど、全部チェックが入っています。東京都知事選のときに、３回くらいテレビに出ました。フジテレビの昼の「バイキング」というワイドショーのようなくだらない番組です。でもしょうがなく出ましたが、辛口で何か言いうのはすぐストップです。そんなことがあるので、小池都知事はかなり本気でやります。総理大臣には、もうなれなかったけれど、東京都知事でビシッとやって、来年は東京都議選挙だから、もう逆らうのだったら、議会を解散しましょうとなります。それで自分の若い弁護士やいろんな仲間を30、40人入れて、今までの人は全部辞めてもらう。談合で東京五輪の運営費が7,000億円だったのが２兆円になってさらに３兆円になった。東京都はお金があるなんて問題じゃないです。「都民ファースト」と言われると、私たちを一番にしてくれているんだ、というものになるということであります。

次、レジュメ１ページ目の一番下、「人間の引き際の美学」についてです。やっぱり辞める時は一切やめて、惜しまれて辞めるうちが華でしょう。まだやっているのと、言いたくなるような人っているでしょう。森喜朗さんなんてもういいじゃないかと、早く引退したほうがいいと思っていますが、後輩だから言いたくても言えません。福田康夫という総理大臣になった人がいます。元総理のあの福田赳夫の息子です。料亭で森さんに会って、「だめですよ。やる気のない人が総理大臣にやっては」と言ったそうです。「お前、早稲田の先輩だろう、同じ学部じゃないか。そんな事言うな。そういうことで日本の総理大臣を決めないでくれ。だまってそこで飲んでいろ」と言われて、大人しく飲んでいました。

鳥越さんも、何をしているのでしょうね。舛添さんも。お嬢さんや子供たちが可哀想ですよね。学校でいじめに遭ったりしていなければいいのですが。石原伸晃や森さんもね、もういいかな。格好悪いのは、元首相の宇野宗佑です。もう知らない人もいるかもしれませんね。三本指に入ります、髪形がね。あの時に伊東正義さんという会津若松出身の人とテレビ朝日で、ニュースステーションの収録の前に控室で会ったのです。私は面識が若干ありますから、「伊藤先生、総理を受けてください。リクルートで竹下さんが辞めたのだから、皆

が伊藤先生ならと思っています。」と言いました。自宅はトタン屋根で暮らしているような人ですから、臨調で辣腕を振るった土光敏夫さんといい勝負ですから。そしたらその時の有名なセリフで、「福岡さん、そんなに簡単じゃないよ。“表紙を替えても自民党は簡単に変わらない”と言って断ったのです。」と。ニュースキャスターの久米宏さんといろいろ言ったけどだめでした。そうしたら、今度、宇野宗佑がなりました。でも在任期間は２ヶ月（69日）だったでしょ。そのあとは海部俊樹です。私がブレーンをしていたので、女性大臣２名入れて、民間人２人入れていろいろやったけど、やっぱり竹下の言いなりでした。そんなある日、伊東正義さんにある料理屋に呼ばれました。“重箱”という鰻屋にお昼に呼ばれたのです。「福岡さん、いろいろ言われたけれど、私があのとき受けなかったのは、竹下は「“伊東さん、どうでしょうか。いかがなものですか。”とだけ言って一言も“お願いする”と言わなかった。こいつは本気じゃないな、と思ったから受けなかった。」と言いました。今このことは初めて言いますし、今度本にも書きます。人間の引き際ってとっても大事だなと思いました。

筑紫哲也さんは都知事選に出ようとしました。私も出るならマイクを持とうと、秘書になろうと大学に辞表を書く準備もしていました。でも、最後にいろいろ女性のこともあって、彼は辞めました。ただ、いろいろなことがあっても、筑紫さんは晩節を汚さなかったのかなと思います。

レジュメ２ページのNHKの番組のことは先ほどしました。おそらく、私はやり方が分かりませんけれども、オンデマンドで見られるかもしれません。200円くらいで見られるなら、すごいですよ。えらいな、NHK頑張っているな、と受信料を倍払ってもいいなと思ったことがあります。

その次。安倍晋三のお祖父さんは２人いますよね。１人は岸信介、つまり母陽子のお父さんです。もう１人は安倍晋太郎のお父さんで、安倍寛です。戦前、大政翼賛会非推薦、つまり翼賛選挙で大政翼賛会の推薦を受けていなかった。要するに大政翼賛会に入っていなかったこのお祖父さんが翼賛選挙に当選した。晋太郎は、「特攻に“なんだ、お前の親父は”と追いかけられました。」というコメントが残っています。父方のお祖父さんの話は晋三からは一行もでてきません。それは彼がママっ子だからです。安倍晋三の家は３階建てで、２階にお母さんがいて、３階に昭恵夫人がいる。１階は車が入ったり物置だったりします。彼はマザコンで帰ると必ずお母さんのところに行きます。男は嘘でも帰ったらまず３階の奥さんのところに行って、ハグはしなくても「帰ったよ」と言うものです。その後で暫くたってから、「どうしているのかな」と母親のところにいけばいいのです。これを嘘でもやらないから、だから昭恵夫人はい

つも家にいません。

もう１つは、学歴コンプレックスです。安倍晋三の弟は岸信夫という議員の系列で、国会議員です。晋三は三人兄弟の次男坊です。お兄さんは三菱商事の子会社で社長をしています。私も２回くらい一緒にお酒を飲んだ事がありますが、非常に温厚で東大出のエリートのボンボンといった感じです。で安倍晋三は小さいときから成蹊大学、ここは入ったらそのまま大学までいけるのですが、高校のときに家庭教師がいました。秘密だけど平沢勝栄です。附属高校で大学に自動的に行けるのに、普通は家庭教師をつけないでしょう。黙っていても、上がれるでしょう。成蹊とか立教とかは。それは言いません。お酒が入ったときに平沢勝栄には言っていますが。同じ葛飾区なのです、彼と私は。

一昨日、飛騨高山で安倍晋三の有識者会議のメンバーと一緒でした。私は亡くなった恩師に、「御用学者だけにはなるな、早稲田出身の人間は干されても言いたいことは言え」と言われたので、それを守り続けています。

ところで、2015年８月、株価が20,000円以上でした。円は１ドル121円です。そして今日は日曜ですが、今年の８月の株価は16,000円で下向きです。だから企業はこれから大変です。１ドルは102〜3円です。もう景気は下がってきていますが、まだ余韻の中でやっています。こういうふうに金融緩和で日銀があんなにやっても、もう、どうしようもなくなってきています。これからはきっと暗い時代になるのではないか、というのが後半です。

福島原発の話を少しします。「凍土壁」という原発の周りを全部凍らせて地下水が流れ出ない方法にしたのですが、やっぱりこの間の雨で穴が空いてしまってただ漏れしました。もう、それでも一生懸命ポンプで汲み上げたのですが、それでも漏れてしまいました。震災時に「トモダチ作戦」で福島沖にいたアメリカのロナルド・レーガンという航空母艦に乗っていた約400人のアメリカ海兵隊の若者達が、海水を濾過して料理に使い、屈強な隊員達が放射能性疾患になってしまいました。今、日本政府を訴えようとしています。小泉純一郎さんが専門家などとアメリカに呼ばれて行きました。そうしたら30歳前後の屈強な若者の白血球が、やはり変形していて、涙ながらに訴えてきました。「日本政府がコントロールしていると言ったから海水を使ったのです。」「海水は濾過器で真水にすることはできても、放射能は除去できません。」と専門家たちも、彼ら海兵隊員に平謝りしかありません。日本人として何と詫びていいのか、申し訳のできない現状です。今、小泉さんが一生懸命、支援のための資金集めをしています。いろいろな日本の財界から数10億円を集めたいと言っていますが、数億円しか集まっていません。400人近い海兵隊員をバックアップしたい

と思っているので、400億円近くは必要だと思います。お金で済むことではありませんが、そういう問題も発生しています。凍土壁もあわせてアンダーコントロールではない、とNHKの解説委員が言ったのです。そう発言した彼らは、今後この世界で生きていけるでしょうか。

終息はしていません。レジュメにも書きましたが、残余のリスクがあります。専門家は、「原発はコントロールできない、残っているリスクはあるのです」と言い訳を書いているのです。だから、この解説委員達も怒っています。あの原子力委員会の何とかという委員長は、調子がいい人です。あのとき泣きながら委員を辞めた東大の先生がいますよね。良心があったら、原発がこんなふうになってしまったらもうコントロールできないのです。原発は止めるべきです。新潟県知事はそれを訴えていて、いろいろやられたから辞めるのだと思います。

台風10号について。あのニュースを見るのは嫌ですね。あのグループホームの事務局長か誰かのコメントを聞くと、本当に後ろから羽交絞めしてやろうかと思います。「ものの10分でした。あっと言う間でした。」と言い訳をしていましたね。職員が1人しかいなくて、入居者1人は川に流されて遠くで見つかったそうですね。なんのために釜石の奇跡などというものがあったのでしょうか。防災危機管理というのは、まさかのことが起きる前に事前に全部動いて整えておくものです。隣接する建物の高さは3階建てで、歩いていける距離の50m先だったそうです。どうしてこんなことが起きるのかって思います。あれを見ると、ただ事ではないなと感じます。今日にでも、公明党の西なんとかという大臣をクビにしたほうがいいと思います。

2014年の広島の土砂災害の時、前にもこの話はしましたが、もう一度言います。安倍晋三は森喜朗と8時から戸塚カントリーでゴルフをしていました。NHKでは朝6時のニュースから、あの惨事をヘリコプターからの中継で放送していました。“八木蛇落地悪谷（やぎじゃらくじあしだに）”という名前の土地柄です。蛇も落ちてしまうくらいのところです。それなのに、10時過ぎになって、ハーフが終わって、時間調整のためのちょっとした休憩のお茶のときに、例の米潜水艦と衝突したえひめ丸の事故の時の総理大臣である森喜朗が、「安倍君、広島は大丈夫なのか」と言ったので、安倍晋三は、「帰ります」となって総理官邸に戻ったのが11時30分でした。えひめ丸だって問題です。日本の高校生の練習船がハワイ沖でアメリカの潜水艦に突き上げられて、何10人も亡くなりました。それは助からないかもしれないけれど、ゴルフは一報を受けた瞬間に止めるべきです。何もできないかもしれないけれど、総理官邸に入って情報収集をするものです。

アメリカの行動科学の大学の先生の説によれば、危機管理というものは、現

場の状況は何も分からないけれど、知事や市長や政治家などのトップリーダーが、まっ先に現場に駆けつけて、情報を制御して、現場の話を聞いて市民の皆さんに情報を公開するものだそうです。とにかく一刻も早く１人でも多く人命を救助することが、今、リーダーに求められている政治の仕事です。

だから「釜石の奇跡」なのでしょう。２時46分の時点で“てんでに兎に角”逃げる。「どうしようあの子を助けに行かなくちゃ」と孫が言っても、おばあちゃんは、「いいから、いいから」と。私のゼミ生で石巻出身の生徒がいます。その子が震災の時に妹と抱き合いながら、「お父さんは？お母さんは？」と言ったら、70歳くらいのその子のおばあちゃんが、「いいの心配しなくても。ここは下まで津波が来るかもしれないけれど、離れないで一緒にいればいいんだから。死ぬ時は一緒。」と言って、皆で手を紐でつないで耐えていたら、津波から逃れることができて助かりました。その子は今、私のゼミのゼミ長をしています。だけど、そういう子達の話をきいていると、きりがないけれど「まっ先に行く」という気持ちがあるのです。

常総市の水害もありました。我が大学、白鷗大学の野球部も水没しました。みんなで２階に荷物を上げましたが、それでもまさかあんなに大きな川の鬼怒川が、あんなふうに氾濫するとは思いませんでした。まさかのことが起きるのだから、津波だと３階から４階、洪水だったら２階から３階くらいのコンクリートの建物が避難の目安でしょう。そういうことが毎年起きています。そして学者達が出てきて色々なことを言って、弱者たちが死んでいく。なんとも言えないことです。

熊本に11月に中畑清と一緒に行って来ます。もしかすると、都はるみさんも行ってくれるかもしれません。先日久々に連絡があったので、「はるみさん、お願いだから１曲歌ってくれないかな。やっぱり、はるみさんが歌ってくれなくっちゃ」と言ったら、「そうね、なんとか考えるわ」となりました。どうなるかわかりませんが、秋田からもおいしいお酒をいただいて、今度は熊本に届けようかなと思っています。今日も夕方頃からまた台風が来そうですね。６月に熊本に行ったときも雨でした。何の罰なのかと本当に思いました。「まだブルーシートで覆っているのに、台風まで来て一体この世に神様はいるの？」と被災者に言われました。何もないと神様を無視して“頼らない”と思うこともありますが、こうなると本当に何とかしてよ、と思います。

安倍政権、能天気について、“アベウソゾウ”、これからテレビでも喋ります。私はまだテレビがつかってくれます。この間、フジテレビのバイキングという番組に出ました。ディレクターをしている弟子に、「ギャラ20万円くれるの？」

と聞いたら２万円でした。羽鳥さんの番組のモーニングショーでは、外で30分立って何かやって３万円でした。もういいです。もう出演料を沢山くれるそういう時代ではなくなりました。

ここから後半の暗い話をします。電気は消しませんが、お帰りの際は足元に気をつけてください。冒頭で少し触れましたが、団塊の世代がいなくてもいいのに、2025年に後期高齢者になります。今もう怖い顔をしている人がいますが、その年代の方でしょうか。私は10年後に80歳になります。もういなくてもいい年齢です。レジュメは２枚目です。

レジュメの①、話すことをメモしながら聞いてください。さっと進めていきます。人口は今１億2,700万人ちょっとですが、毎年40万から60万人ずつ減っていくので、ちょうど１億2,600万人くらいで100万人くらい減ります。

レジュメ②そのうちシルバー人口は、75歳以上の後期高齢者が2,000万人弱で人口の18％になります。65歳以上のシルバーが1,500万人弱いて12％です。今は25％の高齢者割合が、３割です。みんなかわいい“じーじ”、“ばーば”ならいいですが、“じじい”、“ばばあ”なら大変です。シルバー人口は3,660万人、で全人口の約30％となります。団塊シルバーが後期高齢者になるというのが、2025年問題の核心です。

レジュメ③、一人住まいの高齢者が680万人になるといわれています。シングルシルバーと言います。内訳は女性456万人、男性は半分の224万人です。これはもっと女性が増えて、男性は80歳くらいで亡くなっていくと思います。夫婦ともシルバーは609万世帯で1,200万人くらいです。単独シルバーが問題です。

レジュメ④、ここからが大問題。シルバーの認知症だけで700万人になると言われています。誰が介護するのでしょうか。2012年には462万人弱でした。今は500万人くらいと言われています。その頃には200万人増えます。介護は誰がするのでしょう。川の近くのグループホームに入れますか？切実にそういう話になっていきます。シルバーの５人に１人20％が認知症なのです。これをどうするかです。

レジュメ⑤、シングルマザー・シングルファーザーが約200万世帯になると言われています。今は146万世帯で内訳はシングルマザーが124万世帯、シングルファーザーが22万世帯です。これが合計で200万世帯になっていきます。これらの人は平均給与21万円くらい、手取りで15、6万円くらいです。何かバックアップしてあげればいいのにと思います。

レジュメ⑥、日本人の平均寿命は、今、女性87歳、男性81歳です。10年後

は推定ですが、女性92歳、男性84歳になると言われています。10年後、私80歳だから生きている可能性があります。

レジュメ⑦の結婚する人について、今は同世代の半分で２人に１人です。４人中２人はカップルで２人はシングルで、つまり４人でワンカップルということになります。2015年、皆さんの子供さんやお孫さんで30代前半の男性の半分は結婚していないことになります。35歳から39歳の男性は４人に１人しか結婚していません。女性は30代前半で34％、35歳から39歳で22％です。今も30代の男女は２割が独身です。

次のレジュメ⑧は社会保障給付費についてです。レジュメの数字の単位は「兆円」です。今は年金57兆円、医療38兆円、その他24兆円で合計118兆円です。それが2025年には150兆円になる試算です。109兆円は収入があるので後でお話します。その下、※印のところ（GDP610兆円シミュレーション（ウソ！））は怒ってください。国や安倍晋三のシミュレーションの予測は「一億総活躍社会」で行っています。全部10年後、GDP は全部で600兆円とか610兆円となっています。これは後でデータを示しますが、そうはならないでしょう。この10年で490〜450兆円でしょう。こんなミスでなんとなくバラ色のようなこと言うのです。

４ページ目の右側に移って⑨。GPIF の赤字が第一四半期の赤字で5.2兆円。この１年間で皆さんの年金が10兆円くらい無くなりました。私たちは貰い得だからいいけれど。今130兆円に減りました。去年は141兆円ありました。株価が下がって運用益が赤字になったからです。でも GPIF では自主運用で株や国債を買って運用しているので、この15年で利子がついて40兆円の利益が今はあります。でも、これからは株が20,000数千円に下がって、円も140〜150円に下がっていくので、昔の360円の頃のように利益は出ません。公務員の大学の先生たちの共済年金は40兆円の資金がありましたが、お金が無くなってきて、厚生年金と一緒になりました。このうちの半分は税金か、大学が負担しているから専任の教員は採用しなくなっていきます。非常勤やアルバイト、契約職員にしていきます。だから私もノースアジア大大学の専任教授にして欲しいとは言わないけれど、あくまでも客員教授で給与は言えないけど、それなりには戴いています。

⑩では2025年に消費税が15％に引き上げられています。今の８％でぶつぶつ言っていてはダメですよ。もしかしたら20％と10％の複数税率になる可能性もあります。食べ物や福祉・教育は10％、他は20％かもしれません。20％って結構大きいですよ。だから年金は早めにカットされていきます。

⑪赤ちゃんについて。今年の赤ちゃんは101万人くらいです。去年は102万人くらいだから、もうすぐ100万人を切るかもしれません。18歳の人口は120万人です。10年後の2025年は赤ちゃんはおそらく70万人くらいです。18歳人口は今年の赤ちゃんの数ですから、だいたい104～105万人くらい、106万人には届かないと思います。今の10歳くらいの方が18歳になる頃が106万人だと思います。日本の国はジリ貧大国というか、ジリ貧細々国になる。ちなみのレジュメの※印のところに書きましたが、2045年に日本の人口は１億人を切ってきます。つまり30年後の日本は１億人です。今日ご出席の人で生きている人は数名だと思います。その頃まで生きていたくないでしょう。秋田駅前や川反だって閑散として、成り立っていないかもしれません

それで⑫、大学は倒産ラッシュになっていきます。今年私立大学は577校あります。そのうち45％は定員割れしています。定員充足80％以下の大学は約80校です。経営が苦しくなってきますね。充足率50％以下の大学は10校あります。あと１年か２年しか持たなくなっていくと思います。で、2018年から日本の18歳人口は再び減るのです。これが大学の2018年問題なのです。とある東京の私立大学から、「先生、学長をやってください」と持ちかけられました。「先生、とにかくいろいろなことをやってください」とも言われました。なんとなく気持ちが半分傾いたのです。だけど川反もいいなと思ったり、東京もいいかなと思ったり、ピサの斜塔のように傾いています。

その次の言葉で、とある文科省関係者のものですが、「埼玉以北の私立大学で生き残れるのは、東北福祉大学と国際医療大学だという、僅か説です。東北福祉大学と国際医療大学が残るというのは、卒業生全員が看護や介護の資格を持つからです。国際医療大学は今いろいろな問題を起こしてはいるけれど、ものすごく伸びてきています。栃木の大田原市でしたか、渡辺喜美、美智雄の地元です。そこ以外にも、千葉やあちこちに病院を作っています。私のゼミ生もいろいろな資格を取って、いろいろなところに就職活動に行くのですが、公務員になれないのです。公立幼稚園や保育園の園長先生は55歳で給与がいくらか知っていますか。年間給与は1,000万円です。公務員だからです。認可保育園とかだったら500万円いかないでしょう。30歳前後だったら３百何十万円くらいです。だからフィンランドのように准公務にして、介護も保育も45歳から50歳は700万円くらいでどうですか。とそれを、たった１人民進党の代表選に出た玉木雄一郎君という若い方が言っています。彼が言っているのがそれなのです。子供に100兆円を使おうということです。次はやってもらおうかと思っているので、私を何かの役付にして欲しいと、民進党代表の蓮舫に言おうかな

と思っています。

次が問題です。⑬、私はパソコンができません。携帯はまだガラケーを使っています。レジュメのここの部分はゼミの学生に打って作ってもらって、補足は手書きでしています。

ＡＩは人工頭脳ですね。”IoT” とは「インターネット オブ シング 」のことです。「事や物」はすべて「インターネット」に繋がる。それが、孫正義が買い取った会社がやっている、スマートフォンの中についての部分なのです。詳しいことは分かりませんが。とにかくすべてスマートフォンです。つまり省力で、人間は要らない。経営の原点である人件費の削減するために、いかに人を減らすか、なんです。正職員を少なくして、パートやアルバイト、契約職員を入れる。竹中平蔵の市場原理主義の導入、日本の国にそれが生まれてきたということです。少なくても700万人の雇用が消えますので、失業者は現在の300万人から1,000万人以上になると言われています。そして、介護ロボットが寝たきりの高齢者をお風呂に連れ行ったりします。1人は人間の介護者でやれば、重いところはロボットが持てば腰を痛める事もなくなります。だけれども、人間のようにとっさのときに反応するでしょうか。落としてしまうような事故がおきるかもしれません。人間ならばとっさに腰を痛めても何とかしようとしますが、ロボットは落としてからもキョトンとしていそうです。

この間、東京の銀座線の青山一丁目の駅で盲目の方がホームから転落して電車にはねられて亡くなりました。でも、あの人がいい人で綱を離したから、盲導犬は事故に巻き込まれませんでした。ホームに情けなさそうに座っていたそうです。どんなことがあっても最後は、盲導犬が悪く言われる。あんなかわいい犬たちがかわいそうで、涙が出そうになります。

ホテルのドアマンもいらないでしょう。昨日もキャッスルホテルでドアマンが、普通だったら、「先生、お待ちしていました」というところですが、キョトンとしていました。「お名前は」と聞かれたので、「福岡です」といいました。ホテルは予約していたのでちゃんと用意はされていましたが、「今日はビューホテルに変えようかな」と言いましたら、あわててコンシェルジュが飛んできました。ホテルもドアマンやコンシェルジュがロボットになったら、あらかじめ入力しておいて、“今日は福岡先生が、何時の飛行機でやって来るから、来たら反応しなさい。嘘でもいいから「お待ちしていました」と言いなさい。”とプログラムにセットしておけば良いのです。鍵さえ渡してもらえれば、部屋まで行けます。

昨日、プロペラ機で秋田空港に着きました。ハンディキャップのある人たち

が10人くらい乗っていました。プロペラ機だから飛行機から降りるには５段くらいの階段を下りなければなりませんでした。キャビンアテンダントが一番前で、「大丈夫ですか」と一生懸命に声をかけていました。ですが、機体の近くで待機していた体つきの良い整備達は、手を貸そうともしませんでした。全日空の社長は私の後輩です。私は一番前の席でしたので、ハンディのある子達に先に行ってもらって、最後に荷物を降ろして降りようと思って待っていました。そして降りるとき、荷物を降ろそうとしたら腰が痛いので、「ちょっと」こうやって、そうのような動作をしたら、キャビンアテンダントが、「具合が悪いのですか」と言うのです。「体の具合が悪い人が階段を降りるときは、キャビンアテンダントは下に降りるのだから」と思って怒鳴ってやろうかと思いましたが、そう言ってくれたので笑顔で対応しました。本当は言ってあげなければダメのようです。今度全日空の社長に会ったら、話さなければと思っています。

レストランのウエイターもいらなくなります。回転寿司のように中華料理も回転中華ではどうでしょう。全部100円で、餃子２個、シュウマイや春巻き、エビチリや焼きそばもお皿に盛って流れてきたのを自分でとって食べます。新しい商売の方法を考えたら、中華料理は成功すると思いますが、他はなかなか難しいと思います。懐石料理もできるけれど、情緒がないですよね。焼肉はどうでしょう。できるかもしれませんね。ハラミ、ホルモン、みんな300円です。自分でとって焼いて、野菜やサラダも好きなものを食べます。人はどんどんいらなくなって、そのうちロボットがテーブルに来るようになります。注文を取りに来て、「カツカレーですね」と言ったりするようになるかもしれません。見た目もスタイルの良い若い女の子風にすると、おじさんたちは喜ぶかもしれません。麻布十番のお店のウエイター、タクシーもそうなっていくかもしれません。

トヨタをはじめとする全ての自動車産業で、全自動運転の車の開発に技術投資している額は２兆円だそうです。この開発競争に勝ったら、業界でも小勝ちですからね。だけどこの自動運転ではアメリカで事故が起きました。130キロぐらいスピードが出ていたようです。スピードなどは簡単にコンピュータで制御できそうですが、でも難しいのでしょう。私は車の免許を持っていませんが、いよいよ自分の車を運転することができるかもしれません。スマートフォンでタッチして、「ノースアジア大学〇〇教室前」と指示すると、車が「分かりました」と言って動き出して、到着すると、「お待ちどうさま。到着いたしました。何時にお迎えにきますか？」と車が言って「４時半にしといて」などと、将来

はきっとなっていくかもしれません。トラックだって人がいらなくなります。運転手だけでなく、荷物の積み下ろしもリフトのようなロボットをコンピュータで制御してできるようになります。工場もオール無人化になって、管理センターで５人くらいの人間がコンピュータの画面を見て制御するのです。飛行機の管制塔も今は10人も人がいないらしいです。

学校もネット授業化が進んでいます。代々木ゼミナールというところに20年か15年前に公演に行ったことがあります。そのときに、当時私のゼミのゼミ長をしていて、後にテレビ東京に勤めることになる大浜平太郎が、かばん持ちで付いて来たのです。「僕は代ゼミにいたのです。受付の女性のタイトスカートが格好よくて、いつもずっと見ていたら授業に行けなかった。」とおかしなことを話していたのを思い出します。その講演のときに当然に社長や会長の部屋に行ってお会いするのですが、そのときにも、「これからはネット授業です。」という話しをしました。講師は100人くらいいるそうですが、全部衛星中継かネットで授業を配信します。今の子供たちは、それの方がいいのです。唾が飛んでこないし、好きなときに授業を聞けるようになります。これからは全部そうなって、子供たちが小学校や中学校に行かなくてもよくなります。

市役所もネット化します。印鑑証明書などの証明書をもらうために、なんで役所に行かなければならないのかって思いませんか。あれは、コンピュータで印刷することができるものだと思います。ネット販売のように決済もカードやスマートフォンか何かで引き落としにすれば、可能だと思います。そうしたら、区役所や市役所の職員もいらなくなっていきます。今の10分の１の職員でできるようになります。言いにくいけど、あんなに暇そうに、楽をしているＯＢもいらなくなります。

スーパーやコンビニもアメリカでは、ほとんどがそうなってきています。荷物を補充する人とガードマンだけがいて、決済や支払いはスマートフォンを使ってするようになってきています。だからレジの人はいらなくなって、700万人くらいの労働者でいいだろうと言われています。

レジュメは最後の5枚目です。この10年間で消える店についてお話します。人に消去ボタンをつけたように消えていくのだから、お店も消えていきます。コーヒー店は今なくなってきているでしょう。スターバックスコーヒーは駅にあって私も入ったりしますが、コーヒー店というよりは高校生が宿題をやっている場所となっています。そうでなければ、1人で下を向いてパソコンを操作していたりします。だからスターバックスコーヒーは一応コーヒー店と言ってもちょっと違います。ドトールコーヒーの創業者は熊谷社長ですね。タリーズ

コーヒーの社長は私の弟子ですが、入り方がちょっと違います。それよりも、セブンイレブンのコンビニ100円コーヒー、消費税込みで108円でしょうか。これで十分です。缶コーヒーより、スターバックスのではなく、セブンイレブンの方が美味しいらしいです。詳しくは分かりませんが、香りがするらしいです。もっと言うなら、今のコンビニは端っこにテーブルが置いてあります。そこでコーヒーとサンドイッチなどを買って、店内で食べられるようになっています。白鷗大学は栃木県小山市の新幹線の駅のところにあります。建物の１階にセブンイレブンが入っています。セブンイレブンの亀井社長は私の同級生です。学生たちがその端のテーブルのところに集まって、コーヒー買って、温めてもらったコンビ二弁当やおにぎりを食べています。それが今、六本木麻布十番商店街のじーじ、ばーばもその状態です。私が夕方に商店街に行くと３個で500円のメンチカツとビールを買って、みんなでクダをまいています。「やってられない」などと言いながら、豪華な六本木ヒルズを眺めています。50階建てですが、家賃が月180万円ですから３分の１は入居していなくて、夕方になっても照明がつきません。私のマンションは家賃月25万円です。まだなんとか払えますが、180万円を１年間では2,000万円を超えます。そんなに払ってまで住むような人がいるかな、と思います。でも、それでも入居している人がいるのですから、ちょっと悔しいと思う時もあります。町の電気屋さんもなくなってきました。ヨドバシカメラ、ビッグカメラ、ヤマダ電機などの大型家電量販店が増えました。コジマ電気はなくなってビッグカメラの中にあります。

市役所、区役所も“IoT”ですべてネットを媒介します。秋田市役所は必要がなくなります。美術館も必要ではなくなります。県や市が保有するもので、どうしても見たいと思う絵画があるなら別です。果たしてどうでしょうか。私の描いた絵も飾って欲しいです。

銀行も消えて行きます。スマートフォン決済で入金などが全部できるようです。パソコンでも取引が可能です。簡単になれば危険がないわけではありませんが、便利はいいことです

夜の飲み屋街も消えていきます。女子会と相席屋もそうです。相席屋は昔でいう“同伴喫茶”のようなもので、お酒を飲む方のものです。時代はどんどん変わって行きます。カラオケ店も潰れています。仙台の国分町で“ひとりカラオケ屋”があります。バイトしていた人が目撃して、「あの人何やっているのだろう。１人で歌っていたよ。暗いよね。」となるのです。カラオケといえば点数を競ったりして、皆で楽しむものだと思っていました。ちょっとズルをするのも楽しみの１つでした。ですが、今はそんな状態です。

ネットサービスの総合デパートといわれるDMMでは、次々に新しいサービスが配信されています。アダルト映像もすぐに出てきます。日活映画やアダルトビデオはもう流行りません。今は優秀で頭の良い高校生ほどガールフレンドを作りません。恋愛体験はすべてバーチャルです。アニメの女の子が裸になるようなネット配信があって、それだと疲れないし、失恋もしないので、それで済ませてまた勉強するというふうになっているのだそうです。これに関してですが、この間、名門高校の現役の先生が亡くなりました。私のゼミ生だった教え子でした。60歳前後だったそうです。その時に、「先生、早稲田や慶応に行くような学生は彼女を作りません。ネットでいろいろやっているそうです。」という話を聞きました。

それから、飛騨高山の観光大学で聞いた話ですが、旅行もバーチャル観光だそうです。飛騨高山に行かなくても、そこのきれいな季節ごとの風景映像は見られるわけです。ネットで見られるのだからスイスの山並みだって、行くことはできないけれどもドローンで撮影したきれいな画像を気持ちよく見られるのです。段々そうなってきています。

子供の会話も出会い系です。フェイスブックというものをやったことがないので、詳しくはわかりませんが、バーチャルで十分なのだそうです。

結論です。2025年のプアー。哀れな日本人。今朝のTBS系のスポーツ番組で張本勲が“喝”というのをやっていました。一緒に出演していた元横浜の高木豊が「喝どころではありませんよ。あの巨人の哀れな姿には涙がでます。」と言っていました。“涙”というのも作ってあげればいいのにと思います。でも、張本が“喝”というと皆が怒るので、14％台の視聴率を上げているのです。今は10％超えの番組はNHK大河ドラマの「真田丸」くらいで、高視聴率の番組は限られています。悲しい、涙が出るという時代です。人間失用というか太宰治の「人間失格」ではないけれど、失格というより不要、人間は要らない、何のために生きているのか、というような時代です。

最後の５分間で、残りの資料を説明します。日本国政図会を買って、この資料を作るために、朝ローソンではさみを買いました。飛行機に持ち込めないので、後で破棄しなければいけないのですが。この6番目の資料のデータには秋田県はどこにも出てきません。

「人口」は上位９都道府県（東京、神奈川、大阪、愛知、埼玉、千葉、兵庫、福岡）で国全体の半分を占めています。秋田県は“その他”の中の端っこのあたりに位置します。

「工業出荷額」は愛知県がトップです。トヨタが大きく貢献しているのです。

愛知県名古屋の勢いは、まったく違います。私は木曜日の夜に名古屋マリオットアソシアホテルに宿泊しました。関係しているので、少し安く泊まることができるのです。中日ドラゴンズのグッツをもらったので、オークションに出してみようかと出かけましたが、もう半端ではないくらい、すごい人でした。「工業出荷額」は東京を含みませんが９都道府県（愛知、神奈川、大阪、静岡、兵庫、千葉、埼玉、茨城、三重）で約半分です。三重にはシャープの工場があるので数字が上位にあります。工場が多い地域が上位にあるということが言えます。秋田はここでもやはり出てきません。

問題は一番右グラフの「小売業販売額」です。９都道府県（東京、大阪、神奈川、愛知、埼玉、北海道、千葉、兵庫、福岡）で約55％です。買い物は皆がすることなのですが。

レジュメ４枚目の⑦の資料についてです。600兆円になると言われている「国内総生産の名目」ですが、資料を見てください。どうですか？グラフは520兆円が最大になっています。ガクッと下がったところがリーマンショックです。その後もデコボコしていますが、今は490兆円くらいです。それが10年後に600兆円までにとは、どうやってするつもりなのでしょう。子供を皆で産むということで、40代、50代の女性が頑張ってもうひとり産んでみる、という意見もありますが難しいです。これからも人は減って人口は増えません。2025年に600兆円にはなりません。資料の下の表は今話したことの細かいデータです。

⑧の資料です。この資料を作る時に、どうしようかなと思いましたが、データを知るのは良いことだということでコピーしました。人口の増減率について、今日は秋田県の人がいないから話しますが、この５年から15年で５億9,000万人の人口が減って人口減少率は5.8％か5.9％です。来年の春までのある日に、100万人を切る見込みです。そうなる日を迎えるとき花火でも上げますか。死亡届と出生届の両方を見比べて、100万人を切ったその瞬間にバンザイ、となっても意味がありません。東京と沖縄だけは人口が３％増加です。でも沖縄は分母になる数字が150万人と少なめです。東京は1,350万人でまだ増えています。お台場のあたりのマンションはすぐに完売しています。

⑨の資料です。社会保障給付費についてです。2015年の年金が57兆円です。医療費が38兆円、そのほかの生活保護などが24兆円で合計119兆円弱です。2025年の推定値は年金が70兆円、医療費が50兆円、生活保護などが30兆円で、合計が150兆円くらい、細かく言うと149兆円弱と言われています。推測値です。ところが厚生労働省で働いているゼミ生が「先生、大きな声では言えないけれ

ど、団塊シルバーはなかなか死なないのですよ。」と言うのです。ひとつ前の世代と違って栄養がしっかりしてきているのと、とうもろこしやイモ類を食べてきているので、長生きなのです。どうしますか。皆で働くしかありません。

社会保障費の財源は基本的に皆が払ってしている保険料です。私も介護保険料を２割負担しています。毎月20,000円近く引かれています。大変です。公費負担は国が30兆円で地方が10数兆円です。公費・税金はもう増やせません。事業主が払いますか？私たちの年金から引かれる額を増やしますか？今の倍とか。生活ができなくなりますよね。その他の資産収入は景気が良いときは、GPIF の年金基金が増えるけれども、この1年の株価は20,000円～16,000円、為替は120～102円ですから、もうこの状態ならば運用益は見込めず、毎年５兆円くらい減っていきます。

最後の資料です。要介護認定者数についてです。2015年は606万人です。私の母親は２年前に亡くなり、義母は82歳で現在は介護施設に入居しています。若い介護職員はうまくできません。妻は元々介護のプロなので、土日はほとんど義母の介護施設に行っています。けれども自分の母親の介護をする時は、お金が出ません。報酬０円なので、私もいろいろとバックアップをしています。若い職員は、すぐに愚痴を言います。仕事から帰ってくると５分以上、私に愚痴を言っています。「学校で何を教えているの」と妻に言われますが、私は介護については教えていません。

若い職員はすぐに辞めてしまいます。言いにくいですが、25歳くらいの若い男の子が、お婆ちゃんの下の世話で、ケアやおしめをする。やはり表情にメンタル面が表れます。この子は辞めそうだなと、思うような職員はやはり３ヶ月くらいで辞めていくそうです。本当に優しくて寄り添える女の子であれば、声のかけ方や接し方が違います。介護学科の学校を出たとしても、駄目な子はダメなのです。そういう子の傾向は、現場を十分に知らないのにケアマネージャなどの、肩書きのある格好いい職場にすぐに行きたがります。私のゼミに入ってもすぐに退学していくので、私も引き止めません。いい先生でしょう。

介護保険施設の状況ですが、入居者の定員はともかく、従事者が問題です。お医者さんはたった1,000人、その他を足しても10,000人もいない。看護師も似たような状況です。準看護師と介護職員を合わせても、30何万人まだ足りません。だから、就職ガイドの「マイナビ」などを見ると、月給30万円などという求人がたくさん出ています。でも続かないのです。だったらみなさんのようなプロが、時給400円くらいのシルバーボランティアとなって、できることをやってあげる。元警察官の私の同級生は、８人乗りの送迎車を運転しても

いいと言っているし、乗車降車の介助ならできると言っているおばちゃん達もいます。元看護師さんはちょっとしたケアを、元学校の先生は家庭教師のようにちょっと勉強を見てあげる、子育て経験者の皆さんは、資格はなくても１週間くらいの研修を受けて、保育ヘルパーをすることができます。

お婆ちゃん達の世話ができる人は、体を洗ったりするのを手伝うことができると思います。同じ年代でも、言いにくいけれど、みんな少なからずボケていきます。そんな風にお互いを助け合うようにしなくては、日本はやっていけなくなります。じゃあどうするの、という話の答えは12月の講演会のときにしたいと思っています。それまでにみなさんにお願いがあります。みなさんが思う2025年について、「これではダメだよな」と思うことをレポートに書いてもらいたいのです。それから、「こんなことをやったら良いのではないか」ということも書いてください。

自衛隊を退役した私の友人は、「私はまだ元気だから働きたい」と言っています。今、港区では“見守り隊”というのがあります。水曜日以外は３時頃になると、「近くの方々は○○小学校の生徒さんが帰りますので、見守り隊に入ってください」と言われます。そうすると自衛隊出身の友人のような人が行くのです。他の見守り隊の人に、「何かあったら110番通報して」と言っています。自分は体力もあるし、現役の頃の訓練が身についているから、いざというときは対処することができる。見守り隊の黄色の旗が一本あれば、大丈夫だといっています。このような活動が、介護施設や障害者施設に24時間３人くらいのセット体制で導入できれば、言いにくいですが、この間のような相模原の障害者施設の事件も防げたかもしれません。３人１組になって、時給400円くらいで、少なくとも保育園、幼稚園を中心にしてやれば良いと思います。それに料理上手なおばちゃんが協力して、町の中心部の空き店舗で300円くらいのランチを提供して、ヤクルトなども買ってもらう。そういう設備を市が提供して冷蔵庫やキッチンを買ってくれれば良いのです。阪神大震災の後に SC 神戸（コミュニティ・サポートセンター神戸）のおばちゃん達とそういうことをやりだしたら人が集まり始めたのです。全国的にこういうことをやってみたらどうでしょうか。そのときに、とにかく元気な運転免許をもっている人は、「運転得意なんだから任せて」「まだワゴン車の８人乗りも運転できる」となって、警察官だった人は、特に得意なものはないけれど、人が揃ったら「紙芝居でもしようか」ということぐらいはできるでしょう。元看護師さんは血圧を計りに来てくれる。元教員の先生は子供たちの勉強が遅れていないかどうか見てくれる。安心でしょう。７時になったら元警察官だった人が、「気をつけて帰れよ」と

見送ってくれる。現役時代に専門にしてきたことを得意分野として、これからの社会に還元していけばよいと思っています。

あっという間に時間になりました。ご清聴ありがとうございました。

海老川　福岡先生ありがとうございました。この機会に、先生に何かご質問のある方はおられませんか。質問される方はお名前を教えてください。

福　岡　質問がないようなので、12月は来ません。ぜひ12月は皆さんからレポートを提出していただきたいと思います。

こういう仕事は今後なくなるかもしれません。カラオケ屋もそうですが、川反や銀座などの繁華街で、座っただけで５万円というお店です。この間、ニトリやダイソー、ドンキホーテ、すし三昧の社長達４、５人でそういうお店に行きました。20人くらいホステスがいた中で、端っこで１人のホステスを口説いているお客がいました。それで、そのほかの19人のホステスの女の子を席に座らせたら、チーママが、「先生、シャンパンをいただいてもいいですか」というので、「いいんじゃない」といったら１本５万円のシャンパンが４本空きました。24人分です。座っただけで５万円になりました。全部で60万円くらい遣ったと思いますが、一緒にいたメンバーは大丈夫、お金持ちだから困らないです。でも、チーママが、「全然よ、金曜日だけちょっと賑わうけど。」というのです。昔は座って４、５万円のお店のホステスだったら、日経新聞を読んでお客様のことを把握していて、「ニトリの社長さん、凄い」などと言ったものでしたが、今はそれも全然です。名刺を見ても「ニトリって何ですか」と言われて、ムッとしていました。今日は川反に行きませんけれども。余計なことを言いましたが、ぜひ12月のレポートを楽しみにしております。

海老川　福岡先生、いつも大変良いお話をありがとうございました。皆様にご案内いたします。この後ゼミナールにご出席される方は、10分後に開始しますので、どうぞよろしくお願いします。

今日はお暑い中、福岡政行先生のご講演会にご来場いただきまして、誠にありがとうございました。これで今年度前期の全日程はすべて終了となります。この後、11月から後期講座がスタートします。ご来場の皆様、総合研究センターの前期公開講座をご受講くださいましたことを感謝申し上げる次第です。

〔講　演〕

ノースアジア大学　総合研究センター主催　講演会

「日本という国の行方 ―政治・経済・外交そして若者―」

講　師　東北福祉大学特任教授
　　ノースアジア大学総合研究センター客員教授　　福　岡　政　行

司　会　ノースアジア大学総合研究センター長補佐
　　本学経済学部准教授　　李　　廷　珉

日　時　平成28年12月３日　午後１時～２時30分

会　場　ノースアジア大学　40周年記念館271教場

李　　ご来場の皆様、こんにちは。今年最後の講演会となりました。今日の福岡先生のご講演テーマは「日本という国の行方　―政治・経済・外交そして若者―」です。11月８日のアメリカ大統領選挙においてトランプ氏が当選されました。このことを受けて日本の政治・経済の情勢が今後どのように変わっていくのか、非常に注目されています。また、現在、日本社会においては、若者の教育や就職などの問題が大きく取り上げられています。本日は福岡先生の講演会を通じて、こうしたまさに現代日本において、とてもホットなテーマについて、お話いただけると思います。皆様ご清聴の程よろしくお願いいたします。それでは福岡先生、どうぞよろしくお願い申し上げます。

福　岡　　義理の拍手をありがとうございます。義理ではありませんね。義理と人情と恩返しで71年を生きてきました。実は今、人生史上最高の体重です。85キロあります。10年前に大腸ガンになって、お腹に傷があります。それでもこんなに元気でいられるのは、ヤクルト400と、エキストラバージンオリーブオイルを飲んでいたせいかもしれません。日野原重明先生も飲まれているそうです、104歳だそうですが、腰を痛めたようで最近車椅子になられたようです。

では、本論に入っていきたいと思います。本年度後期の１回目、今年３回目の講演です。昨晩、手書きでレジュメを作りました。夕べは川反の天駒でお寿司を食べて、その後で紀文の千秋麺がおいしいというので、半ラーメンを食べてから体重を量ったら85.1kg でもうドクターストップです。Ha1c も7.5まで上がってきて、主治医の工藤ドクターに叱られそうです。

まず、トリプルショックの話をします。どこに行ってもこの話をして欲しいと言われます。イギリスの EU 離脱の国民投票が今年の春にありました。あのとき、多くのメディアは EU の原点であるイギリスが、まさか EU から離脱するなどとは考えていませんでした。ただ途中の報道で、あの温厚なイギリス人が、「外国から来た人がイギリス人の仕事を奪っているのに、どうして移民の人たちにいろいろな手当てをして、ゆりかごから墓場までの面倒を見なければならないのだ」と言っていました。自国民ファースト、愛国心が生まれました。そういう風に話すと、前々回の都知事選、舛添都知事の時ですね。田母神何とかという立候補者が東京都だけで700万票弱獲って、在特会（在日特権を許さない市民の会）というこのグループがヘイトスピーチを始めたことをちょっと思い出してください。後で、小池さんの話もしますが、そんなことがあって、まさかトランプ氏が勝たないだろうと、ニューヨークタイムズはじめ、ワシントンポストなどの多くのメディアがそう報道していました。CNN は少し違い

ました。その中でただ１人、はじめからトランプ氏が勝つと木村太郎さんは言っていました。その木村さんが番組の中でもおっしゃっていたように、アメリカ人は世論調査をすると、もうすぐに返事をします。誰に投票しますか、と聞くと民主党、共和党、ヒラリー、などといつもはすぐに言うのですが、今回は口ごもる人がいて、すぐに答えない人が１割ぐらいいたそうです。これがサイレントマジョリティ（静かなる大衆）で、いわゆる高学歴の白人です。

今のアメリカの社会は白人が60数％、いわゆるマイノリティーです。私はアメリカでジャップといわれました。友達はイエローと言われたそうです。アメリカという国では仕方のないことですが。そういうアメリカ人は人のために尽くすんだというような気持ちを持つ、WASP（ホワイト・アングロサクソン・プロテスタント）はきっといい人だと、思われていたのが口ごもって、それが２％くらいの誤差の範囲でまったく逆の反対の方に流れていってしまったのです。結果はマスコミやすべての知識人の予想を裏切って、メディアは敗北して、トランプショックというものが出てきてしまいました。その結果が保護主義です。TPP は絶対にしません。「お金持ちの特権を優遇します」ということで、ニューヨークのトランプタワーを中心に株価は１万９千何百ドル、ドルが買われて円は114円まで下落して、日本の株価も１万８千何百円という結果になってきました。

そしてもうひとつは「オバマケア」という少数民族や低所得者への医療・介護の部分について根本的に見直す、というふうに言うと、金持ち層は喜びます。だから金持ちじゃない人は、「死ね」と言っているわけではないけれど、それに近いことがおきています。そうやって暴言を言ってきた人達の一部がトランプ政権の閣僚の中に入ってきました。いつどう変わるか分からないアメリカという国ですが、プーチンとはなんとなく性格が合いそうです。

プーチンの支持率は75％くらいです。これはウクライナやクリミアでロシア人以外を弾圧しているからです。ロシアは自国民ファーストの国です。イギリスも自国民ファーストで、アメリカは白人の自国民ファーストの国です。トランプはメキシコとの間の国境に壁を作ると言っていました。「何百 km ですか」と聞いたら、「３千数百 km ある」そうです。北海道から沖縄までくらいあるらしいです。行ったことがないので詳しくはわかりませんが。

今までは友達だったアメリカが、世界の警察だといっていたアメリカが、「以前のアメリカとはもう違う」と言い始めたのです。中国の習近平もそうです。中国の国旗“五星紅旗”は真ん中に大きな星があって、その周りに４つ星があります。そのうちの南の星はインドを示していて、南蛮人（南の野蛮な人間）

という意味です。私たちは東の星で、日本で東夷（東で獣を獲って生きてる人間が日本人）を意味しています。そういうのが“五星紅旗”の原点です。世界の真ん中の大きな星が中国でしょう、ラーメン屋の旗ではないのだから。つまり中国ファーストです。おそらくトランプとは合うかもしれません。だけど、そこで切り捨てられていくのが、小さな国であり、少数民族であり、はっきり言って貧乏人です。今まではモノを言わなかったアメリカの人達が、トランプで勝負しようとしています。ダメな奴はもういいのじゃないのと。

そこで、私が今考えているのが“ブラック国家”です。ブラック企業ではなく、ブラック国家です。こういう時代に入ってどこも自国民ファーストです。こうなってくると、ギクシャクしてきて、どこかで摩擦が生じます。それから少数民族や心ある学生でもピストルを手にする可能性があるのです。IS のテロ以外のテロがアメリカの中で頻発をするかもしれません。どこかで何かの大混乱が生じたら、株価がバーンと何100ドルか下がって、ブラックサタデーとか言われるようになるかもしれません。そうしたらアメリカはタメだとなって、円が90円台になってくるかもしれません。ですから、今はそういう方向には手を出さないでいただきたいと思っていますが、お好きな方は大いにやってください。これがトランプショックでした。

ところが、ここに来て、一部の報道にあるように、民主党の関係者が最後の３箇所の投票に不正があったのではないかという話があって、数10億円のお金を集めて、投票箱の再調査をはじめました。おそらく１ヶ月から２ヶ月かかります。少なくとも１月20日頃が大統領の就任式ですから、それまでのこの４～50日の間に行われます。他のところは大体１～２％くらいの差なのに、この地域は最後の土壇場で７％くらい、急にトランプ氏の票が伸びてきました。投票箱の調査結果によっては票が動くのではないかと言われています。この３箇所だけで70票くらいありますから、全部ひっくり返ると逆転するかもしれません。

とにかくトランプで行ったら、今はいいけれど１年も経ったらどうなっているのでしょう。本音は選挙活動で言ってきたことですから。もちろん計算上あえて言ってきたこともあるかもしれませんが。奥さんはともかく、娘もきれいだからいいですけれど、その旦那さんは韓国でニュースになっています。ハーバード大学出身ということになっていますが、裏口だったのではないかと囁かれています。彼のお父さんは、たしか詐欺罪で１年くらいの懲役を受けたことがあります。かなりの男の息子で、イケメンで、あのきれいな娘さんと結婚したやり手です。娘さんが駐日大使で来るかもしれないという話がありました。

言えませんが、勘弁して欲しいと思います。そういうようなことがずっと続いていて、トランプショックはまだ終わりません。まだ大統領にもなっていません。これから彼はアメリカ中に感謝の遊説をし始めます。アメリカ人はそういうのが好きだから、１月に向けてまた盛り上がります。そしてまた、彼を批判してきた共和党の重鎮を閣僚の中に取り込む。アメリカでも日本人が大臣、外務大臣や国務長官になったりすると、私もうれしい。

私は肩書きを望む人間が大嫌いです。47年間教師をやっていて、学部長になったことも１回もありません。楽観主義でもないですが、大学の教員の中では変人か馬鹿の部類です。だけれどもそういうのが好きな人が、学内闘争に入るのです。外で仕事をした方がお金になるから、と言ったわけではないのですが、そうしたら“窓際”と言われました。でも私のゼミ生は優しくて、「先生、窓際でも陽があたっています」というので、うれしくなって飲みに行きました。トランプの話だけしてもきりがないです。まだまだこれからが本番です。もしかしたら、中国と下手に手を結ぶと、日本は“守られている”という今の日米同盟に狂いが生じるかもしれません。ただ、ここにきて、トランプが何かしたいと思ったのでしょう、北朝鮮に接触しています。もしかしたら、北朝鮮が自由解放ということになると、それはもしかしたら後で触れますが、ノーベル平和賞かもしれません。そういうようなスタンドプレーは、あそこに入ったブレーンの人たちの数人は、相当したたかだそうです。お金になって面白いショーになれば、北朝鮮の金委員長もどこかで開かないと、もうやっていけないということは分かっています。どうもジュネーブで接触しているようで、一部で報道もされています。もしかすると１月のある日に何かあるかもしれません。ちょっとテイクノートしておいてください。

続いて、プーチンショックについてです。たしか９月の講演会のときも話しましたが、今月の12月15日に長門市の大谷山荘とかいう大きな料亭旅館で１泊２日の日程でプーチンと安部晋三が会います。翌日は春帆楼で河豚でしょうか。ここにきてプーチンの側近の経済発展相が汚職事件で逮捕されました。その後プーチンはペルーに行きましたが、顔の表情にいつもの元気がありませんでした。心理学で顔の表情を見て、様子を判断する方法があります。昨日からの映像で、岸田外務大臣と会った時は結構顔色もよくなっていて、世耕弘成という経済産業大臣が行った後で、向こうのプーチンの側近が捕まってしまいました。世耕さんは運を下げてしまう男かもしれません。昨日今日の動きで、またちょっと日露平和条約を締結し、その後、後のノーベル賞ですが、こういう話がまた昨日から出てきました。同時に“正月解散総選挙”というのが一時完

全に消えました。ところが昨日の夜、メールが2通ありました。共同通信からと某新聞のデスクからでしたが、「先生、正月解散総選挙があるかもしれません。」という内容でした。ということは、もしかすると岸田外務大臣が行ったときに、もしかしたら安部総理は、「私の後はこの人だから、いろいろと話をしていただいて、12月15日にお待ちしています。」となったのかもしれません。プーチンの顔つきが昨日変わりました。新しい何かに日露のこれからの発展のため、日露平和条約や北方領土について話し合いをして、経済協力は天然ガスを買うだけです。それから国後島の缶詰工場を10個ぐらいにしてみんなで食べよう。10年後に日本に戻す、というような話が水面下で流れていながら、聞いた話が、ここに来てちょっと戻ってきました。

一部の新聞では支持率が60％近いです。なぜでしょう。あの川反を見ても景気が良いとは思えません。県立美術館なんて誰も行かないでしょう。その知事がまたやる、なんてあんまり悪口は言えませんが。いい加減にしろと思っているのに、支持率が60％で、もしも北方領土２島プラスα返還で、10年後か20年後に４島返還する。はっきり言うと“売る”、“買う”というのが本当ですが。そういう話になったら、右も左も日本国民は、「わぁ！」となるでしょう。国土が戻ってくるのですから。第二次世界大戦ではロシアは８月９日にズルをして攻めてきたのですから。面白くなく思っていた北海道の方だけでなくそう思います。年末か１月冒頭に60％～70％を超える支持率で解散総選挙すると、与党は揃っていないので、結果が見え見えです。これがプーチンショックです。それで、その延長線上に、なぜプーチンと安部は思想的に合わないのにやっているのか。安部晋三のお母さんは岸陽子です。そのお父さんは岸信介です。そんなことがあって、岸信介の実弟が佐藤栄作で、彼は沖縄返還でノーベル賞なのだから、北の方で安部晋三がノーベル賞で、ゴマスリがやってるという話です。ニューヨークからのメールです。私の携帯にはショートメールが入ります。返信は得意ですが、メールは出来ません。それがいわゆるトランプショックに隠れたプーチンショックです。ティクノートしておいてください。

12月15日の長門市、春帆楼は歴史を勉強した方なら分かると思いますが、下関条約です。今年の正月、春帆楼で１人７万円のふぐ料理を食べてきました。接待でした。問題は小池百合子ショーです。夏の講演のときにも少し話しましたが、とにかく小池百合子さんは“大年増の厚化粧”と言った石原さんをターゲットにしていると思います。頭の黒いネズミの話は都庁の幹部だけではありません。ひとつ傍証があります。トランプに会いに亀井静香先生が投票日の前々日の日曜にアメリカに旅立ちました。私は郵政民営化反対以降、平沼赳夫、亀

井静香という自民党の右寄りの人とずいぶん付き合いました。筋を通す政治が好きだと思ってやってきました。ところが、トランプが好きな石原さんが会いに行きたかったのですが、土壇場でドクターストップがかかったため、意図的に亀井さんがリークされました。これが伏線だと思います。そして豊洲問題です。

どう見ても2008、9年の石原慎太郎政権時代のものであり、何人かが減俸や左遷になりました。そのうちの１人は、私のような立場の人間で、急に盛土がなんとかで地下が何とかでと、そんなことは言えるものではありません。この男が今、おそらくリークしている。建設関係の方はおりませんか。天の声が聞こえて、ここに落札する。インビジィブルハンド（見えざる手)、それはトップの人間である。あの当時、新銀行東京で東京都は1,500億円くらいの赤字を作りました。けれども固定資産税と法人事業税は東京都に本社がほとんどあります。地方交付税不交付団体、黙っていてもお金が余っているから政党に200億円、白紙でもって業界と適当にやってくれというういい加減さ。それを納得した業界は30億円、10億円、とその業界が当然にパーティ券を買います。それを彼女は一昨日中止にした。豊洲問題や都民ファースト、減税ファーストと言ったら、私も都民なのでうれしいです。税金の無駄はいけません。彼女の支持率は、今7割弱くらいです。それで“頭の黒いネズミ”というのは、悪い人間のことですが、これを何人か叩き続ける。そんな時に、豊洲問題と2020年の東京オリンピックの３会場の問題あった。だけれども、いろいろ言われて、ボート場は宮城県ではダメになりました。それから水泳場はレジェンド（遺産）を造るらしいです。詳しくは分からないけれど、有明アリーナに新しく３百何十億円をかけて建設する。お台場、いいよね。都心に近いです。レジェンドというものは後世の人達が、「いいものだね」となって評価されるものです。造る前から何がレジェンドか。私はこういうのが大嫌いなのです。エジプトのピラミッドとか、万里の長城を見たとかいうのだったら、それはやっぱりすごいね、となるのは分かります。それを造るのに奴隷たちの大変な苦労があったかもしれないから、これは残そう、というのは分かります。だけど建てる前からレジェンドです。建物なんか100年もすると壊れてきます。そういうのをレジェンドとかいうのが嫌です。

候補に残ったひとつのバレーボール会場が横浜だったら７億円のコストです。選手がみんな休むのだったらホテルに引き返せばいいです。200ｍも歩けば周りはみんなホテルです。控え室で運動もランニングも出来ます。ところが、森喜郎という元総理大臣。先輩なのであまり悪口はいえませんが。彼は「横浜

の方々は喜んではいないでしょう」と言った。ところが、秘密文書が出てきて、急に言われても、「うーん」で、競技団体が本当に何を望んでいるのかが分かってきた。横浜市の人間だって300億円や400億円で税金の無駄がないと思ったら乗るでしょう。あの女性の横浜市長、ニコニコ笑っているだけで、仙台市長とよく似ています。それなのに横浜市は記者会見までして「嫌じゃないけど、決めてもらわなければ」と言っている。それは全部政治家が根回ししているのです。横浜には有力議員の誰がいますか。菅官房長官でしょう。菅さんはどこの出身ですか。秋田県なんて思っていても言えない。集団就職で上京なんていうことも言えない。法政大学の二部の夜間部で勉強して、市会議員の頃から知っています。悪い人ではないけれど、根回しは抜群にうまいです。秋田出身の人の根回しは抜群です。言えないですけれど。だから、そんなのでなんとなく決まっていきます。

ここで問題はクリスマスまでの間、小池百合子がどのくらいの啖呵を切れるのか。横浜市に出向いて300億円も出せませんよ。ぜひやってください。交通規制なんとかの問題は警視庁と神奈川県警がいくら仲が悪くても、警察庁の幹部を使うと簡単に解決できるはずです。開催期間だけ１、２週間くらいは一方通行にすればいいじゃないですか。選手達だって、ただでホテルのスィートルームをお使いください。とは言えないけれど。１円でも安くしようと思ったら、工夫しなければなりません。では、なぜ東京都はお金のことに云々言っているのか。黙っていても予算は入ってくる。今、企業の景気がいいですから、一部上場の企業の法人税は地方税ですから、東京都に入ります。固定資産税だって建物が建てば地価が高いのだから、たんまり入ってきて、じゃぶじゃぶで配っていた。言えないけれど、なんとか建設は後ろを付いて回ったのです。300億円の仕事を獲ったら、間違いなく５億円は入ります。そう考えるとみんなやるでしょう。秋田県以外ですが、口を利くというこはそうなります。秋田県立美術館がいくらだったかはわかりませんが、秋田県にはそういうのはないことにします。だけど、いわゆる常識の範囲でやってきているので、ここにきて死に物狂いでやっています。大先輩の林とか森とかいう元総理はとうとう髪の毛が一時なくなりました。病気だったからです。でも今は相当元気になりました。髪の毛がなくなる病気とはそういう病気ですが、それでも頑張ってる姿を見た人達が、「元総理が体調を悪くして、生きるか死ぬかまでの病気を患って、髪の毛が無くなるような治療をして、頑張っている。だからなんとかやろう。」といっても、「これとそれとは話が違う。」と小池百合子はどこまでも突っぱねました。

すでに５千人弱の小池塾で３千人の勉強会をしました。橋下徹が１時間200万円の講演をするのですが、３回はやるといっていたのが、２回やって後はビデオにするといったので、トラブルになって中止になりました。だけれども、来年６月の東京都議選にはすでに100人くらい立てるそうです。定数は127人ぐらいです。あまり興味がないのではっきり覚えていませんが。東京23区に１人ずつ、市町村が40人くらい、伊豆大島も入れてです。世田谷区と大田区は定数が８人だから２、３人立てるかもしれません。当選する可能性は、今の小池人気なら、都民ファーストです。全員大切にしたら入れるでしょう、やっぱり。私も投票には行きます。ということも含めて、小池ショックです。これはまだ１ヶ月、クリスマスまで続きます。彼女がどこまで頑張れるかですが、自民党がいろいろな形で取り込もうとしています。。でもここで彼女が折れたら、４年は持ちません。ということを、新聞記者を介して言っています。わたしは小池百合子さんには協力しませんから。

それでショックは終わったかなと思ったら、パククネ（朴槿恵）という、わけのわからないお嬢様が突然出てきた。辞めるんだと言ったんたけれども、安定政権が云々で、いつやめるか与党の方からも今選挙をやっても勝てないから、時間を稼いで来年の春までにやろうか、となっています。その時には解散して議会選挙も合わせてやるようです。やはり今は年末だし、キムチも作らなければいけないので、時期が悪いです。春までだったら人間は忘れやすい、「人のうわさも79日」とか言いますよね。ぐちゃらぐちゃら言いながら弾劾裁判になるか、まあまあと言いながら、来年までやるかです。この女性もなかなかしたたかな部分がある。だけれども、友達だったナントカと言う人とやってきたことが、大統領制度の国では大統領の権限は総理大臣の比では全くありません。現職の大統領が辞めて、新しい大統領になると、だいたい前の大統領は捕まったりするお国柄です。このあと60何歳かは分かりませんが、人間は引き際が大事です。私も71歳になりましたので辞めますけれども、ものすごく辞めるタイミングは大事なのかなって思います。パククネ・ショックはもうテレビで見ていても、うんざりだから、彼女の友達の訳のわからない女性を見ると、豆腐で頭をなぐってやりたいと思いまけれども、できれば、豆腐じゃない方がいいです。ということで、序文を終えるのに30分かかってしまいました。

急いで次に行きます。レジュメ①について。阿部政権は一強政治体制です。本当に阿部さんってそんなに強いかね？日本の国民がアホなのか、秋田県民がアホなのか。ところが参議院選挙で東北１人区、自民党が勝ったのは秋田県だけです。元野球選手の石井浩郎さんとは２、３回一緒に飲んだことがあるけれ

ど、悪い人ではありませんね。青森は、私が立命館大学に勤めていた時の助手の女の子のお父さんが負けました。何千票差くらいだったと思いますが、土壇場で負けました。山崎力さんという、とってもいい方です。山形県には民進党の舟山康江という農水省 OB の民進党候補者が勝ちました。とてもいい人で、自民党の教え子たちまでも、「先生、私たち舟山さんに入れましたよ。」と言われます。特にお願いはしていないのですが。福島も１人区になり、宮城県も全部民進党が勝ちました。おそらく TPP が原因だと思います。新潟の県知事選挙もこの間ありました。その後鳥インフルエンザが出て大変でしたけれども、あの米山隆一さんという男性はもともと“小泉チルドレン”です。自民党から出馬できないので民進党に行って、今回は長岡の市長で、私も対談をしたことがありますが、この男は京都大学出身の元農水省のキャリアです。これはやっぱり知事だろうとなって、新潟知事選居に自民党、公明党の推薦で民進党連合は一部協力でした。この支援体制だと絶対に勝ちますよね。そして誰もいないときに米山さんが原発反対です。新潟ですから、TPP の影響もあります。１月もしないうちに、あれよあれよと逆転して勝ってしまった。この状態です。そこで自民党はびっくりしました。これは原発反対運動はあるけれども、TPP はかなり重い。やるのだったらこの段階で早く決めてやって、あとはいろいろなお金をばら撒くとこにしようと思っていたときに、年金改革の問題も出てきました。私も遂に年金をもらっています。もう偶数月の15日に２ヶ月分もらいます。ボーナス以上に出ます。だって60歳から10年間辞退していたので、いくらか割り増し分が上乗せになっていますし､教師でしたから共済年金です。大学の先生は公務員と同じ制度です。だから15日までは生きなければと思います。

年金改革をしている長妻昭は私の子分です。山井和則という委員は政経塾の私の教え子です。玉木雄一郎というのは、いずれ民進党を背負うと思っているので、いろいろと教えてやっています。蓮航の旦那は私の助手です。そしたら年金改革は分からないですが、国民年金の人の年金受給額は５～６万円くらいですね。平均で６万数千円くらいですが、５万８千円くらいの方もいます。これでいくと物価が上がっても、一般の労働者の賃金が下がると年金受給額も下がります。と、いうふうに言われたら年金カットです。毎月５万数千円の年金額の人が、１年間で４万数千円くらい、７～８％の減額です。それはかなりの金額ですよね。今だって１人５万数千円で夫婦２人なら11万円くらいでも、どちらかが亡くなると半分です。それが年間４～５万円減るということです。厚生年金の方は年間15～6万円くらいの人が月１万円、年間12万円減ります。と、

いうのをやるとお歳をとった方が、それはまずいのじゃないかと、民進党の党本部には、「頑張れ、カットはいけない」と毎日電話あります。だけれども、大学生や20代、30代の人は将来年金がありません。年金基金は121兆円残っていますが、毎年８～10兆円取り崩して年金を支給しています。いらないとは言わないけれど、くれるなら貰います。月30数万円ですが、いらないとは言いませんので、貰います。そういうふうになったら、若い世代が、将来は年金を払っても貰えない。だったら、給料が下がるのだったら、物価が上がっても年金も下げましょう、合わせましょう、と今度は賃金スライドをいい始めました。賃金は上がっていません。ずっと下がっています。これではまずいのでは、ということになって、そこで民進党はチャンスと思ってギャーギャーやってもめて、泣く子と地頭のような状態です。これも早く通さなくては、とにかく選挙をしたいので早くやってしまえなんです。日本人は忘れやすいから、３日もたてば忘れてしまいます。和田アキ子がNHK紅白歌合戦に出る出ないも３日もたてばみな忘れています。それが、ここに来て、原発、TPP、年金の新三点セットを自民党は出来ません。とにかくプーチンに官房機密費を30億円使ってもとにかく何かやってくれ、ということをやっているのかもしれません。これが実は安部一強政治です。

トランプに遭った時の顔色です。トランプは営業に行っているし、若い奥さんもいるからでしょう。安部総理の顔色に艶がありません。それは傍にいる番記者たちが一番良く知っています。とにかく浮腫んでいる。とにかく顔に艶がないのでオリーブオイルを薦めようかと思っています。私は71歳ですが、お世辞でみなさん「若いですよ」と言ってくれます。オリーブオイルを飲んでいるので、日野原先生ぐらい若く元気です。昨日あの暴風の中、川反からキャッスルホテルまで歩きました。それも含めて、安部さんはそんなに強くありません。ここに来てポスト安部として、急速に岸田外務大臣が注目されています。いい人です。私の後輩です。私達は盲導犬制度をバックアップしています。よく喫茶店やコンビ二などで、「盲導犬協会に寄付します」というのがありますが、彼も募金箱を持って活動してくれています。いい人ですが、どうでもいい人くらい、いい人です。だから宮澤喜一、加藤紘一、谷垣禎一、などの宏池会という中道派でハト派的な傾向を持っています。しかし谷垣はもう出てきません。２週間前に秘書に電話しましたが、本人とは話すことができませんでした。「すみません。先生もう少しお待ちください。」と言われてから２ヶ月半が経ちました。自転車で転びましたが、これはもう擦り傷程度の怪我ではないということです。車椅子の状態のようです。４年前の事故の時はまだ若かったのでうま

く対処できましたが、今回は段差で転んで、重要な頚椎のあたりを傷めてしまったようです。もう過去の人です。東京では岸田が俄然です。石破茂はだめで野田聖子もだめ、彼しかいないし人がいい。年齢は58、9歳くらいです。安部晋三よりは３、４歳若いです。安部がオリンピックまでやったらお前が後だと言っているようです。プーチンまでお土産を持っていって、これを渡すからなんとか12月15日に日本に来てくださいと言ったとか言わなかったとか。特に親書の中に“彼が将来総理大臣”だと、書いたかどうかはわかりませんが、私の予測では書いたと思います。

そんな10月のある日、赤坂の“口悦”という料亭に呼ばれました。上座には麻生太郎がいました。私は昔、少しブレーンをやっていたことがあります。「先生しばらくですね」、「ああ」とご挨拶しました。私はあまり好きではありません。この人は「年寄りが早く死ねるようにしろ」ということを言った事がありました。一理あると思いましたが政治家としては、そういうことは言えません。その時は政治家と、ある人を入れて５～６人の集まりでした。６時半から初めて９時頃にそろそろお開きに、となりました。そしたら突然、「まあ一般論だが外務大臣を長くやった政治家は、総理大臣になるまえに安部晋太郎先生のように体調を悪くされて亡くなるケースがある。小渕恵三先生のように総理大臣にはなったけれど外務大臣の長い人はすぐに亡くなるということもある。」と麻生さんが言いました。つまり外務大臣になると24時間、世界中の情報を外務省が全部入れます。いい人ほどそれが気になるから、夜もパソコンや携帯を手放せません。私は基本的に夜眠る時は携帯を見ないようにして、地震のことがあるのでマナーモードにしています。だから外務大臣はいつも時差ボケのような状態です。それで心筋梗塞や脳梗塞になりやすいという、医学的な統計学はあります。それなのに私はわざわざ、「次、岸田さんしかいないな」と言っています。私は商工会の法人会などで講演会を月10回くらいしていますが、そう言っていることが彼に聞こえているのかもしれません。けれども麻生さんは自分がやる気はありません。おそらく12月か１月の次の内閣改造でも、また岸田さんを外務大臣にしようと安部さんはしています。ナンバー２ですから。大蔵総理は別ですよ。だから麻生さんは、「福岡さん少し注意して」と言ったのか、「それをやったら、あの人は持たないぞ」と言ったのか真意はわかりません。麻生さんはもう総理大臣をする気はないと思います。もう75歳ですから。わかりませんけれども、年齢的にはそうでしょう。だけれども、そんな安部一強政権ですけれども、ポスト安部に動いているのも事実であろうと思います。とにかく12月15日の日露会談を見ていてください。

アベノミクスは、秋田県に来て見ると景気がいいと思えないです。昨夜９時半に紀文の千秋麺を食べに行きました。お店の中は人がいっぱいでしたが、外は静かです。金曜の夜なのに、こんなのでいいのでしょうか。国分町も昔の繁栄はありません。今賑わっているのは、銀座よりも渋谷、池袋、新宿です。名古屋の豊田もそうです。大阪はもうだめです。京都もだめ。広島は変なチームがあるから、少し賑わっています。福岡の博多は少し賑わっています。北海道のススキノは閑古鳥もいません。アベノミクスの限界は地方ほど深刻でしょう。それで来年の春、ベースアップを経団連がもうできないと拒否し始めました。ところが、ここに来て円安になって来た。これで少し経済は立ち直って、また外国人観光客が来てくれます。秋田のソウル便はもうないそうですが。

レジュメの次の②の民進党について。蓮舫という女性はもともとキャスターで一緒に仕事をしていました。そんなある日、ずっと私の助手をしていた村田という男が旦那になりました。あの変なテレビを見た人はいますか。蓮舫の双子の子供が出ていたフジテレビの１時間くらいの番組です。SMAP の中居が来て蓮舫の家にカメラが入りました。蓮舫のお母さんは長い間、新宿でスナックをしていました。元ミス神戸か宝塚だかの美人な方です。お父さんは台湾出身でバナナショーの蓮なんとかさんだと思います。ホテルオークラでの結婚式だったと思いますが、田原総一郎なんかと一緒に行きました。旦那は早稲田のラグビー部で清宮幸太郎のお父さんのひとつ先輩になります。長崎の海星高校からラグビーで早稲田の教育学部体育学科に内定していましたが、そういうのがあまり好きではなかったようで、１年浪人し勉強して私の政治経済学部政治学科に入って来ました。とてもいい人で早稲田大学、白鷗大学と長い間私の助手をして、学生を何百人も出版社や新聞社に就職させてくれました。冗談で、「あれは家では犬以下」と蓮舫が言っているのがネットで流れています。息子は今、留学しています。とてもイケメンです。ジャニーズ事務所が放っておかない感じです。青山学院に在籍していますが、英語はペラペラで、ロンドン大学に留学しています。女の子の方も美人ですが日本にいます。この男の子の方が蓮舫にそっくりで、小顔でイケメンです。「“嵐”を超えて“台風”だ」と言われています。

この蓮舫は悪い人ではないですが、私と一緒で口がうるさいので顰蹙をかいました。挙句の果てに、元総理大臣の野田佳彦を幹事長にしました。これは前にも言いましたが、この人はあまりよくない人で政経塾を破門にしています。なので、この中で残ってくるのは、細野なんとかというのはスカートにはまっちゃったので、気にしない。いずれもう古いこと言わないで、民進党は新しい

若い人を考えた方がいいと言っています。共産党は我慢がたりなくなってきています。何度も言っていますが、共産党という党の名前も変えた方がいいです。“共産主義”という言葉に、みんなあまりいいイメージはありません。まだヒットラーの方が人気があるとは言いませんが。赤旗なんて新聞はやめなさい、黄色いハンカチの方かいい、というふうに言ってます。

野党統一がここにきて出来ていないので、自民党はチャンスです。北方領土の支持率が70％いけば、年末解散でお正月です。選挙になれば勝てます。そこで勝てば、安部晋三は向こう４年間総理ですから、オリンピックの後までやれます。ところが、小池百合子は絶対に自分がオリンピックを仕切るので、安部さんにはやらせない。スーパーマリオなんか嫌いだと言っているのがそこです。

レジュメ③の安部外交についてです。トランプになって沖縄基地の負担をタダで云々と言い始めました。日本はすでに5,000億円出していますが、それをもっと出せ、と言っているのでしょうか。だったら米軍要りません、とは日本は言えません。北朝鮮とトランプが手を打つ、日本とプーチンがやる、そこで残るのが中国だけれども、習近平の性格の悪さはトランプと合いそうです。お互いに“俺たち一番”で“Win Win”です。しかしどこかで、中国は苦しくなります。内部の混乱はひどいです。そういう内部の混乱のはけ口を作るのが当然、尖閣諸島よりも南沙諸島です。そこも、あの基地をもっと造って、尖閣にも中国人が上陸するということになってきます。日本の自衛隊はどうしますか。今のうちに秋田の元気なおばちゃん達が1ヶ月交代で、きりたんぽとかの賄い料理を作りに行く。暇で魚釣りが好きなおじさんたちが順番に行く。すると月に20万円くらいの報酬で交代で行うことで、日本人が住んでいる既成事実を作るのです。

日米同盟がどうなるのかがちょっとわかりません。外務省の後輩が一言愚痴を言いました。大統領になる前の大統領候補に安部さんが会いにいくのがまずい。わかりますよね。それはオバマだっていい気がしません。だけどペルーに行く前だからちょっと会う。それも30分の予定が1時間話してまだ話は尽きなかったようです。いろいろ話したいことがあって、出てくるままに話してしまうのは賢くありません。そのくらいの取り繕いしかできない。当選してよかったです、が一言で伝われればいいのですが、それだけ側近連中の視野が狭いのだと思います。蟹ぐらいしか視野ないので、せめて蝉くらいあればいいと思いますが。

習近平と日本はやっぱりチグハグです。これは前にも触れましたがトヨタ自

動車の前の社長の渡辺捷昭さんと食事をしました。「やっぱりまずいよ。“政冷経熱”で政治が冷たければ経済も当然だめで、中国本土でトヨタの車が苦しんでいます。」と言っていました。メルケルは大嫌いなのに、一生懸命に中国に来て、ドイツで中国の車が売れている。日本の車の方がいいと思うのですが、そんなことになっています。それで安部外交はなんとなく会っているけれど、おそらく日露問題以外は進捗がありません。そうすると習近平が何かしだして、トランプも何か言い始めたら、ぐちゃぐちゃになりそうだなあ、との思いがあります。トランプが悪いのです。

レジュメの④です。いよいよ秋田県の人口は10月１日で100万９千人になります。１ヶ月で1,300人くらい人口が減っています。子供が生まれず、社会減が増えています。１年間で約１万５千人減るとなると、予定通り来年の６月には100万人をきります。私を含め70歳過ぎの年代は、いつ何があるかわかりません。その頃にはいないかもしれませんが。

そうしたらこの前のゼミの時間に、「俺もやらないから、お前もやるな」という本を私に貸してくれた人がいます。この本を知っていますか。いい本です。秋田県の典型的な話です。何もやるな、という発想なので、やがて何もなくなっていきます。お孫さんのことを考えたら、どうなるのか心配になります。私は今、孫と遊ぶのが唯一の至福の時です。だけれど、そういうのが“俺もやらないから、お前もやるな”を読んだら感動して、「これだ！」と。もう「おせっかいはやめよう。」全国どこもみんな沈んでいるのだから、秋田県はどんどん沈んでいく。私もその方向にいますが、そうも言っていられません。2025年の秋田という本を書いたわけではありませんが、『2025年問題』というのがあります。今日帰ったら調べてください。

私がなぜ太っているかというと、この５月に『原発はあぶない』という本を書いたのですが、全ての出版社に拒否されて自費出版しました。3,000部のうち500部はまだ残っているので、今日持ってこようと思っていたのですが、また忘れました。800円で自費出版しました。ですが小泉純一郎さんや専門家の方々は、福島は簡単に収束しないなと。特に、あの６時１分前のあの福島、仙台の地震や、その後も震度３や４が頻発しています。簡単ではありません。気仙沼の岸壁にいくと80cm ずれています。下がっているので、ちょっと高潮になると水に浸かってしまいます。そういうことを書いた後に、この夏、なんとオリーブオイルを飲んだので元気で iPad を自由に使えるので、検索も問題なくできます。書き出したら止まらなくなって、なんと朝の４時まで仕事をしていました。３冊本が書けました。１冊目は『ブラック国家ニッポン―安部晋三

の大罪』、これも出版社が嫌がっていますが、なんとか出ます。

２冊目は私が70歳をすぎて、いろいろな人との出会いで生かされて来た。「人生人との出会い」というテーマです。小学校４年生の時に在日の友人が、毎朝新聞配達をしていました。少し手伝う、と言って一緒に走っていたら先生に呼ばれました。「福岡、中途半端なことはするな。死ぬまであの子と一生一緒にいれるならいいが、彼は１人で走れて生活費を稼いでいるのだから、中途半端に人への愛情は注ぐな。」と言われました。言われてみればその通りです。「砂漠の中で１人の老人がいて、１本の飲み物を与えて飲んでいる時はいいが、その後そのまま背負って砂漠から出るのだったらいいけど、出来ないなら余計なことはするな。そのまま喉の渇きで死んだ方が楽だ。」と。小学校４年生でしたが、言っている意味はわかりませんでしたが、伝えたいことはなんとなくわかりました。そういういろいろな話を全部まとめて、ヤンキーを支援というのが義家弘介（ヤンキー先生）です。あの時、私のところに来て、代わりに授業をしてもらいました。「先生、いい先生ですね。」と生徒が言いました。「そうか。どうして？」と聞いたら、学生に文句を言うそうです。「この後どうするんだ。目標を持っているのか。」などど声をかけてきて、見て見ぬふりをしないそうです。あの横浜の教育委員会のように原発避難でいじめにあっている子を見捨てないそうです。それで本を書きました。これは実は PHP で出しています。随筆系だから、ちょっと人にあげられます。『ブラック国家ニッポン』という本で、原発で日本が消える、なとどいう本だとまずいでしょう。そしてついに３冊目、2025年問題です。

私の本の中に講談社から出版されている『十年後のニッポン』と言う本があって、なんと13万部売れました。1,300円の本です。印税１割だから1600万円でしたが、どこに消えたかわかりません。ハイセイコーに消えたかもしれません。これを読んだある出版社から、「先生、これの新しいの書いてください。」と言われました。その中に書いてあるのは、“これからはもうコンビ二しか生き残れない”ということです。駅前商店街はなくなる。少し話しはちがうけど、県立美術館なんて誰も行かない。デパートの時代は終わります。みんな書いてあります。パソコン１台の中に仕事場があって、デスクは会社ではなくて家にあって、会議は全部テレビ会議で行います。残るのは今でいう AI & IoT のネットの社会です。いいでしょう。大学の先生も必要がなくなります。有名な塾の講師の、「今でしょ」の先生や政治学なら福岡先生などと残れるかはわかりません。そんな2025年には日本はどんな国になるでしょう。大学については言いにくいけれど、日経新聞で東北の私立大学は某福祉大学がナンバーワンと出たそう

です。国立の大学の東北大学や山形大学、弘前大学についで、東北の大学では私立国公立大学を含めて４番目だそうです。仙台を分かっている人なら、東北学院大学ですよね。でも全然です。就職は抜群です。福岡先生がいますから。

2025年の秋田は人がいない、仕事がない。“俺もやらないから、お前もやるな流”の秋田の足の引っ張り合い文化。もう、あの駅前はどうするのですか。お孫さんはみんな東京に行ってしまいます。お年寄りばかりの社会です。だったら“ふれあい広場”を作ったらどうでしょうか。独身の未亡人のおばあちゃん達だけでシェアハウスを作ります。そこに食堂を作って２階は全部クリニックを入れればよいのです。そして気の合う人と話す。でも１人になりたいときもあるのでベッドと、小さなキッチンと応接セットを置いた10畳くらいの自分の部屋もあって、誰かと話したいときや、孫自慢や洋服自慢したいときは皆のところに行けばいいのです。男の人は話すのがうるさかったり面倒だったりするので、男だけで集まる。お酒を飲む会でもいいのです。週に１回カラオケ大会やダンス会、ビンゴゲーム会を開催する。そうでもしなければ、孫は東京に行ってしまって、年に１回も会えなくなります。テレビ電話で孫と話すことになって､会えた瞬間に涙が出そうになります。嬉しくてしょうがありません。女房に､「何を泣いているの｡」なんて言われそうですが、こみ上げてくると思います｡「風が冷たいから｡」などと言い訳しそうです。10年後の日本、10年後の秋田。おそらく日経から出版になると思いますが、義理と人情で買っていただきたいと思っています。この本は３月の講演の時に持って来ます。著者割引で1,000円のところを２割引の800円になるかもしれません。

レジュメ⑤です。「若者・スマホ・引きこもり or 無口」ということです。とにかく東京の電車の中はみんなスマホをしています。中には混んでいる中でゲームをしている人もいます。学生と一緒に電車に乗っている時は、注意をさせます。一応警視庁の仕事ですが､元 OB なので余計なことをしています。「混んでいる時はやめろ」と言われても何も考えていません。高校生は１日８時間～６時間くらい JK はしているそうです。学校に行きたくないし、行ってもいじめられる。ずっと自分の部屋にいた方がいいでのです。そのうち予備校と同じように、高校、中学もネット授業になります。あとは大学卒業資格検定試験や TOEIC、大学入学検定試験もネットでするようになりす。どうしますか。引きこもりが出てきます。体育の授業で青白くしているようなネットオタクがわいてきます。でも人間はそういうネット社会に生きていると、どこかでリアルに生きたくなります。今よくリアルナントカと言いますよね。わかりませんが、それがストーカだとか理由無き犯行だとかに繋がっているのかもしれませ

ん。

この間、懲役を終えたばかりの人が牢屋の外では生きていけないとまた犯罪を起こして、殺人で逮捕されました。その人を殺してしまえばいい、とも言えません。人権がありますから、判例上は２人以上の殺人でなければ、すぐに死刑にはなりません。よほど残酷な殺人でなければ死刑にはなりません。３人以上の殺人で残酷だったら死刑です。そういうことが長い判決の中ではあるのです。

今の若い人は無口、人と話すがうっとしいのです。うちの採用面接では必ず話させるのが、立たせて２分半です。そういうのはやりたくないのです。企業の採用では、「先生のところは曹洞宗の駒澤だからおとなしいですね。みんな座禅が得意なのですか。」と言われたりします。学生が学校に戻ってきてから、「お前みたいなのがいるから後が続かないのだ！」と指導して、後で先輩が来て圧迫面接の訓練です。「あなたここに書いてありますが、そんなにそのアルバイトがおもしろかったのですか」「はい、私はアルバイトで成長しました。」「あなたはアルバイトで成長する程度の人なんですね」などと嫌がらせを言います。その時絶対に下を向いてはいけません。「はい、でもアルバイトで礼儀や衛生管理を教わり、接客はお金の受け渡しなどを習得できました。」と言えれば良いです。スターバックスコーヒーやセブンイレブンでは、アルバイトをきちんと指導します。2年半以上アルバイトをした学生は、企業が採用します。そのくらいシステムができ上がっています。ファミリーマートはだいぶよくなってきていますが、もう少しです。

１人がいい、じゃまされたくない、という人はネットカフェで１人で過ごします。お金は払いますが、お湯もお茶ももらえるので、カップ麺や弁当を買って食べることができます。カーテンで仕切れば誰からも見られません。アダルトビデオも見られるのでエッチなこともできます。洗濯はコインランドリーがあります。そこで暮らしている女の子たちがいます。女の子だから銭湯に行っているのかもしれません。あとシャワー設備さえあれば、フランス人はシャワーだけで暮らしているのだから、別に気になりません。そういう国になります。

あるとき、3.11関連の生放送の番組で、「会えなくても LINE でつながった時、なんか絆が生まれてくるのです。」と女性アナウンサーが言ったのです。「そんなに絆って軽いものなのですか。」とうっかり言ってしまった司会者は私の後輩でした。それから２ヵ月後、そのキャスターは辞めました。だけど LINE でつながる絆って、何か違いますよね。

この間、ある仮設住宅のお別れ会がありました。ここの大学からもお酒をい

ただいて、皆で飲みました。その時に、88歳くらいのおじいちゃんから、「先生、私の部屋に来てください。」と言われました。なんか嫌だなぁと思いましたが、学生もついてこなかったので２人で部屋に入りました。そうしたら、「先生カラオケしませんか。」と言うんです。テレビにカラオケセットがついていました。「先生は何を歌いますか」「北島三郎の“山”、がいいかな。“川”がいいかな。」と、一緒に歌える歌を３曲歌いました。そうしたら、おじいちゃんが泣きながら「先生５年間ありがとうございました。銀杏を拾ったので先生にあげます。」とくれました。お互いに泣きながらお礼を言って帰ろうとしていたら、携帯が鳴って、「今戻るよ」と言った瞬間に、冷蔵庫から魚の冷凍セットの大きな箱が出てきました。「先生に世話になったので、息子に言って地元の漁協から三陸産のものを取り寄せました。」と私が来るのを待っていてくれたのでした。「ありがとう。また会いに行くからどこの復興住宅に入ったのか教えてね。」と行けないかもしれませんが聞きました。そのくらいなら絆と言ってもいいでしょう。LINE で絆というにはやっぱり違和感があって、テレビでちょっとそのことを言ったら、そのテレビ局はもう呼んでくれなくなりました。

この間フジテレビの昼の番組“バイキング”に出ました。プロデューサーが後輩で、「先生、出てください。」というので出演しました。１時間出ましたが、振り込まれたギャラは２万円でした。六本木からお台場までタクシーで行くと３千円です。タクシー代を請求はしませんし、何も言ってきません。テレビ業界は本当にお金がなくなってしまいました。

ところで、目標を持たない若者は何をやりたいのでしょう。何かあるでしょう。私は大学時代とにかく優秀でした。今度 NHK の会長になる人は一ツ橋出身ですが、あの方のひとつ上の三菱商事の副社長が私の同級生です。その人は1,200人中50番、私は２番の成績でした。早稲田の政経です。ちょっと自慢しています。逮捕歴がなければ立派な先生です。今も先生ではありますが。大学院の成績は全優、修士ドクターの成績も全優、ダントツの１番です。頭はいいし、顔はいいし、声はいいし、おしゃべりだし、天気は必ず晴れ男です。目標を持っていました。でも大学紛争で警察に捕まりました。それでもう就職は諦めました。そしてどうしようかなと思っているところに、福祉大の亡くなった前学長がシッタルダを私に渡してくれました。お釈迦様です。「お前は教師になれ」と言ってくれて、曹洞宗の大学だからと駒澤大学に入れてくれました。今の子は目標を持ちません。先輩に言われたら“YES”と“はい”しかないのだから。「はい分かりました。勉強します。」となってフランス語は１番、英語も一番、政治学は分からなくても全部書く、そういういい加減な人生でした。

今の子はすぐに“別に”です。大丈夫なのかな。今、一流大学の子ほど公務員を目指す人が多いそうです。「私の会長が先輩だから三菱商事を紹介するよ、東南アジアで頑張ってみたらどうだ」と、TOEIC が880点の上智大学の学生に奨めても、そういうところでどうにかなるより、公務員になって65歳まで安定した生活がしたい、というのです。秋田市役所に入れば楽です。秋田県庁に入れば元殿様がのんびりやろうか、なんて雰囲気かもしれません。

結論です。どうする日本の国。頑張れシルバー。私たちがやらなければ絶対にダメです。いろいろなことを伝えて教えなければと思っています。今のところは何もありませんが、昨日秋田キャッスルホテルに泊まって、工藤先生のクリニックにちょっと寄ってきました。今日私が秋田で講演することは知っていました。工藤先生は私がガンで手術した２ヶ月後に、「先生、この程度のガンだったら切らなくても内視鏡手術でできました。」と言われました。私は東大病院で手術を受けましたが、それを早く言ってよ、と思いました。でも、私の同級生が今大腸がんで苦しんでいるので、パンフレットをもらってきました。

年寄りはいいことは誰にでも教えたいですよね。「大腸ガンでは死なせない」という彼の本があるのだから。私の時は運がよかったのです。母の介護していた妻が、痔だと思っていた出血を気にしていて、診察を受けたら緊急入院になりました。うまく切除ができたので10年たっても赤い顔してこんなに痩せています。自分だけが良ければいいのか。子供や孫のことも考えてゼミをしていますので、お時間のある方はどうぞご参加ください。

今日は東北福祉大学のゼミ生がボランティアとしてきています。せっかくなので前に出てきて１人１分ずつ話してもらいます。１人は鹿角市の出身です。鹿角市は廃藩置県か何かで、秋田県になりましたが元岩手県です。この子は小さな頃から猿と鹿と熊と猪がいたので名前はサルコといいます。それではマイクをまわすので１人ずつ話してください。

学生①　みなさん。こんにちは。東北福祉大学社会福祉学科３年のヤマキフミエと申します。出身は福島県の伊達市です。福岡政行ゼミナールでは“現地現場主義”をモットーに被災地でボランティアを行っております。今年も６月に福島県南相馬市にある「聖愛保育園」と「みなと幼稚園」に行ってきました。「聖愛保育園」では、震災のときに放射能を被災したところで、「みなと幼稚園」というところは津波で被害のあったところでした。私たちは訪問して、おもちゃや絵本のプレゼントをしたり、ゲームをして遊んできました。ボランティアを通して学ぶことがたくさんあるのですが、今回学ばせていただいたことは、保育

園の先生方から被災した当時のお話や、今でも災害に向けて日ごろから避難訓練をしたり、地震があったときにこういうところに逃げるのだよ、お友達を押してはいけないのだよ、と毎日子供たちに呼びかけしているそうです。私自身、震災から時間が経ってその当時のことや、危機感を忘れている部分があります。当時は外出時に行き先をメモして家族が分かるようにしていましたが、そういったこともしなくなっています。地震に対する危機感をもう一度再確認しました。福岡先生のゼミでは直接被災地に行くことによって、たくさんのことを学ばせていただいています。本当にありがたいことだと思っています。もちろん先生と一緒に美味しいものもたくさん食べられます。本当に今までボランティアに行って学んだことや気づかされたことがたくさんあります。これからも私たち福岡政行ゼミナールでは、ボランティアに行って被災地の方々の支援を続けていきたいと思います。これからも頑張りますので、よろしくお願いします。

学生②　こんにちは。東北福祉大学の産業福祉マネジメント学科４年のセツトモカです。私も今年から福岡ゼミに入りまして、様々な場で活動や経験をさせていただいております。特に私が印象に残ったのは、「東北子供の村」でのボランティアです。「東北子供の村」というのは震災で家族を亡くした子供や虐待、生活困窮などの子供たちがいまして、それを養育する里親さんもいて、それを支援するNPOの施設です。そこでは私たちは、親子のみなさんが安心して息抜きをして欲しいと思って活動しております。10月30日に初めて「東北子供の村」に行きまして、サッカーや野球をしてバーベキューなどを行いました。お父さん、お母さんはちゃんと話をしてくれるのですが、子供たちとは最初はなかなか話せませんでした。何度か食事をしているうちに話せるようになってきて、最後は楽しかったよと言ってもらったりしました。12月18日にクリスマス会がありまして、抽選会などを行う予定です。これからも私自身、福岡ゼミナールで「東北子供の村」に関わって行きたいと思いますし、被災地で現場現地主義で頑張っていきたいと思います。以上です。

学生③　みなさん、こんにちは。秋田県鹿角市出身のヤマグチルナといいます。２年ちょっと前に東北福祉大学に入学して、今は宮城県で一人暮らしをしながら大学に通っています。私も今年度から福岡先生のゼミナールに参加させていただいております。私は、被災された方々が住んでいる登米市の仮設住宅と、津波の被害をうけた「大川小学校」というところに訪問させていただきました。現

地に行って感じたことは、目に見える復興はほんの一部だけだということと、あと人の心が癒えるのはとても難しいということを、現地に行って深く感じました。福岡先生や多くの方の協力で、何度も同じところに行って、たくさんの人と関わることができているのはとても光栄なことだと思っています。そのような機会をいただいていることに感謝しながら、これからも多くの人とふれあいながら、自分たちにできる人と関わりながら復興を目指して頑張っていきたいと思います。以上で終わります。

福　岡　　学生たちは東北の子達ばかりです。この子は秋田の子で、岩手の子も青森の子も宮城、福島の子います。いろいろな思いでこの５年半、福祉大学にきて３年になりますが、まだまだこれからだというような印象です。

それにつけても、最近のこの地震は専門家と話していても、また小泉純一郎さんがアメリカに行っていろいろな運動をしてやっていますが、相当の圧力があります。元総理大臣の小泉さんにも圧力があって、私も本当にたまにテレビでお話していますが、その話の内容も時々公安がチェックして、写真まで撮っていますが、私は公安でも教えていて教え子がいます。今日は秋田で教え子達がおいしいものを喰いたいというので連れて来ました。最後に質問を１つだけ受け付けます。

質問者　　いつも楽しいお話をありがとうございます。私の質問は、小泉純一郎先生の息子さんについてなのですが、差し支えない範囲内で人物について教えていただけないでしょうか。秋田県には直接関係がないかもしれませんが、よろしくお願いします。

福　岡　　わかりました。参院選の時は秋田にも応援しに来たと思います。“場掴み”というか、彼はその場の雰囲気を作るのが非常に上手い男です。ある大学で野球をずっとやってきた男で、俳優をやっているお兄ちゃんよりは、はるかに根性が座っています。お兄ちゃんは優しい子です。普通は二番目の方が乱暴だといいますが、もう１人下にいて３人目がいます。これは“瞼の父”です。元エスエス製薬会長の泰道三八の孫娘が小泉純一郎の奥さんです。小泉純一郎は長男でお姉さんと妹さんがいます。ずっと秘書をしていたあの有名な妹さんが、新郎新婦の寝室まで入っていました。なので、なかなかうまくいかず、３人目を身ごもった段階で離婚されました。京都外語大学を卒業して京都の有名企業に勤務しています。それで、進次郎さんは非常に頭の回転のいい子です。仮設

住宅の話を一度しましたが、集会室で待っていました。でも、普通の政治家は５分くらいで帰りますが、進次郎さんは３～40分は被災者の方達といろいろな話をしていて、何も持って行かなかったのに、お年寄りがお茶菓子を出してくれて、おいしそうに食べていました。私がそこに入っていって、「お土産を持ってきたの」と聞いたら、「何も持ってきていません」と言うんです。そこが彼の政治家らしからぬ、いいところです。政治家でしたら私を見たらちょっとでも挨拶をします。私は小泉純一郎のブレーンでしたから彼は分かっていますが、遠めで会釈だけしてレンタカーで秘書と一緒にそのまま帰って行きました。もちろん、将来私は彼を総理大臣にしたいです。でもまだね、当選３回くらいですから。彼が聞く耳を持っていいスタッフをつければですが、やっぱりあと10年以上はかかると思います。

私の気持ちの中では外務大臣の岸田文雄に総理大臣をさせて、そうなったら私がボランティアで補佐官をします。すぐに北朝鮮に行って拉致の最後に政変をつけましたので、最後やってみたいと思います。それから地方の振興と言うものは言葉だけでなくて、何か具体的に、お年寄りだけのシルバー住宅マンションを町の真ん中に建てるというようなことをやりたい。それから共同農場もどんどん広げていくということ。そういうのを関東近辺でやりたいと思っています。具体的に何かをやる。そのことを彼には直接言おうと思っています。医療費の問題で、健康なお年寄りには医療費負担を３割負担から２割にしよう、という話をしだしました。そうすると、だいたい貧乏な人ほど病気の人が多いです。ところが、お金がある人はゴルフやジムに行ったりしていて元気です。そうじゃなくて負担は一律になります。元気のいいお年寄りの中には何年かぶりで病院に行ったなんていう人もいますが、私は毎月行って３割負担で3,800円を払って血圧と糖尿の薬を飲んでいます。そういう元気のいい人には３年に１回、10万円くらいのクーポン券をあげて、孫とどこかに出かけてもらう。俺は元気だと孫に自慢もできます。彼はまだ若いのでそういうことの聴く耳を持っているので、期待していますが、自民党の中は一強というものの、人が居ないからであって低い山しかないな、という印象です。

李　　先生ありがとうございました。これで福岡先生のご講演会を終わります。先生、今日は大変興味深いおもしろい話をしてくださり、ありがとうございました。

それでは40分から通路の左側の大会議室でゼミがございます。飛び入りも歓迎いたしますので、どうぞご参加ください。今日は福岡先生の講演会にご参

加いただきまして、誠にありがとうございました。皆様よいお年をお迎えください。来年3月には総合研究センターの公開講座が3つございます。またどうぞおいでください。ありがとうございました。

〔講　演〕

ノースアジア大学　総合研究センター主催　講演会

「２０１７年日本はどうなる
―安倍政権と野党、そして日本外交―」

講　師　東北福祉大学特任教授
　　ノースアジア大学総合研究センター客員教授　　福　岡　政　行

司　会　ノースアジア大学総合研究センター長補佐
　　本学経済学部准教授　　李　　廷　　珉

日　時　平成29年３月25日　午後１時～２時30分

会　場　ノースアジア大学　40周年記念館271教場

李　　皆様こんにちは。昨日の晩より今朝にかけまして雪が降りました。冬の最後の雪になりますでしょうか。本日はお足元の悪い中、ノースアジア大学総合研究センター福岡政行先生のご講演会にお越しいただきまして、まことにありがとうございます。本日もお集まりいただきまして本当に胸がいっぱいでございます。心より感謝申し上げたく存じます。

本日は福岡政行先生より「２０１７年日本はどうなる　―安倍政権と野党、そして日本外交―」という、大変興味深いお話をおうかがいいたします。先生それではどうぞよろしくお願いいたします。

福　岡　今最もテレビに出ている時事通信の田崎史郎という解説委員は私よりはるかに若い男ですが、安倍晋三と寿司を食べたり、２月27日から29日に赤坂飯店で、各テレビや新聞社の官邸キャップが総理大臣とタダメシを食っています。それからこの１週間で山口敬之という政治評論家が出てきます。これは元 TBS の記者ですが、まったく原稿を書きません。安倍晋三が靖国神社に行った時も、彼は一緒に参拝していました。後で分かることですが、ニュースにもなりませんでしたけれども、こういう安倍晋三系の人たちがかなり多く出て、何人か見たことも無いような政治評論家が出ているのは、全部安倍サイドからテレビ局にオファーしています。私は長年にわたって原発反対運動をして来たので、この２年ほどテレビに出ていません。

もう売っていないと思いますが、今週号の『サンデー毎日』の中の記事で、かなり立派な思想家で内田樹という人のコメントが出ていますが、その中で象徴的なものを紹介します。安倍総理大臣は、官僚人事、NHK 会長人事や経済政策で自分に阿る人（ゴマをする人）に破格の待遇を与える昇進システムを完成させました。彼の気性に追随しその動く人たちを徹底して重用する。努力(ゴマをする）と成果が綺麗に相関します。だから与党政治家、官僚やジャーナリストは首相を喜ばせれば､必ず出世できるという経験則を深く心に刻みました。これがおそらく今の日本の国です。私は今、毎日出版に『２０２５年問題』という本の原稿をお渡ししています。次の講演の時にはサイン入りで皆さんに買ってもらおうと思っていますが、おそらく10万部くらいは出るかと思っていますが、その後で『人生は出会い』という本を書きました。これは自分の71年間の歴史の中で会った人たちの、いろいろな方々の出会いを書きました。角川から出る予定ですが面白いと思います。その次、この２ヶ月『ブラック国家ニッポン』という本を書こうと思って、レジュメを作りました。

前に話したかもしれませんが、たまたま東京駅から六本木までタクシーに

乗ったら、「先生が民主党を押したから、私は沖縄出身ですがあの政権交代の民主党に１票入れたのに、あの情けない鳩山や菅や野田バカ彦達を見てもウンザリなんです。今は自民党は嫌いだけれど、安倍に頑張ってくれと思っているけれど、本当に日本は景気も良くならないし、タクシーも大変なんです。20万円を東京で稼ぐことも大変なんです。本当に日本という国はブラック国家ですね。」と50歳前後のタクシーの運転手さんが言っていました。ブラック企業はよく聞く言葉かも知れないけれど、ブラック国家と聞いたときに、東京から六本木まで2,600円くらいの料金でしたが、3,000円出してお釣りはいいです、となんだか悪いことしたみたいに思って、さっさと走って東京駅に入りました。そのことを含めてお気づきのように、原発反対をしてきた方々が全部、あの京都大学の先生含めて、みんなチェックが入っています。今回のケースも今日の話を聞いて、なるほどそういうことなのかと思っていただければ幸いです。

それでは本論に入ります。とにかく内田樹さんという思想家は、本を何冊も書いている方ですが、安倍周辺にいる人達はみんなそう思っている。毎日新聞はサンデー毎日ですから、ある程度朝日新聞とは距離を置いていますが、「もう産経新聞も日経新聞も、もちろんフジテレビも日本テレビも、もうここまでくると、どうしてよいかわかりません。」というようなコメントを、御用学者的な人たちがしています。だけどここまで来ると、一言だけ文字に書いていませんが、おそらく犠牲者が出ます。おそらく誰か死ぬと思います。おそらく自殺ではないと思います。それは今までのケースのときに、原発のときのも佐藤栄佐久という当時の福島県の知事が冤罪で逮捕されました。その親戚の方は、激しい検事の取調べがあって、今でも植物人間状態で倒れています。念のため、佐藤栄佐久は総理大臣ではなくて福島県知事の方です。今でも付き合っていますが、まったくどう見ても冤罪であることは間違いないのですが、「“あまりにも親戚の連中がいじめられたので、ついに私も自白をしたわけではないけれど調書にサインをした。」と言うのです。そういったことを全部見てくると、おそらくほかのケースもあると思いますが、犠牲者がでます。そうなると、今渦中の人である籠池さんにも SECOM か ALSOK をつけて、誰か空手のできる人をつけたが方いいのじゃないかと思うのですが、ちょっとそういう事態がこれから１、２週間、４月の頭くらいまでが山場なのかなと、現場で取材している関西系の記者からの報告です。活字にはできませんがちょっと頭の片隅に置いておいてください。そういうことがあってはいけないのですが。

私もそうですが絶対に自殺はしません。どこかで死んでも、それは自殺ではありません。私はゼミ生に、「体が弱くなって死にそうな時は屋上に行くから

後ろから背中を押せ、５万円でどうだ？」といっています。最近は、「５万円では嫌だ。」という足元を見るような、しょうがないやつもいますが、私は一切そういうことはありません。

それから私は東京で電車に乗りません。警視庁に勤める教え子から、「先生は電車に乗ったらすぐに痴漢で捕まるよ。」と言われます。女房か学生が一緒の時は乗ることもありますが、あとはもうグリーン車に乗っています。見栄を張っているのではなくて、横浜球場に行く時も東海道線で品川から横浜までは500円多く払ってグリーン車に乗っていきます。それならば、隣に絶対に人がきません。仮に女の人が来たら、さっと場所を変えます。最近の痴漢は３人組みだそうです。胸の大きな若い女の子を私の側にわざと置いて、何もしなくてもちょっと揺れた瞬間に、「触らないで、いやらしい。」といったら、側にいる仲間の一人が私の手をぐっと掴んで、「触ったなお前！」とやります。しばらく騒ぎになってから、少しは離れていたところにいたもう一人の仲間のおじさんが、「俺も見たよ。」と言えばおしまいです。そういうのを組んでやっているので、「手を上げていたってダメですよ。腰を動かしただけでも痴漢といわれます。」なんだそうです。だからそういうのは甘い、と教え子の警視に言われたので、もう一切乗らないことにしました。

では本論に入ります。なんだかちょっといやな世の中になったなと思ったので、そのことも後で触れます。レジュメの「カゴイケスキャンダルと安倍夫妻」についてです。籠池夫妻と安倍夫妻はいい勝負です。本当にいい勝負です。まず間違いなく私がテレビに出るなら「籠池さんは犯罪人ですね。詐欺師ですね。」と言います。間違いなく、３枚もあんなものを書くということ自体で、後でテレビでいろいろなことを言ったって収まりません。国交省に渡した27億円は補助金は、そのうちその金額の何パーセントかを貰うことは決まっているのだから、15億円より27億円の方が６千万円多く入ってきます。そういうことはちょっと言えばいいのにと思います。７億円は大阪府の方とは太いパイプがあります。これは言えないけれど、藤原工業という会社の関係もあります。維新の政党にもこの会社は政治献金もしています。特に橋下知事以来、献金は異常に増えて府の仕事の委託は多いです。それ以上は言いませんが。

そんなことがあって、この籠池夫婦は大問題です。テレビは放送しないけれど、彼らには選挙応援で使える幼稚園の父兄会があるのです。200人だ300人だの OB の名簿を渡して、「電話してもらっても結構ですよ、私の名前を言ってください。」と、文句を言う人もいるかもしれませんが、そうやって淀川東、西淀川や大阪の参議院議員や府会議員が絡んでいるというのは、あのようなペ

テン師のような籠池さんですから。バーター取引で、お金なんか渡さなくても、「選挙の応援をしてあげますよ。」と、市会議員でも豊中市会議員でも、こういうのは皆さんでもよくわかると思います。そういう集票システムが出来上がっています。

安倍夫妻については前にも言ったけれども、何年か前に縁を切りました。安保法をやる段階で彼とは何度もご飯を食べました。少なくても第一次内閣の10年前のとき、ブレーンではないけれどアドバイスをしましたが、この人間は、「おそらくだめだな。」というふうに思ったので、安保法以降はむしろやめた方がいいなと思っています。奥様は東北の防潮堤の反対運動にも付き合ってくれています。彼女は講演会をやった後、二次会まで行ってお酒を飲んでいます。その時に、お酒の飲み方が女性としてはちょっとだらしがないというか危ないなと思いました。側にいる男性に、しな垂れ掛かっているようなことをしていました。自分で外神田の神保町にスナックを始めて、ついにそのビルを一棟買ってしまいました。そういうところに行っても、山口県の友人が、「あんなに酔っている姿は総理大臣婦人が見せてはいけないよね。」と言うシーンがありました。おそらく夫婦は今週の週刊誌の記事でお母さんの安倍洋子が激怒しているように、怖くて帰れないのだと思います。３階建ての家は１階がカレージで２階がお母さんの家、３階が二人の夫婦の家です。安倍晋三はまず家に帰ると、先ずお母さんのところに行って、ついでに３階にいきます。だから昭恵夫人は家にいないで自分のいろいろな企画を持って飛び回っているのです。おそらく総理官邸にもいないでしょう。その象徴が安倍洋子の米寿かなにかの誕生日のお祝いで「維新號」という中華料理店で食事会をした時も、実は昭恵は東南アジアに旅行をしていました。普通は旦那さんのお母様のお祝いの会だったら、気を遣います。それに誕生日は日にちも決まっています。安倍晋三にはお兄さんと弟がいますが、みんな集まってお祝いしました。

おそらく安倍晋三が命取りになるなら、夫婦間のコミュニケーションが無いというのが、実は大きなポイントになります。予想以上に深くこの昭恵が森友学園の籠池夫婦とつきあっています。私はメールが打てないので返信をするだけですが、60歳前後のおばちゃま達が、あれだけ頻繁にメールをするというのは、よっぽど何かないとしないと思います。粘着質といってはいけないですが、“普通はそんなにしない”ということも頭の片隅に置いておいていただきたいと思います。

レジュメの①、安倍はおそらく政治家も辞めなければならないところまでフィフティ・フィフティを超えたような気がします。これから触れるところで

すが、「森友学園問題で、普通の政治家なら、私が関わっていたら辞めますよ。総理大臣も国会議員も。」と言いましたが、一国のリーダーの発言としては軽率です。それは、“明らかにそんなことはない”という自信からくるのか、全否定することで自分が生き延びようとしているのか、という“ぼんぼん”の態度なのです。いわゆる子供の頃からずーっと成蹊学園に行って、うちに帰れば“ママ、ママ”と言って、おじいちゃんの岸信介の膝の上で遊んでいて、あまり人の言うことを聞きません。こういう“ぼんぼん”は自分にとって変なことを言う人を拒否します。典型的なのは、彼の家庭教師の平澤勝栄でしょう。彼は自分が東大生時代に家庭教師をしていました。うっかり、「一時期なかなか勉強を見るのが大変だったよ。付属高校から大学は普通にやっていたら行けますよね。覚えが悪かった。」とちょっと悪口を言ってしまいました。私と平澤勝栄は同級で同じ葛飾区に住んでいますので会います。安倍晋三にとって平澤勝栄は、恩師であって当選９回の先輩です。普通だったら、科学技術庁長官とか秋田問題特別大臣など、何でも良いから就任させると思うのですが、そういうのにしません。私だって10年前までは親しくしていたのに、今はまったくです。私はゴマスリではないのでこちらから擦り寄るようなことはしません。そういうようなところがあります。

その理由は二つです。ひとつが森友学園問題の100万円の問題です。ただこれは籠池を全面的に信用できないところもあります。９割くらいそうだと思うけれど１割について不明ですが、このことをはっきりするために、なぜテレビで言わないのでしょう。谷査恵子さんも国会で証人喚問すればいいと思います。彼女は東大を出たエリートです。今は聞かれても、「その時は、人払いはされていません」と言っていますが、本当のところは分かりません。彼女が国会の証人喚問で、「人払いはされました」、「いえ、されていません」、「私と誰々は３分だけ外に出ました」、「ずっと一緒にいました」などと言って、結果違うことになれば籠池は証人ですから偽証罪になります。安倍昭恵さんを同じ土俵に乗せるのは当たり前でしょう。片方が土俵に乗って証人になったら、安倍昭恵さんも民間人だと言っても、籠池も悪い人ですが同じ民間人です。同じ場で話してやってもいいし、時間をずらしてやってもいいです。

その前に気の毒ですが谷査恵子さんのことについて、レジュメの「思いだけで突っ走る…私を」のところです。昭恵さんの Facebook で、最後に経産省に戻るときに「谷さんは思いだけで突っ走る私の面倒をみてくれた」そうです。FAX だっておなじです。谷さんは明るくてきっといい人だと思います。人間はあそこまでいけば人柄が顔にでます。「わかりました。全部やっておきますね」

となったと思います。かわいそうですが彼女を呼んで白黒させるといはっきりすると思います。ただ籠池さんもどうも違うのかもと思うところがあるので私は９：１です。もしかしたら本当に100万円をもらっていないかもしれません。ただ、あのケチなお金のない人が９月５日に100万円を貰って、もちろん土曜日ですから郵便局はやっていませんし、日曜日も休みですから、月曜日になってから100万円を口座に入れます。それは一覧表で誰がいくらの寄付だったのかがわかるようになっている中で、１つだけ100万円があるので、９割方、園長室か上座のある部屋か何かで、人払いするような何かあったのかどうかを、誰かがはっきりとテレビの中できちんと言った方がいいと思います。

そうするとはっきりわかることですから、それで安倍晋三が辞めるなら辞めた方がはっきり言っていいと思います。それよりも、もうひとつの方がはるかに大きな問題です。例の FAX です。アメリカかどこかに総理大臣の外交に随行していた昭恵夫人の電話に籠池が電話をしました。おそらく外国モードになっていて、留守番電話にメッセージを入れたのだと思います。結果的に電話で２、３分でもあの内容のことは言えないと思います。４つ話のことがありますから、それならば文章にして総理官邸の谷査恵子さんのところに送ってください、ということが当然にあったはずです。それで籠池さんは手書きの文章を送って、その回答が11月何日かに文章として出てきて FAX で対応したのだと思います。何も犯罪意識はなく、頼まれた当然の業務として昭恵さんにも報告して FAX で返したのだと思います。それを物的証拠だとして持ってきました。でもあの文書の内容は口利きであり、関与であり、当然のことながら総理大臣の奥様は言われたことを財務省の室長に秘書官を通して伝えたのです。財務省の室長は私が会いたいと言っても会えません。野党が会いたいと言っても会えません。秋田県知事の場合は、自民党の国会議員に頼んでやっと会えるくらいです。普通だったら、せいぜい40歳手前くらいの課長補佐だったり、最悪はノンキャリアにしか会えないということを、みんな一番良く分かっていることです。けれども総理大臣の奥様の秘書官からだったら、全部対応するというのは、ごく当たり前のことです。秘書官の仕事としては、それは何でもないことです。それが関与も何も、ごく当たり前の公務員の仕事なのです。公務員というのが、今回の一連の出来事の中で、忖度もしていないし、昨日のなんとかという国税庁長官も何も言っていない、と言っていました。

元大蔵官僚で、民主党から大蔵大臣になった藤井裕久先生とお付き合いがありますが、80何歳かの、このおじいちゃんがサンデー毎日でコメントしています。時事放談で時々出てくる方で、この元大蔵官僚の大蔵大臣を３回した藤

井さんが、「財務省という役所についてである。９億円の国有財産を１億円に値切る。そんなに融通無碍なところなのかと聞かれて、その正反対だ。役人というものは世間でいう、頑迷固陋のものである。前例を大事にする。逆に融通を利かすことには大きな抵抗がある。私の経験でいえば特に財務省はそういう役所だ。そういうことからすると、今回財務官僚達が独自に判断したとは、とても思えない。」

霞ヶ関でも大蔵省・財務省は富士山ですから。郵政省も総務省も厚生省もそんなのはもう岩手山か鳥海山、丹沢の山程度のものです。同じ東大法学部の同じクラスの出身でも、国家公務員試験の20番台までの人は大蔵省に行けるのです。400番だったらだめで、マイナーな局に行きます。そういうことがはっきりして、自分たちができるのは“大蔵大臣が総理大臣に阿吽の呼吸で言われた。神の声というか、神風が吹いた”というのを、ぜひ頭の中に入れていただきたいと思います。

昭恵さんの問題はともかく、まちがいなく関与で口利きである、ということです。ゼロ回答だって結果的には、翌年すぐに４月の何日かに政府系の金融機関から振込みがありました。そんなものは27年度予算ではできないから28年度予算で、いくら籠池がうるさいからということもあるけれど、大蔵省の幹部が判断しなければ、何千万円のことかもしれませんが、そういったことを簡単にはできません。すべてはいろいろなことがあったということです。

なぜ、経産省出身の女性がいたのかということは、前にふれたように、もっとも安倍晋三が信頼している官僚が秘書官は秘書官の今井尚哉という人です。新日鉄の社長で今井敬の甥っ子です。これがいわゆる大蔵省を差し置いて、同じ東大出身ですが経産省出身の今井が全部握っています。当然のことながら今井の部下である谷査恵子さんたちが安倍昭恵の身辺をチェックする。外国に行く時は現地の問題があるので、外務省やが大使館がしますが、これが大蔵省がいなくて経産省がすべてしているというのは、人間関係ですべて進んでいます。これが辞める最大の理由は、おそらくすぐに分かります。そして気の毒だけれども谷査恵子さんの証言を得るとすぐに分かります。もう証人喚問でも役職を捨てて、人払いがあったことを話すかどうかです。ここも問題です。このFAXだけのときはゼロに近かったけれど、その直後からトントントンと１億円になってしまったのですから、こんなものは何とでも言えるというものです。

レジュメの２番目。そもそもは、たった100万円のことですが、９億円が１億円になった問題の情報不開示は、「変なものが校庭やキャンパスにあったら子供達が集まらないだろう。」という籠池の発言はそうだと思います。ただ、

いろいろ言われても９億円を１億円にするというあのテンポの速さのときに関わったのは、安倍晋三と同郷の当時の理財局長で、現国税庁長官の昨日出てきたあの迫田英典という男です。この問題はレジュメの３番目をちょっと見てください。「2015年９月の３・４・５日のこと」があります。３日に安倍と理財局長であった現国税庁長官の迫田が会っています。理財局長が大蔵大臣に会うならともかく、総理大臣官邸に入るということはありません。それは何だったのかということを、昨日見ることができませんでしたが、野党はちゃんと聞いたのでしょうか。この９月３日に何の話をしたのか、もちろん全体の話のことになりますが、「それは公務なのでシークレットです」と言うでしょう。この２人は山口県の同郷で隣町の選挙区の人で極めて親しいです。個人的に一緒にお酒も飲んだりする人です。それに今、会計検査院が調査のため動いています。会計検査院の院長が国会で証言をしていますが、彼も山口県の出身です。私は東京の人なので分かりませんが、県人会というのを秋田県も東京でするでしょう。山口県も同じように東京でやっています。その時に当然、総理大臣や地元の国会議員が来ると集まった人たちは、「わぁ」となって囲んで名刺交換や挨拶をしたりします。その時に「なんだ、霞ヶ関にいるのか」などという会話になって、人間社会ですからゴマスリを重用して出世させてきたのかもしれません。

９月３日に公表されている安倍総理の一日の日程では、理財局長に会っています。翌日、あの安保法で大乱戦の国会の中で、安倍晋三はテレビの仕事をしていました。私がここで講演をしていた日です。テレビ番組の“ミヤネ屋”に出演して、その後“どこまで言って委員会”の収録もしたそうです。そんなテレビ出演や収録のために、国会の審議の最中に委員会の委員長が、「行かないでください」と言っているのに総理大臣が行って、前の日に理財局長が行って、その日の夜に冬柴鐵三という国交大臣の息子さんが大阪でやっている料亭で会ったようです。この息子さんは元りそな銀行員でして、森友学園のお金の融資は、ほとんど“りそな銀行”です。りそな銀行はメガ銀行と言われていますが、なかなか厳しい経営状態にあることは知られたところです。こんな時にわざわざなんでそこで、冬柴さんの息子さんの海鮮屋か何かのお店で食事をしたのでしょうか。霞ヶ関の連中からの私に情報提供あって、今井秘書官は同行していたのではないかというのです。テレビには出てこない話です。調べればわかることなのだから、と思います。

「今井秘書官が同行した」とテレビ局は放送していないかもしれませんが、９月４日に近畿財務局に集まって９億円をなんとかしようと、皆で話し合いを

したようです。前の日に理財局長に会って、理財局の支店である近畿財務局が話し合いをして、今井秘書官がそこに何らかの関わりを持っていたとすると、真っ黒なネズミを白いウサギと言うようなものでしょう。そういうようなことをキーワードに気の効いたコメントできる人もいればよいのですが、いなくなりました。

そして９月５日に安倍昭恵が森友学園に行って、子供達が読み上げる教育勅語を聞いて、「偉いね」と感動して涙が出たようです。教育勅語は初めの方は良いことを言っていますが、後半の方はね。それにつけても愛子様の卒業論文は凄いですよね。感動しました。私が彼女のメンタルトレーナーをしてあげたいと思いました。かわいくていい子で、５月に広島に行ったときの事を書いて、美智子様がきちんと孫をかわいがって、普段からお話をされているのだと思います。愛子様が雅子様の目を見てどのくらい気を遣っているか、あまり言えませんが、拒食症になるような何かがあるのです。おそらく美智子様はそうではなくて、孫に小さな頃から平和の大切さを、お話になっていたのだと思います。それがあの卒業論文に現れてきたのでしょう。機会がありましたら文集を見てください。凄いなと思いました。

それにしても、この９月３・４・５日のことは形にはなっていなけれども、全ては阿吽の呼吸でしょう。“忖度”は普通の人は読めなくて意味が分からない言葉です。英語の出来る方、どうですか？　おそらく英語にはないと思います。“推量”、“想像する”、“慮る”、何か違うけど、だいたいそういうことでしょう。政治は特にブラックボックスです。理路整然と明らかになったりしない暗箱です。これをどういうふうに解明するかというと、入って来たものがブラックボックスの中で何かでなんとかなって、結果はこうです。９億円が１億円になった。FAX が届いた時は上手くいかなかったけれど、「この後もご指導ください」などの云々や、「連絡いたします」というのを読んでいると、なるほど全部そうなんだと思います。たまたま神風が吹いたのは、本当はなかったゴミをあったことにすると、９億円を１億円にすることができるよ、となったのです。籠池にはお金がなかったけれど、政治家も公務員も、あの当時はそういう雰囲気になりました。安保法の時です。そして安倍晋三が“行け行け、どんどん”の頃です。スーダンにも行く、世の中はなんとなく右寄りでした。リベラルなことを言うと天皇陛下でさえ、退位問題に持ち込まれました。マスコミも羽生田以下の二世・三世のボンボン議員に全部チェックされていました。当然ながら銀行やスポンサーにもチェックが入ります。銀行員の後輩から、「先生、原発反対と言わないでください。」といわれますが、そう言われてもお金を入

れるのは私達です。「先生、講演にお招きできなくなってしまいます。」とも言われますが、そんなのは要りません。

官僚は資料を必ず持っています。要らないから捨てるということは絶対にありません。紙でなくてもパソコンの中にデータ化して別に全部持っています。それから、昨日安倍晋三がメールを開示したけれど、水没したとかで、一部昭恵の携帯メールは消えています、ということでした。でもそれは通信会社にあるのではないですか。そこから開示すればよいと思うし、消えた部分を籠池の奥さんが出せば良いと思います。協力したくないので教えませんけれども。あの当時の日本の政治状況は、安倍晋三が、「日本の保守で、日本を取り戻すんだ。」と言っている時でした。「あの民主党の三人はアホだ。タカか。」と言われているときに、世の中みんなそうなって行った。私達は反対して、「それではダメだ、民主主義が終わってしまうよ。」と言ってきました。

レジュメは３つの※印「カゴイケ」、「黒いネズミも白いウサギ」、「安倍サイドの政治評論家」のところです。１つ目、籠池にはなんとかという書類が３パターンありました。こういうのを３枚舌といいます。まちがいなく彼は大ペテン師です。関西大学の経済学部を出ているはずなのに別の学部にしています。大学によって“あの学部がいい”とされるところがあって、そういうところに変えて言う人って、世の中にはいるでしょう。私はどこの大学を出ても同じだと思うのです。私は三流の都立高校の出身です。２人の兄は名門高校に入って東京大学に行きました。でもそんなのは全然気になりません。そんなことをやっている彼は大ペテン師で、話すのが得意なので、いろいろな先生に付いて徹底的に選挙の応援演説をしました。

２つ目、安倍晋三は「黒いネズミを白いウサギ」と言っていることをはっきりと察したほうがいいということです。自分から詐称責任があるのであれば、昭恵と谷査恵子さんの証人喚問をすべきである。それから３つ目、安倍サイドの政治評論家は、本当に安倍昭恵に問題があるのだとしたら、このあとはテレビに出る資格がないと思います。私は筑紫哲也の弟子ですから“テレビは物議を醸せ”です。このままだとテレビは本当に死んでしまいます。そうならないように、言論の自由だけは守らなければならないと思います。私は４月から広島県立大学の客員教授で毎週行くことになっています。教え子が事務局長をしていて、騙されてそうなりました。地元のテレビが、「先生、毎週やってください。」というので、「本当に好きなこと言っていいのか。それなら、あなたたち辞表を胸に入れておいてね。」と言いました。広島だけだから、目立たないようにしようと思っています。でも、きっと目立つと思いますが。

レジュメの二重丸のＡは安倍晋三です。また体調が悪くて、またステロイド系の薬を飲んでいます。辞意を表明する可能性は50％を超えていると思います。次に出てくる加計（かけ）学園は岡山県にある大学ですが、これが今治市に新しく大学を作ります。この大学はすでに３つか４つの学園を持っていますが、全部赤字で学生が減っています。森友学園と同じです。この加計学園の理事長と安倍晋三は何十年も前から親しくて、ゴルフやいろいろなことをやっています。この理事長の息子さんに、獣医学部出身の動物のお医者さんの息子さんがいます。今治市に国有地があって、そこに獣医学部を作ります。ところが麻生太郎はすてにコメントしています。「何十年も作らなかったのに、言われて今作ったのはヤバイな。」と言っています。今治市も何十億出しますから、おそらく60億から70億くらいです。今治市には民進党や共産党から、すでに調査団が入っています。その土地の入り口は山や田んぼのような、もともとは草地でした。これから大変なのかなと思います。

その下の細い所は、今日の朝追加したところです。安倍晋三のコメントの中に＜あの人はしつこい！？＞とあります。会ったことはないし、直接話すこともないかもしれませんが、スタッフから聞いくところによると“しつこい”のかもしれません。でも１回や２回ではないでしょう。講演に行く約束の後、本人が現職の国会議員で総理大臣でなかったときは、やったかもしれません。

それから横に書いてあるメールが水没したこと。昭恵さんのメールの一部が消えてしまったそうですが、元に戻してもらいたいと思います。携帯を水の中に入れると、昔のものはダメだったけど今の最新機種は大丈夫じゃないですか？それに消えるなら全部消えませんか？詳しくないのであまり言えませんが。

問題は軽率すぎる発言です。「関わっていたのなら、私は辞める。」なんて普通は言いません。「事実関係を明らかにしたいことには協力をする。」とリーダーは言うものです。「辞める」なんてどうでしょう。証人喚問もやらないでしょう。そんなことをやったら後を引きます。秋田出身の菅官房長官は証人喚問を最後まで反対しました。彼は、「それをやったら昭恵さんがやられますよ。覚悟して言われたら、とんでもないことになりますよ。」そう周りが言っていたのに、籠池があのようにあちこちで証人喚問の前にテレビでいろんなことを言うので、活動家の菅野完に会いに行ったことをテレビで見た瞬間に安倍晋三が、「証人喚問だ！」と怒鳴って、籠池の証人喚問をやることになったと、側にいた記者から聞きました。“こっちに火の粉が飛べば、こっちもやらなくてはいけない”ということが頭の中にない男です。北朝鮮から何かが飛んで来た時に、この感

覚で日本のリーダーとして何かをやられたら戦争になりますよ。ミサイルは秋田の上を飛ぶ可能性が高いです。どうしますか。そういうようなことは、トップリーダーなんだから言わない。何度も言いますが、「どうするかな。」とまずは考えます。田中角栄だったら、金丸信吾や後藤田正晴を呼んで野中広務がメモを取って、早坂茂三もメモを取る。今の場合は、「そうですね。」と周りのバカボンどもが言ってしまいます。苦労人の菅さんは、「ダメです。止めた方がいいです。」と言います。いろいろ言っていますが、顔つきを見ると、「私が携帯で電話しようかな」と思いますが大変だと思います。

今、日本の政治は、やらなければならない大事なことが、沢山あります。でもこの２人のおばちゃんのメールの件も含めて、朝からこればっかりやっています。教育勅語にはいい部分もあるけれど、戦後廃止されました。天皇が人間宣言をされたので、内容がそぐわなくなった部分があるからです。そして平成天皇は慰霊の旅にずっと出ています。それは、おそらくクリスチャンである美智子皇后が話をされているのだと思います。在特会（在日特権を許さない市民会）が、「美智子様は隠れキリシタンではないのか」と誹謗中傷していますが、それは右よりの論調です。2015年に安倍晋三が安保法をやっている時に、朝日を除いた他の新聞も何となくそんなムードになっていました。それは“軍人の靴音が聞こえたときは戦争になっていますよ”というのが安保法や共謀罪です。私の先生である東京大学の丸山康雄先生も本の中で、「軍歌が聞こえてきたときには、もう間に合わない。」と書いてあります。ここでなんとか潰れた方がいいと思っています。

レジュメの下のところ、“(籠に乗る人)”のは安倍昭恵ですから、彼女はいいように言われて、もし籠池が言うように、「一人にさせてごめんね」が本当であれば、「私が名誉園長なんだから一緒にやろう」と言ったのではないかと思います。だから「一人にさせて」で100万円だったのではなかったかと思います。あのメールの回数を見ると、当時は一心同体だったと思います。昭恵さんは旦那さんと話せないので、寂しくていろいろな人にメールを送ります。そんな時にやり手の籠池諄子とメールをやっていたのです。両方ともいいタマだと思います。片やお嬢さんで、もう片方もお嬢さんで、幼稚園の立派な園長の娘ですから。籠池はそこに養子ではないけれど入りこんでいったという男です。“(カゴを担ぐ人)”は籠池、“ワラジを作っている”のは、アホな大阪の政治家です。

レジュメの右側にいきます。一番目は今日の本題「どうなる安倍政権」です。４月の桜が散る頃に政変かな、と言ったら秋田の桜は４月20日過ぎだそうで

す、と今日言われました。東京の桜が散るのは４月の半ばです。彼は“お腹が痛い”と言って、またドタキャンで慶応病院に入院するかもしれません。

ポスト安倍として、ここに来て急速に岸田外務大臣の名前が上がってきました。私は来週、岸田外務大臣に会いますが、麻生太郎が岸田と一緒に、元々宮澤系の大宏池会で60人くらいの仲間を作っています。これは、安倍さんの清和会に次ぐくらいの勢力となっています。これに平成研の部下や額賀福志郎、小渕優子の50数人のグループが集まると、清和会の森や安倍晋三もたちうちできず、総理大臣候補を出せません。ここに岸田の登場で、「安倍晋三はもういいだろう」ということになって、まとまりつつあります。順調にいくと岸田外務大臣が総理大臣になって、北朝鮮特別補佐官に私がなって平壌に入ります。命を捨てて、拉致の方を一人でも多く生死を解明して、宋日昊（ソンイルホ）という日朝国交正常化交渉担当大使にいろんなお土産を持っていってゴマを摺りながら、騙しながらやります。

それから、二世・三世のボンボン議員の危機管理はとても弱いです。困った時は水戸黄門の格さんのように、いろんな人の話を聞くものですが、それがないです。「証人喚問！」と怒鳴ったのは総理官邸での安倍晋三です。一国のリーダーが、「おれは国会議員を辞める」なんてことを言わないで欲しいです。言ってしまった後で、気の利いた自民党の議員達が、「まずい」となりました。そんなことが兎に角あって、聞く耳は持っていないということは前もお話したとおりです。

レジュメ右側の２番目、アベノミクスはブラック国家ニッポンです。秋田の川反も、土曜日なのに人出がありません。行きつけのお店も予約しようと思ったのですが、予約しなくても大丈夫だそうです。遅い時間に行くとお店の店員は若い人がいなくて、平均年齢は高いです。年金はまだ貰ってないそうですが。

皆さんはお気づきになっていると思いますが、景気がいいのは東京と、有名な超大企業や優良企業と公務員だけです。給料が増えてボーナスが出ているところです。でもトヨタは減額になるようです。先日、経団連会長でもあるトヨタの奥田社長と、とある集まりでご飯を食べました。久しぶりにいろいろな人に会って、様々な話をしました。私は端っこに座っていましたが、一言だけ、「日経の履歴書欄にぜひ書いてください」と奥田社長に申し上げました。奥田社長は私のことを認識してくれていました。「日経の履歴書は書けないんだよ、豊田家のことがあるから」と言われました。大和ハウスの樋口武男さんの書いたのだって貰いました。同級生でもあるアイリスオオヤマの大山健太郎も書いて送ってくれました。ニトリの似鳥さんだってこの間送ってきました。トヨタに

関して『トヨトミの野望　小説・巨大自動車企業』という本が出ました。もう書店にはありません。これは豊田家の陰謀なんです。トヨタは豊田家系の社長達にしか話をさせません。ましてや、日経はトヨタの広告がなければやっていけません。私はそのことを聞いていたので、あえて、「書いてください。」と言いました。

私は講談社でも小学館でもPHPでも、教え子達がいます。もしも機会があって、私にインタビューをさせてもらえるなら、一所懸命に聞くし、もちろんライターもつけようと思っていました。私が書いたら100万部売れるかな、と思いながらお話を１時間半で仕切りました。おもしろいです。でも、もう84歳ですから、今聞いておかないと、いつ何があるかわかりません。今しかないと思って聞きました。その後、渡辺捷昭前社長と教え子で元中日の監督の森繁和と、名古屋でお祝いをやろうと言って何人かでご飯を食べました。その時に、「奥田さんと会ったら、“お前が本を書け”、と言われたんだよ。」という話をしました。「そうか先生が言ったのか、渡辺さんにも書いてもらいたいけど、奥田さんに書いてもらいたいよね。こういう時代で、トヨタの社長で、あの時経団連の会長をした人だから、そうだよね。」となりました。ちょっと頭の片隅に置いておいて下さい。是非ライターには年内に書いていただきたいと思っています。

いずれにしろ、アベノミクスは上手くいっていないな、と思います。地方とお金のない人は本当に辛いです。デフレで給料も上がらないです。年金もカットです。ただ、物価が上がっていないので、「ちょっと楽かな」と仲間の年金受給者達は言っています。“じり貧”や“シュリンク”は秋田県にピッタリです。もうそれでいい、この間、「何もしないことがいいんだ」という本を借りました。県知事選挙も市長選挙もしているけれど、何もせずに潰れて行ってもいいのです。今日の魁新聞に「人口が減るのを食い止めてもらいたい、議論して欲しい」という記事がありました。秋田県は100万人を切りましたか。間もなく発表ですか。そんなことは誰でも予測できます。増えないなら、減らないようにどうすれば良いのか。企業の誘致は、雪深い北国には来ないかもしれません。東南アジアに行けば給料は１人７千円で済みます。100人雇っても70万円です。日本人の２人分です。そういうような現実をどう見るかだと思います。

レジュメ右側の③、安倍外交についてです。北方領土については、昨年の１月にプーチン大統領が山口県の大きな温泉宿に行きました。昔、安倍晋三の応援で、私も安倍昭恵と一緒に行った事があるところで、その時、河豚を食べました。今更時を戻すことは出来ません。

ロシアのプロが、「プーチンは石ころひとつだって返す訳がないでしょう。」と言っていました。プーチンはクリミア半島を襲って、ウクライナを叩いて、昨日は人を殺したようです。ドローンに爆弾をつけて、時限装置で爆撃したようです。プーチンはクリミア半島とウクライナを弾圧しているのを見れば“ロシアファースト政策”でしかもロシア国民の支持率が７割と高いです。だから北方領土を返すわけがないのです。

この間シベリア抑留から帰ってきたお祖父ちゃんに会いました。そのお祖父ちゃんは、「俺は体が小さかったから食事係をやっていました。人が食べ残した皿を全部舐めました。残ってきた小骨も自分でかじって食べました。どうしても故郷の新潟に帰って、再び皆に会いたいと思って、頑張って耐えて戻ってきました。」という話を聞いて胸が詰まりました。90歳過ぎの方です。戦争の時、占守（しゅむしゅ）島にいて、終戦のあとやって来たロシア軍に何百人と殺されました。生き残った人は捕まって8年間シベリアに抑留されたのです。聞いて辛くなったので、「お祖父ちゃん、たくさん食べてね。」と言ってお酒を注ぎました。とにかくプーチンは“ウラジミール・プーチン”ですが“ウラガアール・プーチン”です。政府官房機密費は100万円かどうかわかりませんが、会うたびに１億か２億円を渡して、おいしいものをあげて、「なんとかちょっと格好付けてくれ。その代わりに“領土を半分返します”という秘密文書を書いておいてください。約束は10年後やあなたが辞めた後でいいのから。」と密約文書を一筆書いておいてね、というふうにやっているのだと思います。外交って、巻き上げるようなウソをついてもいいから、一筆書いてもらう。その約束はあなた時代じゃなくて辞めてからでもいいから、ということをやれるかどうかです。私が代わりにやってあげてもいいけれど、安倍晋三では無理だと思います。

それからトランプ大統領についてです。トランプは演説するときに、よく手でジェスチャーをします。お手上げトランプなどと言われています。オバマケア改廃法は昨日、票が足りず採決されませんでした。どうもここにきて、お手上げぎみです。公約違反で支持率が下がってきていて半年持つのかどうか、と言われています。トランプファーストやアメリカファーストと言われて、安倍晋三もわざわざ２泊３日で会いに行きました。メルケル首相は握手を拒否したでしょう。イギリスの総理大臣と握手をして帰ったそうです。そのぐらいの何かを示す度量がありません。おそらく、このアメリカという国は大事です。トランプの後はフェンス副大統領がなると思います。彼は、タクシーの運転手をして学費を作って大学を卒業した苦労人です。ですから、何かをしなければな

らないのですが、「日米関係がちょっと危うい」と霞ヶ関の外務省の人達が言っています。彼らは余計なことは言いません。非公式に私達には、「オフレコ守ってくださいね」と言いながら話します。それは官僚の自己保身です。「安倍首相がこの方向で動いているな、理財局長と会っているなら、やるしかない。忖度ではない。昭恵さんが名誉校長だものね」となります。とぼけて、「全く何も関与していません」となれば、それはもう証人喚問で呼びつけて、真実を明らかにするくらいの覚悟をさせなければならないと思っています。

日米関係は、“トヨタの工場を建てる・建てない”の問題もありました。お気づきの方もあると思いますが、豊田章男は経団連の副会長になりませんでした。側近で今度専務になった慶応の後輩を、将来の社長にしようとしています。50歳そこそこの人をトヨタの副会長にして経団連の副会長に送り込みました。これも実を言うと問題です。渡辺捷昭さんは７年前の前社長です。ずーっと豊田章男がやっています。彼が辞めるまでは“前社長”ですが、今は正式には“顧問”です。顧問料を聞いたらびっくりするような金額だそうです。トヨタだから桁違いらしいですよ。低いのだそうです。ここも豊田章男も三代目か四代目のボンボンです。でも経営者ですから、同じ三代目でも安倍晋三とは違います。トヨタは大変だと思って側近で周りを固めましたが、トランプにあんなに言われて工場をアメリカに出すしかなくなってやっています。それでいいのか、と言えば、そこはやっぱりクエスチョンです。このボンボンが前の社長の奥田さんや渡辺さんの話を聞いているのか、というところですが、おそらく聞く耳を持っていないと思います。

最近会った“本当の日本のリーダー格の人”に、「最近、安倍君に会っているのか。」と聞かれました。「会っていません。もうアドバイスする気がありません。」と答えると、「そうだよな。俺も一回会ったけど、何を聞きたいのかが分からなかった。」と言っていました。ある宗教関係者が総理公邸に呼ばれて食事をしたとき、いろいろな話をした後で安倍晋三が、「ところでお台場にカジノを作るのはどうでしょう。」と言うので、「俺の話を聞いていたのか！」と残念に思ったそうです。「日本人には心が大事だ。」という話を30分から１時間して、食事が終わって最後に、「ひとつ相談がある。」と言われて出てきた話が“お台場にカジノを”だったので、がっかりして殴りそうになったそうです。誰に何を聞いているのか分かっていない。博打の話を宗教者に聞くのはどうですかね。的ハズレです。私に聞いたのだったら、「面白そうだな。やった方がいいじゃないか。儲かるぞ。」と言ったかもしれません。でも殴ると思います。ある財界人は、「一度話したけど、あとは止めた。話しがわかって勘所を掴ま

えていたのは、小泉さんまでだな。」と話していました。そういう時代です。トランプなんかにさっさと会いに行っちゃダメです。メルケルのように毅然としていなくてはダメです。メルケルは東ドイツの人です。ベルリンの壁の東側で、自由を求めて難民のように大変な苦労したのだと思います。壁が崩壊した後に行ってきましたが、ベルリンの壁の西側と東側とでは明るさが全然違います。つまり東側には街灯がないのです。そんなことは、少し勉強していれば分かることなのに、と思うのですがそんなものです。

そして北朝鮮。金正男が暗殺されました。なかなか凄いことです。北朝鮮大使館が中心になって10人くらいで実行しました。私は平壌で拉致問題をやった帰りに、ウラジオストック行きの飛行機に乗りました。貸しきっていたわけではありませんが、学生と５人で乗って、一番後ろの席に座っていたら、機内サービスで出てきました。オレンジジュースなのですが茶色だったのです。“ここで飲まなければ日本男児がすたる”と思って半分だけ飲みました。ウラジオストックの空港で腹痛が起きました。東京に帰ってきてからも３日３晩苦しみました。関係ないかもしれませんが、１年後に大腸癌になりました。後で「全部飲んでいたら死んでいたかもしれない。」と言われたことがありました。金正男のはVXガスでサリンですから違いますが、凄く怖い国です。

ここで問題は、４月か５月にトランプと習近平が会います。１泊の会談だと思います。ここで習近平がトランプに恩を売るのは、まちがいなく北朝鮮になんらかのアクションを起こして、そのことを当然にトランプが認める。今世界中でもっとも問題なのはISのテロです。でもこれは簡単にはポイントが掴めません。一方で北朝鮮の場合は次にミサイルを発射した段階で、ミサイル基地だけを７箇所くらい空爆します。軍の兵隊を中心に数百人の犠牲が出ると思います。誤爆もあるかもしれません。これくらのことをしなければ、近い将来、北朝鮮は核実験をやると思います。これはICBMの大陸間弾道弾ではないが、軌道範囲は間違いなく韓国と中国と日本の秋田県を中心に東京も全部射程範囲に入ります。だったら叩いてしまおう。習近平とトランプが合意して非公式にやって、そのかわり韓国に配備しているTHAADという防衛システムだけは外せよ、という密約があったら北朝鮮問題は動きます。日本は桟敷席の向こう側です。その時に安倍晋三のまわりに何人いて、日本はどう対応するのかです。「防衛のプロなんだから、小野寺五典よ、何とかしろ」と思います。「北朝鮮問題は軍事の専門家を呼んで、俺を含めて何人かでやるから任せろ」というくらいの準備はしておいた方がいいと思います。日本の平和のために必要です。ただ、もし北朝鮮の金正恩という独裁者がいなくなれば、金正男の韓流スターの

ようにイケメンの長男が、今、一生懸命に勉強をしていますので、民主平和の国を作るために協力して欲しいと彼が言って来たら、おそらく各国みんなOKです。その辺が見えてきたから、外交関係は動いて欲しいです。私は来週、岸田に、「俺を補佐官にしろ」と言います。当然やります。外務省の人たちと一緒に、野中広務さんに頼んで中国は習近平に会います。トランプには、「やるのだったら日本も一緒にやらせて欲しい」と言います。日本もある程度の覚悟は必要です。今、相当なところまで、きていると思っています。

レジュメ４番目、どうにもならない民進党。蓮舫の旦那さんは私の助手です。彼女はもっと可愛く話せばいいのにと思います。あんなに嫌われるように喋ったら最低です。細野とか山井和則とか福山哲郎とかがやればいいのにと思います。岡田も蓮舫もダメです。あとは共産党とどこまで組むかです。今の国民は共産党と民進党が組んでも拒絶反応を起こす人が１割くらいしかいないのではないかと思います。日本の国を変えるために、そのかわり共産党には大臣のポストをやりません。副大臣までです。「共産党宣言を放棄して、赤い旗をやめて黄色いハンカチにしろ」などと全部条件をつけます。それをのんできたら、「後方支援という形でやれ」とします。

創価学会を母体とする公明党は、東京都議選で悟ったはずです。この間、山口那津男の携帯に電話しましたが、返事もありません。私が森友の冬柴の一件のことでちょっと話そうと思いました。「最低だな、今まで協力してやったのに」と思います。だけど、この政党は議員バッチをつけるために動くから、東京都は小池百合子と組みました。それだけでいいのでしょうか。福祉と平和の政党でしょう。宗教の団体が政治をやることに、私は“NO”とは言いません。立正佼成会との付き合いもあります。幸福の科学とは付き合っていないし、天理教はわかりませんけれども。

こういうふうに考えていくと、野党はもうどうしようもありません。政権交代を国民はおそらく求めていません。今日のレジュメには書いていませんが、小池百合子は本気で総理大臣になろうと思っています。都知事は通過点です。外す人が出てくるかもしれませんがハシゴです。彼女はもう豊洲に行かないで築地でやろうと思っています。両方からいろいろあって、都庁も横を向いているけれど、その方向でやると思います。だけども、こんな“鬱陶しい伏魔殿”は嫌だなと思って、彼女は公明党と民進党と小池新党とで、衆議院の今度280議席になる小選挙区に候補者を立てる気でいます。それがわかったので、４月の末に解散して、５月のゴールデンウィーク明けに投票という解散総選挙になると思います。安倍の人気が落ちてきているので、今やったら、きっと安倍は

惨敗すると思います。自民党の中では、安倍は変えた方がいいということになって、岸田だったら人畜無害だから、福岡先生を補佐官にしてやればいい、というような動きになるかもしれません。

レジュメの最後、５番目です。先程も愛子様の広島での卒業論文についてお話しました。ネットで全文を見ることができると思います。家庭教師がいて、所々直したかもしれませんが、気持ちが伝わってきます。今度高校生になりますが、痩せてしまって心配です。誰か良い家庭教師がついて、一緒になってディズニーランドやいろいろなところに遊びに行ったりできればいいのにと思います。皇太子様の家庭教師は、学習院の関係で私の友人でした。週刊誌のグラビアなど、いろいろな変なものも見せたそうです。それは人間形成のために必要なことでもあります。愛子様もいろいろなことを見たいと思います。ipad で検索して、流行のアイドルなどのことを見るのも必要だと思います。「嵐のこの人はアナウンサーと付き合っているのよ」などの情報も教えてあげればいいと思います。ごく普通の人間としての教育が必要なのに、何かやると雅子様がキッとなってきつい顔になるので、愛子様のメンタルに影響するようなことも起きます。天皇陛下は生前退位を認めて上皇になります。私の意見は関係者に伝えました。75歳前後で陛下と皇太子との間で了解がとれれば、体力的なことや認知症の心配もあるので、その段階で象徴としての勤めができなくなる。退位の後は上皇としてゆっくりとお過ごしいただいて、いろいろなところにお出かけになられたりして頂きたいと思います。

結論です。明日が見えないので、何もありません。明日という字が“明るい日”と書くように暗くならないようにと思っています。時間になりましたので終わります。ご清聴ありがとうございました。

李　福岡先生、お話ありがとうございました。今日のお話は盛りだくさんでした。福岡先生にもう一度拍手をお願いいたします。それでは質問の時間を設けたいと思います。ご質問、ご意見がございましたら、挙手をお願いします。なお、その際には名前をお願いします。ではご質問のある方、どうぞ。

福　岡　私の方から指名します。由利本荘の三浦君、どうですか。

質問者　三浦です。お話いただきまして、大変ありがとうございます。私は先生の教え子ということで、来させてもらっています。毎回すごいお話を聞かせていただいて、感謝しています。これからも国政のこと内政のこといろいろあります

が、私たちに分かりやすく教えていただければありがたいと思っています。今年最後の講演となりますので、お礼を申し上げたいと思います。今日はどうもありがとうございました。質問は、この頃先生はブラック国家ということで、今の日本の難しい局面や悪いイメージの方向をお話くださいますが、年金をもらっていますし、楽しく暮らせるようでなければ困ります。これからの国の、良い方向について処方箋がありましたら、一つでいいのでお話いただければと思います。よろしくお願いします。

福　岡　良い処方箋は、公務員の給与を２割削減し、退職金を５割カットします。その分を、北秋田市のようにずるいことをさせないで、ハンディキャップを持っている子供の保育園を無料化します。私は北秋田の市長選に実際には出ませんが、気持ちは出たいと思っています。こういう、ずるい公務員を見ると殴ってやりたいと思います。

2025年問題について本を書きました。団塊の世代がみんなシルバーになって、今後10年間で後期高齢者になっていきます。ダブルオールドと言います。75歳になると急に医療費が増えます。まだ70歳前後の私でも、毎月１万円前後の薬をもらっています。血糖値や血圧を下るものですが、３割負担なので医療費は年間36万円です。月々の病院の支払いは数千円という方はいらっしゃいますか。おられますね。そういう方は医療費がかかっていないので、毎年５万円の“健康長寿料”や“元気料”のようなものを支給してみたら励みになります。いろいろ考えてはいますが､団塊の世代の方に「早く死んでください」とは思っていても言えません。

私はある方の勧めで、エキストラバージンオリーブオイルを飲むようにしています。本当に元気になりました。血色も良くなって、歩くのも苦痛でなくなりました。体重が減ってウエストも引き締まりました。血液検査では悪玉コレステロールがなくなりました。中性脂肪が出るのと A1c が高いので甘いものを食べないようにと言われています。10年後、本当に医療費は大変です。秋田県は本当に何もしない県だなぁと思います。人口が減るのもなんとも思わないのか、対策が見えません。優秀な学生を県内に残すこともしません。秋田高校を出て東京の大学に行っても、地元採用がありません。秋田魁新報も購読者が減っているので採用がありません。秋田のテレビ局も採用がなくて、県庁と市役所が少し採用するくらいです。TDK はありますが、東京採用です。もう大変です。

この先、秋田県の大学に１年だけは来ますが、気持ちは広島にあります。１

時間から１時間半の授業をやって、ゼミ生30人のゼミをします。公開講座は中国新聞やテレビ局でやります。そしてテレビ局に進言して、５時から紙芝居をやろうと思います。最初は『広島カープとユニクロの違い』なんておもしろいでしょう。なぜ広島カープが２連勝した後、４連敗して負けたのか。あの監督以下、２連勝した後、「胴上げは札幌だな、私も覚悟して行くよ」となったけれど、札幌に行って３連敗でした。そして戻ってきて１日空いて土曜日に負けて２勝４敗です。切り替えるという気持ちがありませんでした。ユニクロのヒートテックが売れたときに、後輩であるユニクロの社長の柳井正に先輩面して、「柳井ちゃん、あしたゴルフなんでヒートテック１枚頂戴」と言ったところ、「年末で品切れです。私のでよければ。」といってズボンを脱ごうとしました。下着なので断りましたが、その時の彼の言葉は、「先生、次が勝負ですから」でした。いろいろ言われても、一つ成功しても“次が勝負”と。広島カープには大方そういう気持ちがなかったのが、ユニクロとの違いだと思います。テレビでやったら抗議がくるかもしれません。

谷査恵子さんをとにかく国会に呼んで、「あなた、人払いをされましたか」とだけ聞くだけでいいと思います。全てがわかります。そういうようなことを問題提起しなければいけません。“おべんちゃら”だけの日本だからダメなのです。

時間になりました。生きていれば、また５月か６月に来ます。体調がよければ大丈夫だと思います。もし痴漢かなにかで逮捕されたら、「あの人はそんな人ではない」とみんなで嘆願書を書いてください。

李　皆様、本日の福岡先生の講演会はこれで終わりになります。皆様にお知らせがございます。本日はこの後、ゼミナールがございます。事前の申込みがなくても参加できますので、奮ってご参加ください。開始時刻は２時45分からになります。よろしくお願いいたします。それでは、皆様お足元にお気を付けになってお帰りください。本日はありがとうございました。

〔講　演〕

ノースアジア大学　総合研究センター主催　講演会

「安倍政権の行方と小池都知事の野心」

講　師　東北福祉大学特任教授
　　ノースアジア大学総合研究センター客員教授　　福　岡　政　行

司　会　ノースアジア大学総合研究センター長補佐
　　本学経済学部准教授　　李　　廷　　珉

日　時　平成29年６月10日　午後１時～２時30分

会　場　ノースアジア大学　40周年記念館271教場

李　　皆様大変お待たせをいたしました。福岡政行先生の講演会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日は福岡政行先生に「安倍政権の行方と小池都知事の野心」というテーマでお話をただきます。それでは先生、よろしくお願いいたします。

福　岡　今日のレジュメの左側は東北福祉大学の職員がパソコンで作ってくれたものです。昨日の夜のニュースで加計学園がいよいよ本格的になるということだったので、今日の講演テーマにある小池都知事のことは最後の方に少し触れる程度にします。もう都議選のことにはみんな関心がないし、都民ファーストに行った人は選挙で当選するために票が欲しいから行ったということもみんな分かっています。自民党とのこともありますが、築地移転問題は豊洲に行ったとしても大問題になるのだから、とにかく政治はどこかで決めなければなりません。最近、国会近辺の永田町で言われているのは、「もしかしたらトランプが先か、安倍が早いか」という辞任についての噂がたっています。そのことも含めて、今日は手書きになっている右側のレジュメから入っていきたいと思います。

＜今朝のニュースの補足資料＞というところを見てください。私は、昨年お話したようにこの４月より広島県の県立広島大学の客員教授をしています。毎週火曜日に行って３時限目になる午後１時から２時30分までの90分間をゼミ生８人と一緒に授業をしています。その後地元のテレビ局の仕事を２時間くらいして、翌日の水曜日に飛行機で仙台に行っています。そういう生活サイクルをしていたら夜中に食事をすることが多くなって、糖尿病の数値が悪化して体調を崩しました。この数字は分かる人と思いますがA1cが８を越えたので、ついにドクター・ストップがかかって、ある薬を処方してもらって飲み始めたら少しずつ痩せてきました。「間食は一切しないで食事は野菜から食べるように」と指導を受けているので、今日もお茶菓子を出していただいたのですが食べませんでした。

そんな風に体調は良くなかったのですが、広島県のある町に加計町というところがあって、加計孝太郎というはどうやらその町の出身者なのだそうです。沢山の島々と橋で繋がっているしまなみ海道で広島から愛媛まで行くことができるということで、助手の運転する車で行ってみました。今治市の人口はかつて20万人だったところが、今は16万人を切るところまで減って来ています。基幹産業だった造船業は中国や韓国にシェアが移っていて、もうだめになっているんですね。今治はタオルも有名ですがほとんど中国製になってきているそうです。映像で見た方もおられるかもしれませんが、商店街のアーケード通り

もシャッター街になっていました。行ったのは金曜日なのに商店街が静かだったので、「今日は定休日ですか」とうっかり聞いてしまって地元の方に笑われました。今日はこの今治の問題のことを右側のレジュメでお話をしたいと思います。もしかすると安倍晋三はかなり追い詰められて行きます。私は文部科学省前次官の前川喜平さんが行ったという“出会い系バー”にもフィードワークしてきました。

加計学園の内部告発について、追加調査の記者会見をしたのは私が東北福祉大学の准教授にしたヤンキー義家弘介という文科副大臣ですが、昨日６月９日に文科省は朝10時の閣議の後に松下文科大臣が記者会見をして「あらためて再調査をする」ということになりました。この問題についての初めての記者会見でしたが、もしかすると蟻の一穴になる可能性があります。どうしてかと言うと、「これは国民の声」云々と言っている悪代官顔の秋田県出身の官房長官が、あれだけ酷いことを言ったら相当の批判が来たはずです。今日ここには彼の関係者はいないと思って言っていますが、私も知り合いです。国民の声だとは言っていますが実は文科省の中でも、「前川喜平さんを一人にしてはいけない」と言っている人達がいるのです。この前川さんは前川製作所という世界一大きな冷蔵庫を作っている会社の御曹司で、成績が良かったので東大から文科省に入りました。国家公務員上級職だったと思います。彼はおそらく14番で受かっていて、20番以内の合格であれば大蔵省に行くことができるというのは有名な話ですが、彼は志を持って文部行政をしたいと文科省に行ったようです。名前にちなんで“騎兵隊、前へ！”というブログも作っています。その部下たちがテレビ放送や新聞記事で実名を公表して、「彼を一人にしてはいけない」と言っています。十数人しかいない部下たちの中から、「実名で自分が話してもいい」という人が数人出てきて、「これ以上黙認していたらやられるぞ」と文科省はなったようです。省内の８割から９割ぐらいの課長以下の職員が決起をしたということで抑えられなくなって、あの記者会見をして再調査をすることになりました。パソコンの中の調査はあまり難しくなくてフォルダやメールの確認は半日もかからないでできるはずですが、それをのらりくらりとしないでいつやるかです。問題は国会の任期が18日までだということと、１、２週間延ばすと都議選と重なって来て小池百合子とのことがあるということで、自民党は今とても苦しい局面でタイミングを見ているのではないかと思います。このことは蟻の一穴になる気がします。

そこでレジュメの１つ目。メールのことは本物であることは間違いがありません。実名で本物だと言ったのは、メールを受けたのは文科省で送ったのは内

閣府だからです。送った方の内閣府の方は何なんだということ。菅官房長官も困っているような状態です。それが後で触れていくアメリカ民主主義でのコミーさんとの違いだと思います。内閣府というところが２年前から人事局を作ってすべての課長以上の高級官僚の人事はそこで決めています。「俺に従う奴は課長から審議官にするぞ、昇進させるぞ」という権限ができていて、そこの人事局長があの萩生田という男なんです。この男は後で触れる加計学園の千葉科学大学の客員教授をしていて、落選中に４月に10万円の報酬を貰っていました。この男が総理大臣補佐官で人事局長をしていたのです。そういうような内閣府参与というのが７、８人いる中で、１人だけ警察関係者で補佐に入っていたのが山口敬之という男です。TBS の元記者で安倍晋三の腰巾着と言われて安倍晋三の本を２冊くらい書きました。ベストセラーにはなっていないのに、ベストセラー作家と言ってテレビに出ていたりします。

週刊新潮に、「この男は純強姦罪だろう」と言われています。伊藤詩織さんという女の子が、複数の有能な弁護士と一緒に恥ずかしいけれど、名前も顔も公表してレイプ事件について訴えました。高輪警察がこの訴えた伊藤詩織さんの要求を聞いて、恵比寿駅前の焼き鳥屋と寿司屋に調査に行きました。元々アメリカに留学するような気の強い子だと思いますが、何軒か目のお寿司屋さんで酔いがまわって、気持ち悪くなってトイレでダウンしていたら肩に抱かれてタクシーでホテルに連れて行かれたようです。シェラトンホテルのようですが、防犯カメラもベルボーイもタクシーの運転手さんからも、彼女が意識朦朧の泥酔状態だったことは確認済みです。部屋も予約済みだったようです。泥酔状態だったとは思いますが、朝になって体の一部に痛みを感じて目が覚めたら裸になっていたそうです。男の方の証言は、「寝ていたら彼女が裸になって部屋に入って来たので合意だった」だそうです。その後ワシントン支局長かニューヨーク支局長で国内にいなかったので、高輪警察署は逮捕状を請求して帰国のタイミングで逮捕するために、複数の警察官を成田空港に待機させていました。そうやって逮捕する予定だったのに警視庁の刑事局長から現場にいた警察官の携帯に、「逮捕は見送れ。本庁が取り扱うことにする。」と連絡が入って目の前を通り過ぎていくのを見送りました。刑事の総元締めの中村格という男です。エリート中のエリートで菅官房長官と仲が良いということは、官邸の最高トップのご意向でなければできないことだと思います。個人的に付き合いもあるので分かりますが、秋田県出身の苦労人と言われた良い人がご意向を忖度した背景があるのではと思います。

昨日から NHK と TBS が少し報道しましたが、人事局長の萩生田が昨日の

午後か夕方に記者会見をしました。「メールの内容はわかりませんが、メールが本物であるかどうかが本当かどうかわかりません」と言っていました。出てくることは出てきますが、本物かどうかは分からないらしいです。私はNHKとTBSの後輩たちに、「本物かどうかがわからないことは分かっているのだから、送り先の数名の人達の名前が出ているのだから、今度は当然に送った方の内閣府の人達のメールをチェックした方がいい」と言いました。内閣府は昔の総理府です。そこのメールを確認すると、間違いなく何かが分かるはずです。今そういうことが続いているので蟻の一穴から墓穴を掘り始めるのではないかと思っています。

総理官邸の中は経済産業省から来た今井尚哉という男を買っていました。新日鉄の今井敬さんの甥っ子だそうです。通産官僚のエリート中のエリートです。この男が安倍晋三の懐刀でいろんな所に同行して行っています。昭恵さんの担当として付いていた女性職員も経済産業省の職員でした。ということで官邸の中は経済産業省一色です。つまり大蔵省、外務省は脇に置かれた状態になっています。レジュメの左側でも触れますが、もしかしたらこのことは麻生太郎の判断かもしれもしれません。「もう安倍をどこかで辞めさせないと自民党がおかしくなるな」と岸田外務大臣を総理大臣にして一緒に何かをしようとしています。

これも大きな問題ですが、もう一つの大きな問題点は右側のレジュメの2番目にある今治市の新学部の獣医学部についてです。日本には私立にも公立にも獣医学部が既にありますが、四国にないのは事実です。もう牛も豚も鶏も一時のピークを過ぎていて北海道が4割ぐらいを飼育しているんですね。あとは鹿児島です。ペット産業は犬ブームのピークは過ぎて今は猫が流行っているそうです。もうペットの動物病院も充足してきています。足りないのは公務員獣医です。つまり家畜の感染症チェックや対策をする公的な獣医が2割くらい不足しているのです。後の結論でも話しますが、国立日本獣医大学を作れば良いと思います。栃木県にある自治医大というのを知っていると思います。私の弟子も四国から出てきていますが、日本自治医大は定員が100名で授業料が無料です。ここに受かれば授業料はタダというのは、医師になった後6年間は田舎や医師不足の地域の医療に従事すると授業料が全額免除になるのです。ですから震災ボランティアで南三陸に行った時に自治医大出身の弟子を連れて行ったら、その弟子の後輩である南三陸病院の医師が会いに来ました。大勢の被災者がいる中で、「どうしてここにいるのですか」と言われて、「福岡先輩に呼ばれたのです」と言っていました。公務員獣医さんになったら1千万円以上の給料

がもらえますが、街の動物病院が同じくらい稼げるとは思いません。獣医さんもそういうことをすれば良いと思います。

この問題の中で新学部を担当する70数人の先生方の一覧表の公開を求めていますが、出てきません。70人中20人は、65歳以上で他の獣医学部に勤めていて退職した方です。ヨレヨレのおじいちゃん、おばあちゃんが牛や豚のことを教えるのです。その他の20人は大学院を出たばかりで、臨床を一度もしたことのないような20代後半頃の人達です。東大のある有名な先生が、「日本の獣医の問題は、むしろ質を向上させるしかない」とあるところに書いています。

すでに3千何万人の資格保有者がいてそんなに不足している状態ではないし、女性が多いのは動物病院を開業してペット獣医をしたいと思っているからです。でも動物病院の経営は厳しくて結婚を機に辞めてしまう人がいるので、整理をすれば多くても全然困りません。私立大学の学部は7割方が赤字ですが、獣医学部はどこの大学も志願者が10倍くらいあるのです。加計学園はそれに目をつけているのかもしれません。160人の定員に千何百人近く志願者が来るので受験料が入ります。160人合格させると補助金もつきます。それで要するに学園ビジネスでやろうというのが、おそらく加計孝太郎の中にあるのだと思います。今治市の状態は取材を入れていますが、一生懸命に真実を見なさいということを言っています。公開をしていませんが全部の情報を請求しています。もし一覧表が出てくると、えっというような人の名前があると思います。お金で引っぱって来られた人も何人かいると思いますが、気の利いた方はお断りしているはずです。もしかしたら文科省が不認可にする可能性があるので微妙なところです。

それから今治市は公表されていませんが地方債の残高が1,300～1,400億円弱あって借金だらけです。市の年間予算が600億円か700億円なので、これは相当厳しいです。年間予算の倍以上の借金があって毎年100億円を返済しています。相当貧しくて人口が減っています。造船業が不況で農業も厳しくてタオルも伸び悩んでいますが、土地だけは余っているので、「無料でどうぞ」ということです。岡山理科大学の学長は愛媛大学の前学長です。引っぱってきたのです。そして本宮勇という県会議員が中心になって新設学部を進めていたのですが、この人の息子が加計学園の事務員になっていました。おそらくそのことが発覚してから辞めたようで名前が出てこなくなりました。加計学園には事務局長が何人もいるのですが、一人はこの県会議員の同級生です。そういうズブズブな関係で引っぱって来た人脈でやっているのです。

今日はレジュメに入れませんでしたが、千葉県にある加計学園が経営する銚

子の科学大学の学長は文科省出身の木曽功という人で安倍内閣の内閣参与です。これが前川を呼んで、「加計学園をなんとかしろ」と言った人の一人です。銚子にこの大学を誘致したのは岡山県の副知事で、加計学園の設立した岡山理科大の客員教授をやって元霞ヶ関の人で出身地の銚子市長になった男です。何か言われて科学大学を誘致して土地は無料で提供して90数億円の補助金をもらいました。借金をして作った大学なので、「あまりにも酷い」と地元の市会議員が抗議して10数億円を返還させました。なおかつまだ足らないので、８億円で図書館か美術館を作って市民が使えるような組織をつくることを３年前に約束させたのですが、未だにできていません。加計学園はそういうようなことがグダグダのズブズブになっています。「腹心の友」の講演は３年前に千葉科学大学で言ったものです。そういうようなものが全部次々に出てきます。

千葉科学大学は銚子市から90数億円を出してもらいましたが、同じように今治市の場合は64億円の補助金を出すことになっています。「学生のための学校を作るのだからお金を出して欲しい」と言ったのです。「学生が来て景気が良くなってアパートの入居率も上がる」と言うので、地元の市会議員達が大手を振って喜びましたが、千葉科学大学は定員割れしています。加計学園にはもう一つ岡山の倉敷芸術科学大学という姉妹校があります。ここの学校も定員割れしています。定員が割れるということは､文科省の補助金がカットされます。

加計学園は３つの大学といくつかの高校と英語学校などを経営していますが、今の子供達は中学や高校は公立に行くようになって、よほど有名な一流私立でなければ行かなくなりました｡おそらく相当経営が苦しいはずなのですが、加計学園には毎年200億円の現金の繰越金があります。これは“見せ金”だと思います。補助金をそういう風に見せているのかもしれません。ところがプロの会計士に見てもらったら、「長期と短期を合わせると借入金が210億円あります」ということでした。借金を先に返してしまえばいいじゃないですか。だから土地を取るのです。土地を持っていると銀行は低利で融資してくれます。誰とは言いませんが悪巧み四人組みのうちの一人は某信託銀行の方です。信託銀行は土地があるとお金を貸してくれるでしょう。それを全部見えない所でやっていますがこういう状況です。加計学園自身が毎年何十億円かの借金を返済していますが減っていません。もしかすると台所は火の車かもしれません。だから焦って来年の2018年４月開校で動いて、認可が下りないうちに基礎工事を始めてしまったのかもしれません。

昨日からニュースで取り上げられるようになったのは2015年４月のことです。今治市の職員数名が総理官邸に、何かの話をするために20数分間入って

いたそうです。誰に会って何があったかはわかりませんが、「早くやれ、準備をはじめろ」ということがあったのだと思います。それが昨日から某テレビ局が流しています。今、垂れ込みが凄いのです。文科省の中で、「キャリア官僚が実名で顔を出してもいいから話す」となって再調査をすることになりました。今治の方でも同じようなことが起き始めています。“もしかしたら蟻の一穴から墓穴を掘るかも”という気持ちになって欲しいと思っています。

レジュメの３番目の千葉科学大学のところでも触れていますが、「ズブズブの腹心の友」なのです。それで「忖度だ」とか「ご意向だ」という言葉を使うということは、自分より目上の方に言われたことに対してしかそんな言葉は使いません。官房長官や審議官クラスの補佐官が言う“目上の人”は一人しかいません。「そんなことは一度も言ったことがない、言ったことが分かったら責任を取る」とは言っていますが、この内閣はそういう解決ができないから、国民不在になって日本の民主主義の危機なのです。「あなたの方に説明責任があるでしょう」の怖い顔をした蓮舫が言っています。そうしたら中村格という刑事局長になった官邸の中にいた人が、今度対策本部長になりました。中村格になったらレイプ事件がどうして“無い事”になってしまったのか、本当であれば証人喚問をしなければなりません。この人が今度の共謀罪の対策本部長なんです。

昨日も今日もその話をしていたら、「先生、今は携帯電話も盗聴されますから気を付けてください」と言われました。だから弁護士や作家がみんなで立ち上がって何とかしようと言っているのが、その本家本元はこの中村格なんです。公聴会か証人喚問に呼んで、こんなにはっきりした証拠があるのにレイプ事件に何故ならないのかを確認しなければならないと思います。この件は今、検察審議会に入りました。ここでの話し合いによってはやり直しになるかもしれませんので取材を続けています。次回の講演の時にお話したいと思います。

一人くらいテレビのコメンテーターで、「真っ黒いドブネズミを真っ白いウサギだと言っていっているようなものだ」と発言してみても良いと思います。私は学生に「何で先生はテレビに出ないの」と言われますが原発反対運動をしているので、出ることができないのです。小泉さんも出ていないのは、それだけ圧力がかかっているということです。その圧力をかけているのが内閣参与の何人かです。昨日テレビに出ていた古賀茂明が角川から『国家の暴走 安倍政権の世論操作術』という凄い本を出しました。全部同じ人間がテレビをチェックして、「この人まずいんじゃない」となるとテレビから消されます。私は２、３回チェックされました。テレビをクビになったときに、「みんなが安倍友で

はないんだ」と言ったら総理官邸から電話があったのも事実です。録画放送のテレビ収録で言ってもカットされるので、私がビートたけしのＴＶタックルの生放送のときに原発問題について、「おかしい。100kg、200kg をそんなに簡単に戻せるものではないと、福島の人達は言っていますよ。簡単にできるんですか。」と言いましたが、もう再稼動が始まっています。原発がなくても日本のエネルギーはやっていけるそうです。３年前の福島県都知事選挙のときに菅原文太さんから応援演説を頼まれました。私だけかろうじて最終日に福島駅で応援演説に立つことができました。文太さんの車が来るまでの１時間、街頭演説をしました。「私達の代表が選挙に勝つと原発は止まります。みんなで故郷を守りましょう」と演説をしている最中も公安がずっと写真を撮っていました。そのうちの一人は教え子でした。

私は東京地検特捜部長の河上和雄の弟子です。河上さんは死ぬ直前まで私の事務所で中畑清や日テレの専務と一緒に麻雀をしていました。そのときに言ったせりふが、「どんな位の人間であっても、法律を犯した人間を捕まえるのが検察の正義であり法の正義だ」でした。私は記憶力がいいので麻雀している間は、「そうですよね」と相槌を打っていて終わった瞬間にパッとメモしました。だから文太さんに、「これは仁義ある戦いだ。日本の子供達にこの原発はもういらない。32万ベクレルの作業員被爆なんて信じられない数字だと専門家も言っているんだ。」と言われたときにもそう思いました。真っ黒いドブネズミを白いウサギだといっているようなものでありませんか。証拠も全部あるし、千葉も今治もズブズブの関係があって加計と何とかは“腹心の友”だと言っているとなると、これはもう忖度ではなくて“ご意向”です。今度テレビで話す機会があれば言ってみます。その帰りに六本木ヒルズの辺りで亡くなったりするかもしれませんが、私は自殺はしません。その時は何かがあったということなのです。

レジュメの左側に戻ります。今日の講演タイトルとレジュメのタイトルが違うのですが、状況を見て変えています。「危機の時代を読む！」と書きましたが読めない時代になりました。北のミサイルはニューヨークの友達からのメールによると、トランプの代理で行っている女性と北の代表で行っている女性がノルウェーかフィンランドで話し合っているようですが、もしかするとトランプが不利な状況になっているかもしれないということでした。今までは朝鮮半島近海に空母を送って圧力をかけていましたが、トランプが大幅に譲歩して経済制裁も緩める方向になっているので、戦争ごっこ好きの正恩が練習のように何度も打ち上げているかもしれないのだそうです。私は前にも話しましたが、

金正男のように殺害はされませんでしたが、飛行機の中で北朝鮮に下剤を飲まされてその影響か翌年大腸癌になって１年半の休業をしました。

もう一つは“IS のテロ”についてです。日本は幸いなことに島国なので助かっていますが、ヨーロッパでは夜にサッカー観戦やオペラ鑑賞などをしている心ある人達がそういう所に行くことができなくなってしまいました。イタリアだけでなくイギリスもそうなんです。この問題は世界経済に大きな影響を与えてくるだろうと思っています。

「国民不在の国会」については先ほども少し触れましたが、昨日動き始めたようなのでもしかしたらというところです。私は金曜日の夜だけは東京に戻って、なるべく大学の先生や新聞記者の OB や霞ヶ関の OB と赤坂のあるところで飲んで、情報交換をするようにしています。あるとき、「前川さんがあれだけのことをしたのに、日本とアメリカとでは違うな」という話になりました。「出会い系バーには行きました」と素直に認めればいいと思うのですが格好をつけて、「貧困女子の実態を見に行った」と言っています。アメリカのコミー FBI 長官の昨日の証言は凄いです。レジュメに書きましたが“Loyalty”です。トランプがコミーさんに自分へのロイヤルティ（忠誠）を求めましたが、「私は司法を守りたい」と言って拒絶して解任されたようです。彼は身長が２ｍくらいある大きな人です。前川さんもいろいろあるけれどそれなりの人物です。

文科省は天下りをずっと長い間していたのです。今急に始まったことではなくてずっと昔からです。全国どこの大学でもその天下りを連れてくると補助金を引っぱることができるのです。ここの大学にはいないと思いますがノンキャリでもいいので、連れてくるとどこでもお金が入るようになるのです。それはずっと昔からです。大蔵省も２、３年働くと銀行に天下ることができます。経済産業省は三菱商事や三井物産などの商社に行くことができます。商工中金もです。やっぱりアメリカの民主主義は凄いと思う反面、日本は情けないと思います。日本はやっと菅官房長官を記者会見でとっちめているくらいです。都知事選はまだ始まっていませんが、自民党の候補者が街頭演説をしていると、声を上げて文句を言いに来るおじちゃんやおばちゃんがいます。文科省は室命通りにやる。レイプされた女の子が出てきてやるんだったらいい。司法試験を目指していたのをもう一度やる、教員資格を持っているのでどこかの学校で頑張ってみる、というそういう人間が何十人も出てきたのでこういう事態になっているようです。まだ捨てたもんじゃないと思っています。

だから前川さんの証人喚問をすれば良いと思っています。それは警察の中村格も同じです。テレビで言ってみようかと思っているので、テレビ朝日にゼミ

生がいるので何かの番組に出させて欲しいと言ってみようと思います。FBI長官と前川事務次官とそれに対応する日本のメディアとか政治の違いがあります。

前川さんが記者会見をしたときに弁護士会が、「私は国民全体の奉仕者として」という言葉を上げていました。憲法15条に“公務員は国民全体の奉仕者である”とあります。だから心ある公務員は皆そう思っていると思います。「役所とは地域住民の役に立つところです。自分の役に立ててはいけない。」と私は教えてきたのです。選挙もあったので秋田県と秋田市の話をしても良いかもしれないけど、敢えてしませんが人の役に立つ所ではなくなってきています。「地域住民の目線に立つことが一番大事、それが“役所”という言葉なのですよ」と私は先輩たちに言われたので、そのことも少し触れます。

レジュメのⅠで「安倍政権はモリカケ（ソバ？）疑惑」についてです。蕎麦のことではなくて、森友学園と加計学園を疑惑を合わせたことを言っています。忖度は今年の流行語にノミネートされているようですが、この字は読めませんよね。“すんたく”と読む人が多いと思います。“官僚トップのご意向”ということにも、今のテレビのコメンテーターは何も言えません。時事通信の田崎という人も御用聞きみたいなことしか言えません。ジャーナリストで元記者の大谷昭宏という人がコメンテーターとしてよくテレビに出ています。私の同級生で読売新聞のOBです。この間少しの時間でしたが一緒にお茶をしました。「福岡、何か言いたいことがあるんだろ」と言われたので、「別に言いたくないけれど、読売新聞ってすごいよな。一面で“前川事務次官が出会い系バーに行っていた”と報道を載せていた。その後も批判されたことに社会部長が、“何も問題がない。当然のことである。”なんて書いていたけれど、どこから情報を入手したのかなと思っている。」と言いました。

こういうことは警察情報でしかありません。明らかに内閣調査室OBの警察官僚が入っているんです。そのことに文科省が横を向いているなと思ったら、「次官の後をつけろ」ということで顔が知られていない男女4人くらいで尾行して、「審議官は歌舞伎町に行っていますよ」となったのです。私もこの間、現場検証をして来ましたが男性は6,500円で女性は無料でした。秋田に“相席屋”ってありますか？ないですか？皆さん何も社会調査をしていないようですね。説明責任があると思いますが、読売新聞のことを“コミ売り新聞”と言っている人達もいます。大谷にそう言ったら、「そう言われても仕方がない」と言っていました。志ある記者は読売新聞を相当数辞めているようです。私のゼミ生もこの春から時事通信社に転職しました。

とにかく“聞く耳を持たないリーダーはだめだろう”ということは何度もお話してきたことです。その補足がその下です。「麻生太郎の反乱か!?」というのが旧宏池会系のことです。前にお話したように谷垣禎一はアクシデントがあって車椅子の状態です。人前にはなかなか出にくくなったので政界から引退をすることになりました。それで谷垣のところにいた何人かが麻生太郎のところに入りました。山東昭子さんはお元気そうで、今も参議院議員で政界にいるようです。同じ町内会なのですが若い頃は歌手だった方です。そこも宏池会で一緒になりました。谷垣グループがそのことを怒っているけれど、あと30人くらい入ると90人近くなってナンバーワン派閥になれます。そこで岸田外務大臣を次に担いで安倍には、「もう辞めておけ」と言って石破にも、「俺の所に来たら大臣にしてやるから」と言う風に、額賀福志郎という私の同級生をキーパーソンに進めて行こうとしています。額賀のところも50数人いるので、「お前も議長になってやればいい」となって、旧宏池会はさらに大きくなります。そうすると安倍グループの清和会は90人くらいですがこの中からも何十人か、「やってられない」という人達が出て来て宏池会に移ってくると思います。イエスマンばかり周りにいて警察情報にも逆らえなくて、意見も言えなくて従ってばかりいることに「うんざり」してきている人達がいるというのがこの流れです。

前にもお話したと思いますが、２月頃に麻生太郎と一緒に６、７人で食事をしました。その時に、「外務大臣を長くやった人は総理になる前に亡くなってしまうか、総理大臣になっても長続きしない」と麻生太郎が言いました。後輩である岸田が、「そうか、安倍晋太郎先生もそうだった。小渕恵三さんも総理大臣になってからお亡くなりになるまで短かった。」と敢えて私の顔を見ながら話しました。そうなると彼も外務大臣を長くしていますから、「はやく辞めて次のことをやれ」と助言したら最近ようやくやる気になったようです。二世議員で少し大人しめの人ですが少しずつ動き出したようです。“麻生・岸田の反乱”は早ければ２、３週間で動きが出て安倍はまた体調不良になって、慶応病院に入院することになるのではないかと思います。早くそうなって欲しいと思っています。

レジュメのⅡは“アベコベ外交”についてです。たまたま今週の月曜日に伊藤忠商事の常務で中国董事長を現地で15年やった方と、あるシンポジュウムで一緒になりました。その方のお話では、「習近平外交の中核、“一つの帯、一つの路（ワンベルト・ワンロード）構想”は世界の170か180と言われる国々の内の100カ国を超えていて、世界の GDP の50％以上を占めている。驚くべ

き数字だ。昔はシルクロードで東へ東へと行って日本にやって来たが今は違う。中国から西へ西へとヨーロッパへ向かって行っている。我が国日本はAIIB（アジアインフラ投資銀行）の人口を含めてその帯に入っていない。何とかしないと日本は取り残される。朝鮮半島と中国、台湾、日本で東アジア地域のはずだったけれど、中国は明らかに西に向かって動き始めている。これが習近平の外交政策だ。」ということでした。トランプは一生懸命に朝鮮半島の北の問題は習近平が、少しくらいは暴れてもらった方がありがたいと思っていると思います。プーチンも同じように思っているのではないかと思います。だから許される範囲で北朝鮮に支援をしているのだと思います。鉄鉱石の取引していますが、PM2.5の問題があるので石炭は取引しなくなって来ています。かろうじて石油は送っていますが、この経済制裁で一番困るのは貧しい農民達です。金正恩や共産党や軍隊の幹部達は何の痛みもありません。末端の貧しい農家が更に厳しい生活になるのです。私は２度北朝鮮に行って見て来ています。だからこの国への対応は“北風”より“太陽”の方が良いと思います。日本中の中古車を10万台くらい輸送船に積んで、死んでもいいという志のある日本の学生達と行って向こうに物資を置いてくる。カップ麺や衛星放送が映る中古テレビも一緒にあってもいいかもしれません。

ベルリンの壁だってそうやって崩壊したのです。そういうようなことも含めて日本もどこかで悲しい本当の問題を見なければならないのです。「政冷経熱ではだめなんですか。」と聞きましたら、「そういう時代ではない。政治が冷たかったら経済もだめなものだ。」と言われました。メルケル首相は、本当は嫌いでも習近平に３度も会っているそうです。日本の総理大臣はどこかで会ったときにすーっと目の前を素通りされたりしました。メルケルは訪問した成果として中国でドイツ車の販売をしています。つまり日本の経済活動をするためには何をするべきかということなんです。だって井戸を掘った人間には感謝するでしょう。でも、「甘いですね」と言われました。つまり、「井戸を掘った人達に力があれば感謝の気持ちを持つけれども、力が無ければ中国人はさっと乗り換える」のだそうです。言ってはいけないのでしょうが、これはなんとなく分かるような気がします。日本の国の発展のためにも中国との一帯一路関係に何かをしていかなければいけないのに、中国とパイプのある野中広務さんが引退してしまって、二階自民党幹事長が明日訪問するらしいですがそんなに力があるとは思えません。とにかくただニコニコ笑っているだけでは中国が“手を組もう”とはならないと思います。

プーチンは1㎠も日本に領土を戻さないです。昨年12月に長門市に来ました

けれども、遅れて来てしかも食事にも一切手を付けなかったそうです。あの有名旅館の食事を食べなかったのです。暗殺を恐れているのは本当らしいですが、自分達が用意した食事をどこかで取って適当に日本滞在時間を過ごしていったのです。理由は簡単です。ロシア国民のプーチン大統領の支持率は70％くらいですから、来年の選挙でもう一度やりたいのです。彼はまだ若いです。韓国ほどではありませんが、ロシアの大統領は辞めると大抵おかしなことになります。プーチンの人気が高いのはウクライナを押さえクリミア半島を奪って地中海へ出る道を保っているからだそうです。後で地図を見ていただくと地理的なことが分かると思います。だから北方領土も返還には応じません。そんなことをしたら国民が激怒します。あれは大きな声では言えませんが第二次世界大戦の終戦時のどさくさに紛れて日本から取り上げたものです。そこで戦って生き残った元兵隊と話したことがあります。日本兵は必死に戦ってたくさんの犠牲者がでたそうです。その人は捕まって６年間虜留だったそうです。体が小さいので食事係になって、どうしても故郷の新潟に帰りたいとお皿を舐めるように皆の食べ残しまで食べて生き繋いで戻ってきたそうです。日本兵の抵抗があまりにも激しかったので、ロシアは途中で軍を退いて交渉で北方領土を取り上げたのです。だからプーチンはそんなに甘くありません。何度も会うことが外交なのではなくて、日本はやっていることがアベコベなんです。だからアベコベ外交は限界で問題解決にはならないのです。トランプはもういいのですが、早く辞めてもらいたいと思っています。トランプ遊びをしているようでパリ協定からも離脱してしまいました。地球温暖化のことを全く考えていません。自由貿易のことについてはそれなりに立場や言い分があるのですが、いつまでこんなことをしているのかと思います。

それから戦争ごっこが好きな金正恩とトランプとプーチンの３人についてです。北朝鮮から、「今年の夏に来ませんか」と連絡が来ています。行ってみようかなと思っていますが、殺されたらどうしようとも思います。孫に会ってから行ってこようと思っています。私は金正恩に会わせろと言っています。アダルトビデオを100本くらい持って行って、「これを見ろ。良いことはいっぱいあるのだから開国しろ。命の保障はするし世界各国が支援するから民主主義の国にしろ。」と言います。この国は悔しいけれど“太陽”の方が絶対に効果があると思います。世界にはアメリカ以外にもディズニーランドはあるのだから、そういう場所に行って見たらどうかという話もしたいのですが、今はそういうレベルではないです。とにかく何をしてくるかわかりません。トランプも注意しなければなりませんが、ここまで追い込まれると安倍さんも何か国防対策を

しなければなりません。北欧でしている北朝鮮との交渉をトランプが進めてくれれば良いと思います。それに間違っても民進党政権だけ嫌だというのは、みんな共通だと思いますが、安倍さんには早く辞めてもらいたいと思います。野田が出てきてはだめでしょう。前原もだめで蓮舫も細野も代表を辞めてしまったので、もう誰でも良いから今追及をしている連中だけでいいからやって欲しいという風に思っています。

レジュメのⅢに行きます。“アホノミクス”です。第三の矢は全く動きません。今朝11時から人口が100万人を切った秋田県について高校生と大学生とコメンテーターがNHKでテレビ討論会をしていました。壇蜜も出ていたので見てみました。秋田の綺麗な方です。昨日は腰が痛かったので全く外出しないで部屋で静かにしていましたが、今日は川反に行ってみようと思っています。ちょっとカラオケを唄おうかなと思ってお店に行っても、そこには年金トリオみないなお姉さんたちがいるので、「前にいた綺麗な女の子はどうしたの」と聞くと仙台の国分町のお店に移っていたりしています。私は「今度行ってみる」とお店の名前を聞くのですが、すぐに忘れてしまいます。岐阜の柳ヶ瀬も同じです。今広島の大学に週１回行くので夜７時頃に仏壇通りに行きますが、ここはカープ女子がばかりですがまだ元気です。野球のお蔭です。仙台もコボスタ宮城が元気だからまだ何とかなっていますが、東京の銀座も閑古鳥が歌い始めたかなという感じです。

アベクロの金融緩和はヤバイです。安倍総理と日銀の黒田総裁で“アベクロ”です。もしかすると地方の金融機関は、秋田のＡ銀行や北なんとか銀行は利益が出なくなってきています。みなさんも利用していると思いますが、厳しい状況です。投資をすると言っても国債を買ってもマイナス金利だったり０％に近い利率だったりで利息が付きません。20年くらい前の話ですが、お袋が１千万円くらいを郵貯に預けていたときは５％か６％に近い金利だったので、毎年20万円くらいの利息が付きました。元気の良い母親だったのでそのお金で一緒に沖縄や少し足してハワイに行ったりしました。今は同じくらい預けてもその頃の利息の１％のになるかどうかです。小数点２位くらいの金利だから利息がついても小銭程度でチャリンです。一泊２千円台のこまち温泉には行けるかもしれません。だから日本はシュリンクするのです。この金融緩和は決して良いとは思えません。今度出す本にも書きましたが、金利が３％か４％に上がれば私達も助かるし預貯金を持っている人にもある程度の利息がついて、手数料を引かれても手元にいくらか残ります。ではなぜ公定歩合１％未満のマイナス金利でやっているのかというと、何兆円もある国債の利払いがどうなる

のかということなのです。

そういうことが大蔵省のデータにあって心ある弟子が、「先生これで本を書いてみてはどうですか」と持ってきてくれました。そうですよね、だから国債残高が900何兆円あっても利息は９兆円しか払っていないのです。国債残高が300兆円しかないときは金利が高かったので利払いは10兆円くらいでした。つまり国債の残高が増えるたびに公定歩合を下げてきた結果なのです。コラボレーションというか出来レースだから日本はデフレから脱却できないのです。イオンの岡田社長は、「デフレ脱却はイリュージョン」なんてことを言っていますがそんな風になるはずがありません。金利が３％付くと利息で何か買えて旅行ができたりするのです。みんな仕方なく新聞の折り込みに入ってくる安売りのバーゲンチラシなどを見て、工夫をして暮らしているのですが、今はそういうようなものなんですと言われてしまいました。

それで、ジリ貧大国ニッポンです。ついに秋田は人口100万人を切りました。この大学に来て講義やゼミをやり続けてきたのは、前に受講者の中に上小阿仁村の人がいて、「人口２千人ちょっとで何ヶ月も雪の中にいて、前の前の村長さんは頑張ったけれどもお医者さんがいなくなって、生まれる子供は何十人くらいで限界集落48％が近づいてきました。」と言うこともあったからでした。大学に行っている子供達は、「故郷に戻ってきます」というけれど、仕事がありません。気の利いた子供達は、東京の大学に行って地元の県庁や市役所の職員を目指すけれども採用枠は少ししかありません。教職員も少しだけ、ノースアジア大学の採用はわかりませんが働くところがないのです。女の子が戻ってきて水商売をしても仕方がありません。地元に勤める場所がないから東京のメガバンクのような企業に勤めるしかありません。一度この講演会に連れてきた秋田出身のゼミ生も地元に帰りたいと言っていましたが、JR 東日本に就職が決まって４月から東京勤務になりました。JR は「新幹線の運転手になりたい」と言った東北福祉大学の学生を採用してくれました。女性運転手が一人いるらしいので、「私も絶対に運転手になって秋田新幹線を運転して秋田に帰る」と言っています。本当は帰るだけでなくて住まなければ意味がないのですが、戻りたくても戻れないとそうなるのです。ゼミ生22人のうち半分くらいの子が宮城の出身です。一度ここに連れてきた青森出身のゼミ生は４年生になりました。ベネッセスタイルケアに就職が決まって仙台勤務です。他の岩手の子も山形の子も仙台が良いと言っています。皆がそういういう結末になって行くのか、真剣に考えなければならないと思います。

それと格差社会についても大変な問題です。大企業とお金持ちは本当に株で

儲けています。公務員の給料も国の方針で減給調整をしていたのが元に戻りました。もう死んでも安心です。退職金をもらって年金も出ます。私も年金を貰っていますが偶数月の15日に支給になるので、奇数月になると心細くなって来て食べるものも控え目になったりします。

週末は東京の六本木戻っていて色々な人に会うために赤坂や銀座に行くこともあります。だいたい日曜日の午後か月曜日の午前に広島に移動して、火曜日は広島の大学で授業をします。その間で時々、「今治にも行ってみようかな」となったりします。授業が終わったらテレビの仕事をして、その後に広島の仏壇通りに行ってカラオケを唄ったりします。そして水曜日の午前中の飛行機で仙台に移動しています。仙台で４時限目と５時限目の授業をした後は、いつも運転してくれるゴルフ部のコーチ達と焼肉に行ったりします。ある程度は賑やかな国分町にも行きます。そして金曜日に東京に戻って来ます。そんな生活をしていたらこんな体調になってしまいました。

三陸海岸付近はまだまだ本当に酷い状況です。気仙沼でも厳しいです。大船渡から釜石、陸前高田も市長さんは辛いです。人がどんどん減っています。福島は言いにくいけど更に人が減っています。この状況のこともを含めて何とかしなければならないと思っています。今日の秋田魁新聞には秋田県庁の管理職の人事発令の記事が載っていました。この人達を呼んで将来のビジョンを皆で聞いてみたいと思います。新設部署の未来創造部部長は10年後の人口を何人にしたいのか、子供を３人産んだ人に県が300万円贈呈してみるなどの施策があるのか聞きたいです。300万円貰えるなら産んでみようとする人がいるかもしれません。その前に結婚しなければなりませんけれども。

レジュメのⅣは、「それではどうすればよいのか日本!!」ということについてです。最近色々なところから、「先生、日本は大丈夫ですか」と聞かれます。ダメだとも言えませんが、最近は人間に余裕がないのか秋田県以外は緊迫感があります。秋田県はのんびりしていて誰もあくせくしていないなと感じています。人々に緊迫感がない原因の一つはスマホだと思います。特に今の若者たちはスマホ上の画面しか見ていません。視野が本当に狭いです。これではダメでしょう。私の孫は母親がきちんとしていて、30分以上はゲームなどの操作をさせません。甥も姪も子供達のゲームの時間を30分に決めているようです。今の世の中だからゼロにはできません。知らないことが学校のイジメに繋がったりするので危険です。でもあんなものを４時間も５時間もやっている意味がありません。ネットサーフィンで際限なくいつまでも操作することが可能だし、Facebook などは何百人分をだらだら見ることができます。学生にちょっと美

味しい物を食べさせると、「写真を撮ってもいいですか」と聞いてきます。「いいよ」というと友達に送って見せるそうです。その写真を送って何になるかは全く理解できません。高級なステーキの写真を、「先生にご馳走になった」と見せられた方はどう思うのかを考えると、ただの自慢でしかないように思えます。もらった方は悔しいだけだと思います。

私も東京で電車移動する時にipadで調べものをすることがあります。30分はあっという間です。図書館を持って歩いているようなものです。全部あの中で解決することができて非常に便利です。でもすぐに検索できるということは、考えようとする力がなくなっていきます。考える力を養っていかないと今の子供達はだめになっていくと思います。

さて、野党のことについてはコメントしたくないですが民進党も今のままだとだめで私は共産党に党の名前を変えた方が良いと言っています。共生党というのはどうでしょうか。一文字変えて共に生きる政党です。赤旗をやめて黄色いハンカチを掲げた方が良いと思うのです。赤旗のマルクスなんか1848年の話です。時代はもう21世紀です。「このままだとガラパゴス島になってしまうよ」と共産党のインタビューに答えていますが、一度も採用されませんでした。これからはコメントを拒否しようと思います。そんなことがあって、変える勇気が必要です。

秋田は本当に変えていかなければなりません。今日のこの後のゼミナールもついに4人から3人になります。参加してくれる人達も若干年齢層が高いです。お孫さんのことを思ったら将来は不安でしょう。秋田高校のような良い高校に入ったら良い大学に入るので秋田を出て行ってしまいます。そしてもう戻っては来ません。お爺ちゃんお婆ちゃんが“それでもいい。自分の好きな人生を送ればいい。”と思えればいいです。東京の2LDKの賃貸住宅で家賃を払って暮らしてしまえば年に1回くらいしか会えなくなります。「仕送りはできないけど頑張って」とは言うかもしれませんが寂しくなると思います。変える勇気が必要です。

今度の私の本の推薦文は、NHK会長でアサヒビールの会長・CEOをやった福地茂雄さんという方に書いてもらいました。長崎大学から入社して7段飛びで社長になった方です。スーパードライのビールを作ってキリンに逆転した時の社長さんです。そのときご指導をいただいたので立命館大学に来て講義をしていただいて、何度かスーパードライのビールをご馳走になりました。その立命館での講演は2百数十人の学生を前にしてのものでした。講義内容は、「アメリカンエキスプレスという会社はその昔、幌馬車隊だったのです。ところが

自動車がバンバン走り出した時に、“もう幌馬車隊は終わりだ。馬は眠らせなければならないからね。自動車はガソリンさえあれば１日中でも走らせることが出来るらしいよ。”となって、“じゃあ何か考えよう”と言ってトラベラーズチェックというのを考え出しました。現金を持っていると危ないのでトラベラーズチェックというものがあればいいという発想です。最近は経営がちょっと苦しいようですがアメックスというクレジットカードの会社をしています。歴史だ老舗だ伝統だと言っていてもダメなんです。時代の変化に合わせて変える勇気が必要なんです。ダーウィンも“時代の変化に対応できた動物が生き残ってきた”と言っています。」というものでした。

秋田県はずーっと何百年も変わらずにいるつもりでしょうか。秋田には『余計なことはするな』という本まで出ていて、今私はその本を借りて読んでいます。「無駄なことはするな」ではなくて、NHK も中途半端に番組を作るだけでなくやるのなら真剣にやって欲しいと思います。秋田県庁も秋田市役所も本気で考えて何とかして欲しいです。秋田では「生まれる子供が減って百万人を切る」と言い初めて７年になりました。今朝の新聞に載っていた秋田県庁の新しい未来創造部長がどうやって人口を増やすつもりなのかとても気になります。３人目の子供が生まれたら300万円をくれるのでしょうか。土地はたくさんあるのだから公営住宅を建てて、シングルマザーや若い夫婦には安い家賃で住まわせてはどうでしょうか。徐々に亡くなって行く高齢者におとなしくしていろとは言えませんが、お年寄に使うより未来ある若者たちにお金を使おうとする覚悟も必要です。

山梨県がなぜ長寿化しているのか知っていますか。皆で集まって“無尽”をしているからです。無尽が何か知っていますか。皆でお金を出して抽選会をしているのです。当たると集まったお金をもらうことが出来ます。頻繁な人だと週に２回もしているそうです。誰かと会って話すことは若さの秘訣なのです。何千円かのお金でも当たれば戻ってきます。そうやって集まって話すことが健康に繋がっているのです。ずっと一人で部屋に閉じこもっていると気分まで暗くなります。昨日の私がそうでした。ホテルの部屋で一人でじっとしていたら、全てのことが嫌になってしまいそうでした。変える勇気を是非持ってください。福地茂雄さんは樋口廣太郎さんの次の次の社長で、スーパードライを作ったときの話を学生達にして下さって、そのときの私のゼミ生は17人が新聞記者になりました。レベルの高い学校でしたから、「みんな凄いね」と言いながら新聞記者になって卒業して世に出て行きました。“立命館からは初”という日本銀行の行員になったゼミ生もいました。

結論は、「自分勝手な日本人」です。本当にこの国はだめです。今日は少し動けますが、もっと腰の状態が悪くて本当に辛くてソロソロと歩いていた時に、歩きながらぶつかって来る人がいました。もう思いやりの心がない人がいる日本です。

レジュメの補足のところについてです。天皇のご退位について官邸とギクシャクがありました。１週間くらい前に毎日新聞が、「天皇陛下はわがままで言っているのではない。退位は恒久的にして欲しいとおっしゃっている。それは象徴としてきちんと役割を果たすには年齢的に体力の不安があるからだ。」という記事を書きました。陛下は80歳を過ぎて皇后の体調も良くないのに被災地を二人で支え合ってご訪問されています。被災された方達と床に膝を下ろして５分、３分とお話されるのも大変になって来ている。それに２年前にご公務の順番を間違ったことがあってそのことを大変気にされています。そういうことから象徴としての勤めを十分に果たせなくなって来ているとお考えのようです。でも官邸との間には“70年談話”のことでギクシャクがあります。お亡くなりになりましたが皇室のブレーンだった渡部昇一さんがテレビ番組で、「天皇家は永く続いていればよい」と言ったりしました。そういうことを聞いて読売新聞の記者が書いたのです。１面に書くということは、そのことに確信を持っているのだと思います。それについて宮内庁も何も言わない状況です。

私はそういうことではないと思います。高齢化社会は天皇家にもあるのです。秋篠宮が、「皇太子になるのは嫌だ」とおっしゃっているようですし、天皇陛下のお気持ちを忖度してやっているのだと思います。眞子様のご結婚が決まって大変に喜ばしいことですが、陛下のお気持ちの中にはご退位の法案について色々な背景が影響しているのだと思います。

もう一つの補足は、国立日本獣医大学の設立についてです。ぜひそういう大学を設立して欲しいです。そこを卒業した人は40歳までは公務員獣医になるという道筋を作ることも必要だと思います。もうペットの時代ではありません。猫ブームもいつまでも続かずに去っていきます。日本は何かを考えなければいけない時代になっていると思います。

今日の話はこれで終わります。ご清聴ありがとうございました。

李　福岡先生大変興味深いお話をありがとうございました。質疑応答の時間を設けたいと思います。何かございませんか。

質問者　いつも有意義なご講演をありがとうございます。カワムラと申します。小池

都知事のことについて少しでいいのでお話し願えないでしょうか。

福　岡　　私は小泉純一郎と細川護熙のブレーンをしていました。そのときにホテルで色々な打ち合わせをしていると、よく小池さんが来ていました。そういうときに彼女は、「先生、一度ご指導をゆっくりしていただきたいのですが」などと言って来て“おっ”と思わせるところがありました。彼女の野心というのは、都知事を途中で辞めても政界再編に持っていきたいと考えています。それは今の自民党の体たらくと公明党・創価学会が大臣職を得るためにどこまでも自民党に付いて行くという姿勢があるからです。“下駄の雪”で当選すればよいのです。山口那津男の携帯にこの間電話しましたがついに出なくなりました。私の方が年長者です。悪口を言うわけではありませんが、先輩からの電話に出られなかったのであれば、時間が経っていても折り返してくるものです。それが人の道の筋です。公明党・創価学会は敵に回さないで味方にする、下駄の雪であることを彼女は良く知っていて小池塾を開いています。そして民進党にも手を出しました。とにかく今の自民党なら敵に回せば無党派層を味方につけることができます。数字的には今の支持率は互角です。議席数も同じくらいです。結果的には都民ファーストの会は過半数には届かないかもしれませんが、50人そこそこから40数人は当選すると思います。公明党が20人くらいで共産党と民進党10人くらいずつの当選になって、結果、自民党は過半数を割ります。

あと１、２週間で豊洲か築地かの方向を小池さんは判断すると思います。都議選の公示の直前か投票の１週間前に出すという方法にして、なるほどと思わせるような落とし方をしてくると思います。依然として築地派が多いので、おそらく築地残留で10年くらいかけて長いスパンでやっていこうとしています。豊洲については別の使い方の案を考えているようです。そんなことで報道は色々あるのですが都民の関心はガクッと下がりました。だけども彼女はこれでは済むはずはないし、安倍総理と加計学園について様子を見ていると思います。野心としては、「東京オリンピックのときは都知事ではなくて総理大臣かも」と都庁の中で言っているようです。

李　　そのほかの質問などはございませんか。無いようですので、これで本日の福岡政行先生の講演会をこれで終わります。先生ありがとうございました。皆様、盛大な拍手をお願いいたします。

〔研究論文〕

漱石と怪奇趣味

－『漾虚集』を中心に－

橋　元　志　保

Ⅰ．はじめに

夏目漱石の初期の短編小説『倫敦塔』にはゴシック・ロマンスともいえるような情景が描かれている。

> 女は雪の如く白い服を着けて、肩にあまる金色の髪を時々雲の様に揺らす。ふと其顔を見ると驚いた。眼こそ見えね、眉の形、細き面、なよやかなる顎の辺りに至迄、先刻見た女其儘である。思はず馳け寄らうとしたが足が縮んで一歩も前へ出る事が出来ぬ。女は漸く首斬台を探り当てゝ両の手をかける。＜中略＞坊さんは何にも言はずに居る。女は稍落ち付いた調子で「吾夫が先なら追付う、後ならば誘ふて行かう。正しき神の国に、正しき道を踏んで行かう」と云ひ終つて落つるが如く首を台の上に投げかける。眼の凹んだ、煤色の、背の低い首斬り役が重た気に斧をエイと取り直す。余の洋袴の膝に二三点の血が迸しると思つたら、凡ての光景が忽然と消え失せた。
>
> 『倫敦塔』(1)

漱石も後書きで触れているが、19世紀前半に活躍した著名な画家であるポール・ドラローシュの絵画『レディ・ジェーン・グレイの処刑』そのままの死の世界である。私たちに恐怖や同情といった感情を起こさせる原因は様々であるが、無実の美しい女性の処刑を目の当たりにすることは、その中でも強い負の感情を喚起させるに違いない。ジェーン・グレイはいわゆる「９日間の女王」として有名な人物で、16世紀半ばにカトリック教徒とプロテスタントによる政争に巻き込まれて16歳の若さで亡くなった悲劇の女性である。(2)

『倫敦塔』は、漱石の短編小説集『漾虚集』に収められているが、江藤淳はその他の

収録作品である『琴のそら音』『趣味の遺伝』も怪奇小説として分類した。[3] しかし、漱石の怪奇趣味はこれら初期の小説・評論及び『夢十夜』辺りまでは作品に活かされたが、その後の中期・後期小説にはほとんど顕われることはなかった。そこで本稿では、初期小説や評論に表された漱石の怪奇趣味の特色を明治時代末期という時代との関連に注目しながら、考察していきたい。

江藤淳が述べるように『漾虚集』の基本的な色調は漆黒であり、夜の世界を描いた作品ばかりである。『一夜』というタイトルそのままに、夢のように美しい言葉で語り明かす三人の男女や、許婚の身を案じて夜を明かす『琴のそら音』の主人公、靖雄は共に暗い夜の闇の中にいる。そして『倫敦塔』の語り手にして主人公である「余」が悲劇の二王子やジェーン・グレイに出会うように、他の作品でも亡霊や死との邂逅が度々描かれている。

> 「昨日生まれて今日死ぬ奴もあるし」と一人が云ふと「寿命だよ、全く寿命だから仕方がない」と一人が答へる。二人の黒い影が又余の傍を掠めて見る間に闇の中へもぐり込む。棺の後を追つて足早に刻む下駄の音のみが雨に響く。
>
> 『琴のそら音』[4]

「七歳までは神のうち」と言われたように栄養・衛生状態の悪かった近世・近代の日本において乳幼児の死は決して珍しいものではなかった。しかし、『琴のそら音』において主人公の靖雄が深夜に往きあう子どもの棺は、現実の死というよりはむしろ死の象徴であり、「神々の愛する者は若くして死ぬ」[5] というギリシアの格言を思い起こさせる存在である。何故ならば『漾虚集』に描かれた死は老人の死ではなく、そのほとんどが若く美しい者たちの不慮の死であるからである。このことからも、若き漱石は文学上のモティーフとしての「死」を重要視していたことが分かる。まずは、英国に留学し西洋文学に造詣の深かった漱石が、文学に描かれた「死」や「亡霊」をどのように自分の作品世界に取り入れたのかを見ていくことにしよう。

Ⅱ．小説技法としての「超自然」

生者による冥界への旅は古来、様々な神話や文学によって表現されてきた。『イシュタルの冥界下り』、『オルフェウスとエウリュデケ』、『オデュッセイア』、『アエネイース』『イザナギ・イザナミ神話』等、世界各地に様々な神話や叙事詩、物語として残されている。[6] そして、14世紀にイタリアの詩人ダンテ・アリギエーリによって書かれた『神曲』地獄篇には、このような系譜に属する「生者の冥界下り」がかつてない程の規模と残酷

さで描かれている。(7)

先行研究によって既に指摘されているが、『倫敦塔』の構造には、ダンテの『神曲』地獄篇の影響が見られる。(8) 倫敦塔を初めて訪問した「余」が塔門を潜った時、『神曲』に描かれた地獄の門の銘と同様の「憂いの国に行かんとするものは此門を潜れ」で始まる恐ろしい文章が「どこぞに刻んではないか」と思う。この連想は、「英国の歴史を煎じ詰めた」倫敦塔の歴史に端を発している。「人の血、人の肉、人の罪が結晶して」近代の都市の中に取り残されたのがこの倫敦塔だと言うのである。『神曲』地獄篇・煉獄篇・天国篇は、人生の半ばにして道を踏み外したダンテが、師ウェリギリウスと「永遠の女性」であるベアトリーチェの導きによって、地獄から煉獄を経て、天上界までを旅する壮大な叙事詩であるが、地獄篇の描写は苛烈を極める。そのダンテの地獄めぐりのイメージが、これから「余」が巡ることになる流血の倫敦塔の歴史と重ね合わされているのである。

「一度び此門を通過するや否や娑婆の太陽は再び彼等を照さなかつた」という逆賊門は「冥府に通ずる入口」であり、テームズ川は彼等にとって「三途の川」であり、倫敦塔の中に「生きながら葬られた」罪人の数は幾千であったと語られるのである。そして、「薔薇の乱」の際に「草の如く人を薙ぎ、鶏の如く人を潰し、乾鮭の如く屍を積んだ」血塔のエピソードや、倫敦塔で処刑された大僧正クランマーや反逆者ワイアット、ウォーター・ローリー卿といった著名人の在りし日の姿が描き出される。しかし、数多ある処刑者たちの中でも特に詳細に語られるのは、リチャード三世によって暗殺された幼い二王子（エドワード五世及びヨーク公リチャード）の死及びレディ・ジェーン・グレイの処刑の場面である。

流血の歴史を回顧しながら、倫敦塔をさまよう「余」は若く美しい「不思議な女」と出会う。七つ許りの男の子を連れた、その女は「希臘風の鼻と、珠を溶いた様にうるはしい目と、真白な顎筋を形づくる曲線のうねりとが少からず余の心を動か」すような美貌を持ち、倫敦塔に飼われている鴉のことも、ボーシヤン塔の壁に刻まれた難解な題辞や図案の意味も熟知していた。「怪しき女」と訝しむ「余」であったが、後にそれはジェーン・グレイの亡霊であったことが明らかになるのである。

> 英国の歴史を読んだものでジエーン、グレーの名を知らぬ者はあるまい。又其薄命と無残の最後に同情の涙を濺がぬ者はあるまい。ジエーンは義父と所夫の野心の為めに十八年の春秋を罪なくして惜気もなく刑場に売つた。揉み躙られたる薔薇の蕊より消え難き香の遠く立ちて、今に至る迄史を繙く者をゆかしがらせる。希臘語を解しプレートーを読んで一代の碩学アスカムをして舌を捲かしめたる逸事は、此詩趣ある人物を想見するの好材料として何人の脳裏にも保存せらるゝであらう。余は

ジエーンの名の前に立留まつたぎり動かない。動かないと云ふより寧ろ動けない。空想の幕は既にあいて居る。

『倫敦塔』

「余」は若くして処刑されたジェーン・グレイという女性に強く惹きつけられていることを隠そうともしない。この直後に「余」は「レディ・ジェーン・グレイの処刑」を目撃したかのような幻想を見るのであるが、それは首を斬られたジェーン・グレイの身体から噴き出した血が「余の洋袴」に掛かったと錯覚するほどリアルな幻覚であった。そして、ジェーン・グレイと瓜二つの「怪しき女」の正体はついに分からないまま「倫敦塔」は結末を迎える。しかし、下宿の主人は五羽の奉納の鴉やボーシャン塔の壁の題辞のこと等を解き明かして、「余」の空想の大半を打ち壊す。頑なに倫敦塔訪問で得た「記憶」を守りたい「余」は二度と倫敦塔を訪問しないことを決意するのである。

事実ではなく空想であることを強調しながらも、倫敦塔を舞台とした幻想の記憶に「余」が固執するのは何故であろうか。物語の最後だけではなく、その始まりにも次のような文章が記されている。

二年の留学中只一度倫敦塔を見物した事がある。其後再び行かうと思つた日もあるが止めにした。人から誘はれた事もあるが断つた。一度で得た記憶を二返目に打壊はすのは惜い、三たび目に拭ひ去るのは尤も残念だ。「塔」の見物は一度に限ると思ふ。

『倫敦塔』

物語を語るということは虚構の構築である。しかしながら、人生における体験と同様の一回性に固執する「余」の在り様が看取できる。「余」は明らかに初めての倫敦塔訪問で見た様々な幻想を薄れさせたくないのである。それは正に壁から「十六世紀の血がにじみ出した」と思うほどリアルな幻覚であった。もしくは、「余」は確かに恐ろしい幻覚を眼の当たりにしたのだと読者に感じさせるほど、漱石は倫敦塔における処刑者たちの亡霊を見事な筆致で描き出している。

もともと漱石は『文学論』において、非科学的な題材が読者に与える感興を大きく評価している。(9) 有名な文学的内容の形式である（F + f）は、Fが認識的要素であり、それによって読者に喚起される情緒的要素をfとして表している。第3章「文学的内容の分類及びその価値的等級」において、四つの認識的要素である感覚F、人事F、超自然F、知識Fのうち、怪奇趣味は超自然Fに相当するのであろう。また、読者に少なからぬ感興を与える超自然Fとして「神」及び「宗教」を挙げ、「凡そ宗教的情緒の強烈なること古今東西に通じて争ふべからざる事実」であるが、「宗教に冷淡にして、神の

何たるものたるやを解し得ざる日本人にありては到底その猛烈の度合を夢想だに入るること能はざるべし」と述べている。また西洋人の宗教観について「現代の西洋人が神と称するものは一種の最高概念にして、これを名付けて無限といひ、或いは絶対といふ」、それゆえ理屈ではなく「宗教的 f は最も強大を極むるもの」の一つであるという。しかしながら、「神」とは人間が「なさんと欲して、なす能はざる理想の集合体」であり、「神といひ、極楽といひ」すべて人間が創造したものに過ぎないと述べている。

また、漱石は次のような「自然の法則に反するもの、もしくは自然の法則にて解釈し能はざるもの」を超自然 F として挙げている。

> (1) 古来小説詩歌の材料として使用せらるる幽霊、*Hamlet* の幽霊、*Macbeth* の幽霊、*Richard* Ⅲ の幽霊、*The Bride of Lammermoor* 中 Alice の幽霊等、(2) *Macbeth* の中の妖婆、Rossetti の *King's Trageedy* 中の妖婆、＜中略＞(5) 或いは Jane Eyre と Rochester との間に起る人間の感応とも称すべきもの
>
> 『文学論』第 1 編第 3 章

『文学論』は明治39年に出版されたが、もともとは明治36年 9 月から東京帝国大学文科大学英文科で行った約 2 年間にわたる英文学に関する講義をまとめたものである。『倫敦塔』の初出は『帝国文学』(明治38年 1 月号) であり、執筆時期は明治37年の暮れと推定されているので、ちょうど『文学論』講義が終わりに近づき「十八世紀英文学」主体の『文学評論』講義に移行しようとしていた時期にあたる。[(10)] つまり、漱石は上記のような強い感興を読者に与える「超自然 F」という認識的要素を熟知した上で、『倫敦塔』をはじめとする『漾虚集』の作品群に怪奇趣味を取り入れていたということである。また、ジェーン・グレイの人物像が原拠とされるエインズワースの『ロンドン塔』のヒロインよりもやや勝気なしっかりした女性であり、夫と共に己の信仰に殉じるのだという強い意志を感じさせるのも、上述のような西洋人の宗教観への理解によるものと考えられるのである。

そしてまた、漱石の初期作品群に怪奇趣味が取り入れられた理由の一つとして、同様に明治36年 9 月から翌37年 2 月まで東京帝国大学文科大学英文科で行われた『マクベス』講読が、大教室での講義であるのに「聴講生で立錐の余地もない」程の好評を得たことが挙げられる。前任者のラフカディオ・ハーンは温かい人柄で、英文学の神髄とその魅力を優しい英語で分かりやすく学生に伝え、大変人気のある教師であった。そのため、新任講師である漱石は相当苦労したようであるが、次第に学生たちに受け入れられ、評判も高まっていく。そのような気運のもとでの『マクベス』講読の中で漱石は英国留学の成果ばかりだけではなく、落語から得た喋りのテクニックまで披露し、大いに聴講

生たちを沸かせたという。(11)

その一端を知ることができるのが漱石の評論「マクベスの幽霊に就いて」である。シェイクスピアの戯曲においては『ハムレット』にせよ、『マクベス』にせよ、亡霊が重要な役割を果たすが、彼が活躍したイギリス・ルネッサンスの時代と近代では、亡霊に関する認識もその出現に対する解釈も大きく異なる。漱石は特に『マクベス』の中で二度出現する亡霊について取り上げ、「後代の学者」の論評を紹介した上で自説を展開した。現在では漱石の主張通り、二度出現する亡霊を双方とも「バンコー」(Banquo)のものとする説が有力であるという。しかし、それよりも興味深いのは、下記の一節である。(12)

> 最後に解釈すべきは、マクベスの見たる幽霊は幻怪とすべきか、又た幻想とすべきかの問題なり。客観的に真物の幽霊を舞台に出すを否とするに就て二説あり。一は此幽霊は独りマクベスの目に触るゝのみにて、同席の他人の瞳孔に入らざるが故に、何人の眼にも映ずる実物を場に登すは、当を得たるものにあらずとの考なり。クラーク、ケンブル、ナイトの諸人之を主張す。一は此幽霊たる単にマクベスの妄想より捏造せられたる幻影の一塊に過ぎざるを以て、之を廃すべしとの意なり。＜中略＞屡ば云へる如く、此劇の中心はマクベスなり。マクベスに対する観客の態度はマクベスと列席する臣僚の態度と同じからず。吾人は此中心点なるマクベスの性格の発展を迹づけん事を要す。故に吾等観客はマクベスの臣僚よりもマクベスに密接の関係ありて、又彼等よりも一層マクベスの心裏に立ち入るの権利を作者より与へられたるものと仮定して可なり。吾人の劇を観るや、劇を観るの前に当つて予め此仮定を認識せるものなり。故に此点より論ずれば一座の人に見る能はざる幽霊が、観客の眼に入りたりとて不都合なき訳なり。又第二説に対しては余は下の如き意見を持す。文学は科学にあらず。科学は幻怪を承認せざるが故に、文学にも亦幻怪を輸入し得ずと云ふは、二者を混同するの僻論なりと。
>
> 「マクベスの幽霊に就いて」(下線は筆者)

「文学は科学にあらず」とは蓋し名言であるが、「観客」の位置に注目し、「観客」をどのように戯曲の作者が捉えているのか、を考えた上での意見は、今日の読者論に通じるものがあるだろう。また、このように様々な評論を踏まえた上での文学における「幽霊」や「幻怪」の出現、つまりは「超自然F」の肯定はやはり説得力がある。なお『マクベス』講読は『漾虚集』の他の作品、例えば『趣味の遺伝』にも影響を与えている。

Ⅲ．西洋の心霊研究と日本の怪談

修善寺の大患を経て書かれた随筆『思ひ出す事など』には、次のような一節がある。

> 臆病者の特権として、余はかねてより妖怪に逢ふ資格があると思つてゐた。余の血の中には先祖の迷信が今でも多量に流れてゐる。文明の肉が社会の鋭どき鞭の下に萎縮するとき、余は常に幽霊を信じた。けれども虎烈剌を畏れて虎烈剌に罹らぬ人の如く、神に祈つて神に捨てられた子の如く、余は今日迄是と云ふ不思議な現象に遭遇する機会もなく過ぎた。それを残念と思ふ程の好奇心もたまには起るが、平生はまづ出遭はないのを当然と心得て済まして来た。
>
> 自白すれば、八、九年前アンドリユ、ラングの書いた「夢と幽霊」といふ書物を床の中に読んだ時は、鼻の先の燈火を一時に寒く眺めた。一年程前にも「霊妙なる心力」という標題に引かされてフランマリオンといふ人の書籍を、わざわざ外国から取り寄せた事があつた。先頃は又オリヴー、ロツヂの「死後の生」を読んだ。
>
> 『思ひ出す事など』(13)

『思ひ出す事など』は明治43年10月29日から明治44年２月20日まで『朝日新聞』に連載されたのであるから、その８、９年前といえば明治34、５年頃となる。英国留学中の漱石が英文学や他国文学以外にも様々な分野の書籍を購入していたことは良く知られているが、ラングの『夢と幽霊』もその中の一冊であろう。現在でも、東北大学附属図書館漱石文庫に収蔵されている。(14)『琴のそら音』に描かれた幽霊の出現が、この『夢と幽霊』所収の第５章「生き霊（Wraiths)」の中の「ロード、ブローアムの見た幽霊」を原拠としていることは既に塚本利明によって明らかにされている。(15) さて、『琴のそら音』の幽霊は、どのような状況の下に出現したのだろうか。以下は『琴のそら音』の前半の梗概である。

ある夜、法学士である靖雄は友人の文学士の津田の下宿を訪ね、深夜まで語り合う。靖雄は近況を述べ、許婚の露子の母の勧めで雇った旧弊な老婆が伝通院辺の僧の占いの結果や野犬の遠吠えから不吉な前兆を感じて、インフルエンザに罹っている露子に万が一のことがないかと案じている。その露子の病気の話から発展して、最近インフルエンザで亡くなった津田の親戚の若い女性のことが話題になる。軍人である夫が日露戦争に従軍中、青白くやつれた妻の面影が忽然と鏡に現れたのを見たという。その時、出征の時に妻と交わした言葉が夫の胸中に「渦の様に忽然と湧いて出た」のである。夫との別離を悲しんだ妻は「もし万一御留守中に病気で死ぬ様な事がありましても＜中略＞必ず魂魄丈は御傍に行つて、もう一遍御目に懸ります」と述べた。そして、その不思議な現

象が起ったのはその妻がインフルエンザを抉らせて亡くなった、正にその時刻であった。

生前の死者と交わした固い約束が幽霊を出現させる――ということは古今東西の幽霊譚で良く語られることである。例えば、上田秋成の『雨月物語』の「菊花の約」などはその代表的な例であろう。(16) そして、ラングの『夢と幽霊』の中の「ロード、ブローアムの見た幽霊」も正にこの話に近似した幽霊譚なのである。高校時代に最も仲の良かった友人Gと共に大学に進んだブローアム卿は、二人のうちで先に死んだ方が幽霊となって現れ、「死後の生」に関することを明らかにしようと血盟を交わした。その後Gはインドへ行き、長い年月がたってブローアム卿はその約束を忘れかけていた。ある寒い夜にスウェーデンの宿に泊まったブローアム卿は、風呂から室内の脱いだ服をかけておいた椅子を見て、愕然とする。その椅子には友人Gが腰掛けていたのである。どうやって風呂から上がったのかも覚えていないが、いつの間にかGの姿は消えていた。あまりにも動揺が大きかったので、その日付と内容を日記に書きとめておいた。1799年12月19日だった。エディンバラに戻るとインドからGが12月19日に亡くなったとの手紙が来ていた。

『夢と幽霊』の第5章には「死の床にある者が遠くに姿を現すというのは、実に頻繁に聞かれる話」だと述べられ、数多くの事例が挙げられている。ブローアム卿の話もその一つなのである。『夢と幽霊』では 'Wraiths' として分類されているが、5章の冒頭部に 'Sprits of the Living'（生者の霊）であるとの説明があり、生きている者が到着する前にその姿を現したり、エカテリーナ女帝の生霊や幽体離脱のエピソード、死ぬ逝く者が近親者や子どもたちの傍に現れた話等が次々と紹介されているのである。

『琴のそら音』でも津田が生霊の出現について、「近頃ぢや、有り得ると云ふ事丈は証明されさうだよ」と確信ありげに言い、「ロード、ブローアムの見た幽霊」を取り上げて学術的な説明を試みるが、法学士で心霊研究などには疎い靖雄はそれを遮る。しかし、病気の許婚に対する不安を残したまま帰途に着くことになる。深夜の帰り道、靖雄は「盆燈籠の秋風に揺られる具合に動いた」ような提灯の火を見て、許婚の露子を連想し「同時に火の消えた瞬間が露子の死を未練もなく拈出した」ような不安に襲われる。雨の降る深夜の東京の街を独り歩く彼はいつの間にか、暗い闇の別の世界へと迷い込んでしまったかのようだ。極楽水から、切支丹坂へ。まるで文明開化の明治の代から、幽霊や罪人扱いされた切支丹たちの呻き声が聞える江戸時代へと遡ってしまったかのように。(17)

『琴のそら音』が書かれたのは明治38年であり、その半世紀前は徳川幕府の支配する封建社会である。「余の血の中には先祖の迷信が今でも多量に流れている」と漱石が自覚しているように、江戸っ子たちは迷信を信じ怪談噺を愛好した。『琴のそら音』の後半部が幕末から明治時代にかけて活躍した三遊亭円朝の『怪談牡丹燈籠』の影響を受け

ていることは、水川隆夫が指摘している。(18) 慶応３年に江戸の名主の家に生まれた漱石は、幼少期から落語・講談の寄席や芝居見物に親しむような環境で育った。三遊亭円遊や小さんの落語を愛好していたことは良く知られており、例えば『三四郎』にも小さんを称賛する条がある。また円遊は円朝の弟子であり、学生時代の漱石は正岡子規をはじめとする友人たちを誘って盛んに寄席に通っていた。そうした友人の一人である橋本佐五郎は漱石と共に寄席に行き「桃川如燕の鍋島の猫騒動だとか、円朝の牡丹燈籠だとか」は何度も聞いていたという。

円朝の『怪談牡丹燈籠』は中国明代の怪異小説集『剪燈新話』の中の「牡丹燈話」を原拠としている。牡丹燈籠を掲げて夜な夜な通って来る、美しい女性の幽霊が美男を取り殺すという物語の骨子は同様であるが、原拠の小説と円朝の怪談には幾つかの相違が挙げられる。まず円朝は『牡丹灯籠』を単純な怪談噺ではなく、複雑な構成を持つ娯楽物に作り変えたということが言えるだろう。お露の亡霊と新三郎の物語だけでなく、お露の父である飯島平左衛門に忠義を誓い、敵討ちをなそうとする孝助の物語が錯綜し、息もつかせぬ展開で聞き手を引き込もうとする創意工夫が見られる。また、落語の「落ち」にあたるのであろうが、お露に取り殺されて亡くなったとばかり思われていた新三郎の死が、実は金銭目当ての下僕の伴蔵の犯行であったことが終盤になって露見するなど、怪談が実は幻想または作り話であったことを知らしめ、文明開化の世の人々にも受け入れられるような工夫もなされている。(19)

『琴のそら音』の結末にも見られる、怪談が実は幻覚または幻想であるかもしれない、と語る手法は科学主義、現実主義の広がる近代においては幽霊譚を人々に容易に受け入れさせるための有効な手法であったのだろうか。実はラングの『夢と幽霊』にも同様の前置きがあり、「生者あるいは死者の『霊魂』だと考えられていた」幽霊は「未開人の素朴な考え方を表わすもの」であり、現代の学説によれば「あらゆる『幽霊』は『幻覚』すなわち偽の知覚であり、実際にそこにはないものを認識する現象」であると述べている。そしてその「幻覚」とは精神病や、薬物、飲酒等によるものではなく「一生に一度訪れるような、単発的な幻覚」であり、「そこに本物の物体があるかのような正真正銘の実感である」と述べているのである。このようなラングの言葉は、『倫敦塔』の「余」が繰り返し体験の一回性にこだわる言葉とも響き合っているように思われる。

ラングはオックスフォード大学出身で古典にも造詣が深く、漱石は彼が翻訳したホメロスの『オデュッセイア』『イリアス』を所蔵している。ラングはジャーナリストとしての著述の傍ら、心霊研究にも関心を持つようになる。1882年に設立された心霊現象研究協会の会員となるが、会員にはウィリアム・ジェームズ、ユング、オリヴァー・ロッジ、アーサー・コナン・ドイルやルイス・キャロル等、著名な研究者や作家達も名を連ねていた。つまり、漱石が留学した当時の英国では心霊研究が盛んに行われていたので

あり、科学の発達によって迷信が退けられ、キリスト教の教理に疑義が生じ人々の信仰が揺らぎはじめた、正にその時に心霊主義はブームになり始めていた。[20] ラングの『夢と幽霊』はこのような風潮の中で1897年に出版されたのであり、漱石が所蔵していたのは1899年出版の第２版である。

そして、ラングの『夢と幽霊』に掲載されていた「ロード、ブローアムの見た幽霊」も、このような近代化、合理化の波の中で起こった「一生に一度訪れるような」出来事であった。漱石は生霊が出現した時刻とその死亡時刻の一致から、「ロード、ブローアムの見た幽霊」を軍人の妻の話に結びつけたが、２つの生霊の出現した理由は全く異なっている。軍人の妻の生霊の出現の理由は夫への強い思慕の情であろうが、ブローアム卿の友人Ｇの場合はキリスト教への疑義であろう。強い信仰が「永遠のいのち」を約束するのだというキリスト教の教理を、ブローアム卿は若い時分に友人と共に疑ったことがあると、63年後に初めて告白したのである。『怪談牡丹燈籠』のお露の幽霊が欲に憑かれた伴蔵の作り上げたまやかしであったように、信仰の揺らぎが幻覚を招き寄せたのだといえよう。

『夢と幽霊』には他にも「ティローン伯爵の幽霊」のように幼い頃抱いたキリスト教の教理への疑義が、幽霊の出現を招いた話が見られる。日本の代表的な幽霊といえば『四谷怪談』のお岩や『番町皿屋敷』のお菊であって、幽霊の出現する理由は東西ではだいぶ違うようである。[21]『国史大辞典』によれば「霊は目に見えず触れることもできないが、人間に強くかかわると考えられてきた。ほとんどすべての文化や社会で霊の存在は確信されて来ている。それは神霊であったり、死霊であったり、自然物や動物の霊であったりした」という。また、「幽霊現象にかかわる文化的伝統はどの文化にも存する。それぞれの文化で定型がある。それが人々を戦慄させ、強い恐れをひき起して来ている」[22]のだという。

つまり、漱石は留学当時の英国で流行していた心霊主義やその研究に基づく現象を取り入れながらも、『怪談牡丹燈籠』をはじめとする日本の怪談の手法を用いて、日本人の心性に受け入れられるような文化的伝統に基づいた幽霊譚を生み出そうとしたのだといえよう。『琴のそら音』のヒロインは露子であり「怪談牡丹燈籠」のお露を連想させる。また、露子の実家は四谷にあるとの記述もあり、深夜に靖雄が彷徨する「極楽水」「切支丹坂」等の地名とも相俟って、「電気燈」も灯らない前近代的な闇の世界へと読者を誘いこもうとする仕掛けが随所に施されている。

また日本の場合、幽霊が何故出現するのか、というと特定の人物を目指して現れることが多いのだという。江戸時代の三大幽霊といえば「累、お菊、お岩」であるが、いずれも女性たちである。累とお岩は夫に裏切られ、お菊は家宝の皿を割った廉で主人に手打ちにされる。封建社会において抑圧されていた女性たちの恨みが幽霊の出現と復讐譚

を生んだのだともいえるし、歌舞伎等の伝統芸能と幽霊譚が結びついて、類型化したのだともいえる。(23) それゆえ、漱石は従来の怪談噺にはない新しい女性像を創出しようとして、西洋の生霊のエピソードを援用したのだと考えられる。

なお『怪談牡丹燈籠』の幽霊、お露の幽霊は前述の「累、お菊、お岩」とは異なり、美男の萩原新三郎のことを「口惜しくて祟る幽霊ではなく、ただ恋しい恋しいと思う幽霊で、三世も四世も前から＜中略＞生きかわり死にかわり、容は種々に変えて附纏うている」のである。もしも靖雄の許婚である露子が亡くなったら、軍人の妻のように生霊となって靖雄に逢いに訪れる可能性がその名には込められていると思われる。

そしてまた、死に瀕している人間が違う場所に姿を見せるという現象は、英国だけでなく日本でも度々目撃されたようである。明治43年に出版された柳田國男の『遠野物語』や、『遠野物語拾遺』には自らの通夜に現れる老婆や、臨終の床にありながら菩提寺に現れる老人、墓地に現れたが家に帰ることを促されて生き還った子どもの話等が次々と語られている。(24) 柳田の語る死者たちや霊魂の行方は、「山神山人の伝説」を語りて「平地人を戦慄せしめよ」という、その意図とは裏腹に、恐怖よりも不思議な哀切さを読者に伝えている。柳田によれば、幽霊や霊障が生じるのはこの世に執着を感じている、人が亡くなった直後であり、一周忌、三回忌、七回忌というように菩提を弔う供養毎に霊魂が浄化されていって、三十三回忌の弔い上げの頃になると、清められて神になる、つまりその家や子孫を守る先祖になる、と考えられていたという。(25) 次節では日本と西洋の霊魂観について触れながら、死者のための追悼と文学の関わりについて考えていきたい。

Ⅳ．追悼と文学

『趣味の遺伝』には次のような場面がある。

> 余が寂光院の門を潜つて得た情緒は、浮世を歩む年齢が逆行して父母未生以前に遡つたと思ふ位、古い、物寂びた、憐れの多い、捕へる程確とした痕跡もなき迄、淡く消極的な情緒である。此情緒は藪を後ろにすつくりと立つた女の上に、余の眼が注がれた時に毫も矛盾の感を与へなかつたのみならず、落葉の中に振り返る姿を眺めた瞬間に於て、却つて一層の深きを加へた。古伽藍と剥げた額、化銀杏と動かぬ松、錯落と並ぶ石塔――死したる人の名を彫む死したる石塔と、花の様な佳人とが融和して一団の気と流れて円熟無碍の一種の感動を余の神経に伝へたのである。
>
> 『趣味の遺伝』(26)

紅葉の美しい秋の日に、日露戦争で戦死した友人である「浩さん」の墓参のため寂光院を訪れた「余」はその墓前で「花の様な佳人」と出会う。墓地には不似合いなほど若く華やかに装った女性であり、「余」が「此年になる迄に見た」女性のなかで最も美しい人であった。「余」はその「古き銀杏、古き伽藍と墳墓が寂莫として存在する間に、美くしい若い女が立つて居る」という対照の美に心を奪われてしまう。そして「浩さん」と縁のあるらしいその女性の素性の探索と「浩さん」とその女性を結ぶ「趣味の遺伝」の物語の想像に夢中になるのである。

「趣味の遺伝」とはこの場合、「前世からの縁」もしくは「前世の記憶」とでもいうべきものであろう。ロメオとジュリエットや、エレーンがランスロットに一目で恋したように「父母未生以前に受けた記憶と情緒が、長い時間を隔てて脳中に再現する」「不思議な現象」のことである。余は研究者でも医者でもないが「遺伝」に関する「其起原発達の歴史やら最近の新説やらを一通り承知したいと云ふ希望を起してそれから此研究を始めた」という。「メンデリズムだの、ワイスマンの理論だの」「スペンサーの進化心理説だの」「近頃出版になつた英吉利のリードと云ふ人の著述」等、様々な遺伝の研究を学んでいると「余」は述べるが、現代人の眼から見ると相当怪しい遺伝学のようである。『趣味の遺伝』のプロットは、江戸時代末期に生きた「浩さん」の祖父と「佳人」の先祖が果たせなかった悲恋の記憶が時を隔てて、明治時代に生きる子孫の男女の中に蘇るという、一見、奇想天外に見える筋立てである。しかし、そこに西洋流の遺伝学ではなく「生まれ替わり」という民間信仰を持ち込んでみると、意外な説得力が生じるかもしれない。

人が死ぬとその肉体は墓に葬られるが、その霊魂はまだ存在している、というのが当時の日本においては半ば信じられていたようである。柳田國男は、「日本人の多数は死後の世界を近く親しく、何か消息の通じているような気持ちを抱いていた」と述べている。また仏教の影響を受けてか、「生前の念願が死後には達成される」と考えたり、「幾度も生まれ替って同じことを続けられるもののように考えた者の多かったことは事実である」と述べている。[27] また柳田は、日本における「生まれ替わり」の特徴の一つとして、「同一の氏族に、又血筋の末に又現はれる」と考えられていたという。例えば、家の跡取りは先祖の生まれ替わりだと思われたり、長男には祖父の名を、長女には祖母の名を付けることが通例となっている地方もあったという。[28] 正に、『趣味の遺伝』の河上才三の孫である「浩さん」と小野田帯刀の娘の子孫である佳人は、それぞれの先祖によく似ており、祖父たちと同様に互いに好意を抱いていた。つまり、今日の常識から見れば奇異の感をいだく「余」の「趣味の遺伝」説は、民衆に広く信じられていた「生まれ替わり」という信仰を取り入れた筋立てであると考えられるのである。

また、『趣味の遺伝』には生霊も幽霊も登場しないが、怪奇小説に分類された理由の

一つは恐らくこの墓地での出逢いのためであろう。物寂びた古めかしい墓地における「余」と「花の様な佳人」との出会いは、擬古文体で細やかに描写されており、怪奇小説といおうか、ゴシック小説を思わせるような情景となっている。ゴシック小説とは18世紀末から19世紀にかけて英国を中心に流行した幻想小説であり、ゴシック・ロマンスとも言われ、今日のSF小説やホラー小説の源流とも考えられている。有名な小説にはウォルポールの『オトランド城奇譚』(1764年)、アン・ラドクリフ『ユードルフォの秘密』(1794年)、メアリー・シェリー『フランケンシュタイン』(1818年)等がある。ゴシック小説の舞台として多くの場合、古城や廃墟、墓場等が登場する。(29) 例えば、ゴシック小説の影響を受けたといわれるシャーロット・ブロンテの『ジェーン・エア』でも、主人公のジェーンが家庭教師として訪れたロチェスター氏の屋敷の内部のことを度々「教会の地下墓所のよう」と表現している。その後、ロチェスター屋敷は焼け落ちて、実際に廃墟となるのだが、『ジェーン・エア』でも主人公の男女の「霊の感応」とでもいうべき不思議な現象が描かれている。(30)

ともあれ、物語の舞台として墓地が選ばれた理由は、「趣味の遺伝」の物語が「浩さん」への追悼として語られていくことを示すためであろう。「墓」は無論死者の遺体を葬る場所であるが、死者の霊を悼み、先祖の霊を祀る場所でもある。このことを端的に示す事例として柳田國男は両墓制というものを挙げている。これは参る墓と遺体を埋める墓を区別して、二基建立するもので、土地によって名称が変わり、参り墓といけ墓、あるいは上墓と下墓等と呼んでいるという。柳田は死者の肉体が追慕の対象であれば二基建立する必要はないとして、「要するに霊魂の存在を信じなければ、そんな慣習はないわけである」(31) と述べている。

つまり一般的にいわれる死とは肉体の死であり、霊魂はこの世とあの世を行き来しながら、供養を受けて浄化され、その家を守る祖先となるか、また現世に生まれ変わって来る、というのが柳田の考える日本人の霊魂観であろう。それに対して、西洋のキリスト教に基づいた霊魂観は、正しい信仰を持った人間の霊魂は不滅であり、最後の審判を経て「永遠のいのち」を授かるというものであった。しかし、科学主義の発展と共にその信仰が揺らぎ、19世紀後半から20世紀にかけて心霊主義やその研究が流行したことは前述の通りである。

そして、様々な慣習が崩れ価値観の揺らぐ近代を生きた漱石は、私たちと同じように死を恐れ、死後の世界や心霊主義に関心を抱いていた。だが、近代化と帝国主義の進展する世相を賛美することは出来ず、大規模な対外戦争の犠牲者を悼む物語を創出したのである。それは、近代的な遺伝学に基づいた「趣味の遺伝」というよりはむしろ、日本の民衆が抱いていた「生まれ替わり」の信仰に近似している。「浩さん」は「河上家代々の墓」に葬られているが、その墓は寂光院の墓地の中でも一段高い景勝の地を占めてお

り、所縁の佳人の手向ける香華は消えることがない。

このような戦死者を悼む物語は恐らく『趣味の遺伝』が書かれた前後には数限りなく人々の間で話されたことであろう。「余」は「浩さん」をめぐる「趣味の遺伝」説を語ることで死者を悼み、遺族の心をなぐさめる新しい機縁を結ばせ、睦みあう「浩さん」の老母と所縁の佳人の姿を見て「清き涼しき涙を流す」。

明治時代において国のために戦った戦死者の霊を祀ること、その菩提を弔うことは、新しい葬送儀礼を生み、人々の死生観を変えようとしていた。国家が建立した戦死者の慰霊のための大規模な参り墓ともいえる招魂社は、次第に神格化されていく。そして、招魂社から靖国神社への変貌は、『趣味の遺伝』の冒頭部のように人々を殺戮する獣を操る神の似姿としての国家が要請したものであった。(32)

Ⅴ．おわりに

『漾虚集』に収められた七つの作品群の初出の時期は明治38年１月から39年１月までであり、『吾輩は猫である』の執筆時期とほぼ重なり合っている。『吾輩は猫である』に見られる怪奇趣味は、「故小泉八雲先生に話したら非常に受け」そうな越後の峠の一軒屋の「蛇飯」の話や「首懸の松」の話を除くと、『琴のそら音』における生霊の話に近似したエピソードばかりである。(33) その中でも笑い話ではなく、最も『漾虚集』の世界に近いロマンティックなエピソードといえば、寒月と許婚の金田の令嬢の話であろう。家中で大磯に行っているはずの金田の令嬢に、２、３日前に確かに会ったと主張する寒月に「先月大磯に行つたものに両三日前東京で逢ふは神秘的でいい。所謂霊の交換だね。相思の情の切な時にはよくさう云ふ現象が起るものだ。一寸聞くと夢の様だが、夢にしても現実より慥かな夢だ」と迷亭はいう。美学者、迷亭の言葉はユングの心理学を連想させる。ユングによれば、無意識下にある精神は空間と時間の法則や因果律に従属しないという。この世界は不完全であり、それを補完するために必要なのはもう一つ別な次元を追加することである。私たちの心は夢や無意識を介して、顕在的な世界の背後にある異なった次元と繋がることができるというのである。(33)

漱石は『文学論』第４編第７章「写実法」においても、シャーロット・ブロンテの『ジェーン・エア』を引用して「相思の念、霊界に呼応して」二人の声が遠く離れた相手に届く様子を「一度び現実の俗念を放下し得て醍醐の詩味に全身を委棄して顧みざるとき壺中に天地あり、蓬莱亦咫尺なるを知る。之を浪漫派得意の興致とす」と述べている。いわゆる「霊の交換」または「霊の感応」が、効果的に作中に用いられたとき、別世界を見たかのような素晴らしい感興を読者は覚えるというのである。そして、その手法がロマン主義の文学者の得意とするものだとも述べている。

おそらく科学では説明の出来ない「超自然」の現象を語ること、その世界を味わい「もう一つの別な次元」と繋がることは、私たちの精神にとって必要であることを漱石は熟知していた。『漾虚集』や『吾輩は猫である』に顕われた怪奇趣味は『夢十夜』へと受け継がれ、その後の伸展を見せずに終るが、「夢にしても現実より慥かな夢」の世界を漱石は創出し続けたのである。

[注]

（1）夏目漱石『倫敦塔』の引用はすべて『漱石全集』第2巻（岩波書店　1994年）に拠る。なお、引用に際して旧字は新字に改めルビは適宜省略した。
（2）出口保夫『図説 ロンドン塔と英国王室の九百年』（柏書房　2009年）
（3）江藤 淳「解説」（『漾虚集』岩波文庫　1990年）
（4）夏目漱石『琴のそら音』の引用はすべて『漱石全集』第2巻（岩波書店　1994年）に拠る。なお、引用に際して旧字は新字に改めルビは適宜省略した。
（5）メナンドロス『二度だまし』断片４（柳沼重剛編『ギリシア・ローマ名言集』岩波書店　2003年）
（6）『イシュタルの冥界下り』とは、メソポタミア神話の女神イシュタルが地下に隠れた弟のタンムースを連れ戻すために、冥界に赴くというもので、七つの門のある冥界の観念がはっきりと描かれている（『ギルガメシュ叙事詩』岩波書店　1998年）。また、ギリシア神話である『オルフェウスとエウリュデケ』及び日本の記紀神話である『イザナギ・イザナミ神話』は、共に冥界に連れ去られた妻を夫が取り戻そうとして失敗する物語であり、共通点が多い。トロイア戦争の英雄オデュッセウスは故国イタケーへの長く辛い旅の途中で、魔女キルケーの助言によって冥界に下り、預言者テイレシアスの亡霊に会いに行く。また、古代ローマの詩人ウェルギリウスの長編叙事詩『アエネイース』でも、亡国の王子アエネーイスが亡き父を訪ねて冥界に下り、エリュシオン（極楽）でその亡父の霊と再会する様子が描かれている。このように冥界の観念は、人類の歴史の発祥、神話の創造と共に生まれていたと考えられる。
（7）ダンテ著　平川祐弘訳『ダンテ神曲』完全版（河出書房新社 2010年）
（8）『倫敦塔』に関するダンテ『神曲』の影響を指摘した評論としては、塚本利明『漱石と英文学－「漾虚集」の比較文学的研究』（彩流社 2003年）、剣持武彦『近代の小説－比較文学の視点と方法』（笠間書院 1975年）他がある。
（9）夏目漱石『文学論』の引用はすべて『漱石全集』第14巻（岩波書店 1995年）に拠る。なお、引用に際して旧字は新字に改めルビは適宜省略した。
(10) 同注（9）
(11) 金子健二『人間漱石』（共同出版 1956年）
(12) 夏目漱石「マクベスの幽霊に就いて」の引用はすべて『漱石全集』第13巻（岩波書店　1995年）に拠る。なお、引用に際して旧字は新字に改めルビは適宜省略した。
(13) 夏目漱石『思ひ出す事など』の引用はすべて『漱石全集』第12巻（岩波書店 1994年）に拠る。なお、引用に際して旧字は新字に改めルビは適宜省略した。
(14) 東北大学附属図書館漱石文庫には Andrew Lang ,*The Book of Dreams and Ghosts*（Longmans, Green, and Co., Paternostar Row, London, New York, and Bombay, 1899）が現存している。
(15) 塚本利明 前掲書
(16) 上田秋成作　長島弘明校注『雨月物語』（岩波書店 2018年）
(17) 切支丹坂に関しては、石川悌二『江戸東京坂道事典』（新人物往来社 1998年）他を参考にした。
(18) 水川隆夫　増補『漱石と落語』（平凡社 2000年）
(19) 三遊亭円朝作『怪談牡丹燈籠』（岩波書店 2002年）及び須田　努『三遊亭円朝と江戸落語』（吉川弘文館

2015年）他を参考にした。
（20）ジャネット・オッペンハイム著・和田芳久訳『英国心霊主義の抬頭』（工作舎 1992年）
（21）池田弥三郎『日本の幽霊』（中央公論社 1959年）及び諏訪春雄『日本の幽霊』（岩波書店 1988年）他を参考にした。
（22）『国史大辞典』第14巻（吉川弘文館 1993年）
（23）同注（21）
（24）柳田國男『柳田國男全集』第２巻（筑摩書房 1997年）及び柳田國男『遠野物語』（大和書房 2010年）を参考にした。
（25）柳田國男『日本人とはなにか』（河出書房新社 2015年）
（26）夏目漱石『趣味の遺伝』の引用はすべて『漱石全集』第２巻（岩波書店　1994年）に拠る。なお、引用に際して旧字は新字に改めルビは適宜省略した。
（27）同注（25）
（28）柳田國男『柳田國男全集』第15巻（筑摩書房 1998年）
（29）富士川義之・結城英雄編『亡霊のイギリス文学　豊穣なる空間』（国文社　2012年）
（30）東北大学附属図書館漱石文庫の漱石の旧蔵書には Charlotte Bronte, *Jane Eyre*（New York : W.M.L.Allison, 1889）が現存しており、書き込みやアンダーラインが付された箇所が見られる。特にジェーンとロチェスター氏の時空を超えた「霊の感応」が見られる場面（第35章）及びその後日談の場面（第37章）に正確に印が付されており、漱石が注目していたことが窺える。
（31）同注（25）
（32）剣持武彦は『趣味の遺伝』の冒頭部について、「狂える神の命令とは、国家権力による至上命令」であり、「その命令によってむさぼり食われるのは罪なき人間の生命である」と述べている（剣持武彦　前掲書）。
（33）夏目漱石『吾輩は猫である』の引用はすべて『漱石全集』第１巻（岩波書店 1993年）に拠る。なお、引用に際して旧字は新字に改めルビは適宜省略した。
（34）カール・グスタフ・ユング「死後の生命」（ヤッフェ編　河合隼雄・藤縄　昭・出井淑子訳『ユング自伝２－ 思い出・夢・思想－』みすず書房　1973年）

〔研究論文〕

自閉症スペクトラム障害傾向と他者の欠点への対処との関連

瀧　澤　　純

要　約

本研究の目的は、自閉症スペクトラム障害の傾向と３者以上の複雑な対人関係との関連を明らかにすることであった。大学生と短大生を対象に調査を実施した。他者の欠点への５つの対処である、いじり、助言、陰口、愚痴、我慢のうちいずれかを選択させる課題を実施し、対処それぞれについて効果予測を尋ねた(例：「嫌なところが改善する」)。そして、自閉症スペクトラム指数（AQ）との関連を調べた。結果、AQ が高いほど我慢の選択が増加した。さらに、AQ が高い群は他の２群と比較して、助言と我慢についての効果予測の位置づけが異なっていた。いじり、陰口、愚痴についての効果予測は、AQ によって異なっていなかった。これらの結果から、自閉症スペクトラム障害児者が抱えるストレスや不安に関する二次障害が、我慢の選択の多さによって引き起こされている可能性、対処への効果予測といじめなどの対人関係の問題との関連について論じた。

１．はじめに

自閉症スペクトラム障害（Autism Spectrum Disorder：以下 ASD）とは、社会的コミュニケーションと社会的相互作用に持続的な障害があり、行動や興味や活動における限定的で反復的なパターンをもち、これらの症状が発達初期にみられることを特徴とする障害である（American Psychiatric Association, 2013)。従来の呼称で述べるならば、自閉性障害、アスペルガー障害、特定不能の広汎性発達障害などが含まれる。

自閉症スペクトラム障害傾向（以下 ASD 傾向）を測定するため、自閉症スペクトラム指数（以下 AQ）についての研究が行われてきた。Baron-Cohen, Wheelwright, Skinner, Martin, & Clubley（2001）に始まり、若林・東條・Baron-Cohen・Wheelwright（2004）では日本版の成人用、若林・内山・東條・吉田・黒田・Baron-Cohen・Wheelwright（2007）では日本版の児童用が作成されている。これらを端緒として、近

年は ASD 児者と健常者がひとつの連続体上でとらえられている。すなわち、世の中には ASD 傾向が低い者から高い者までが存在し、ASD 児者も健常者もいずれかの点に位置づけられる。

本研究で取り上げたいのは、ASD 児者におけるいじめなどの対人関係の問題である。ASD だけでなく学習障害や注意欠陥多動性障害（Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder：以下 ADHD）などの別の障害も含んだ広い概念である発達障害についての研究においても、いじめなどの対人関係の問題は一定数みられる。例えば、発達障害児が特別支援学校へ転入学した理由を分析した熊地・佐藤・斎藤・武田（2012）では、学業不振・学習困難が約32% と最も多く、次いで学校での対人関係の不適応行動が約17% であり、いじめが約 4 % であった。いじめを含む対人関係の問題が、転入学の理由の約21% を占めている。しかも、この結果はいじめの経験の有無を回答したのではなく、転入学に至った主な理由を回答したものである。この点を考慮すると、いじめを含む対人関係の問題を経験している発達障害児の割合はさらに高くなることが推察される。

対象を ASD とそれに関連する障害のみに限定すると、いじめなどの対人関係の問題を経験した者の割合はさらに高い。AQ が高かった12名に面談を実施した若林・東條・Baron-Cohen・Wheelwright（2004）によれば、高校卒業までに孤立やいじめなどの問題があったのは12名のうち11名である。このほか、不登校となったアスペルガー障害児に面接を行った桐山（2006）では、 7 つの事例すべてにおいて、不登校の原因としていじめが挙げられている。これらの研究における事例の母数は多くはないが、かなり高い割合の ASD 児者がいじめなどの問題を経験していると考えられる。また、田中・伊藤・村山・野田・中島・浜田・片桐・髙柳・辻井（2015）は、関係的いじめ、言語的いじめ、身体的いじめという 3 つのいじめ被害経験の多さが、ASD 傾向の高さと関連し、ADHD 傾向より影響力が大きいことを示した。ASD 児者においてはいじめなどの対人関係の問題が起きやすく、他の障害と比べても問題が重大になりやすい可能性がある。

さらに、ASD 児者は精神的な問題につながるような心理的特徴をもつことが指摘されている。ASD 傾向の高さとの関連が指摘されているものとしては、不安や抑うつの高さ（Kelly, Garnett, Attwood, & Peterson, 2008）、対人恐怖心性の高さ（松田，2006）、楽観性の低さ（松田，2009）、男性のエゴ・レジリエンスの低さ（松田，2009）、サポート知覚の低さと被害念慮の高さ（金井，2010）がある。これらをまとめると、ASD 傾向が高い者は、精神的に不安定な状態である傾向があり、社会的に孤立した状態を自覚して生活している者が多いといえる。ASD についての精神的な面での支援が必要であることがうかがえる。

以上のように、対人関係の問題を抱える ASD 児者がいる。そして、これらの問題の

現状を把握する研究は蓄積されつつある。しかし、いじめなどの対人関係の問題に直接つながるような､ある程度複雑さがある対人関係を扱った研究が少ない。さらにいえば､２者関係ではなく３者以上の複雑な対人関係を対象にした研究がみられない。ASD への支援について概観した山本・楠本（2007）でも、高次機能への発達支援のひとつとして対人関係の支援が位置づけられている。しかし、情動の理解や心の理論などの２者関係での認知を促進し、結果として対人関係や遊びなどが改善するものが中心である。ASD の概念が提唱され、普及したのが近年であるため、研究が少ないという面もある。しかし、ASD の概念が普及する以前の研究でも、３者関係以上の複雑な対人関係についての支援はあまり取り上げられておらず、言語の表出、相手への注意、会話ルールなど、対人関係における基礎的な部分を中心に研究と支援が行われている（e.g., 井上, 1998；伊澤・山本・氏森, 1998；佐竹・小林, 1987)。

ASD 児者がいじめや精神的な問題を抱えている現状を鑑みると、基礎的な部分についての支援だけでは不十分であり、従来よりも先の支援、つまりは複雑な関係性における行動の支援が必要であると思われる。そこで本研究では、３者以上の複雑な対人関係の例として、他者の欠点に気付いた場面を取りあげる。その場面における、いじり、助言、陰口、愚痴、我慢という５つの対処を通して、自閉症スペクトラム障害傾向と３者以上の複雑な対人関係との関連を明らかにすることを本研究の目的とする。

２．方　　法

２．１　調査対象者

大学生85名と短期大学学生９名の合計94名が調査に回答した。全ての調査対象者は心理学に関する授業を受講していた。回答者のうち、実際の対処選択、理想の対処選択、AQ 尺度のうちいずれかの項目に欠損があった８名を除き、合計86名を分析対象とした。男性61名、女性25名、年齢の平均値は19.88、標準偏差は2.42であった。

２．２　質問紙

実際の対処選択　調査対象者自身が友人の欠点に気付いた場面を想定させた(Figure 1)。場面は瀧澤（2015）と同様のものを用いた。

調査対象者自身が想定場面のような状況にいる場合、どのような対処を行うかを尋ねた。質問の文言は「あなたが実際にこのような場面にあったとき、Ａさんの嫌なところについて、あなたはどう行動しますか。」とした。さらに、ａ～ｅの５種類の対処のうち、調査対象者自身が行うと思われるもの１つを選択するようにした。選択肢はａが「Ａさんのいる場所で、冗談になるように、落ち着きがないことを話題にする

あなたには、仲良くなって半年ほどの友人である、Aさんがいます。Aさんは人当たりがよく、穏やかな性格です。ただし、人の話を最後まで聞かなかったり、話題に関係のないことを話し始めたりするような、落ち着きがないところもあります。あなたは1週間ほど前から、Aさんの落ち着きがないところが嫌で、友人として我慢できないと感じているとします。あなたとAさんの共通の友人も、同じように感じています。あなたは今後もAさんと仲良くしたいため、どうしようか悩んでいます。

Figure 1　調査に使用した想定場面（瀧澤，2015）

（あなたとAさん以外の人もいる場合も含みます）…いじり、本人の前での冗談」、bが「Aさんのいる場所で、冗談にならないように、落ち着きがないことを話題にする（あなたとAさん以外の人もいる場合も含みます）…アドバイス、叱り、嫌味」、cが「Aさんのいない場所で、冗談になるように、落ち着きがないことを話題にする…陰での冗談」、dが「Aさんのいない場所で、冗談にならないように、落ち着きがないことを話題にする…愚痴、悩み相談」、eが「誰にも話題にしない…我慢する、独り言を言う」であった。これらの選択肢を読むことによって、5種類の対処の定義が調査対象者にとって明確になるようにした。以後、a～eの対処それぞれを、いじり、助言、陰口、愚痴、我慢とする。

理想の対処選択　実際の対処選択と同様の方法で、理想とする対処を尋ねた。質問の文言は「このような場面にあったとき、Aさんの嫌なところについて、どう行動するべきだと思いますか。あなたが実際にどうするかではなく、あなたにとっての理想を答えてください。」とした。

効果予測　対処がどのような効果を生じさせるかについて尋ねた。対処それぞれについて6項目に回答するようにした。質問の文言は「◎の行動をすると、Aさんの嫌なところが改善する。」、「◎の行動をすると、自分のストレスが減る。」、「◎の行動をすると、自分のストレスが増える。」、「◎の行動をすると、Aさんとの関係が悪くなる。」、「◎の行動をすると、Aさん以外の周囲の人との関係が悪くなる。」、「◎の行動をすると、Aさん以外の周囲の人との関係が良くなる。」とした。これら6項目それぞれを5種類の対処について尋ねるために、◎にはa～eのアルファベットのうちいずれかを挿入した。これにより、対処選択での選択肢と対応するようにした。よって、効果予測6項目×5種類の対処となり、合計は30項目であった。回答は「そう思わない」、「わずかにそう思う」、「ややそう思う」、「かなりそう思う」、「非常にそう思う」の5件法で行った。

AQ 尺度　若林ら（2004）の50項目を使用した。解答は「あてはまらない」から「あてはまる」の４件法で行った。

２．３　手続き

教室で一斉に、質問紙への回答を行った。回答の前に、調査の結果は個人が特定できない形で公開される点、調査への参加は自由である点を説明した。実際の対処選択１項目、理想の対処選択１項目、効果予測30項目、AQ 尺度50項目の順に回答した。

３．結　　果

３．１　AQ 尺度

若林ら（2004）に基づき、項目への回答が“あてはまる”または“どちらかといえばあてはまる”であった場合に１点とし、その他の回答は０点とした。逆転項目では“あてはまらない”または“どちらかといえばあてはまらない”という回答を１点とした。50項目を合計し、AQ を算出した。本研究の調査対象者における AQ は最小値５点、最大値47点であった。平均値は16.74点、SD は7.01であった。

次に、AQ によって調査対象者を３群に分割した。若林ら（2004）によれば、アスペルガー症候群、または高機能自閉症と診断された群では90% 近くが33点以上に含まれ、一方で、健常群で33点以上に含まれるのは３% 弱であった。このことから、AQ33点以上が ASD 診断の手がかりの一つの基準とされている。本研究においても、33点以上を ASD である可能性が高い AQ 高群とする。本研究における AQ 高群は２名（2.33%）であった。

続いて、高群以外の残りの参加者が半数に分かれるように、先行研究に基づいて０点から19点を AQ 低群、20点から50点を AQ 中群とした。本研究における AQ 低群は62名、AQ 中群は22名であった。若林ら（2004）と比べると、本研究は AQ 低群の割合が高く、AQ 中群の割合が低かった。

３．２　実際と理想の対処選択

実際の対処選択と理想の対処選択の割合について、AQ の群ごとに集計を行った(Table 1)。AQ 低群と AQ 中群においては、いじりは実際でも理想としても選択される割合が高かった。ただし､助言は実際よりも理想として選択される割合が高かった。愚痴や我慢は理想よりも実際として選択される割合が高かった。陰口についても同様の傾向がみられた。AQ 低群から AQ 高群を通してみると、AQ が高いほど我慢が選択されていた。

Table 1 AQ 群による実際と理想の対処の選択率（%）

対処	AQ 低群		AQ 中群		AQ 高群	
	実際	理想	実際	理想	実際	理想
いじり	53.2	37.1	27.3	31.8	50.0	50.0
助言	8.1	45.2	9.1	40.9	0	0
陰口	8.1	6.5	13.6	9.1	0	0
愚痴	17.7	4.8	22.7	9.1	0	0
我慢	12.9	6.5	27.3	9.1	50.0	50.0

3．3　効果予測

AQ によって効果予測が異なるかどうかを検討する。AQ 群（低､中､高）と対処（いじり、助言、陰口、愚痴、我慢）ごとに、効果予測 6 項目それぞれの平均値を算出した。これらの平均値について、コレスポンデンス分析を行うために、AQ 群と対処をかけあわせて、15個のカテゴリをもつ 1 つの変数「AQ 群と対処」を作成した。AQ 群と対処 (15) ×効果予測 (6) についてコレスポンデンス分析を行った。分析の結果、固有値は第 1 次元が0.61、第 2 次元が0.19であった。累積説明率が0.80と十分であると判断し、 2 次元を採択した。第 1 次元のカテゴリースコアを横軸、第 2 次元のカテゴリースコアを縦軸として、AQ 群と対処それぞれ、効果予測それぞれを布置した (Figure 2)。

次に、軸の解釈を行った。横軸の値が低い場合にはストレスの増加や我慢などの項目が布置され、横軸の値が高い場合には関係悪化、関係良化、いじり、陰口などの項目が布置されている。すなわち、横軸の値が高いほど、調査対象者の気持ちが表出する特徴が強まっていることから、横軸を「感情表出」とする。次に、縦軸の値が低い場合にはストレスの増加、ストレスの減少、関係悪化、我慢などの項目が布置され、縦軸の値が高い場合には欠点改善やいじりなどの項目が布置されている。すなわち、縦軸の値が高いほど、A さんや周囲の人との関係の良化を求める特徴が強まっていることから、「親しみ享受」とする。

次に、AQ 群と対処それぞれの近接性を検討する。AQ 群と対処について、対応分析によって得られた 2 次元のカテゴリースコアを用いて、クラスター分析を行った。結果から、 5 つのクラスターを採用した（Figure 2 点線楕円部)。

最後に、Figure 2 から、AQ によって対処の位置づけが異なるかどうかを検討する。欠点への対処のうち、いじり、陰口、愚痴については、AQ の 3 群が比較的近くに配置されており、AQ によって効果予測が異ならなかった。一方で、助言と我慢につい

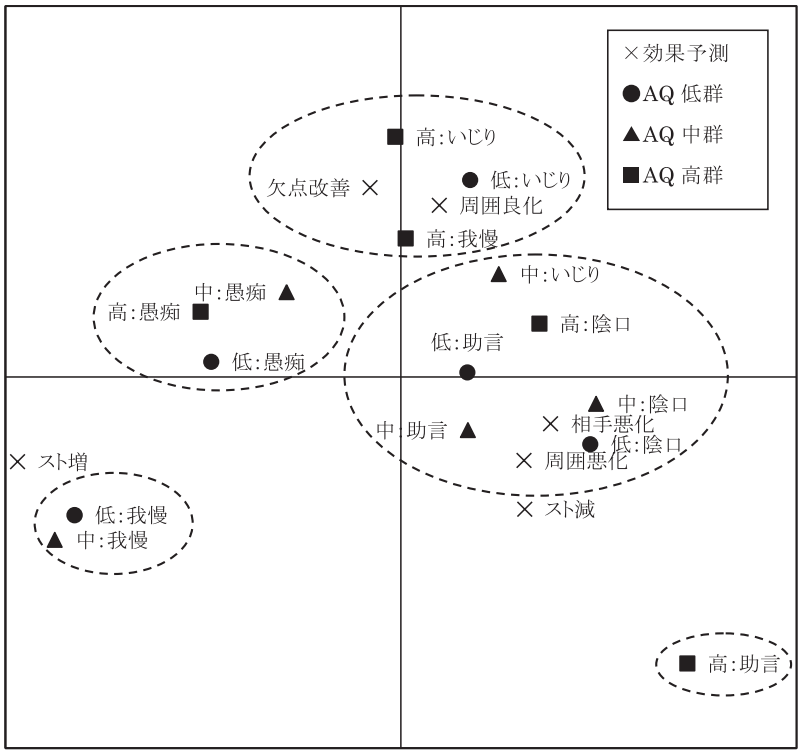

Figure 2　AQ 群と対処×効果予測についての同時分布

ては、AQ 高群だけが他の 2 群とは離れた位置に配置されており、AQ によって効果予測が異なっていた。助言については、AQ 低群と AQ 中群では原点から近く、「感情表出」も「親しみ享受」も中程度として評価されているが、AQ 高群では「感情表出」が非常に低く、「親しみ享受」が非常に高く評価されていた。我慢については、AQ 低群と AQ 中群では「感情表出」も「親しみ享受」も低く評価されているが、AQ 高群では「感情表出」が中程度、「親しみ享受」が比較的高く評価されていた。

4．考　　察

本研究の目的は、他者の欠点へ対処を行う場面を通して、自閉症スペクトラム障害傾向と 3 者以上の複雑な対人関係との関連を明らかにすることであった。この点について、本研究では主に 2 つの知見を得た。1 つは、ASD 傾向が高いほど我慢を選択する傾向がみられた点、もう 1 つは、ASD 傾向が高い者が助言や我慢についてその他の者とは異なる認識をもっている可能性が示されたという点である。それぞれについて述べる。

実際と理想の対処選択から、ASD 傾向が高いほど、他者の欠点に対して我慢をすることが示された。我慢の選択によって、ストレスを内に溜め込む可能性も高くなる。ASD 児者におけるストレスの問題が議論されているが（e.g., 伊勢・北口・十一, 2015）、それらのストレスや二次障害はこうした個々の行動選択から生じている可能性がある。我慢を選択する理由として考えられるのが、社会的スキルなど、対人的な能力の低さや自信のなさであろう。いじり、助言、陰口、愚痴などは、他者に適切に伝えるための対人的な能力が必要になりやすい。それらに比べると、我慢は他者に伝えるための能力が必要になりにくい。

そして、ASD 傾向が低い者と中程度の者と比べて、ASD 傾向が高い者は他者の欠点への対処についての異なる認識をもっていることが示された。ただし、それは 5 種類の対処の中の、助言と我慢についてみられた。助言について述べる。ASD 傾向が高い者にとって、助言は感情をより強く出すように行うものであり、より仲良くなるなどの効果が少ないものであるととらえられている。通常、助言は相手への嫌悪感や期待の表出とともに行われる。おそらく、ASD 傾向が高い者にとっての助言は、相手に強く伝えることによって相手との関係が終わることを覚悟するような、過激な行動だと認識されていると推察される。次に、我慢について述べる。ASD 傾向が高い者にとって、我慢は感情を抑えるようなものではなく、より仲良くなるなどの効果を期待するような、いじりに近いものであるととらえられている。いじりはからかいなどの類似した行動に比べて仲良くなろうとするなどの特徴が強い行動である（望月・澤海・瀧澤・吉澤, 2017）。ASD 傾向が高い者は、我慢を仲良くなるための手段としてとらえ、選択している可能性がある。

さらに述べれば、これらの認識の背景として、対人的な能力の低さや自信のなさが推察される。おそらく ASD 児者は適切な助言をすることが困難であるため、助言は相手に強く伝えることによって相手との関係が終わるような行動だと認識し、我慢すれば仲良くなれるという期待が形成されやすいと考えられる。

また、いじり、陰口、愚痴については AQ 群による大きな差はみられなかった。これら 3 つの対処は、3 者関係以上の複雑な対人行動であるという特徴をもつ。いじりは、いじる人物、いじられる人物だけでなく、周囲で笑うような第三者がいる状況で行われることが多い（瀧澤・望月・澤海・吉澤, 2014）。そして、陰口や愚痴は、欠点をもつ相手のいないところで、その相手には直接伝えないような話をすることが多い。よって、ASD 傾向が高い者は、こうした人物の関係が複雑な場面での行動について、中程度の者や低い者と同じように認識しているということになる。助言と我慢の結果と、これらの点を併せて考えると、ASD にとって問題となるのは「欠点をもつ本人に直接的に改善を要求するときに、どう伝えるのか」という場合であるといえる。

これらについてさらに考察する。Baron-Cohen, Leslie, & Frith（1985）が ASD の原因として心の理論障害説を提唱して以降、ASD や関連する障害と他者の心の推測についてより詳細な研究が行われている。例えば、Dufour, Redcay, Young, Mavros, Moran, Triantafyllou, & Gabrieli（2013）は、心の理論に関する課題の成績が、健常者と自閉症者とのあいだで差がないことを報告している。すなわち、ASD の障害の原因が、心の理論にあるとはいえない可能性が提示されている。また、Moran, Youg, Saxe, Lee, O'Young, Mavros, & Gabrieli（2011）では、全般的な知能が高い高機能自閉症者（High-Functioning Autism）と健常者を比較し、高機能自閉症者は他者が意図せずに問題を起こしてしまった場合でも許容しないとする度合いが過度に高いことを示した。この結果を ASD 全般に適用するならば、ASD 児者は他者が引き起こした否定的な結果を過度に重視し、他者の意図を加味しない傾向があるといえる。以上から、本研究における ASD 傾向による差は、否定的な結果への過剰反応としてとらえることができる可能性がある。つまり、ASD 児者は心を推測する能力の問題を抱えているというよりは、他者と関わることによる否定的な結果に過度に影響される問題を抱えているという可能性がある。

本研究のその他の結果も、ASD 児者の「否定的な結果を過度に重視する傾向」から説明できる可能性がある。例えば、比較的肯定的なやりとりといえるいじりでは AQ による差がみられず、相手の欠点を直に伝えるような助言で AQ による差がみられたことも、この可能性を支持するものである。一般に、他者に対するネガティブな言及は対人関係の問題を生じる可能性が高く、適切に行動することが必要になる。一方で、他者に対するポジティブな言及は対人関係の問題を生じる可能性は低い。そのような違いから、ASD 児者の「否定的な結果を過度に重視する傾向」が反映される程度が異なったのかもしれない。

最後に、ASD とは関連しないものの、本研究の独自の知見を得ることができた。それは、実際の対処と理想の対処の差である。具体的には、愚痴や陰口や我慢は実際に行うものとして選択されることが多いが、理想として行うべきものとしては助言が選択されることが多かった。これは、ASD に限らず、多くの人にとってはっきり伝えることが理想であるが、実際には難しいということを示しているのかもしれない。

５．おわりに

本研究によって、３者関係以上の複雑な対人的行動としての他者の欠点への対処と ASD 傾向との関連について明らかにすることができた。本研究の結果は、対人的な能力の低さや自信のなさからも説明可能であり、否定的な結果に過度に影響されるという

特性から理解することもできる。いずれにしても、ASD におけるいじめなどの対人関係の問題や、二次障害が発生する経路の一部を提示できたと考える。

本研究における問題点として、調査対象者の問題がある。第一に、AQ 高群が 2 名であり、非常に少なかった。AQ 高群に関する結果については、再現可能性が低いと言わざるをえない。第二に、本研究の調査対象者が対人的な行動への関心が高く、対人的な行動に苦手意識をもたない者が多かった可能性がある。先行研究に比べて AQ が低い調査対象者の割合が高かった点も、この可能性を支持している。調査対象者が心理学に関する授業の受講者であったことが一因として考えられる。これらのように、調査対象者について不十分であった点を考慮すると、本研究の適用可能性には大きな限界がある。偏りがより少ない調査対象者への追加調査などが必要であると思われる。

引用文献

American Psychiatric Association. (2013). *Diagnostic and statistical manual of mental disorders. Fifth Edition: DSM-5*. Washington, D.C.: American Psychiatric Association.

Baron-Cohen, S., Leslie, A.M., Frith, U. (1985). Does the autistic child have a “theory of mind”? *Cognition, 21*, 37-46.

Baron-Cohen, S., Wheelwright, S., Skinner, R., Martin, J., & Clubley, E. (2001). The Autism-Spectrum Quotient (AQ) : Evidence from Asperger syndrome/ high-functioning autism, males and females, scientists and mathematicians. *Journal of Autism and Developmental Disorders, 31*, 5-17.

Dufour, N., Redcay, E., Young, L., Mavros, P. L., Moran J. M., Triantafyllou, C., Gabrieli, J. D. E. (2013). Similar brain activation during false belief tasks in a large sample of adults with and without Autism. *PLoS ONE 8(9)*: e75468. doi:10.1371/journal.pone.0075468

井上雅彦（1998）．自閉症児における他者への教示言語行動の獲得と般化　発達心理学研究，*9*，179-190.

伊勢由佳利・北口勝也・十一元三（2015）．自閉症スペクトラム傾向とストレスコーピングの関連――効果的なストレスマネジメントを目指して――　教育学研究論集，*10*，9-16.

伊澤信三・山本秀二・氏森英亜（1998）．年長自閉症児における「カラオケ」活動を用いた対人的相互交渉スキル促進の試み――行動連鎖の操作を通して――　特殊教育学研究，*36*（*3*），31-40.

金井嘉宏（2010）．自閉症スペクトラム傾向を示す大学生の抑うつにソーシャル・サポートと被害念慮が及ぼす影響　カウンセリング研究，*43*，114-119.

Kelly, A. B., Garnett, M. S., Attwood, T., & Peterson, C. (2008). Autism spectrum symptomatology in children: The impact of family and peer relationships. *Journal of Abnormal Child Psychology, 36*, 1069-1081.

桐山正成（2006）．思春期において不登校を呈した 7 例のアスペルガー障害の臨床的特徴　川崎医会誌，*32*，111-125.

熊地需・佐藤圭吾・斎藤孝・武田篤（2012）．特別支援学校に在籍する知的発達に遅れのない発達障害児の現状――全国知的障害特別支援学校のアンケート調査から――　秋田大学教育文化学部研究紀要 教育科学部門，*67*，9-22.

松田美登子（2006）．大学生の自閉症スペクトラムに関する研究（1）――自閉症スペクトラム指数（AQ）と対人恐怖心性及び自意識・共感性との関連性――　日本パーソナリティ心理学会発表論文集，*15*，100-101.

松田美登子（2009）．大学生の自閉症スペクトラムに関する研究（2）――自閉症スペクトラム指数10項目短縮版（AQ-J-10）とレジリエンス，楽観性，時間的信念との関連性――　日本パーソナリティ心理学会発表論文集，*18*，112-113.

望月正哉・澤海崇文・瀧澤純・吉澤英里（2017）.「からかい」や「いじめ」と比較した「いじり」の特徴　対人社会心理学研究，*17*，7-13.

Moran, J. M., Young, L. L., Saxe, R., Lee, S. M., O'Young, D., Mavros, P. L., & Gabrieli, J. D. (2011). Impaired theory of mind for moral judgment in high-functioning autism. *Proceedings of the National Academy of Sciences., 108,* 2688-2692.

佐竹真次・小林重雄（1987）. 自閉症児における語用論的伝達機能の研究――終助詞分表現の訓練について――特殊教育学研究，*25*（3），19-30.

瀧澤純（2015）. 他者の欠点に気付いたときの行動選択――いじりか，助言か，陰口か，愚痴か，我慢か――総合研究（ノースアジア大学総合研究センター紀要），*3*，187-196.

瀧澤純・望月正哉・澤海崇文・吉澤英里（2014）. いじりコミュニケーションを構成するフローについての質的検討と場を構成する人数，関係性についての量的検討　第33回社会言語科学会研究大会発表論文集，64-67.

田中善大・伊藤大幸・村山恭朗・野田航・中島俊思・浜田恵・片桐正敏・髙柳伸哉・辻井正次（2015）. 保育所・小中学校における ASD 傾向及び ADHD 傾向といじめ被害及び加害との関連　発達心理学研究，*26*，332-343.

若林明雄・東條吉邦・Baron-Cohen, S.・Wheelwright, S.（2004）. 自閉症スペクトラム指数（AQ）日本語版の標準化：高機能臨床群と健常成人による検討　心理学研究，*75*，78-84.

若林明雄・内山登起夫・東條吉邦・吉田友子・黒田美保・Baron-Cohen, S.・Wheelwright, S.（2007）. 自閉症スペクトラム指数（AQ）児童用・日本語版の標準化――高機能自閉症・アスペルガー障害児と定型発達児による検討――　心理学研究，*77*，534-540.

山本淳一・楠本千枝子（2007）. 自閉症スペクトラム障害の発達と支援　認知科学，*14*，621-639.

Appendix 1　AQ 群と対処についてのカテゴリースコア

AQ 群	対処	横軸「感情表出」	縦軸「親しみ享受」
低群	いじり	0.175	0.531
	助言	0.168	0.012
	陰口	0.479	−0.181
	愚痴	−0.479	0.041
	我慢	−0.825	−0.372
中群	いじり	0.248	0.277
	助言	0.170	−0.143
	陰口	0.494	−0.072
	愚痴	−0.289	0.229
	我慢	−0.874	−0.439
高群	いじり	−0.014	0.647
	助言	0.724	−0.772
	陰口	0.350	0.144
	愚痴	−0.506	0.176
	我慢	0.012	0.373

Appendix 2　効果予測についてのカテゴリースコア

効果予測	横軸「感情表出」	縦軸「親しみ享受」
欠点改善	−0.077	0.510
スト減	0.313	−0.356
スト増	−0.968	−0.228
相手悪化	0.379	−0.126
周囲悪化	0.312	−0.225
周囲良化	0.097	0.463

The relationship between Autism Spectrum Disorder tendency and coping with faults of the others

Jun　TAKIZAWA

〔研究ノート〕

太陽紫外線と治療用放射線が白血病の病因である可能性について

力　石　國　男

１．はじめに

白血病は血液のがんであり、腫瘍を伴わない。我が国の罹患者は年間およそ9000人（全がんの罹患者数の１.3％）である（国立がん研究センター、2005）。白血病では遺伝子変異を起こした血液細胞（＝がん細胞）が無制限にクローン増殖して健全な細胞（赤血球、白血球、血小板など）の増殖を妨げ、それらの機能を阻害する。酸素を運ぶ赤血球が不足すると貧血症になり、細菌やウイルスを攻撃する白血球が不足すると免疫不全となり、血小板が不足すると出血症状が現れる。確かな治療法がなかった1960年代頃まで白血病は死の病として恐れられていた。

白血病は血液細胞の遺伝子変異の形態によって分類される。大きくは、骨髄で遺伝子変異を起こした幼若細胞が赤血球・血小板に分化する骨髄性白血病と、白血球のなかのリンパ球（B 細胞、T 細胞、NK 細胞など）に分化するリンパ性白血病に分けられる。これら二系統の白血病は、さらに、がん化した幼若細胞が分化能を失って増殖する急性白血病と、がん化した幼若細胞が正常に分化・成熟しているようにみえる慢性白血病に分類される。これらは急性骨髄性白血病（AML)、急性リンパ性白血病（ALL)、慢性骨髄性白血病（CML)、慢性リンパ性白血病（CLL）と呼ばれ、互いに様相が異なっている。それぞれの男女平均の罹患率は、AML が約40％、ALL が約30％、CML が約13％、その他の白血病（２％程度の CLL を含む）が約17％である（松尾、2005)。

白血病は結合組織のがんである点や乳幼児（とくに２～３歳）の罹患者も少なくない点で特異ながんである。日常の食生活や生活習慣で発がん物質と無縁であった人も罹患するので、直江（2005）によれば、なぜ自分が白血病になったのかと疑問を抱く患者も少なくないという。直江（2005）は白血病を誘発する環境要因として、１）原子爆弾や原子力発電所事故による放射線被曝、２）診断や治療に使われる放射線、３）ベンゼンなどの有機溶剤、４）抗がん薬、５）ウイルス、５）白血病の遺伝子治療、をあげ

ている。また松尾（2005）は白血病の危険因子として、１）電離放射線（X 線やガンマ線など)、２）磁場や非電離放射線（電磁波など)、３）診断用や治療用の放射線暴露、４）がん治療のための化学療法剤、などを取り上げている。

ウイルスを除くこれらの危険因子はみな科学技術の発展の産物であり、ドイツの病理学者ルドルフ・ウイルヒョーが初めて白血病の症例を報告した19世紀半ばにはなかったものばかりである。放射線が白血病の発症に関係していることは確かである。広島での原爆投下（1945年）による放射線被曝では、約２年後から白血病の症例が出始め、６～８年後にピークに達し、現在はほとんどないという。また1950－2000年間の白血病死亡者のうち原爆放射線に起因する死亡者は94人（全体の46％）であった（放射線影響研究所、2018)。また、診断のための放射線による白血病のリスク（Evans et al. 1986、Amy Berrington de Gonzalez and Darby 2004）や、がん治療のための放射線による白血病の発症例（Darby et al. 1987, Yokozawa and Noda 2003）が報告されている。しかし類似の研究報告が多いわけではない。「三輪血液学」（浅野・池田・内山、2006）では「遺伝子異常が起きる原因として放射線被曝、ベンゼンやトルエン、抗がん剤など一部の化学物質、HTLV ウイルスが発症の危険因子とされているが、それらが原因と推定できる白血病はごく一部に限られ、白血病のほとんどは原因不明である」と記載している。

このような背景のもと、本報では最近22年間の47都道府県別の白血病による死亡率を予断なしに統計解析し、白血病と各地域の自然環境や社会環境との関係を分析する。その結果に基づいて白血病の病因についての考察を試みる。

２．白血病死亡率の経年変化

本報では国立がん研究センター（2018）がネット上に公開している都道府県別、男女別、各年（1995～2016年）の白血病死亡率データ（人口10万人当たり年齢調整死亡者数）を用いた。図１に全国の男女別の白血病死亡率の経年変化を示す。男子の死亡率は22年間でおおよそ4.5人から3人に、女子の死亡率はおおよそ2.5人から1.5人に減少している。反面､白血病の罹患率はこの22年間で大きくは減少していないことから（大島･黒石・川島2004)、白血病が1980年代以降の化学療法や骨髄移植、造血幹細胞移植などの医療技術によって治癒率が向上していることが裏付けられる。

３.九州沖縄地方の高い死亡率と成人Ｔ細胞白血病

図２に22年平均の都道府県別の年齢調整白血病死亡率（以下、単に死亡率と呼ぶ）の

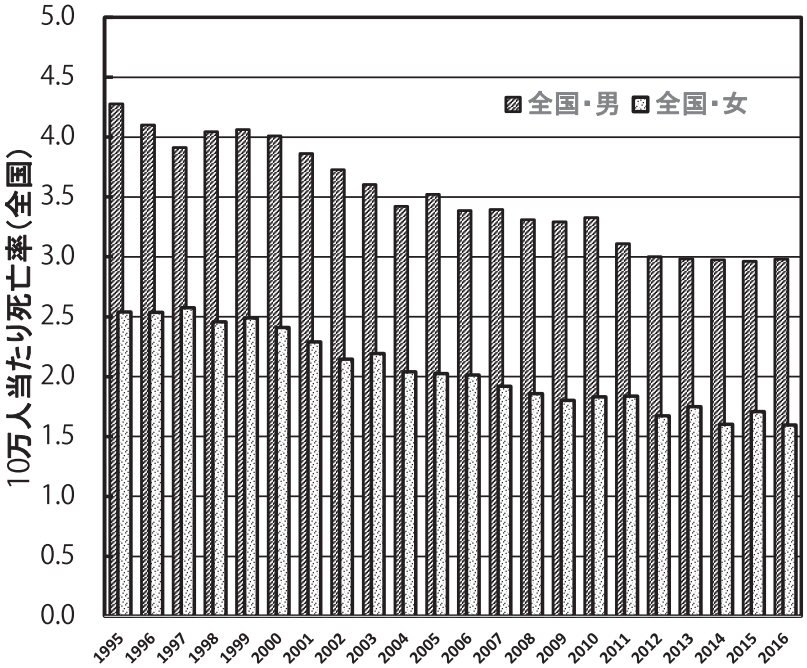

図１　全国の白血病による10万人当たり死亡率の経年変化（1995～2016年）。

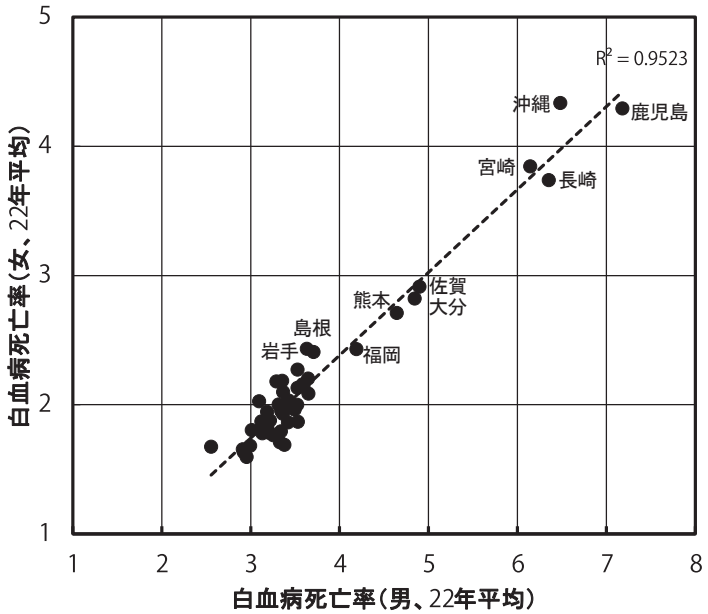

図２　22年平均の白血病による10万人当たり死亡率の男女相関図。相関係数は0.98.

男女相関を散布図で示した。死亡率上位８県（九州沖縄地方）とそれ以外の39都道府県（以下、簡略化して39県と表記）の死亡率には大きな開きがある。九州沖縄地方の死亡率が高いのは、本州と同じレベルの死亡率に九州沖縄地方に独特な成人Ｔ細胞白血病（病因はHTLVウイルスによる感染）の死亡率が加わっているためである（がん研究センター、2018)。成人Ｔ細胞白血病の発症者は全国で年間600～700人程度であるが、そのうち九州沖縄地方で10万人当たり２～３人であるのに対し、それ以外では10万人当たり0.2～0.3人である（浅野・池田・内山、2006)。原因となるHTLVウイルスに感染している人は全国で100万人程度であるが、約30～50年の潜伏期間があり、ほとんどの感染者は白血病を発症しない。「ウィキペディア」によれば感染者が生涯に発症する確率は数%程度である。

図２に示された白血病死亡率の男女相関はr^2値＝0.952（相関係数ｒ＝0.976）という非常に高い値を示す。これは九州沖縄地方の死亡率が飛びぬけて高いことが一因である。九州･沖縄地方を除いた39県の死亡率データから相関を求めると、r^2値＝0.570（ｒ＝0.755）と減少する。

22年平均の死亡率をみると、男子の上位８県は全て九州沖縄で、女子も上位８県が

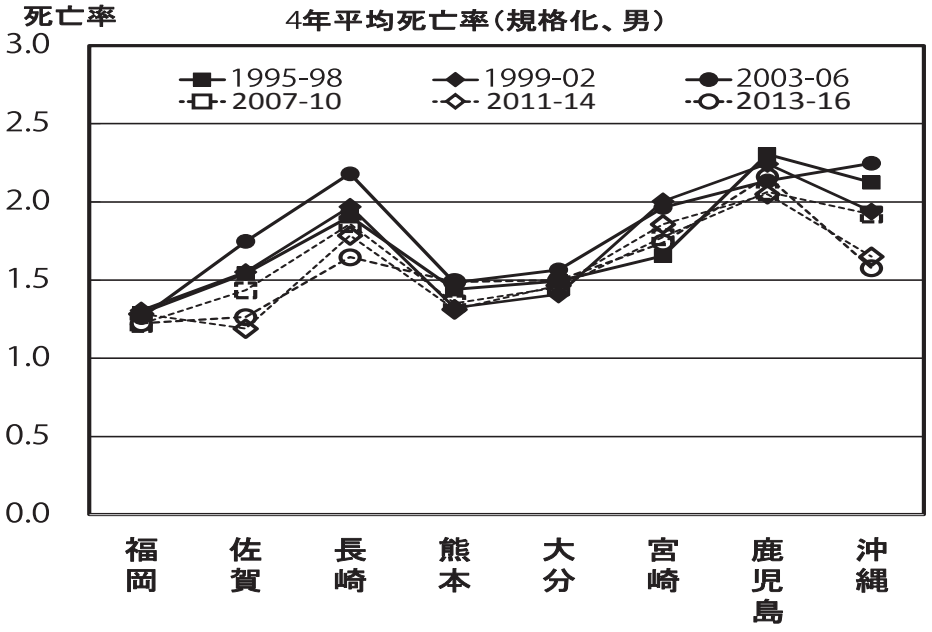

図３　九州沖縄地方の白血病による４年平均死亡率の推移（１～６期)。死亡率は各県の死亡率を九州沖縄以外の39県の平均死亡率で規格化した。６期目の平均値は2013～14年の値が５期目の平均値とダブっていることに注意。

ほとんど九州沖縄である（福岡が僅差で９位)。年毎の死亡率順位は変動するが、上位８位以内に入るのは、鹿児島・沖縄・宮崎・長崎は男女とも20回以上、大分・佐賀・熊本は10～16回である。九州沖縄以外で上位８位以内に入るのは、温暖な四国４県および和歌山と、豪雪に覆われる山陰・北陸・東北・北海道地方である（それぞれ１～２回)。これらはいずれも人口の高齢化率が高い地域である。

次に全期間を４年毎の６期に区分して（1995～98年、1999～2002年、2003～06年、2007～10年、2011～14年、2013～16年)、各期の平均死亡率を求めた。図３は九州沖縄地方の死亡率を39県の平均死亡率で規格化した値を示している。鹿児島・沖縄・宮崎・長崎では39県平均の約２倍の死亡率があり、大分・佐賀・熊本では約1.5倍の死亡率がある。九州沖縄地方の高い死亡率は全期間を通じておおむね一定であるが、細かくみると鹿児島・沖縄・宮崎・長崎・佐賀で次第に死亡率が減少している。これは HTLV ウイルスの母子感染、男女間の感染、輸血による感染に対する自治体の対策が功を奏していることを表していると思われる。

３．白血病死亡率と太陽放射量の関係

次に白血病死亡率と地理的環境との関係を調べてみる。図４は県庁所在地が34.5° N 以南にある15県について、緯度と白血病死亡率との関係を示したものである。沖縄を除けば緯度が低くなるにつれて死亡率が増加する。両者の相関は r^2 値＝0.873（ r ＝ 0.934）という高い値である。この関係は、住民の HTLV ウイルス感染率が緯度とともに減少すると仮定できれば説明できるが、そのような仮定は不自然である。また、HTLV ウイルス感染率の高い南九州の人々が感染者のいない北九州（福岡・佐賀・熊本・大分）に順々に移住してウイルスを拡散させれば、感染率が南から北へ漸減する構図が得られるかも知れない。しかし人々の移住があったとしても、人の流れは福岡に集中する一方的なものであり、九州圏内に留まらないことが予想される。したがって、白血病死亡率がなぜ緯度とともに単調に減少するのかは説明できない。

図４は緯度と白血病死亡率の関係を示しているが、緯度が違えば太陽高度が異なり、太陽放射量（日射量）に違いが生じる。地球が大気圏外で受ける日射量は年によってほぼ不変である。また紫外線は皮膚や眼に入り込んで皮膚がんや白内障等をひきおこす原因となり、アレルギー等の免疫系にも影響を与えると言われている。そのため日射量と白血病死亡率の関係を調べることに意味がある。

人体に降り注ぐ日射は

日射 ＝ 直達日射(の鉛直成分）＋（大気中での)散乱光 ＋（地表面での)反射光

で表わされる。ここで直達日射は太陽の光球（付近も含む）から観測点に入射する太陽

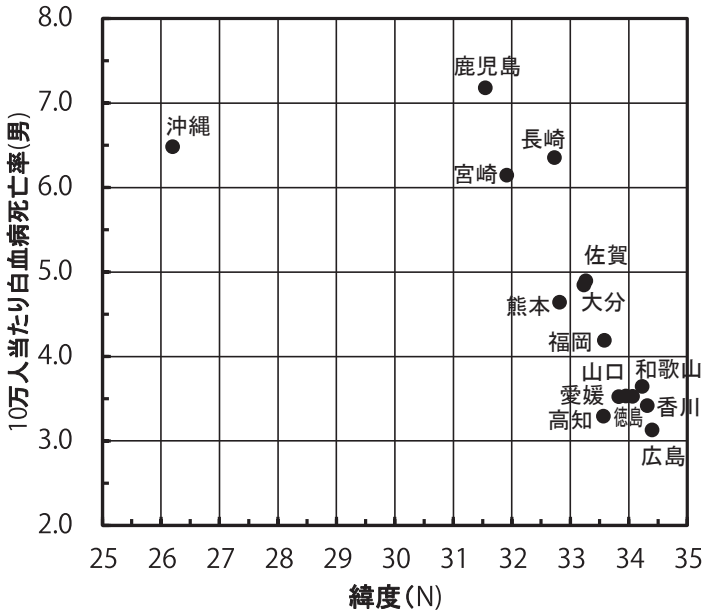

図４　北緯34.5度以南の15県の白血病死亡率（22年平均）と緯度との関係。

光のことであり、散乱光は空気分子・雨滴・エアロゾル等によって乱反射した太陽光が光球以外の空から入射する太陽光のことである。散乱光の強さは概ね直達日射に比例していると考えてよい。地表面で反射した太陽光のうち、低角で（乱）反射する光は人体に当たる。豪雪地帯では積雪が太陽光を反射するので（反射率は新雪で90％強)、晴天の日には雪面から紫外線が顔面に当たる。

直達日射量は緯度により、季節により、時刻により変化する。大気上端に降り注ぐ太陽放射量をS_0（＝1380 W/m^2＝太陽定数）とすると、地球表面に入射するのはその鉛直成分$S_0 \times \sin(\alpha)$である（αは太陽の高度角、図５参照)。いま観測点の緯度をθ、太陽の赤緯をδとすると、緯度θの地点で正午における高度角は

$$\alpha = 90° - \theta + \delta$$

で表される（小倉1997)。赤緯δは１年を周期として変化するので、月日を決めればαが求まる。本報ではδを夏至の日に23.5°、冬至の日に－23.5°になるような正弦関数で算出した。また地球が自転しているので高度角は時刻によっても変化する。時角をhとすると、

$$h = 15° \times （地方時 - 12時間）$$

で表される。ただし地方時hは日本標準時（JST）とは異なり、経度ϕの地点では

$$地方時 = JST + （\phi - 135°）\div 15°$$

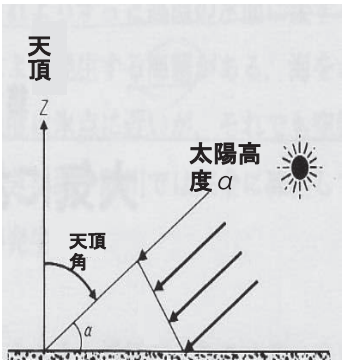

図５　地球表面に太陽高度角αから入射する日射の模式図。小倉（2012）による。

となる。地方時は東日本でJSTより早く、西日本でJSTより遅いので、相対的に東日本は朝寝坊、西日本は早起きとなる（その差は最大１時間)。このときsin(α)は球面三角形の公式を使って

$$\sin(\alpha)=\sin(\theta)\sin(\delta)+\cos(\theta)\cos(\delta)\cos(h)$$

と表される（小倉1997)。

太陽放射量の地表での強さは天候や大気の汚れなどに左右されるが、その補正係数を１年間で平均すると47都道府県で大きな差がないと仮定する。このとき、47都道府県別の１年間の太陽放射量は、$S_0\sin(\alpha)$を日の出から日の入りまで積算した値、すなわち

$$\text{積算日射量}=\sum^{365\text{日}}\sum^{\text{日中}} S_0\sin(\alpha)$$

に比例する。

上の式で求めた47都道府県別の積算日射量と白血病死亡率の関係を図６（男性）と図７（女性）に散布図で示した。これらの図において積算日射量が11250MJ/ m^2以上の9県だけみると、積算日射量と白血病死亡率の強い正の相関が明らかである。図６、図７で沖縄の散布点（積算日射量＝11739MJ/m^2、10万人当たり死亡率＝6.48人および4.33人）が飛び離れているのは、白血病の死亡者がほとんど高齢者であり（松尾、2005)、白血病の死亡率が沖縄のように老齢化率（65歳以上の人口割合）が低い県では死亡率が低く計算されるためである。実際の老齢化率は、九州（７県）平均が男性で23.49%、女性で30.25% であるのに対し、沖縄の老齢化率は男性で16.14%、女性で20.53% である(総務省統計局､2018)。沖縄の高齢化率が九州平均の高齢化率に等しかった場合の死亡率は、九州７県の高齢化率と死亡率の関係式（勾配）に沖縄と九州平均の高齢化率の差を掛けることにより、男性の死亡率＝9.84人、女性の死亡率＝6.58人と推

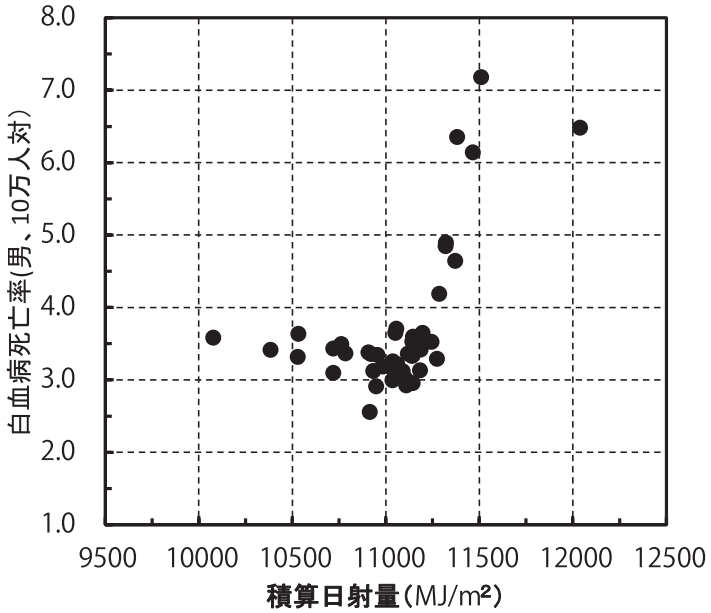

図６　47都道府県の白血病死亡率（男）と１年間の積算日射量との関係。

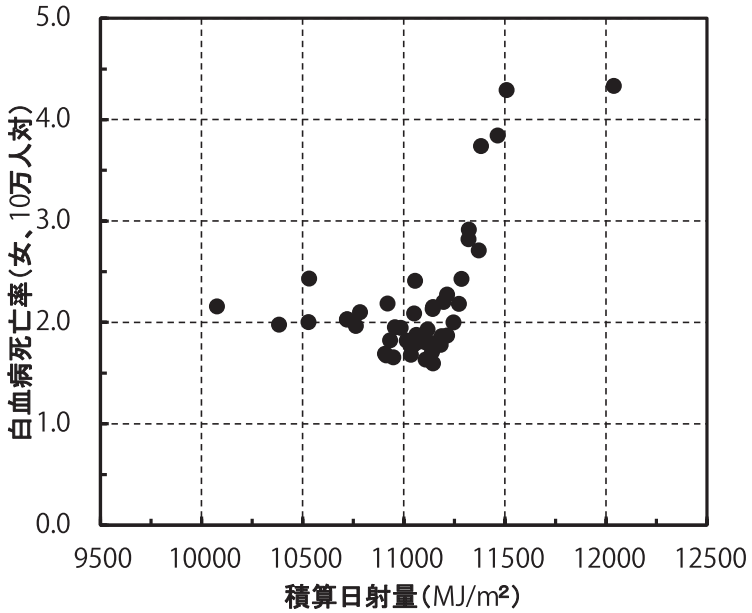

図７　47都道府県の白血病死亡率（女）と１年間の積算日射量との関係。

算できる。これらの値を図６と図7にプロットすると、沖縄の散布点は図６、図７に示された直線的な関係にほぼのることがわかる。しかしこの白血病死亡率と日射量の間の直線的な関係を「日射量の多い県ほどHTLVウイルスの感染者が多い」という仮説で説明するのには無理があると思われる。

ここで､強い太陽放射は多量の紫外線を含んでいることに着目する。菅原･野津(1998)によれば、表皮に照射されて皮膚の毛細血管にまで届いた紫外線Aや紫外線Bは細胞のDNAを損傷したり、ランゲルハンス細胞・リンパ球・NK細胞・リンパ節などに影響を与えたりして、皮膚ばかりでなく全身の免疫機能を低下させるという（Horio、1992)。太陽紫外線被ばくと免疫系の問題は大変複雑で、その相互関係や機序についてまだ明確・確定的でないけれども（菅原・野津1998)、太陽紫外線が細胞のDNA損傷や免疫系に影響して成人T細胞白血病を誘発している可能性は排除できないと思われる。九州沖縄地方は太陽紫外線が強いので、それを長期間にわたって浴びた場合は免疫系に影響することが推測される。太陽放射と白血病死亡率の強い相関関係は、太陽放射に含まれる紫外線が成人T細胞白血病の原因になっていることを示唆しているように思える。

５．がん治療が白血病の病因である可能性

図６、図７を見ると、九州沖縄以外の県、あるいは積算日射量が11250MJ/ m^2 以下の県では白血病死亡率と積算日射量との関係が全く見られない。このことは九州沖縄地方を除く39県ではHTLVウイルス感染以外に白血病の病因があることを意味している。すでに述べたように、白血病の治療に用いられ放射線や抗がん剤が二次性の白血病を誘発した事例が報告されている。それらの事例が特殊なものではなく、がん治療一般に関わっているとすれば、全部位のがんによる死亡率と白血病による死亡率に相関がみられることが推測される。

図８と図９は九州沖縄地方８県以外の39都道府県について、白血病死亡率と全部位がん死亡率の関係を散布図で示したものである。これによれば男性（図８）の相関は r^2 値＝0.452（ r ＝0.673）という高い値である。 t 検定によれば有意水準0.01％で白血病死亡率と全部位がん死亡率に非常に強い正の相関がある（ p 値＝0.00027％)。白血病は血液細胞の遺伝子変異が原因のがんであるが、他の多くのがんは上皮細胞や肉腫に腫瘍ができるがんである｡また白血病の死亡率は全部位がん死亡率の３％程度にすぎない。そのため白血病（あるいはその初期症状）がその数十倍もの全部位がんを誘発すると考えるのは不自然である。一方、がん治療一般に用いられる放射線治療や抗がん剤が骨髄の造血細胞に作用して白血病を誘発することはすでに報告されている（Evans et al.

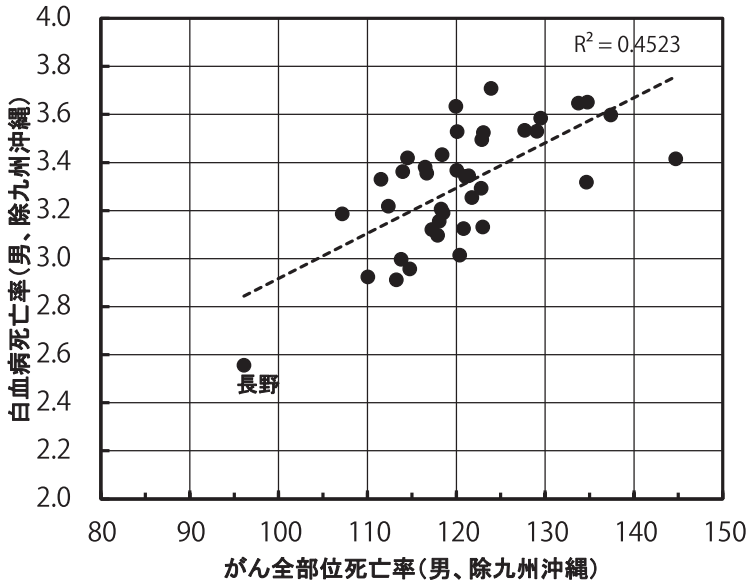

図８　九州沖縄を除いた39都道府県の白血病死亡率とがん全部位死亡率（男）との関係。

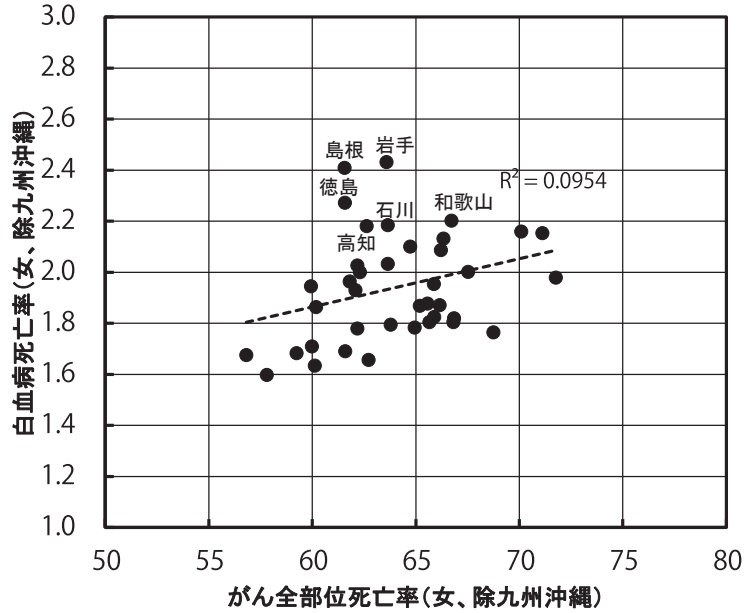

図９　九州沖縄を除いた39都道府県の白血病死亡率とがん全部位死亡率（女）との関係。

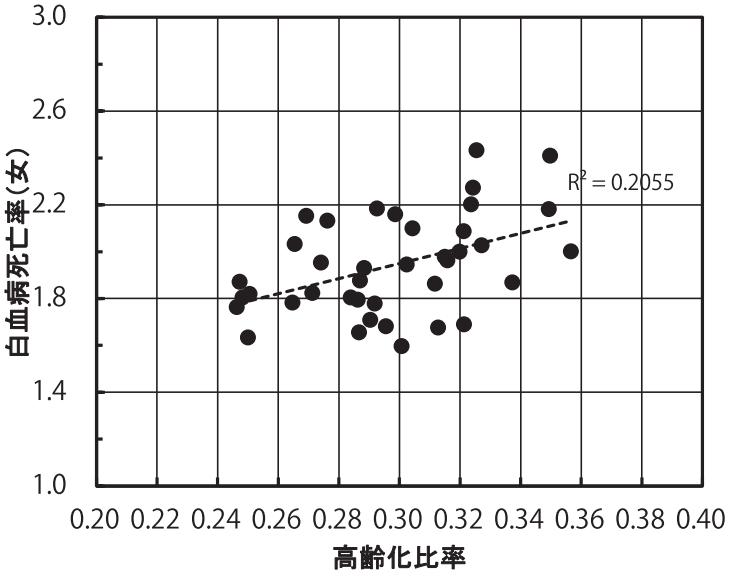

図10　九州沖縄を除いた39都道府県の白血病死亡率（女）と人口の高齢化率（女）の関係。

1986、Darby et al. 1987, Yokozawa and Noda 2003など）。したがって、がん治療に用いられる放射線あるいは抗がん剤が二次白血病の病因になっていると考えるのが自然であると思われる。その場合、白血病の進行速度と他のがんの進行速度の関係が問題となる。放射線治療が誘発した初期の白血病が本来のがんの進行を早めることがあるかも知れない。また、放射線治療や抗がん剤治療でがんが一時的に寛解した人が白血病に罹って死亡することもあるかも知れない。

女性の白血病死亡率と全部位がん死亡率の関係をみると（図９）、相関は $r^2=0.095$（$r=0.309$）とやや小さい。この値をｔ検定すると有意水準５％の有意点にほんの少し不足している（ｐ値＝5.56％）。女性の相関係数が男性に比べて小さいのは、死亡率の変動幅が男性より小さいので、相対的にランダムノイズの影響が大きいことが一因である。そのため、各県の死亡率に対する老齢化率の影響が大きくなる。図10に示した女性の死亡率と高齢化率の関係から（$r=0.453$）、両者の正の相関が確認できる。図９で高い死亡率を示している岩手・島根・徳島・和歌山・高知はいずれも高齢化比率が上位10以内に入る県である。これらの５県では死亡率が高めに出ている。５県を除いて相関を求めると、$r^2=0.2862$（$r=0.535$）という高い相関が得られる。したがって女子についてもがん治療に用いられる放射線が二次白血病の病因となっている可能性が高いと考えられる。

6．結　び

22年間に及ぶ白血病死亡率（年齢調整値）の都道府県分布を統計解析して、次のような結果が得られた。

九州沖縄地方の高い白血病死亡率は22年間にわたって続き、22年平均した死亡率と緯度および積算日射量との間に強い正の相関がみられる。九州沖縄地方の白血病の主な原因は HTLV ウイルスの感染であることが知られている。死亡率と積算日射量の強い相関関係から、太陽放射に含まれる紫外線が DNA を損傷したり免疫系に影響したりして成人 T 細胞白血病を発症させている可能性が示唆される。

白血病のように高齢者の死亡率が非常に高い疾患では、高齢者比率が低い（高い）県で年齢調整死亡率が低く（高く）見積もられる。沖縄は高い積算日射量の割に低い死亡率を示すが、その理由は、沖縄の老齢化率が極端に低いために死亡率が低く見積もられているためであると考えらる。

九州沖縄地方を除いた39都道府県の白血病死亡率と全部位がんの死亡率には強い正の相関がみられる。このことは一般のがん治療に用いられる放射線が二次白血病を誘発していることを示唆していると考えられる。

一方で、白血病は HTLV ウイルスと無縁の地域でも発生し、放射線や抗がん剤治療などの医療技術がなかった時代にも発生している。そのような本来的な白血病の病因については知見を得ることができなかった。太陽放射線の弱い地域でも紫外線が何らかの影響を持っているかも知れない。

引用文献

Amy Berrington de Gonzalez, S. Darby: Risk of cancer from diagnostic X-rays; estimates for the UK and 14 other countries. *Lancet* 363:345-351, 2004.

浅野茂隆・池田康夫・内山卓（監修）:「三輪血液学」、文光堂、pp2000、2006.

直江知樹：白血病はなぜ起こるか。大野竜三（編）「よくわかる白血病のすべて」、永井書店、1-8、2005.

Darby, S. C., R. Doll, S. K. Gill, et al : Long term mortality after a single treatment course with X – rays in patients treated for ankylosing spondylitis. *Br J. Cancer,* 55 : 179-190, 1987.

Evans, J. S., J. E. Wennberg, and B. J. McNeil : The influence of diagnostic radiography on the incidence of breast cancer and leukemia. *N England J. Medicine,* 315: 810-815, 1986.

Horio, T.：Proc. Jap. Comm. Sunlight Prot., 2, 1992。

放射線影響研究所：原爆被害者における白血病リスク、2013。https:www.rerf.or.jp/radefx/late/leukemia.html

国立がん研究センター：各種がんの解説。http//www.ganjoho.jp/cancer. 2018.1.20閲覧。

松尾恵太郎：白血病の疫学。大野竜三（編）「よくわかる白血病のすべて」、永井書店、22-28、2005.

小倉義光：「一般気象学」、東京大学出版会、pp. 314、1997。

大島明・黒石哲生・田島和雄（編著）：がん・統計白書、篠原出版社、2004.

総務省統計局：人口推計2013、都道府県・年齢（３区分）・男女別人口－総人口、https://www.e-stat.go.jp/stat-

search/
菅原努・野津敬一：「太陽紫外線と健康－なぜ太陽紫外線は有害なのか？－」、裳華房、pp. 124, 1998。
Yokozawa T. and T. Naoe : Therapy-related leukemia. *Nippon Naika Gakkai Zasshi*, 92(6): 1007 – 1012, 2003.

〔研究ノート〕

秋田県スギ人工林に対する自然風景地としての利用可能性の検討

村　中　孝　司

要　　約

日本の森林は、戦後、スギ *Cryptomeria japonica* やヒノキ *Chamaecyparis obtusa* などの有用材からなる人工林におきかえられてきた。しかし、材の利用価値の低下に伴って間伐などの管理が施されなくなり、長伐期化が進行してきた。管理放棄による荒廃が進むなか、近年では人工林に対しても景観などへの価値が検討されている。秋田県はスギの産地であり、古くより米代川流域を中心に林業が盛んであった。本研究では、秋田県の人工林の実態を整理し、自然風景としての活用可能性を検討することを目的とした。

天然秋田スギを活用して伝統的に大館曲げわっぱ､秋田スギ桶樽などが作られている。しかし、2012年度を最後に国有林からの供給が停止されたため、人工林由来の高齢級スギ材利用への転換が求められている。現在のスギ人工林のほとんどは概ね40から60年生が53.3% を占め、天然秋田スギの樹齢には及ばない。したがって、樹齢60年未満の人工林に対しては、間伐を実施することでスギ林分の高齢級化を目指すとともに、林床の生物多様性の向上を図り、自然性を高めることで景観価値を向上させることが可能と示唆された。一方、樹齢が60年以上の高齢級のスギに対しては、間伐などの管理を継続して施すことによって、林内景観の多様性を保持することにより、自然風景としての価値が高まることが推測された。

はじめに

日本列島は南北に3,000m 級の山脈が連なる急峻な地形のため、国土のおよそ3分の2を森林が占めている（林野庁2012)。東北地方では、ブナ *Fagus crenata* Blume を主体とした夏緑林が潜在的に成立し、ミズナラ *Quercus crispula* Blume、カシワ *Quercus dentata* Thunb. などが優占する二次林の分布も重なることから、四季を通した色彩の変

化に富んでいる。さらに、急峻な地形やそれによって生じる急流河川、火山や温泉地などの豊富さに加え、日本海側地域でみられる雪景色は日本列島の自然の特徴の1つとなっている。

日本の森林は、戦後70年で急速に変化してきた。終戦直後の木材不足は、外国産材の輸入によって一時的に補ってきたが、将来的には国土の森林の育成による材の供給が不可欠であった。原生林や二次林は切り開かれ、スギ *Cryptomeria japonica*（Thunb. ex L.f.）D.Don、ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* Sieb. & Zucc.、カラマツ *Larix kaempferi*（Lamb.）Carrière などの有用針葉樹を植栽する拡大造林が進んだ。このような人工林は植栽後60年程度を経て伐採され、材として利用される計画であった（林野庁1970, 2016a）。しかし、近年では人工林の伐期は延長される（長伐期化）傾向がある。その要因は木材価格の低迷と管理費用負担が困難になりつつあること、林業従事者の減少や高齢化による労働力不足である。秋田県は、天然秋田スギを利用した工芸品の生産も相まって、米代川流域を中心に林業が栄えてきた（秋田営林局1968；野添2006）。秋田県のスギ人工林面積は民有林だけでもおよそ41万 ha（58%）に及び（秋田県農林水産部2017）、材の宝庫となっている。しかし、材の利用は停滞し、人工林の管理不足による森林荒廃が課題とされている。一方、長伐期化には、高材質や大径材の生産による材価の向上、更新作業に必要な費用の低減、広葉樹や下層植生の侵入による生物多様性の保全、森林の安定性向上など、積極的な評価も行われている（藤森1991；鈴木1995）。しかし、林業における労働力不足は森林管理の停滞をもたらし、森林管理のあり方における根本的解決には至っていない。

人工林管理の中でも、特に間伐はその持続可能性の保持には欠かせないだけでなく、森林の持つ公益的機能の発揮にも影響を及ぼす（橋本1985；Ohashi et al. 2000；大原2007；宮田ほか2011；清和2013）。間伐が十分に施されていない人工林では、林床に到達する光量の低下などによって下層植生の衰退をもたらし、スギの老齢化や枯死と相まって、森林のもつ調整機能を衰退させ、土砂の流出などの災害をもたらす可能性がある。本報告では、秋田県の人工林を林分の齢級、森林管理、材の利用実態などを整理し、人工林景観としての価値を見出すために必要な方策の提案を試みた。

秋田スギ材を活用した伝統産業と問題点

秋田スギのうち、樹齢が200年以上の個体を特に天然秋田スギと呼称している。天然秋田スギの育成には、長い時間と多大な労力が必要なため、当然のことながら樹齢60年程度の通常の秋田スギ材より高価である。しかし、林業従事者数は長期的に減少傾向で推移しており、1980年には約14万6千人だったが、2015年では約4万8千人へと、35年

間で3分の1に減少した（総務省統計局2015）。これらは、林業への労働力不足が人工林の利用価値を低下させるだけでなく、天然秋田スギの育成にも影を落としている。

一方、秋田スギとその活用は、伝統産業を含めた秋田県林業を牽引し、また、森林そのものが地域産業の価値を保持し、秋田スギ材が、建築材、合板、工芸品などに用いられてきた。製材用としての材の生産量は、1963年には157万 m^3だったが、1988年には121m^3、2013年には43万 m^3と緩やかに減少し続けてきた（秋田県農林水産部2016）。一方、合板用としては、1963年には1.8万 m^3だったが、2003年頃から増加しはじめ、2013年には54万 m^3となった。また、秋田県産業労働部地域産業振興課（2014）は、秋田スギを利用した工芸品のうち、大館曲げわっぱ、秋田スギ桶樽の生産企業数、従業員数、生産額（1998年から2012年）を集計している。大館曲げわっぱは、企業数、従業員数、生産額ともにこの15年間ではあまり変化がなく、15年の間、生産額は概ね3.3億円を維持している。一方、秋田スギ桶樽は、1998年の生産額は5.0億円だったが、2012年には1.3億円と4分の1程度に著しく減少した。この2つの伝統的工芸品は、生産額や従業員数の推移において対照的である。一方、原材料となる天然秋田スギの供給においては共通の問題を抱えている。天然秋田スギは、自然生態系保全のため2012年度を最後に国有林からの供給が停止されたためである。これに伴い、高齢級造林スギに切り替えが進められているが、クラフトの製造については、天然秋田スギと比較して色や木目に違いがあることや、歩留まりが悪いことなどの課題がある（秋田県産業労働部地域産業振興課2014）。

現在、人工林で残存しているスギの樹齢は、その多くが天然秋田スギのような高齢級とはいいがたい。生産技術の向上や革新などによって、現在広く残されている人工林スギ材の伝統工芸品への用途の可能性を残しつつ、新たなスギ材の用途を検討することが必要である。

スギ人工林を自然風景として活用できるか

近年、森林に対する社会的要求は、生活環境に対する保全機能に加え、保健、文化、教育的機能に対しての期待が大きくなっている（安永1992）。森林の社会的要求に対する探究は、自然風景に対する好ましさに関する研究（鈴木・堀1989；油井ほか1991；古谷ほか1994；児島ほか1995；沼本ほか1996；古谷1997）、環境社会学的な研究（Cesario 1976；MacKenzie 1992；Costanza et al. 1997；栗山1998；庄子2001, 2003；Kaltenborn & Bjerke 2002）などによって進められてきた。スギ人工林に対しては、人目に付きやすい里山に位置していることも相まって、社会、文化的な役割を担わせるといった役割が与えられることがいっそう必要と考えられる。一方、ある特定の森林に対する文化的

サービスについては、価値を見出す方法が経験的に示されている。たとえば、天然秋田スギの中でも際だって幹周の大きい巨木や、特異な形状の巨木、あるいはそれらによって構成される森林などへの称号や名称の付与である。

秋田スギは青森県の青森ヒバ、長野県の木曽ヒノキとならんで天然の日本三大美林とされ、特に米代川流域が産地の中心であった。標準的樹齢は200年から250年といわれ、その中でも特徴のある樹形をした天然の秋田スギには名前が与えられ、観光資源として活用されている（秋田営林局1968；野添2006）。たとえば、仁別自然休養林（秋田市）は、天然秋田スギとブナ広葉樹林が生育する森林である。林内は「めおと杉」とよばれる根元から分かれた2本の天然秋田スギが寄りそった姿を観察することができる。また、仁鮒水沢スギ植物群落保護林（能代市）は米代川上流に位置し、3,000本ほどの天然秋田スギが約18ha の敷地内に生育している。「きみまち杉」は日本一の高さを誇る天然秋田スギである。上大内沢自然観察教育林（上小阿仁村）には樹齢250年にも達する天然秋田スギが約3.8ha の敷地内に生育している。林内には「コブ杉」と呼ばれる独特な様相を呈した樹形を観察することができる。このような天然秋田スギの森林には、シンボル

写真1．元滝伏流水（にかほ市）のスギ人工林（2017年7月29日撮影）

要素がいくつか存在しているほか、秋田スギの個体や林分の荘大さが人々に強い印象を与える要素となっている。しかし、このような要素をほとんどもたない森林について顧みられることはほとんどない。

人工林の風景を観光スポットとして活用することはできるだろうか。香川（1998）は、自然風景地における森林景観整備において、見えている森林の姿を優れたものにしようというフォレストスケープの提案を行った。人工林でも個々の樹木スケールが大きければ、人々はそれに深い感銘を受けると考え、アメニティの最大の要素は「壮大さ」であると指摘した。また、人工林の自然性を増すこと、すなわち下層植生を豊かにすることで林内景観の多様性を増し、アメニティの高い空間への転換が望ましいと言及した。井川原・横井（2004）は、大学生を対象とした心象評価に基づく森林景観の好ましさを追求した。この研究では、針葉樹人工林に対して景観の好ましさに影響する景観構成要素は「色合い」であると指摘し、草本層にクマイザサ *Sasa veitchii*（Ruprecht）Makino et Shibata が繁茂していることが関係していると考察した。すなわち、人工林においても、渓流、瀑布、林床植生の豊かさなど、人々が好ましいと捉える付加的な要素や林内景観の多様性が加わることによって、観光価値が高まると考えられる。たとえば、元滝伏流水（写真1；にかほ市）には若齢のスギ人工林が広がっているが、渓流美の中に存在し人工林が渓流の風景を補っている。以上のことから、人工林を1つのスポットとして活用するためには、いくつかの付加的な景観の併存が重要な要素になると考えられる。

人工林の高齢級化を目指す

人工林の荒廃の直接的要因は、材の利用価値の低下である。しかし、材のような供給サービスではなく、人工林そのもの、特に人工林の有する景観（文化的サービス）や機能（調整サービス）に価値を見出すことができれば、山積する課題の一角を切り崩すことができると考えられる。長伐期化による価値を見出すことが必要かもしれない。天然秋田スギの森林は手入れを長年にわたって継続した結果、得られたものである。長伐期化がさらに進むことによって、天然秋田スギの森林に近づけることができると考えられる。ただし、人工林の景観保全には、少なくとも間伐などの管理が必須である。それによって林床の光環境や生物多様性の回復を図ることができるだけでなく、広葉樹や草本の侵入を促し、自然性の高い森林に再生することができる（橋本1985；國崎・今田1996；大原2007；山川ほか2013；山本2016）。

全国的にみても、50年生以上（齢級10以上）の人工林は年々増加し続けている（図1）。2007年には齢級10以上の人工林は35.3％の面積を占めていた（林野庁2011）が、わずか5年後の2012年には51.4％へと16.1ポイント増加した（育成単層林のみを対象；林野

庁2016b)。スギ人工林に限れば、その割合は58.5% に達していた。また、秋田県の民有林においても、2015年の時点で齢級10以上の人工林の割合は54.1% であった（秋田県農林水産部2017)。すでに述べたように、間伐などの管理を適切に施すならば、林齢の増加による個々の樹木スケールを増大させることが可能である。それにより、材に価値を認めることよりも、むしろ景観としての価値を認める方が、地域産業として実りのある成果を生み出す可能性がある。

先述したように、人工林の自然風景を観光資源として活用するためには、天然秋田スギのような老齢林が含まれることや、巨木などのシンボル要素が存在すること、渓流美

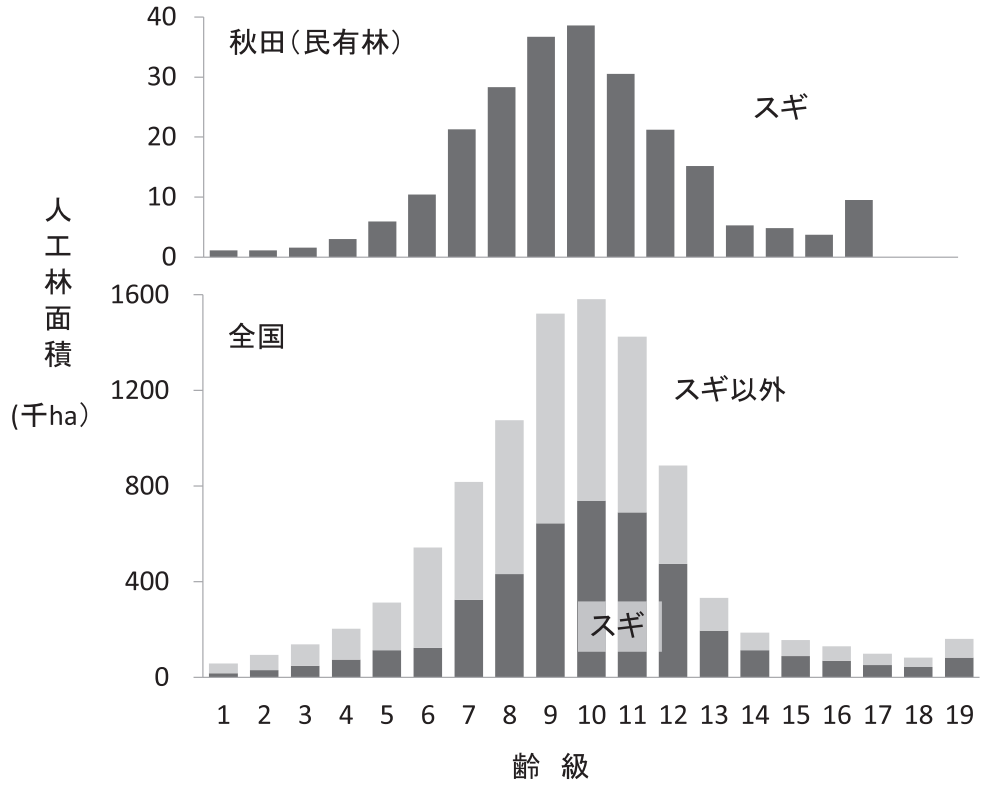

図１．秋田県民有林人工林（スギ人工林）および全国人工林の齢級ごとの面積
全国の人工林面積については林野庁（2016b)、秋田県の民有林人工林面積（スギ人工林）については秋田県農林水産部（2017）に基づき作成した。秋田県民有林人工林の齢級17以上、全国の人工林の齢級19以上は、それぞれ齢級17，齢級19にまとめた。なお、齢級とは、林齢5年をひとくくりにし、まとめたものである。すなわち、林齢1－5年生を1齢級、6－10年生を2齢級、以下3齢級・・・と称する。

写真2. 御座石神社（仙北市）の御神木（2018年1月8日撮影）

などの要素が含まれることが重要と考えられる。しかし、秋田県におけるスギ人工林は高齢級化が進行しつつあるとはいえ、林齢40－60年（齢級9－12）がスギ民有林人工林面積の53% を占め、シンボル要素となり得る巨木などは存在していないと推定される。また、渓谷美などの要素がどの場所にも含まれているとは限らない。

井川原・香川（2000）は、針葉樹人工林の太く直立な樹木の姿が、林内イメージを決める重要な因子である「神聖さ」と結びつくことを示唆している。たとえば、唐松神社（大仙市）の杉並木や、田沢湖畔の御座石神社（写真2；仙北市）などにおいては、天然秋田スギやスギの巨木が御神木とされ、その神聖さの保持に欠かせないものとなっている。上大内沢のスギでは85.0cm（n ＝710）と大きい（澤田・西園2011）。また、仁鮒水沢の「きみまち杉」は164cm[(1)]、川口渓谷（大仙市）の「オブ山の大杉」（推定樹齢1,200年）は幹周が12.4m であり[(2)]、推定される胸高直径はおよそ395cm に達する。秋田県の齢級17以上（70年以上）の民有林は2015年時点で約9,500ha（4.0%）存在している。朴・小林（1992, 1993）は、林齢を増加させることで、林内景観のイメージを高揚させる効果が期待されることを指摘している。力強く神聖に見える森林とは、保残

木の樹幹が通直で整然と並んでいる林分といった指摘もある（市原ほか1991）。現在の人工林は、天然秋田スギには及ばないものの、間伐などの管理を継続することで、「神聖さ」を生み出すことができると考えられる。同時に林床植生の多様性を増すことができれば、高林齢であることの必然性はないと考えられる。

個々の樹木が、どの程度の大きさ、太さであれば、人々が神聖さを感じることに結びつくかについては、その基準は判然としない。また、ある一定の区切りを設けたとしても、その値が人々に感銘を与えるか否かに対する妥当性にはまだ検討の余地がある。これらについては、さらなる研究を待たなければならない。なお、井川原・香川（2000）は、調査を行った針葉樹人工林内のスギの平均直径が30.9cm と太く、幹が通直だったこと

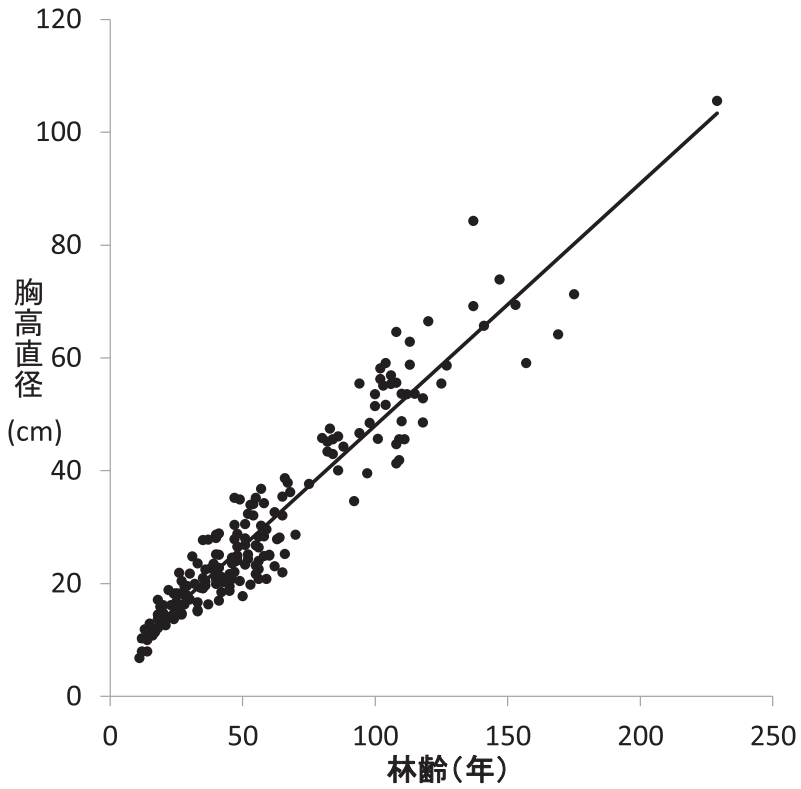

図２．林齢と胸高直径の関係
愛媛県農林水産部林政課（1975）、竹内（2005）、島田（2011）に基づいて作成した。各プロットは、各林分に林立するスギの胸高直径の平均値を表している。なお、愛媛県農林水産部林政課（1975）から146林分、竹内（2005）から7林分、島田（2011）から45林分を分析の対象とした。

によって、「神聖さ」と結びつくのではないかと考察している。本論では試験的に、胸高直径が30.9m 以上での区分を試みた。林齢と胸高直径を測定した3つの調査結果（愛媛県農林水産部林政課1975；竹内2005；島田2011）に基づいて、両者の関係を予備的に分析したものが図2である。林齢と胸高直径の間には直線的な関係が見出され（$n = 198$、$r^2 = 0.91$、$F = 2110.13$、$p < 0.001$）、胸高直径が30.9cm を超えるのは林齢が60年以上（齢級13以上）の林分であることが推定された。

おわりに

秋田県内の民有林では、林齢60年（13齢級）以上のスギ人工林は2015年で約38,500ha（16.2%）存在している。このような林分においては、もちろん材の利用価値が見出されれば伐採して利用することに越したことはない。しかし、材の価値がすぐには見出されない、あるいは労働力不足などの問題によって即時には利用できない状態の場合は、管理を継続的に行うことで樹木スケールを増大させ、人工林に対しても「神聖さ」を涵養し、自然風景としての価値が高まることが期待される。一方、齢級が13未満と若い人工林では、林内景観の価値はまだ十分に高くは評価されないだろう。しかし、香川（1991, 1998）が指摘しているように、樹木の成長を促しつつ林床植生を豊かにし、自然性を高めることが自然風景として機能する可能性は高いと考えられる。

人工林の価値を保持するためには、齢級にかかわらず適切な間伐が欠かせない。朴・小林（1992）は間伐が林内景観の価値向上に最も重要な要素であると指摘している。また､大原（2007）は､林床植生や調整サービスへの必要性を指摘している。清和（2013）は、境界効果と間伐効果の両方に注目し、効果的な施業方法を提案している。大住ほか（2000）は、秋田地方の高齢スギ人工林を調査し、間伐強度を高めることによって胸高直径の大きなスギが得られることを示している。これらの成果を踏まえ、スギ人工林の新たな利用価値を見出すためには、少なくとも適切な間伐を継続して施すことが条件である。加えて、次の2つの施策の必要性を提案しておきたい。

第1に、人工林景観を含むような渓谷、複雑な地形など、「好ましい」と感じる自然景観構成要素を見出すことである。また、林内景観の多様性を高め、多様な色合いを含むように森林を整備することである。これは間伐強度を工夫することにより、後者は概ね解決できるものと推測される。第2に、スギの高齢級化を目指すことである。高齢級化によってスギ個体のサイズが増大し、それらが整然と並び立つ姿によって「神聖さ」を醸し出すことが可能となる。また、第1の施策を継続的に行うことにより、長期的にみれば第2の施策が必然的に実現可能と考えられる。ただし、この2つの提案は、現在の林業従事者の労働力不足を解決することには結びついていない。さらに、スギ材の利用に

関する問題も残されている。これらの課題に関する検討を進めつつ、同時に人工林の景観価値、材としての価値が損なわれないように森林の管理を継続し、森林価値の評価を見出す施策を分析することが必要である。

謝　辞

本研究の一部は、平成28年度秋田県私大・短大パワーアップ支援事業『新しい秋田の特産物発掘にもとづく地域発見プログラムの開発』（ノースアジア大学経済学部）のうち、環境学ゼミナール「人工林の増加や管理放棄による秋田県の森林が抱える課題」によって行われたものである。ここに記してお礼申し上げる。

引用文献

秋田営林局（1968）秋田の杉．125pp，林野弘済会秋田支部，秋田．
秋田県産業労働部地域産業振興課(2014)新あきた伝統的工芸品等振興プラン．秋田県産業労働部地域産業振興課，秋田．
秋田県農林水産部（2016）秋田県林業時計（時系列版Ⅶ）．秋田県農林水産部，秋田．
秋田県農林水産部（2017）秋田県森林・林業の概要　平成29年度版．秋田県農林水産部，秋田．
井川原弘一・香川隆英（2000）日本の代表的森林タイプにおけるアメニティの比較考察．ランドスケープ研究63：583-586．
井川原弘一・横井秀一（2004）大学生を対象とした心象評価による森林内の雰囲気と景観の好ましさを決定する因子の解析．ランドスケープ研究67：611-614．
市原恒一・豊川勝生・山田健・大川畑修（1991）ヒノキ複層林の林内景観．農園雑誌54：191-196．
愛媛県農林水産部林政課（1975）スギ・ヒノキ人工林収穫予想表及び林分材積表（附：林分密度管理図）．愛媛県農林水産部林政課，松山．
大住克博・森麻須夫・桜井尚武・斎藤勝郎・佐藤昭敏・関剛（2000）秋田地方で記録された高齢なスギ人工林の成長過程．日本林学会誌82：179-187．
大原偉樹（2007）スギ人工林の間伐にともなう林床植生の変化と水土保全機能に関する研究の必要性．森林総合研究所研究報告6(2)：127-134．
香川隆英（1991）京都北山における人工林のアメニティに関する研究．造園雑誌54：185-190．
香川隆英（1998）自然風景地における森林景観整備の新しい方向－フォレストスケープの実践－（特集・21世紀に向けた自然風景地の空間整備と造園技術）．ランドスケープ研究62：115-117．
國崎貴嗣・今田盛生（1996）間伐による人工林の林内見通しの変化．森林計画学会誌26：51-58．
栗山浩一（1998）CVM による釧路湿原のレクリエーション価値の評価．林業経済研究44: 63-68．
児島隆政・古谷勝則・油井正昭（1995）自然景観における好ましさの評価構造に関する研究．ランドスケープ研究58：177-180．
澤田智志・西園朋広（2011）秋田スギ天然林における2001年から10年間の成長特性．東北森林管理局森林・林業技術交流発表集　A地域に対応した多様な森林管理技術の開発．
島田博匡（2011）三重県の高齢人工林における胸高直径，樹高，樹冠幅の関係－大径材生産を目指した密度管理技術の検討－．三重県林業研究会会報 (3)：19-26．
庄子康（2001）トラベルコスト法と仮想評価法による野外レクリエーション価値の評価とその比較．ランドスケープ研究64: 685-690．
庄子康（2003）森林レクリエーションの経済学的評価－これまでの研究と今後の課題－．日本林学会誌85: 78-

87.
鈴木修二・堀繁（1989）森林風景における自然性評価と好ましさに関する研究．造園雑誌52: 211-216.
鈴木正（1995）大径材生産の林業．175pp，全国林業改良普及協会，東京.
清和研二（2013）スギ人工林における種多様性回復の階梯－境界効果と間伐効果の組み合わせから効果的な施業方法を考える－．日本生態学会誌63：251-260.
総務省統計局（2015）平成27年国勢調査．総務省統計局，東京.
竹内郁雄（2005）スギ高齢人工林における胸高直径成長と林分材積成．日本林学会誌87：394-401.
西園朋広・田中邦宏・粟屋善雄・大石康彦・林雅秀・横田康裕・天野智将・久保山裕史・八巻一成・古井戸宏通（2008）秋田地方のスギ人工林における林分材積成長量の経年推移．日本林学会誌90：232-240.
沼本健司・裵重南・古谷勝則・油井正昭（1996）展望地点から観賞する自然景観の景観評価に関する研究．ランドスケープ研究59：165-168.
野添憲治（2006）秋田杉を運んだ人たち．318pp，社会評論社，東京.
橋本良二（1985）スギ人工林の間伐と光環境（I）林床相対照度の変化の検討．日本林学会誌67：253-560.
藤森隆朗（1991）多様な森林施業．191pp，全国林業改良普及協会，東京.
古谷勝則（1994）自然景観地における眺望景観の認識特性に関する研究．造園雑誌57：283-288.
古谷勝則（1997）自然景観における評価と調和に関する研究．ランドスケープ研究61：56-61.
朴賛雨・小林正吾（1992）スギ人工林の林内風景の評価に関する研究（I）スギ林内風景の林分構造と視覚的好みの関係．森林計画学会誌19：31-42.
朴賛雨・小林正吾（1993）スギ人工林の林内風景の評価に関する研究（II）スギ林内風景のイメージ解析．森林計画学会誌20：47-59.
宮田将門・亀谷国大・加藤博和・川瀬康博・林良嗣（2011）中山間地域の人工林維持・管理の社会的必要性を評価する指標の提案．土木学会論文集 D3（土木計画学）67：I_389-398.
安永朝海（1992）特集に寄せて－都市近郊林研究へのアプローチ－．森林科学4：20-21.
山川博美・日置佳之・鎌田麿人・伊藤哲（2013）特集「人工林景観における自然林化計画論」の企画にあたって．景観生態学18：79-81.
山本美穂（2016）人工林再生過程にみる自然資源管理の歴史性と地域性－高原林業値の形成過程より－．林業経済研究62：7-16.
油井正昭・古谷勝則・磯野順一（1991）自然風景地における景観の自然性評価に与える工作物の影響に関する研究．造園雑誌54：203-208.
林野庁（1970）国有林野経営規定の解説．477pp，地球出版，東京.
林野庁（2011）平成22年度森林・林業白書．林野庁，東京.
林野庁（2012）都道府県別森林率・人工林率．林野庁，東京.
林野庁（2016a）平成27年度森林・林業白書．林野庁，東京.
林野庁（2016b）森林・林業統計要覧2016．林野庁，東京.
Cesario F.J. (1976) Value of time in recreation benefit studies. *Land Economics* 52: 32-41.
Costanza R., d'Arge R. de Groot R. Farber S., Grasso M., Hannon B., Limburg K., Naeem S., O'Neil R.V., Paruelo J., Raskin R.G., Sutton P. & van den Belt M. (1997) The value of the world's ecosystem services and natural capital. *Nature* 387: 253-260.
Kaltenborn B.P. & Bjerke T. (2002) Associations between environmental value orientations and landscape preferences. *Landscape and Urban Planning* 59: 1-11.
MacKenzie J. (1992) Evaluating recreation trip attributes and travel time via conjoint analysis. *Journal of Travel Research* 24: 171-184.
Ohashi M., Gyokusen, K. & Saito A. (2000) Contribution of root respiration to total soil respiration in a Japanese cedar (*Cryptomeria japonica* D. Don) artificial forest. *Ecological Research* 15: 323-333.

［注］

（1）森と水の郷あきた http://www.forest-akita.jp/data/field/kimimachi/kimi-sugi.html（2018年1月21日確認）
（2）大仙市「オブ山の大杉」http://www.city.daisen.akita.jp/docs/2013110100131/（2018年1月22日確認）

執 筆 者 紹 介

岡　田　裕　介　　ノースアジア大学総合研究センター　客員教授

橋　本　五　郎　　ノースアジア大学　客員教授

内　館　牧　子　　ノースアジア大学総合研究センター　客員教授

福　岡　政　行　　ノースアジア大学総合研究センター　客員教授

橋　元　志　保　　ノースアジア大学法学部　教授

瀧　澤　　純　　ノースアジア大学法学部　講師

力　石　國　男　　ノースアジア大学総合研究センター　教授

村　中　孝　司　　ノースアジア大学経済学部　准教授

総合研究　　第６号

2018年（平成30年）３月30日印刷・発行

編集・発行　ノースアジア大学総合研究センター
秋田市下北手桜守沢46－1
電 話　018－836－6592
FAX　018－836－6530
URL　http://www.nau.ac.jp/~center/

印　　刷　秋田活版印刷株式会社
秋田市寺内字三千刈110－1
電 話　018－888－3500

ISSN 2187－705X

General Research

The 6th issue March, 2018

CONTENTS

Lectures

Talks on movies IV ····· Yusuke OKADA

What is the future of domestic and foreign politics?
-How should Japan act? ····· Goro HASHIMOTO

What does the word “Hometown “mean to us?
-From a novel “My Life is Over” ····· Makiko UCHIDATE

The Meaning of “Persistence”
-Learning from the History of Sumo ····· Makiko UCHIDATE

The future of the new regime (?) and Japan, the big debt country (1000 trillion yen)
-A forecast of Japan in 10 years, in the age of depopulation ··· Masayuki FUKUOKA

The direction of a country called Japan
-Politics, economy, diplomacy, and the young ····· Masayuki FUKUOKA

Japan’s future in 2017
-The Abe regime, the Opposition, and Japan’s diplomacy····· Masayuki FUKUOKA

Abe’s regime’s future and the ambition of Koike Tokyo Governor ····· Masayuki FUKUOKA

Articles

A study of Souseki Natsume’s *Youkyosyu* from the viewpoint of horror and fantasy ····· Shiho HASHIMOTO

The relationship between Autism Spectrum Disorder tendency and coping with faults of the others ····· Jun TAKIZAWA

Notes

Solar ultraviolet ray and therapy-related radiation as possible causes of leukemia ··· ····· Kunio RIKIISHI

Landscape amenities and availabilities of the *Cryptomeria japonica* plantations in Akita Prefecture, Japan ··· ····· Takashi MURANAKA

North Asia University General Research Institute
Akita, Japan